足立区教育委員会会議録

会議名	平成２９年第６回足立区教育委員会定例会		
開会月日	平成２９年６月８日（木）	場所	教育委員会室
会議時間	（開会）午前・午後 ３時００分 ～ （閉会）午前・午後 ３時５１分		
休憩時間	①（休 憩）午前・午後 時 分 ～ （再会）午前・午後 時 分 ②（休 憩）午前・午後 時 分 ～ （再会）午前・午後 時 分		

委員の出席	教育長	定野 司	出席	委員	杉田 直子	出席
	委員	葉養 正明	出席	委員	小池 康之	出席
	委員	浅井 えり子	出席	出席者5名、欠席者0名		

出席説明員	宮本 博之	学校教育部長	出席	鳥山 高章	子ども家庭部長	出席
	荒井 広幸	教育政策課長	出席	松野 美幸	子ども政策課長	出席
	五十嵐 隆	学校適正配置担当課長	出席	金子 俊之	待機児ゼロ対策担当課長	出席
	向井 功至	学校経理課長	出席	田巻 正義	子ども施設整備課長	出席
	小坂 裕紀	教育指導課長	出席	森田 剛	子ども施設運営課長	出席
	渡辺 隆史	学校施設課長	出席	千ヶ崎嘉彦	子ども施設入園課長	出席
	臺 富士夫	学校改築担当課長	出席	寺島 光大	青少年課長	出席
	渡邉 勇	学務課長 おいしい給食担当課長	出席	上遠野 葉子	こども支援センターげんき所長	出席
	須原 愛記	学力定着対策室長	出席	近藤 博昭	教育相談課長	出席
	森 太一	学力定着推進課長 英語教育推進担当課長	出席	高橋 徹	こども家庭支援課長	出席
	小室 晃	就学前教育推進課長 子ども施設指導・支援担当課長	出席	伊藤 良久	生涯学習振興公社事務局長	出席
	和泉 恭正	地域のちから推進部長	出席	菊池 正美	生涯学習振興公社学習事業部長	出席
	浅見 信昭	地域文化課長	出席			

書記	清水 均 庶務係長	鵜殿 崇人 庶務係主任主事	秋元 康裕 教育政策担当係長
	野口 晋平 教育政策担当係長	佐々木 直 教育政策担当係長	菊池 崇 管理係長
傍聴人	２名		
会議に付した議題	別紙、会議次第の通り。		

平成２９年６月８日

第６回足立区教育委員会

午後３時００分開会

○教育長　それでは、ただいまから本年第６回足立区教育委員会定例会を開会いたします。本日の出席委員数は定足数であります。よって会議は成立いたします。

それではこれより審議に入ります。

――――――◇――――――

○教育長　初めに、会議録署名員の指名をいたします。本日の会議録署名に小池委員、浅井委員をご指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

初めに日程第１、第４０号議案ですが、この議案は足立区教育委員会会議規則第１４条第１項のただし書きによる人事に関する件でありますので、非公開の会議といたしたいと思います。

お諮りいたします。第４０号議案につきまして、非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いいたします。

（挙手全員）

挙手全員であります。よってこの議案につきましては、非公開とさせていただきます。大変申し訳ありません。傍聴人の方、議場より退席をお願いいたします。ありがとうございます。

（傍聴人退席）

これからご審議いただきます第４０号議案に関する別添資料につきましては、委員会終了後回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは日程第１、第４０号議案を議題といたします。

庶務係長。

○庶務係長　日程第１、第４０号議案「足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について」以上。

○教育長　第４０号議案について、和泉地域のちから推進部長から説明をお願いいたします。

地域のちから推進部長。

○地域のちから推進部長　資料１ページをごらんいただきたいと思います。

足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命につきまして、各センター等の条例に基づきまして、生涯学習関連施設指定管理者の評価を行うために、評価委員会委員を委嘱及び任命する必要がございますので、この案を提出させていただいたものでございます。

２ページ目に、学識経験者、区民、区職員の案が載ってございます。

１ページをおめくりいただきまして、こちらにも３ページから４ページのところに評価対象施設、数が多いのですけれども、それを列挙させていただいてございます。

４のところに「委嘱及び任命期間」と書いておりますが、２９年６月９日から審査終了までとなります。

以上でございます。

○教育長　ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。第４０号議案について、ご意見・ご質問がありましたらご発言をお願いいたします。何か質疑はありますか。よろしいですか。

（なし）

ないようですので、これより第４０号議案「足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について」を採決いたします。

本案を、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員であります。よって本案は原案のとおり議決することにいたします。

和泉地域のちから推進部長はこれで退席させていただきます。お疲れさまでした。

非公開の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方にお戻りいただくようお伝えください。

（傍聴人入場）

ご協力ありがとうございます。

続いて日程第２、教育長報告を議題といたします。今回は、担当所管からの報告事項にかえさせていただきます。質問につきましては、全ての報告が終わりましてから、一括してお受けしたいと思います。

初めに①について、荒井教育政策課長お願いします。

教育政策課長。

○教育政策課長　それでは、資料１ページをごらんください。「放課後子ども教室の平成２８年度の実施状況と平成２９年度の方針について」でございます。

昨年度の実施状況でございますが、小学校全６９校中、（３）のところに書かせていただいておりますけれども、

全学年実施校が６０校ということで、１年前に比べまして３校増といったような実績になってございます。

実施会場別の学校数、あるいは図書館の活用状況につきましては（４）、（５）に記載させていただいておりますので、お読み取りをいただければと存じます。

登録児童数、延べ参加児童数につきましては、２８年度実績、２７年度に比べまして、両方とも伸びているという実績でございます。

２９年度の方針でございますけれども、引き続き全学年に実施校を押し広めていきたいということを中心に、図書室の活用あるいは体験機会の充実に取り組んでまいりたいと考えております。

また、今後の方針にございますけれども、放課後子ども総合プランに基づきまして、放課後子ども教室のスタッフと学童保育のスタッフとの会議等を充実させながら進めてまいりたいと考えておりますし、子どもたちの夏の居場所については、放課後子ども教室以外のやり方も含めて検討していきたいといったところでございます。

私からは以上です。

○教育長　次に②について、五十嵐学校適正配置担当課長お願いします。

学校適正配置担当課長。

○学校適正配置担当課長　３ページをお開きください。私からは「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について」、ご報告を申し上げます。

昨年１０月にガイドラインの案を策定しまして、１０月３１日の第１０回定例会でご説明をさせていただきました。

その後、パブリックコメントや開かれた学校づくり協議会等での説明会を行いまして、それらの意見を踏まえた上で再検証し、一部修正して策定したのでご報告を申し上げます。

昨年来、３月中に策定とご説明していましたが、この再検証を経て、５月３０日に区長決定を得たものでございます。

１番、ガイドラインの策定までの説明会と実施状況でございます。（１）のパブリックコメントに寄せられた意見及び区の考え方につきましては、本年第１回の定例会でご報告をさせていただいたとおりでございます。

（２）説明会の実施でございます。パブリックコメント後２月８日から３月２２日にかけまして、記載の学校の開かれた学校づくり協議会及び保護者、地域の方に対する説明会を行ってまいりました。

表の下、（３）です。説明会での主な意見と回答。こちらについては、５ページから８ページのとおりにまとめさせていただきました。このまとめた記録につきましては、説明会を実施した開かれた学校づくり協議会及び当該学校の保護者に配付するとともに、区のホームページに掲載させていただきます。

２番、ガイドライン案からの変更点でございます。（1）といたしまして、意見等を反映した変更、パブリックコメントや協議会、説明会等でいただいた意見をもとに、変更点対照表、９ページから１３ページのとおり、一部修正を行っております。

後ほどごらんいただけると思いますが、主なものをご紹介させていただきますと、まずパブリックコメントでいただいた中から、１１ページのナンバー６のところでございます。学校の規模で優劣をつけているのかという、そういった読み取り方ができる部分について削除いたしました。

あとは、もともと３月中に策定する予定で進めてまいりましたので、５月になったということで、時間の経過による変更、具体的には開設予定の学校について、既に開校したというもの。

あとは文言の統一。案の段階では「通学区域」「学区域」という言葉が入り混じっておりましたが、「通学区域」に統一させていただいた。あと、わかりづらい表現等について追加修正等をしたものでございます。

４ページにいきまして、（２）の再検証による変更でございます。これによる変更も対象のうちに入っておりますが、改めて庁内で再検証した結果、ガイドラインの計画期間中である平成３４年以降に順次、生産緑地が指定後３０年を経過して、解除が可能になるということで、これらが短期間に集中して宅地化された場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性があるということがわかりました。

平成４年、平成５年に生産緑地の指定を受けたのが多いということでございます。それで、ガイドラインの中で今後取り組むエリアについて、仮に全てが宅地化された場合、

そういったことを想定すると、江北地区、鹿浜地区、花畑地区、こちらは児童・生徒数への影響は限定的でありますが、入谷地区につきましては、約６万平方メートル、９００戸以上に相当する生産緑地があるということが明らかになりまして、入谷地区につきましては当面宅地化の動向を注視しながら統合の検討を進めていくとして、ガイドラインを一部修正したものでございます。

その内容につきまして、別冊で厚いガイドライン「足立区小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて」というものをお配りさせていただきますが、２６ページをごらんください。

一番上に「３．年少人口の視点」と書いておりますが、その下の５行を追加いたしました。区内には約３３ヘクタールの生産緑地があり、平成３４年以降に順次指定後３０年を経過します。

これらが短期間に集中して宅地化された場合、エリアによっては小学校及び中学校の入学前人口の増減に影響を及ぼす可能性があります。また、工業圏地域等において大規模な宅地開発があった場合も同様です。こうしたエリアは年少人口の動向を注視していきます。

あともう１点、３０ページをごらんください。ここに今後取り組むエリアがありまして、今申し上げました入谷地区の右側の今後の方針、ここに４行を追加させていただきました。

この地区は、平成３４年以降に生産緑地の宅地化が進んだ場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性もあるため、その動向も注視しながら検討していきますというものでございます。

報告資料の４ページにお戻りください。実際入谷地区について、７５％宅地化された場合と、５０％宅地化された場合での試算した資料としてつけさせていただいております、１４ページだけ説明させていただきますので、１４ページをお開きください。

生産緑地ごとに平成４年に指定されたもの、平成５年に指定されたものを戸数に換算したものを記載させていただいております。足立入谷小学校と入谷中学校は、通学区域が一緒でございます。舎人小学校と舎人第一小学校、この２つの通学区域を合わせたのが入谷南中学校となりますので、上から３つの数字を足すと合計が出てまいります。一番多いのが、足立入谷小学校、入谷中学校の通学区域でございます。

右側の枠の外に書かせていただきました。表の中では補正数７５％、５０％とありますけれども、この補正数につきましては開発戸数の合計の１０％にそれぞれの７５％、５０％を掛けた数でございます。

これは、１学年に開発戸数の１０％が出現すると想定して計算しております。要は１００戸の開発があれば、１つの学年に１０人が加わるだろうという計算で、ある程度余裕を持った計算になってございます。

その下、小学校３校について。その下は中学校２校についてですけれども、今の０歳の子どもたちが、小学校に入るのは平成３５年になりますので、３５年のところまで書いてございます。

中学校のほうは、今の０歳の子どもたちが中学校に入るのは４１年度になりますので、４１年度の数字を入れております。

指定解除になるのが平成３４年、３５年ということですので、早目に見込んで、３５年からその影響を受けて入学する子どもたちが増えるというように計算をさせていただきました。

ですので、小学校のほうは３５年の１年間だけがその影響を受けるところまでしかわからないのですが、中学校については３５年から増えていって、３７年には３学年全てに影響が出てくるということで、そのパーセントによってもクラス数が若干変わってくるということでございます。

大規模な開発だけではなくて、生産緑地それぞれの地域、場所がありますので、戸建て等も考慮しているので、３５年とかで影響を受けるとしてございます。通常のマンション等の集合住宅ですと、入居後５～６年たって小学校に影響が出てきますが、早目に影響を見込んでいるということでございます。

こちらの生産緑地の問題につきましては、都市計画部門、農業振興部門においては、できるだけ生産緑地の指定を延長するという働きかけをしてまいると思いますので、ここで７５％、５０％と言ったのは、あくまで教育委員会として試算するために用いた数字ですので、予定されているものではございませんので、ご承知おきいただければと思います。

４ページにお戻りいただきまして一番下、今後の方針でございます。今後取り組むエリアに指定した地区の検討を進めていき、個別の適正規模・適正配置実施計画（案）を作成した後、簡潔に町会、自治会、開かれた学校づくり協議会、保護者に対して改めて説明を行ってまいります。

以上でございます。

○教育長　次に③について、小坂教育指導課長お願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長　２０ページをごらんください。件名・所管部課名は記載のとおりです。

平成３０年度から使用する、小学校主要教科用図書（道徳）の採択の日程等について報告させていただきます。採択までの流れなどについては、２１ページをごらんください。

②と記載されている選定委員会については、これまで非公開としていましたが、平成２９年7月６日に開催予定の第２回足立区立小学校主要教科用図書選定委員会から公開とさせていただきます。

採択年月日は8月１０日、教育委員会定例会で採択する予定でございます。こちらはこれまでどおりの公開となっております。その結果報告として、8月３１日までに東京都教育委員会へ報告させていただきます。教科書展示会、場所・時間は下部に記載のとおりです。

なお、選定委員会を公開するに当たり、足立区立小学校使用教科用図書採択要綱と、足立区立中学校使用教科書要綱の一部の改正を行います。また、教科用図書選定委員会傍聴要綱を制定し、選定委員会の傍聴について必要な事項を定めております。

また公開については、あだち広報及び足立区ホームページなどで周知を行ってまいります。

以上でございます。

○教育長　続いて④について、小室就学前教育推進課長お願いします。

就学前教育推進課長。

○就学前教育推進課長　それでは、２２ページをごらんください。件名・所管部課名につきましては、記載のとおりでございます。

本年４月に、区立小学校を対象に幼保小連携活動の成果と課題を把握するためにアンケート調査を実施しましたので、結果を報告するものでございます。

目的・対象・実施期間につきましては、記載のとおりです。

４番「アンケート結果」でございますが、こちらには身についている割合が高い項目、それから低い項目、主なものを掲載させていただいております。

特に目立つところでは、身についている割合が低い項目として、「鉛筆を正しく持つことができる」というところが７６％と低くなっております。

詳細につきましては、次の２３ページをごらんください。一番左側のページ下にありますが、確認事項というところがアンケートの項目でございます。こちらのとおり、９つあるうちの「鉛筆を正しく持つことができる」という７番のところが、全体が７６％ということです。こちらの網掛けの部分につきましては、身についている割合が区全体より５％以上低い数値のところを網掛けしております。

２２ページにお戻りください。今後の方針でございますが、区内小学校及び就学前教育施設が参加いたします幼保小連携ブロック会議、それから研修会におきまして、特に身についている割合が低い項目につきましては課題として共有して、今後具体的な取り組みを促していきたいと思っております。そして次回の調査に向けまして、アンケート項目の記述を見直しまして、精度を高めていきたいと考えております。

以上でございます。

○教育長　続いて⑤について、松野子ども政策課長お願いします。

子ども政策課長。

○子ども政策課長　２５ページをお開きください。件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

あだちっ子歯科健診ですが、統一の基準で歯科健診、それから虫歯がありましたら受診勧奨、その結果をフィードバックして行うということで実施しているものでございます。対象のお子様は、４歳から６歳の全ての幼児を対象にしております。

実施の結果なのですが、3の（2）のところをごらんください。施設系のところで受診をされた方は９９％の受診率でございますが、未通園児、区外通園児につきましては７％ということで、非常に低い受診率になってございます。

また、未通園児等の未受診の方の理由などをはがきで返信していただくようにお願いしているのですが、そのはがきの返信率も２３％ということで、非常に低い状況でございます。

２６ページをごらんください。歯科健診の結果でございますけれども、４の（１）になりますが、４歳児、５歳児、６歳児のそれぞれ２７年と２８年を比べていただきますと、４歳、５歳については、虫歯のある子どもの割合というのは減ってございます。ただ、６歳につきましては若干増えた状況でございます。

また２番目、乳歯に未処置の虫歯がある子どもさんの割合を示しておりますけれども、未処置の歯があるお子さんが、６歳ですと２３．９％ございます。

また、乳歯に５本以上の虫歯があるお子さんですと、６歳児ですと１３．６％ということで、６歳児になったときに虫歯の状況がよくないということになっています。

また（４）ですけれども、永久歯の虫歯の状況。こちらは６歳児で３８．５％の永久歯がありますが、虫歯のある方も１％いるという状況でございます。

ページをおめくりください。２７ページになります。先ほども見ていただきましたが、４歳、５歳については虫歯の率が減っているということで、６歳は増えてしまいましたけれども、一定の効果はあると考えております。

今後ですけれども、歯科治療の必要なお子さんへの受診勧奨を評価していくことが非常に大事だと考えております。各教育・保育施設等で受診勧奨して、この仕組みをどのようにできるのか検討して、実行していきたいと考えております。

また、受診報告書を提出いただくことになっておりますが、その提出率があまりよくない施設もございますので、そちらには受診勧奨の協力を依頼していくことで進めてまいりたいと思います。

また、歯磨きの習慣づくりにつきましても非常に大切なことだと考えておりますので、虫歯になる傾向の高い歯をターゲットにした取り組み、それから歯磨きそのものの習慣、おやつの指導なども行ってまいります。

また、虫歯がある子どもの割合が高かった施設に対しましては、個別に働きかけを行います。未通園児のところも非常に受診率が低いという問題点もございますので、今後引き続き調査を実施しまして、受診へとつなげていくような試みをしたいと考えております。

まず結果を皆さんにお知らせしまして、また健診の実施率、受診率の向上のために、今行っている取り組みをさらに強化してまいりたいと思っております。

私からは以上となります。

○教育長　続いて⑥について、金子待機児ゼロ対策担当課長お願いします。

待機児ゼロ対策担当課長。

○待機児ゼロ対策担当課長　それでは教育委員会報告資料２８ページをごらんください。件名・所管部課名につきましては記載のとおりでございます。

今年の４月１日現在の保育所入所待機児童数についての報告でございます。今年につきましては、３７４人でございます。後ほど改めて申し上げますけれども、昨年と比べまして６８人増えてしまいまして、区民の皆様を初め、関係の方々に大変ご迷惑をかけております。心よりおわび申し上げます。

１の表につきましては、待機児童数の集計内容を表示しているものでございまして、上段の申込者数が今年は１万２，３３６人でございました。こちらの数字から、在園児数あるいは国定義によりまして待機児童に含めない児童数を差し引きまして、３７４人という数字を算定しております。

この待機児童数を、年齢別の内訳を前年度と対比してあらわしたものが２の表になります。上段が本年度、下段が昨年度になります。１歳児につきまして、今年度は２０９人ということで、昨年よりも５０人増えている状況になります。

また、２歳児につきましても３１人増えて、７６人となっております。

繰り返しでございますが、今年度分の確定数値につきましては、昨年と比べまして６８人増えている状況でございます。

３の表につきましては、２４年度からの待機児童数及び定員数の推移をあらわしたものでございまして、一番右側の２９年度につきましては、昨年よりも４９３人定員を増加させて、1万３，５８７人の定員とする状況になってございます。

２９ページをごらんください。こちらの４の表につきましては、待機児童数の申請事由別の人数、２４年度分からの推移をあらわしたものでございます。

一番上のフルタイム世帯の児童数に注目していただけますでしょうか。今年２９年度は１０３人でございまして、昨年度よりも１５人増えております。このフルタイム世帯の地域分布をあらわしたものが下の５の表になります。

昨年は第１ブロックの千住地域が一番多かった地域でございますけれども、今年は３４人から１９人に減っている一方、マンション開発が進んでおります６ブロックの綾瀬地域が１５人増えて２６人になったということで、今年度１位になってございます。

６にございます入所状況、待機状況等につきましては、別紙の３０ページから３２ページをお読みただければと思います。

７番の保育需要率でございますけれども、今回待機児が６８人となった一番の要因と今のところは考えているところでございますが、特に０歳から２歳、待機児が多い年齢層につきましての保育需要率の伸びが、当初予測しておりました２倍となったことによりまして、大幅に増えたと考えております。

３３ページをごらんいただけますでしょうか。こちらは０歳から２歳の保育需要率の予測と実際の結果を折れ線グラフであらわしたものでございます。先ほど申し上げました、予測の外れもないようでございますけれども、２７年から２８年にかけて３４．４％から３５．９％、１．５ポイント増、昨年実績に基づきまして、このグラフにございます点線のように需要が伸びていくものと予測していたということでございます。

２９年度におきましては、０歳で３７．４。その後３０年度に３８．９に到達するものと予測していたという内容でございますが、今回実績としまして３８．８％ということで、２．９ポイント増、約２倍の伸び率を示したことになってございます。

今後の方針でございますけれども、地域ごとに着手してございますけれども、状況分析をさらに詳細に進めまして、８月までに足立区待機児童解消アクション・プランを改定していきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○教育長　続きまして⑦について、森田子ども施設運営課長お願いします。

子ども施設運営課長。

○子ども施設運営課長　３４ページをお開きください。件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

区立あやせ保育園につきましては、都立東綾瀬公園内への移転に向けて東京都と協議を行ってまいりました。このたび、国家戦略特区の認定がされたため報告するものでございます。

１番の国家戦略特区の認定でございますが、平成２９年５月２２日に国家戦略特別区域諮問会議が開催され、同日付で内閣総理大臣より正式に特区認定されました。認定に伴い、東綾瀬公園内に保育所設置の占用が可能となることとなります。そのため、特区認定によりまして区立普賢寺公園内への仮移転計画はとりやめることといたします。

２番の施設概要でございますが、記載のとおりでございます。３６ページ以降に平面図等を添付しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

３番の周辺住民への説明でございますが、都立東綾瀬公園の保育園移転に関しまして、周辺住民や保育園・保護者の方々へ説明会を開催しました。１番の公園周辺住民向け説明会でございますが、５月に２回開催いたしまして、６月にも２回開催する予定でございます。

保護者説明会につきましては、６月１日と３日に開催いたしますが、３５ページをごらんください。説明会で集めました主な意見でございますが、周辺住民の方からは保育園の移転自体は反対しないが移転先を再考してほしい、また近隣に東綾瀬小学校もあるということで、通園や通学時間帯の安全対策をどのように考えているのですかという質問・意見等がございました。

保育園の保護者の方々からは、公園内に専用の園庭を設けることができないということで、園庭がない中でこれまでの遊びが保証できるのか、また優先的にほかの園に転園させてもらえるのかというご意見がございました。

今後の方針でございますが、引き続き周辺住民や保育園保護者の方々に対し丁寧な説明を重ねながら、移転についての理解を求めていきたいと考えております。

私からは以上です。

○教育長　続きまして⑧について、近藤教育相談課長お願い

します。

教育相談課長。

○教育相談課長　私からは、スクールソーシャルワーカーの２８年度の実績及び２９年度の実施内容についてご説明いたします。

一昨年、モデル校７校で実施しましたスクールソーシャルワーカーですが、昨年度５２校に入りました。そこの表の通り、一昨年２７年度のものと２８年度のものを対比して記載させていただきました。

４１ページと４２ページに、２８年度の実績と２７年度の実績を対比する形で記載させていただきましたので、詳細はこちらをごらんいただければと思います。

ただ、この中で２７年度解決率が９％という形で出ておりますが、母数がそもそも違いまして、２７年度はコンサルテーションを中心に行った関係で、相談件数も少ないので解決率は高くなっております。

ただ、こちらからも実際、解決までは時間がかかるということは、両方とも同じという形なので、今後ともこの解決率については高めていきたいと思います。

主訴については、２７年、２８年とも不登校と家庭環境についてのものが主となっております。

また課題としましては、ＳＳＷの本来の役割が学校のほうで私どもの説明不足とか、実績を上げるために何でもかんでも受けてしまった。また、スクールソーシャルワーカーが信頼を得るために色々なことに手を出してしまったという形で、ちょっとぶれてしまった部分もありますので、今年度は不登校を中心に実施する形で仕切り直しをしているところでございます。

また、今年度は本来６名を採用しまして、１５名体制で実施するところだったのですが、全国的に各自治体でスクールソーシャルワーカー事業の実施をしているところでございまして、人員不足に現在悩んでいるところです。

昨年、退職が２名出まして、４名補充したのですが、現在のところ４名の不足となっております。こちらの４名不足に関しましては、６月２４日にまた再度面接をしまして採用する予定でございます。

私からは以上でございます。

○教育長　次に、机上に配付いたしました追加資料の報告１について浅見地域文化課長、お願いします。

地域文化課長。

○地域文化課長　西新井にありますギャラクシティの指定管理者の公募でございます。

現在の指定管理者が今年度で５年目を迎えます。したがいまして、来年度新たに公募を行った業者に経営を委託するという形で提案をさせていただいております。

スケジュールにつきましては、７月２５日の広報で公募をさせていただきたいと思っています。指定期間につきましては、３０年４月１日から３５年３月３１日の５年間となります。

私からは以上でございます。

○教育長　それでは追加報告２について、森学力定着推進課長、お願いします。

学力定着推進課長。

○学力定着推進課長　それでは、２ページをごらんください。平成２９年度新規事業「英語マスター講座」実施についての報告でございます。

この講座は、オンライン英会話によるネイティブとのマンツーマンレッスンと日本人講師による授業・英語活動を取り入れた講座となっております。

対象は記載のとおりでございますけれども、一定レベル以上の英語力を身につけた、英語力の向上意欲が高い中学生といたします。

会場は梅島小学校で行います。

実施期間ですけれども、７月２４日の週から３月５日の週まで、月・水・金の３コースとなります。各コース全３０回。各コース３０名、合計９０名を対象にして実施するものでございます。

スケジュールでございますけれども、６月１１日、１４日にそれぞれ保護者と生徒向けの説明会を行いまして、６月２０日には申し込みを締め切ろうと思います。７月１日に英語力判定テストを行いまして、７月中旬には受講者を決定する予定でございます。

受講生については、３月２８日から３０日の２泊３日、福島県のブリティッシュヒルズというところへ行って、国内プチ留学体験ということで、学んだ英語を使って英語生活に挑戦するという企画をしているものでございます。それに伴います宿泊費用については、実費ということを考えてございます。

私からは以上です。

○教育長　以上、追加を含めて１０件の報告がありました。

各委員からご意見・ご質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。何か質疑はありますか。

葉養委員。

○葉養委員　事実関係を伺いたいことが１点あります。もう１つは多分誤植だろうと思うので。

１つは、適正規模・適正配置の実現についてという、分厚い資料の１ページ目の前期・中期とありますね。中期のところで昭和６２年度小学校８０校、中学校３９校。それが、平成２８年度現在で小学校６９校、中学校３６校の合計１０５校となっているのですけれども、この２ページ、３ページの統合の事例を拾っていくと、小学校は統合が１１件あったから６９というのはわかるのですけれども、中学校は４つありますよね。平成１５年と平成１７年、それから平成２８年、２９年と。そうすると、２校ずつ統合しているから中学校３５になると思うのですけれども、もしかしたら小中一貫校の関係かなとも思うのですけれども、ここを教えていただきたい。これでいいのかどうか。

○教育長　学校適正配置担当課長。

○学校適正配置担当課長　この辺も３月中に策定するつもりがちょっと伸びたということで、非常にわかりづらくなっているのですが、１ページでは２８年度現在と書かせていただいて、３ページのところで２９年度の統合の江北桜まで入っている関係で、学校数が数字的に合わなくなりました。

○教育長　よろしいですか。続いてどうぞ。

○葉養委員　もう１つはケアレスミスではないかと思うのですけれども虫歯のところ、２６ページの４の（２）で、乳歯に未処置の虫歯がある子どもの割合の欄外のコメントで、6歳では未処置の虫歯がある子の割合が２３．９%、約３人に２人と書いているのは、これは処置完了も入れないと、約３人に２人にはならないです。

だから、これは多分「未処置の虫歯及び処置完了の子どもの割合が」としないと上と合わないと思うので、そこを確認したい。

○教育長　子ども政策課長。

○子ども政策課長　申しわけありません。ちょっと言葉足らずということでした。修正させていただきます。

○教育長　ほか、いかがですか。

小池委員。

○小池委員　放課後子ども教室の平成２８年度実施状況と、平成２９年度の方針についての最後のところなのですけれども、「学校を活用した夏休みの居場所については、昨年度のモデル実施の検証結果を踏まえ、学校教育部として新たな手法を検討の上、実行に移していく」ということで、ぜひ夏休み中の、特に学校での夏季休業中の取り組みがありますよね、プールとか学習教室とか。それがない時期の子どもの居場所づくりというのを、ぜひ考えていただきたい。

それは、特にお家の方が仕事をして、働いていて、どうしても夏休み中子どもだけになってしまう家庭というのがだんだん増えてきていますので、そこら辺の子どもに対する居場所づくりというのをぜひ、これは放課後子ども教室だけではなくて、色々なところで取り組んでいただければありがたいと思います。それから小学生もですけれども、中学生についても、もしできるようであったら対象にして、今後検討していただきたいと思っています。

○教育長　教育政策課長。

○教育政策課長　夏休みの居場所につきましては、昨年学校の行事があるときに、補助的な形で放課後のスタッフがいたような趣向をやらせていただいたのですが、それはもう今年度はやめようということにしてございます。

放課後子ども教室ですから、お子さんの自由遊び、それを大人が見守る。このスタイルをスタッフの総意で夏休みにやっているといったところがあればお願いしていきたいと考えておりますし、また夏休みの居場所は何も学校だけではなく、地域学習センターですとか、そうしたところでさまざまに展開されておりますので、そうした情報も一元化して、まとめて皆さんにご提供する。これは中学生向けの勉強の場のような取り組みもございますから、そうしたものも合わせて、多様な居場所というのですか、そういうような形でご提供差し上げられればと考えております。

○教育長　小池委員。

○小池委員　ぜひそうしていただければと思うのですけれども、今足立区中の小学校での居場所づくりで、これはどうかと思うのは、外は暑くて、子どもが暑いのもあれなのですけれども、見守りスタッフの健康を考えると、外で子

どもを遊ばせてスタッフも外で見守るというのは、私は現役時代非常にきついなと思っていたので、そこら辺をある程度考えていただければと思います。

○教育政策課長　当然昼間ですので、外は大変危険ですから、図書室ですとか、あるいはお部屋の中を中心に、手が挙がったスタッフさんのところとはご協力させていただければと考えております。

○教育長　杉田委員。

○杉田委員　今の続きで、今後の方針ということで夏休みの居場所ということで、これはこれから実行委員会とかを開く予定なのですけれども、早くて今年の夏休みから、何か可能なプランみたいなものはあるのでしょうか。

○教育長　教育政策課長。

○教育政策課長　お話し合いの中で、先ほど申し上げましたとおり、放課後子ども教室のスキームの中で実施をしていただける。それにスタッフの皆さんが総意で賛成ということであれば、こちらのほうへご相談をいただければ、可能な範囲で対応させていただきたい。

予算の範囲もありますので、何校かお声をおかけしていただいているところもございますから、そこと同じように合わせてご相談をさせていただければとおもいます。

○杉田委員　それは、今年度からも可能ということですか。

○教育政策課長　対応可能な範囲でということになります。

○教育長　ほかにいかがですか。

薬養委員。

○薬養委員　英語のところなのですけれども、これは学力定着対策室事業としては完全だと思うのですけれども、英語の教育というのは、多分幼児期とか、子どもの年齢層がかなり下の段階のほうが効果的ということもあるのです。

うちの子どもは１０カ月アメリカの学校に入って、小学校２年生のときに在外研究の枠がとれて行って、もちろん英語のえの字も勉強していない。ただ、入学の可能性というのはあったから、テスコという学習塾に、英語の遊びをする塾ですけれども、そこに１週間に２日ぐらい通わせていたのですけれども、ただ、向こうに行くと中学生レベルの英語の教科書みたいなものをいきなりあてがわれて、明日までに読んできなさいと。片仮名を振って、丸覚えで読ませるようにしたのですけれども、レベルは初歩的なクラス、スタンダード、それからアドバンスドと３つぐらいに分けられるのです。

それで、これは将来的な課題なのですが、でも２カ月したら、本当に英語慣れしてしまうのです。そのときの経験でわかったのが、子どもは耳から英語を覚えるのだなと。

先生は白人の先生で、日本語なんてできない。全部英語でやるのです。だから、子どもというのは目から覚えるのではなく耳から覚えていって、親よりも結構発音がよくなって、日本で言ったら中学生レベルの教科書も読めるように数カ月でなってしまったのです。

だからそういうことを考えると、将来的な検討課題だろうと思うので、小学校英語が入ってきますし、３年生から外国語活動が入るということになってくると、もうちょっと下の段階から何か取り組みができないか。

文教大学との包括連携協定もできまして、明海大との連携協定もありますし、だからお金の問題とか、誰が指導するかとか、色々なことはあると思うのですけれども、将来的な課題として、そういうあたりも視野に入れていただけるといいのではないかと思うのです。

これは私の意見ですから、お答えは必要ないのですけれども、もしコメントがあればお願いするということで。

○教育長　学力定着推進課長。

○学力定着推進課長　先生のお話のとおり、中学生の英語教育については大変重要だと思っていますけれども、私どもにとっては大変将来的な課題だと受けとめております。

さらに、今小学校の英語教育、３年生、４年生、それから５年生、６年生と進めるわけですけれども、就学前の英語は盛んだけれども、小学校に入った１～２年生についてはどうするのだとか、それで復活して３年生、４年生で始まるという、そんな課題もあります。それとあわせて研究してまいりたいと思います。

○教育長　ご指摘ありがとうございます。この間もあるところで、「英語耳」というのをつくるのは小学校１～２年生だという話も聞いてきたので、英語活動が３～４年生からでいいのかということも含めて、将来的にはやっていく必要があるのかなと思います。

ほかにいかがでしょう。

小池委員。

○小池委員　今の英語マスター講座のことで、これは中学生で、中学何年生というのは決まってはいないのですか。

○教育長　学力定着推進課長。

○学力定着推進課長　決まってございませんで、中学校１年生から３年生を対象とするものでございます。

○教育長　小池委員。

○小池委員　そうすると３年生は、最後に３月２８日から３０日までの２泊３日でブリティッシュヒルズに行って、短期国内留学をやって、そのまま卒業してしまうということですか。

○教育長　学力定着推進課長。

○学力定着推進課長　講座はそこで修了ということになりますけれども、今考えておりますのは、修了した生徒さんたちを、例えばサークルまではいかないかもしれませんが、何かしらの固まりでこの講座とのつながりをつくりながら、学びながら、支援をしながら、活動しながら、そんなプログラムを今考えているところです。

○教育長　小池委員。

○小池委員　受けている生徒が、これはこれで完結し、その後はグループでということ、これが自分の学校の通っている生徒に対して、何か効果を考えているということはないのですか。

○教育長　学力定着推進課長。

○学力定着推進課長　何年かしてその固まりが大きくなったら、そういう活動も主体として、１つの計画としてやっていければと思いますけれども、まだそこまで検討がいっていないというのが正直なところです。

○教育長　よろしいですか。ほか、いかがでしょうか。

（なし）

よろしいですか。ないようでしたら、報告事項を終了いたします。

そのほか、何かございますか。

（なし）

ないようですので、以上をもちまして、本年第６回足立区教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後３時５１分閉会

平 成 ２ ９ 年 第 ６ 回
足 立 区 教 育 委 員 会 定 例 会

日　　時　　平成２９年６月８日　木曜日　午後３時００分開議
会　　場　　足立区教育委員会室

１ 議 事 日 程

			頁
日程第１	第４０号議案	足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について	別冊
日程第２		教育長報告	

２ 報 告 事 項

① 放課後子ども教室の平成２８年度実施状況と平成２９年度の方針について
《荒井 教育政策課長》… １

② 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について
《五十嵐 学校適正配置担当課長》… ３

③ 足立区立小学校使用教科用図書（道徳）採択の日程等について
《小坂 教育指導課長》…２０

④ 「足立区立小学校第１学年に関するアンケート」の実施結果について
《小室 就学前教育推進課長》…２２

⑤ 平成２８年度あだちっ子歯科健診の実施結果について　《松野 子ども政策課長》…２５

⑥ 平成２９年度の保育所等入所待機児童の状況について
《金子 待機児ゼロ対策担当課長》…２８

⑦ 区立あやせ保育園の都立東綾瀬公園内への移転について
《森田 子ども施設運営課長》…３４

⑧ スクールソーシャルワーカーの平成２８年度活動実績及び平成２９年度の実施内容について
《近藤 教育相談課長》…３９

３ 情報連絡事項

① 平成２９年度第１回学校公開の実施及び平成３０年度新入学児童・生徒受入可能人数の公表と学校選択制度の周知について　[学務課]…44 及び別添

② 足立区立日光林間学園指定管理者の公募について　[学務課]…45

③ 通学路防犯カメラ設置事業の前倒し実施について　[学務課]…46

④ 再就職セミナー第１回開催報告および第２回開催予定について　[子ども施設整備課]…47

⑤ 事業実施報告・実施予定　[青少年課]…49

⑥ 行事実施結果・実施予定　[生涯学習振興公社]…51

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　名	放課後子ども教室の平成２８年度実施状況と平成２９年度の方針について
所管部課名	学校教育部　教育政策課、生涯学習振興公社

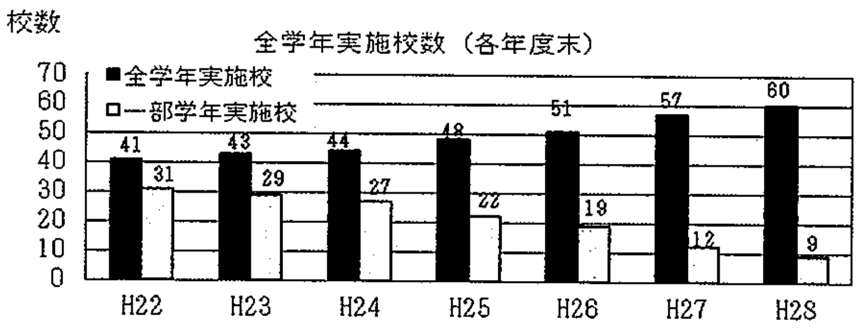
内　　容

1　実施状況（全６９校中）　※（　）内は対前年度比較

（１）週５日実施校　６８校（±０校）　※うち２校は一部休止中。
残り１校は、放課後子ども教室週２日と学校管理による校庭遊び週３日で実施中。

（２）図書室の利用日数週３日以上実施校　６３校（±０校）

（３）全学年実施校　６０校（＋３校）



（４）実施会場数別
２会場・・・・・・・・・　４校（±０校）
３会場・・・・・・・・・２３校（±０校）
４会場以上・・・・・・・４２校（±０校）

（５）図書館活用
図書館活用校・・・・・６９校（±０校）
うち週３日以上・・・・６３校（±０校）

（６）登録児童数・延参加児童数・延開催日数

年度／区分	登録児童数	延参加児童数	延開催日数
２６年度	25,150 人	700,063 人	11,983 日
２７年度	26,042 人	702,819 人	11,831 日
２８年度	26,905 人	718,989 人	11,798 日

2　平成２９年度の方針について（目標　全校で全学年実施）

（１）事業内容の充実
①全校での実施の計画的実現
（全学年未達成校９校、週５日未達成校１校）
②図書室を活用した学習環境の確保

	③ＮＰＯ法人や民間企業等の団体、ボランティアとの連携による 体験機会の充実 （２）安定運営の支援 ①小学校区（１３ブロック）を基本とした支援体制の継続 ②運営委員会、ブロック会議における情報交換やスタッフの交流 ③スタッフ（ボランティア含む）確保の支援と研修等による人材の育成 ④利用案内等による保護者、地域への事業趣旨のＰＲ
今後の方針	関係機関と連携しながら、継続かつ安定した運営に努めるとともに、足立区放課後子ども総合プランに基づき、体験プログラムの拡大充実を目指す。 学校を活用した夏休みの居場所については、昨年度のモデル実施の検証結果を踏まえ、学校教育部として新たな手法を検討の上、実行に移していく。

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　名	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について
所管部課名	学校教育部　学校適正配置担当課

内　容

平成２８年１０月作成の「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～」について、パブリックコメント（区民意見募集制度）や開かれた学校づくり協議会・保護者・地域説明会等からの意見を踏まえた上で再検証をした結果、一部を修正して策定したので報告する。

１　ガイドライン策定までの説明会等実施状況

（１）パブリックコメントの実施

平成２８年１１月７日～平成２８年１２月７日

パブリックコメントで寄せられた意見及び区の考え方は、平成２９年第１回定例会で報告済み。

（２）説明会の実施

平成２９年２月８日～平成２９年３月２２日

地区	学校名	開かれた学校づくり協議会	保護者・地域説明会
鹿浜	鹿浜西小学校	2/8	3/8
	北鹿浜小学校	2/21	2/27、3/2
入谷	入谷中学校	2/22	3/22
	入谷南中学校	2/23	3/9
花畑	花畑第一小学校	2/10	3/6、3/11
	花畑西小学校	2/13	
	桜花小学校	2/18	
	花畑中学校	2/10	
	花畑北中学校	3/1	

（３）説明会での主な意見と回答

「意見交換の記録」（５～８ページ）のとおり。この記録は、説明会を実施した開かれた学校づくり協議会委員、保護者に配布するとともに、区ホームページに掲載する。

２　ガイドライン（案）からの変更点

（１）意見等を反映した変更

パブリックコメント、区議会、説明会でいただいた意見をもとに【変更点対照表】（９～１３ページ）のとおり一部修正を行っ

	た。 （2）再検証による変更 庁内で再検証した結果、ガイドラインの計画期間中である平成３４年以降に順次、生産緑地が指定後３０年を経過し、これらが短期間に集中して宅地化された場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性があることが判明した。 「今後取り組むエリア」については、仮に全てが宅地化された場合を想定すると、江北地区が30戸程度、鹿浜地区は70戸程度、花畑地区は40戸程度と児童・生徒数への影響は限定的であるのに対し、入谷地区は900戸以上となる生産緑地があることが明らかになった。入谷地区は、当面宅地化の動向を注視しながら統合の検討を進めることとし、ガイドラインの一部を修正した。 【入谷地区の主な再検証結果】 ● 平成4、5年に指定された生産緑地は約6万平米で、900戸相当 ● 宅地化の動向によって、必要な教室数に影響する可能性がある ● 宅地化割合75%と50%の試算結果（１４～１９ページ） 3　ガイドラインの策定について 平成２９年５月３０日付でガイドラインを区及び教育委員会の適正規模・適正配置事業の基本方針として決定した。ガイドラインと概要版は別添のとおり。
今後の方針	・今後取り組むエリアに指定した地区の検討を進めていく。 ・個別の適正規模・適正配置実施計画（案）を作成した後、関係する町会・自治会、開かれた学校づくり協議会、保護者に対して、改めて説明会を実施する。

「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～」

意見交換の記録

平成２９年６月

発行：足立区教育委員会事務局
学校適正配置担当課
電話：03-3880-5426（直通）

平成２８年１０月に「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）」を公表後、平成２９年２月８日から３月２２日にかけて、開かれた学校づくり協議会、保護者・地域説明会を開催させていただきました。ご出席いただきありがとうございました。この資料は、その時にいただいた主な意見と教育委員会の回答をもとにまとめたものです。

◇説明会の日程

日にち	会　議　名
2月　8日	鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会
2月１０日	花畑中学校開かれた学校づくり協議会
2月１０日	花畑第一小学校開かれた学校づくり協議会
2月１３日	花畑西小学校開かれた学校づくり協議会
2月１８日	桜花小学校開かれた学校づくり協議会
2月２１日	北鹿浜小学校開かれた学校づくり協議会
2月２２日	入谷中学校開かれた学校づくり協議会
2月２３日	入谷南中学校開かれた学校づくり協議会
2月２７日	北鹿浜小学校保護者・地域説明会
3月　1日	花畑北中学校開かれた学校づくり協議会
3月　2日	北鹿浜小学校保護者・地域説明会
3月　6日	花畑地区保護者・地域説明会（桜花住区センター）
3月　8日	鹿浜西小学校保護者・地域説明会
3月　9日	入谷南中学校保護者・地域説明会
3月１１日	花畑地区保護者・地域説明会（花畑西小学校）
3月２２日	入谷中学校保護者・地域説明会

【人口推計について】

Ｑ１　平成 44 年の年少人口の推計が、平成 21 年ガイドラインより 7,500 人増えている。今後、社会状況の変化等で数値を見誤ることはないのか。

Ａ１　人口推計は、将来必要な学校数を求める時に使用しております。適正規模・適正配置の実施計画（以下「実施計画」という。）を作る時は、学校規模の視点、年少人口の視点、施設更新の視点を加えて検討します。

Q２　日暮里・舎人ライナー沿線は、人口が増えているのではないか。

A２　沿線沿いの人口は、一時的に増加している地域もあります。実施計画の検討に当たっては、今後の沿線開発による人口の推移を注視していきます。

【適正規模の基準について】

Q３　適正規模の基準とは何を基準にしているのか。

A３　適正な学級数と標準児童・生徒数が基準です。適正な学級数は、12 学級から 24 学級、適正な人数は、小学校は 340 人から 760 人、中学校は 370 人から 840 人を適正規模の基準としています。

Q４　国の法令では、12 学級から 18 学級を適正規模としている。なぜ足立区は、24 学級までを適正規模というのか。

A４　国の法令では、各自治体によって特別な事情がある場合はこの限りではないとされており、足立区では、各地域の特性を考慮し、２４学級までを適正規模と定めています。

Q５　なぜ 11 学級以下が、あるいは 12 学級あっても人数が少ないと教育環境が悪いのか。

A５　小学校は、最低限クラス替えが出来るためには、各学年２学級以上が必要であるため 12 学級としています。また、中学校は、同じ地域の小学校２校程度から１つの中学校に進学することを想定し、各学年４学級の１２学級としています。適正な人数は、12 学級の学校でも人数の大小がありますので、1 学級の平均人数から適正な人数を算出しています。

Q６　統合して大きくなると、子ども達に目が行き届かなくなるのではないかと心配している。先生の指導が行き届く、子ども達とより深く関われるなど小規模校の良い面はたくさんあるのではないか。

A６　小規模な学校の良い面も当然あります。しかし、ある程度の人数の中で子ども達が切磋琢磨していくような環境が、教育委員会として望ましいと考えています。

【適正配置の基準について】

Q7 通学時間30分は小学1年生には長いのではないか。

A7 通学時間は、子ども達が通学に費やせる時間から設定しています。道路状況や個々の歩く速さは異なりますので、統合の検討の際は、子ども達の安全を守れるように対策を講じていきます。

Q8 通学距離を延ばした理由に、分速40メートルで子どもが歩くとしているが、小学1、2年生と、6年生では体力が違う。夏や雨の日、雪が降る日に、30分も歩かされるのはいかがなものか。

A8 歩く速さは小学校低学年の子ども達がゆっくり歩いた場合で設定し、30分歩く距離を通学距離に設定しています。今でも統合とは関係なく、この基準より長い通学路の学校がありますので、あくまでも目安として運用していきます。

Q9 住んでいる場所によっては、学区域の学校より、隣の学校の方が近い場合がある。学区域を見直す事は考えていないのか。

A9 学区域の見直しは、現時点では考えておりません。ただし、地域によっては、統合の検討に伴って学区域を変更することがあります。

Q10 通学距離が延びれば、事故に遭う確率も上がる。また、通学時間30分という範囲を見守るのは困難なのではないか。

A10 新たに7つの安全対策に取り組みますが、地域の皆さまの見守りが一番効果的だと考えます。多くの皆さまのご協力を得ながら、安全対策を進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

【施設更新に関する方針について】

Q11 施設更新のために、人数が多くても統合することがあるのか。

A11 統合については、施設更新の視点だけではなく、学校規模の推移、年少人口の状況を見ながら、総合的に検討していきます。

Q12 統合すれば1校当たり年間9,000万円経費が削減されるとあるが、教育環境の向上と経費削減、どちらに重点をおいているのか。

A12 統合は、教育環境の向上を第一に考えています。また、学校の改築には、大きな財政負担が伴います。そのため、施設更新計画と連動した実施計画を作成し、改築時期を平準化したうえで、改築を進めていきます。

【今後取り組むエリアについて】

Q13 江北、鹿浜、入谷、花畑エリアを選定した理由は何か。

A13 現在の学校規模、年少人口、学校の施設更新の状況の3点を検討して、今後、取り組むエリアの選定を行いました。

Q14 地域内では、都営住宅の建て替え、区画整理、エリアデザインなどにより、人口が増える可能性がある。そういう事も考えているのか。

A14 人口推計では、都営住宅の建て替えや大規模開発も加味しています。都営住宅の建て替えは、元々住んでいた方に再入居していただくことが基本と聞いております。人口が一時的に増加している地域でも、現在の計画案で対応可能と見込んだ場合には、計画を進めてまいります。また、統合の検討をする場合は、地区内の今後の人口動向を注視いたします。

Q15 統合の計画はどのように進めていくのか。

A15 個別の実施計画（案）を策定後、関係する町会・自治会、開かれた学校づくり協議会、保護者の皆さまに改めて、説明をいたします。その後、頂戴したご意見について、反映できる部分は反映した上で、実施計画を決定します。

Q16 いつ統合するのか教えて欲しい。

A16 統合年次、統合校の場所は、決まっていません。入学するお子さんが、在学中に統合することを避けるため、小学校は6年、中学校は3年の周知期間を設けます。

平成29年2月から3月にかけて、ご説明の機会をいただきありがとうございました。

「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて」は、平成25年3月に作成しました「足立区立小・中学校の施設更新計画」に基づく取り組みを振り返るとともに、今後の適正規模・適正配置事業について、足立区教育委員会の考え方をまとめたものです。

今回、皆さまからいただいたご意見を踏まえ、今後取り組むべきエリアの実施計画（案）の作成を進めてまいります。今後も、保護者の皆さまや地域の方々への説明と意見交換をさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育部　学校適正配置担当課

足立区立小・中学校の
適正規模・適正配置の実現に向けて

～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

【変更点対照表】

NO	ページ	変更前	変更後
1	１頁 下から７行目	中間年度にあたる今年度	中間年度の平成２８年度から今年度にかけて
2	３頁 表　下から２行目	江北桜中学校の開校予定	江北桜中学校の開校
3	・５頁 （２）１行目、２行目 ・６頁 下段　*の箇所 ・７頁 （３）表題 ２行目、３行目 ５行目 ・２４頁 図【注意】 ・２５頁 図【注意】 ・２６頁 図【注意】 下から５行目 ・２７頁	学区域	通学区域

NO	ページ	変更前	変更後
	図【注意】 下から４行目 ・２８頁 図【注意】 ・２９頁 図【注意】 ・３２頁 資料１、資料２ ・３３頁 資料１ ・３４頁 資料２		
4	７項 （２）３行目	通学距離が不均衡となることで、子どもたちの通学時間に影響が生じることはもちろん、著しい長距離の通学によって、交通安全や防犯上の課題が発生します。	通学距離が不均衡となることで、子どもたちの通学時間に影響が生じることはもちろん、著しい長距離の通学によって、交通安全や防犯上の問題が発生します。
5	８頁 表　足立区の適正規模の考え方	現在の１学級の平均人数	平成２８年５月１日現在の１学級の平均人数
6	９頁 下から２行目	以上のことから、今後は、過小・過大という優劣のつくような表現を改め、適正規模に満たない・・・	以上のことから、今後は、過小・過大という表現を改め、適正規模に満たない・・・

NO	ページ	変更前	変更後
7	１０頁 表　通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、１中学校あたり２～３の小学校が理想的と思われる。	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせ、１中学校あたり２～３の小学校が望ましい。
8	１０頁 （１）４行目	内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都の学校の登校時間の調査・・・	内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都内の学校の通学時間の調査・・・
9	１１頁 ５行目	その結果、小学生は「分速 40m で 30 分歩くとおおむね 1,200m 進む」、中学生は「分速 60m で 30 分歩くとおおむね 1,800m 進む」とし、この基準を一つの目安とします。	その結果、小学生は「分速 40m で 30 分歩くとおおむね 1,200m 進む」、中学生は「分速 60m で 30 分歩くとおおむね 1,800m 進む」ことができます。 実際の通学路は、学校ごとに道路条件や地形によって状況が異なります。そのため、通学距離の基準は、自宅から学校までの直線距離で測って設定しています。この基準は、今後も通学路が著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。
10	１５頁 下から３行目	・・・供用限界期間満了時としますが、こうした状況も勘案するとともに、改築対象が一時的に集中するなど、目標期間を超えて学校を使用する場合は、・・・	・・・コンクリート強度による耐用期間満了時とします。ただし、大規模改修（リニューアル工事）の実施、改築対象校の集中等により、耐用年数を超えて学校を使用する場合は、・・・
11	１７頁 （３）①１行目	①　保全工事は、原則として「改築工事の実施可能時期までに 10 年を超える期間が必要な学校」を対象とします。	①　保全工事は、原則として「改築目標年次まで、10 年を超える学校」を対象とします。

NO	ページ	変更前	変更後
12	２６頁 ３　１行目	（１）小学校の入学前人口（０歳～５歳）の特徴	区内には約３３ヘクタールの生産緑地があり、平成３４年以降に順次、指定後３０年を経過します。これらが短期間に集中して宅地化された場合、エリアによっては小学校及び中学校の入学前人口の増減に影響を及ぼす可能性があります。また、工業系地域等において大規模な住宅開発があった場合も同様です。こうしたエリアは、年少人口の動向を注視していきます。 （１）小学校の入学前人口（０歳～５歳）の特徴
13	３０頁 （１）鹿浜地区	改築中の鹿浜五色桜小学校	鹿浜五色桜小学校
14	３０頁 （１）入谷地区	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。今後の人口動態を注視しながら、引き続き検討を進めます。 入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。引き続き検討を進めます。	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。 この地区は、平成３４年以降に生産緑地の宅地化が進んだ場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性もあるため、その動向も注視しながら検討していきます。
15	３０頁　表　下	――	※学級数は、平成２８年度現在
16	３１頁　表　下	――	※学級数は、平成２８年度現在
17	３９頁 【小学校】上	――	*平成２８年度現在

入谷地区の生産緑地の宅地化による影響等試算

	H4指定	H5指定	計	補正数75%	補正数50%
足立入谷小学校 入谷中学校	474戸	67戸	541戸	41人	28人
舎人小学校	264戸	14戸	278戸	21人	14人
舎人第一小学校	89戸	0戸	89戸	7人	5人
入谷南中学校	353戸	14戸	367戸	28人	19人

戸数は、生産緑地ごとに可能な宅地開発面積を算出し、それを83㎡で除した数。

補正数は、開発戸数の合計の10%に、それぞれ開発の割合を乗じた数。（1学年に開発戸数の10%が出現すると想定）

	年　度	35	34	33	32	31	30
	年　齢	0	1	2	3	4	5
足立入谷小	入学児童数(在住者)	47	43	36	58	57	52
	入学児童数(75%補正後)	88					
	入学児童数(50%補正後)	75					
舎人小	入学児童数(在住者)	76	84	66	67	88	68
	入学児童数(75%補正後)	97					
	入学児童数(50%補正後)	90					
舎人第一小	入学児童数(在住者)	72	90	73	81	79	80
	入学児童数(75%補正後)	79					
	入学児童数(50%補正後)	77					

小・中学校ともに、平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算した。

	年　度	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30
	年　齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
入谷中	入学生徒数(在住者)	47	43	36	58	57	52	57	48	72	64	65	73
	入学生徒数(75%補正後)	88	84	77	99	98	93	98					
	入学生徒数(50%補正後)	75	71	64	86	85	80	85					
入谷南中	入学生徒数(在住者)	148	174	139	148	167	148	149	186	155	167	128	134
	入学生徒数(75%補正後)	176	202	167	176	195	176	177					
	入学生徒数(50%補正後)	167	193	158	167	186	167	168					

■ 舎人小学校児童数の推移（生産緑地の宅地化75%と50%の場合の試算）

※1 平成29年度の1年生以上は在学児童数、30年度以降の入学者は通学区域の在住者数
※2 平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算
（マンション等の集合住宅の場合は入居開始後5～6年後くらいから影響を受けるが、
戸建て開発も想定されることから早めに算入した。）
※3 普通教室の数は22
※4 1、2年生は35人学級、他の学年は40人学級

宅地化75%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	100	79	101	66	69	62	477
	学級数	3	3	3	2	2	2	15
29年度	児童数	80	99	79	101	67	71	497
	学級数	3	3	2	3	2	2	15
30年度	児童数	68	80	99	79	101	67	494
	学級数	2	3	3	2	3	2	15
31年度	児童数	88	68	80	99	79	101	515
	学級数	3	2	2	3	2	3	15
32年度	児童数	67	88	68	80	99	79	481
	学級数	2	3	2	2	3	2	14
33年度	児童数	66	67	88	68	80	99	468
	学級数	2	2	3	2	2	3	14
34年度	児童数	84	66	67	88	68	80	453
	学級数	3	2	2	3	2	2	14
35年度	児童数	97	84	66	67	88	68	470
	学級数	3	3	2	2	3	2	15

宅地化50%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	100	79	101	66	69	62	477
	学級数	3	3	3	2	2	2	15
29年度	児童数	80	99	79	101	67	71	497
	学級数	3	3	2	3	2	2	15
30年度	児童数	68	80	99	79	101	67	494
	学級数	2	2	3	2	3	2	14
31年度	児童数	88	68	80	99	79	101	515
	学級数	3	2	2	3	2	3	15
32年度	児童数	67	88	68	80	99	79	481
	学級数	2	3	2	2	3	2	14
33年度	児童数	66	67	88	68	80	99	468
	学級数	2	2	3	2	2	3	14
34年度	児童数	84	66	67	88	68	80	453
	学級数	3	2	2	3	2	2	14
35年度	児童数	90	84	66	67	88	68	463
	学級数	3	3	2	2	3	2	15

■ 舎人第一小学校児童数の推移（生産緑地の宅地化75%と50%の場合の試算）

※1 平成29年度の1年生以上は在学児童数、30年度以降の入学者は通学区域の在住者数
※2 平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算
（マンション等の集合住宅の場合は入居開始後5～6年後くらいから影響を受けるが、
戸建て開発も想定されることから早めに算入した。）
※3 普通教室の数は24
※4 1、2年生は35人学級、他の学年は40人学級

宅地化75%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	86	83	85	82	76	74	486
	学級数	3	3	3	3	2	2	16
29年度	児童数	81	88	84	85	83	76	497
	学級数	3	3	3	3	3	2	17
30年度	児童数	80	81	88	84	85	83	501
	学級数	3	3	3	3	3	3	18
31年度	児童数	79	80	81	88	84	85	497
	学級数	3	2	3	3	3	3	17
32年度	児童数	81	79	80	81	88	84	493
	学級数	3	2	2	3	3	3	16
33年度	児童数	73	81	79	80	81	88	482
	学級数	3	3	2	2	3	3	16
34年度	児童数	90	73	81	79	80	81	484
	学級数	3	2	3	2	2	3	15
35年度	児童数	79	90	73	81	79	80	482
	学級数	3	3	2	3	2	2	15

宅地化50%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	86	83	85	82	76	74	486
	学級数	3	3	3	3	2	2	16
29年度	児童数	81	88	84	85	83	76	497
	学級数	3	3	3	3	3	2	17
30年度	児童数	80	81	88	84	85	83	501
	学級数	3	3	3	3	3	3	18
31年度	児童数	79	80	81	88	84	85	497
	学級数	3	2	3	3	3	3	17
32年度	児童数	81	79	80	81	88	84	493
	学級数	3	2	2	3	3	3	16
33年度	児童数	73	81	79	80	81	88	482
	学級数	3	3	2	2	3	3	16
34年度	児童数	90	73	81	79	80	81	484
	学級数	3	2	3	2	2	3	15
35年度	児童数	77	90	73	81	79	80	480
	学級数	3	3	2	3	2	2	15

■ 足立入谷小学校児童数の推移（生産緑地の宅地化75%と50%の場合の試算）

※1 平成29年度の1年生以上は在学児童数、30年度以降の入学者は通学区域の在住者数
※2 平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算
（マンション等の集合住宅の場合は入居開始後5～6年後くらいから影響を受けるが、
戸建て開発も想定されることから早めに算入した。）
※3 普通教室の数は21
※4 1、2年生は35人学級、他の学年は40人学級

宅地化75%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	17	37	21	31	41	33	180
	学級数	1	2	1	1	2	1	8
29年度	児童数	26	19	39	21	31	41	177
	学級数	1	1	1	1	1	2	7
30年度	児童数	52	26	19	39	21	31	188
	学級数	2	1	1	1	1	1	7
31年度	児童数	57	52	26	19	39	21	214
	学級数	2	2	1	1	1	1	8
32年度	児童数	58	57	52	26	19	39	251
	学級数	2	2	2	1	1	1	9
33年度	児童数	36	58	57	52	26	19	248
	学級数	2	2	2	2	1	1	10
34年度	児童数	43	36	58	57	52	26	272
	学級数	2	2	2	2	2	1	11
35年度	児童数	88	43	36	58	57	52	334
	学級数	3	2	1	2	2	2	12

宅地化50%の場合

年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
28年度	児童数	17	37	21	31	41	33	180
	学級数	1	2	1	1	2	1	8
29年度	児童数	26	19	39	21	31	41	177
	学級数	1	1	1	1	1	2	7
30年度	児童数	52	26	19	39	21	31	188
	学級数	2	1	1	1	1	1	7
31年度	児童数	57	52	26	19	39	21	214
	学級数	2	2	1	1	1	1	8
32年度	児童数	58	57	52	26	19	39	251
	学級数	2	2	2	1	1	1	9
33年度	児童数	36	58	57	52	26	19	248
	学級数	2	2	2	2	1	1	10
34年度	児童数	43	36	58	57	52	26	272
	学級数	2	2	2	2	2	1	11
35年度	児童数	75	43	36	58	57	52	321
	学級数	3	2	1	2	2	2	12

■ 入谷中学校生徒数の推移（生産緑地の宅地化75%と50%の場合の試算）

※1　平成29年度の1年生以上は在学生徒数、30年度以降の入学者は通学区域の在住者数
※2　平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算
　（マンション等の集合住宅の場合は入居開始後5～6年後くらいから影響を受けるが、
　　戸建て開発も想定されることから早めに算入した。）
※3　普通教室の数は17
※4　1年生は35人学級、2、3年生は40人学級

宅地化75%の場合

年度		中1	中2	中3	合計
28年度	生徒数	53	31	65	149
	学級数	2	1	2	5
29年度	生徒数	29	52	32	113
	学級数	1	2	1	4
30年度	生徒数	73	29	52	154
	学級数	3	1	2	6
31年度	生徒数	65	73	29	167
	学級数	2	2	1	5
32年度	生徒数	64	65	73	202
	学級数	2	2	2	6
33年度	生徒数	72	64	65	201
	学級数	3	2	2	7
34年度	生徒数	48	72	64	184
	学級数	2	2	2	6
35年度	生徒数	98	48	72	218
	学級数	3	2	2	7
36年度	生徒数	93	98	48	239
	学級数	3	3	2	8
37年度	生徒数	98	93	98	289
	学級数	3	3	3	9
38年度	生徒数	99	98	93	290
	学級数	3	3	3	9
39年度	生徒数	77	99	98	274
	学級数	3	3	3	9
40年度	生徒数	84	77	99	260
	学級数	3	2	3	8
41年度	生徒数	88	84	77	249
	学級数	3	3	2	8

宅地化50%の場合

年度		中1	中2	中3	合計
28年度	生徒数	53	31	65	149
	学級数	2	1	2	5
29年度	生徒数	29	52	32	113
	学級数	1	2	1	4
30年度	生徒数	73	29	52	154
	学級数	3	1	2	6
31年度	生徒数	65	73	29	167
	学級数	2	2	1	5
32年度	生徒数	64	65	73	202
	学級数	2	2	2	6
33年度	生徒数	72	64	65	201
	学級数	3	2	2	7
34年度	生徒数	48	72	64	184
	学級数	2	2	2	6
35年度	生徒数	85	48	72	205
	学級数	3	2	2	7
36年度	生徒数	80	85	48	213
	学級数	3	3	2	8
37年度	生徒数	85	80	85	250
	学級数	3	2	3	8
38年度	生徒数	86	85	80	251
	学級数	3	3	2	8
39年度	生徒数	64	86	85	235
	学級数	2	3	3	8
40年度	生徒数	71	64	86	221
	学級数	3	2	3	8
41年度	生徒数	75	71	64	210
	学級数	3	2	2	7

■ 入谷南中学校生徒数の推移（生産緑地の宅地化75%と50%の場合の試算）

※1　平成29年度の1年生以上は在学生徒数、30年度以降の入学者は通学区域の在住者数
※2　平成35年度の入学者から、開発戸数の10%程度増えると試算
（マンション等の集合住宅の場合は入居開始後5～6年後くらいから影響を受けるが、
戸建て開発も想定されることから早めに算入した。）
※3　普通教室の数は17
※4　1年生は35人学級、2、3年生は40人学級

宅地化75%の場合

年度		中1	中2	中3	合計
28年度	生徒数	98	115	87	300
	学級数	3	3	3	9
29年度	生徒数	114	99	118	331
	学級数	4	3	3	10
30年度	生徒数	134	114	99	347
	学級数	4	3	3	10
31年度	生徒数	128	134	114	376
	学級数	4	4	3	11
32年度	生徒数	167	128	134	429
	学級数	5	4	4	13
33年度	生徒数	155	167	128	450
	学級数	5	5	4	14
34年度	生徒数	186	155	167	508
	学級数	6	4	5	15
35年度	生徒数	177	186	155	518
	学級数	6	5	4	15
36年度	生徒数	176	177	186	539
	学級数	6	5	5	16
37年度	生徒数	195	176	177	548
	学級数	6	5	5	16
38年度	生徒数	176	195	176	547
	学級数	6	5	5	16
39年度	生徒数	167	176	195	538
	学級数	5	5	5	15
40年度	生徒数	202	167	176	545
	学級数	6	5	5	16
41年度	生徒数	176	202	167	545
	学級数	6	6	5	17

宅地化50%の場合

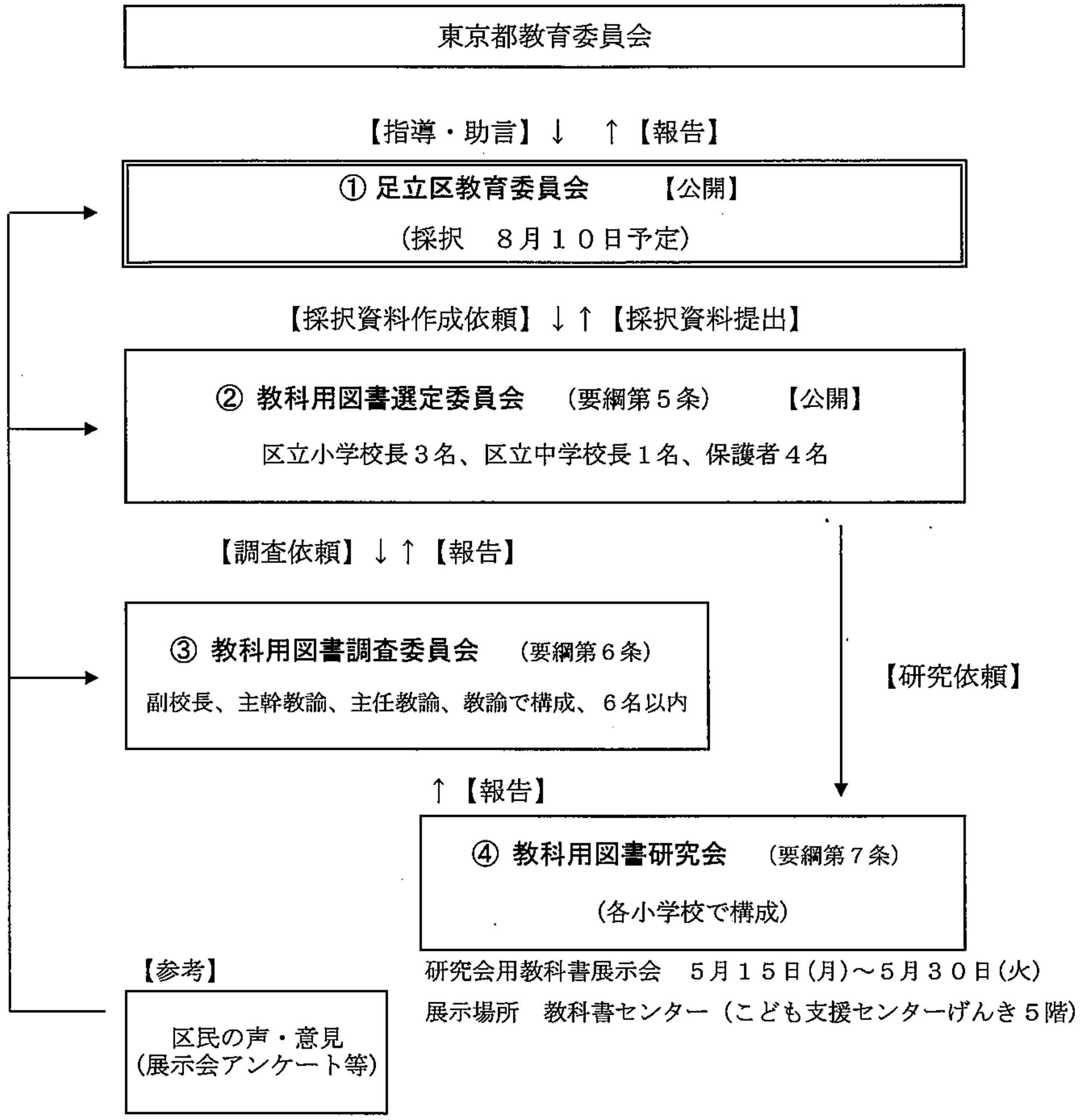
年度		中1	中2	中3	合計
28年度	生徒数	98	115	87	300
	学級数	3	3	3	9
29年度	生徒数	114	99	118	331
	学級数	4	3	3	10
30年度	生徒数	134	114	99	347
	学級数	4	3	3	10
31年度	生徒数	128	134	114	376
	学級数	4	4	3	11
32年度	生徒数	167	128	134	429
	学級数	5	4	4	13
33年度	生徒数	155	167	128	450
	学級数	5	5	4	14
34年度	生徒数	186	155	167	508
	学級数	6	4	5	15
35年度	生徒数	168	186	155	509
	学級数	5	5	4	14
36年度	生徒数	167	168	186	521
	学級数	5	5	5	15
37年度	生徒数	186	167	168	521
	学級数	6	5	5	16
38年度	生徒数	167	186	167	520
	学級数	5	5	5	15
39年度	生徒数	158	167	186	511
	学級数	5	5	5	15
40年度	生徒数	193	158	167	518
	学級数	6	4	5	15
41年度	生徒数	167	193	158	518
	学級数	5	5	4	14

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　名	足立区立小学校使用教科用図書（道徳）採択の日程等について
所管部課名	学校教育部教育指導課
内　　容	平成３０年度から使用する小学校使用教科用図書（道徳）の採択の日程等について、以下のとおり報告する。 なお、足立区立小中学校使用教科用図書採択における選定委員会については非公開としていたが、平成２９年７月６日に開催予定の第２回足立区立小学校使用教科用図書選定委員会から公開とする。 記 １　採択教科 道徳 ２　教科書展示会 平成２９年６月　６日（火）～６月１５日（木）特別展示 平成２９年６月１６日（金）～６月２９日（木）法定展示 ※特別展示、法定展示ともに土・日についても展示を行う。 展示時間　午前９時～午後７時 展示場所　足立区役所（中央本町１－１７－１） こども支援センターげんき（梅島３―２８―8） 東京芸術センター（千住１－４―1） ３　採択年月日 平成２９年８月１０日（木）　教育委員会定例会で採択する予定。 ４　採択結果報告 平成２９年８月３１日（木）までに東京都教育委員会へ報告する。
問題点・今後の方針	足立区立小学校使用教科用図書採択要綱に基づき、教科用図書選定委員会、教科用図書調査委員会、教科用図書研究会を設置し、調査・研究を進めていく。 選定委員会を公開するにあたり、足立区立小学校使用教科用図書採択要綱と足立区立中学校使用教科用図書採択要綱を一部改正する。 また、教科用図書選定委員会傍聴要領を制定し、選定委員会の傍聴について必要な事項を定める。 公開については、あだち広報及び足立区ホームページ等で周知を行う。 現在、区立小中学校で使用している教科書は、区政資料室及び教科書センター（子ども支援センターげんき）にて年間を通して展示している。

足立区立小学校使用教科用図書（道徳）採択の流れ



教科書展示会　６月　６日(火)～　６月１５日(木)特別展示
　　　　　　　６月１６日(金)～　６月２９日(木)法定展示

展示場所
- ◆ 本庁舎区民ロビー　午前９時～午後７時
- ◆ こども支援センターげんき　午前９時～午後７時
- ◆ 東京芸術センター　午前９時～午後７時

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　名	「足立区立小学校第１学年に関するアンケート」の実施結果について
所管部課名	学力定着対策室就学前教育推進課
内　　容	幼保小連携活動の成果や課題を把握するため、本年４月に区立小学校を対象にアンケート調査を実施し、結果を取りまとめたので報告する。 なお、本アンケート調査は、連携活動を効果的に推進していくため、毎年実施する。 １　目　的 小学校第１学年の学びに向けた準備がどの程度できているかを把握し、関係者で共有することで、幼保小連携活動などその後の取り組みに活かす。 ２　対　象 区立小学校１年生担任教諭　（全６９校　児童数 5,125 人） ３　実施期間 平成２９年４月入学後から約２週間 ４　アンケート結果 （１）身に付いている割合が高い項目 一人でトイレを済ませることができる　１００％ ひらがなで自分の名前が書ける　９８％ 授業中、立ち歩かない　９７％ （２）身に付いている割合が低い項目 鉛筆を正しく持つことができる　７６％ 姿勢良く座ることができる　８６％ ※詳細は別紙のとおり 別紙１　アンケート結果（ブロックまとめ） 別紙２　平成 28 年度　幼保小連携ブロック別一覧
今後の方針	・区内小学校及び就学前教育施設が参加する幼保小連携ブロック会議や研修会においてアンケート結果を報告し、特に身に付いている割合が低い項目については課題として共有し、具体的な対策への取り組みを促していく。 ・次回調査に向けて、アンケート項目の記述を見直し、精度を高めていく。

（１）身に付いている割合が高い項目

一人でトイレを済ませることができる	１００％
ひらがなで自分の名前が書ける	９８％
授業中、立ち歩かない	９７％

（２）身に付いている割合が低い項目

鉛筆を正しく持つことができる	７６％
姿勢良く座ることができる	８６％

別紙１

足立区立小学校第１学年に関するアンケート結果（ブロックまとめ）

Ａ：身に付いている　　Ｂ：身に付いていない

単位：％

	区全体		1ブロック		2ブロック		3ブロック		4ブロック		5ブロック		6ブロック		7ブロック		8ブロック		9ブロック		10ブロック		11ブロック		12ブロック		13ブロック	
確認事項	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
① あいさつや返事ができる。	94	6	87	13	100	0	100	0	92	8	99	1	98	2	98	2	94	6	82	18	94	6	97	3	92	8	95	5
② 姿勢良く座ることができる。	86	14	80	20	99	1	91	9	84	16	92	8	88	12	87	13	81	19	75	25	86	14	92	8	81	19	88	12
③ 静かに話を聞くことができる。	90	10	91	9	99	1	88	12	91	9	94	6	91	9	89	11	93	7	85	15	88	12	90	10	83	17	87	13
④ 授業中、立ち歩かない。	97	3	99	1	100	0	100	0	99	1	99	1	98	2	97	3	97	3	89	11	98	2	98	2	96	4	95	5
⑤ 一人でトイレを済ませることができる。	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	99	1	100	0	100	0	100	0	100	0
⑥ 学習道具を机の上に揃えることができる。	94	6	88	12	99	1	97	3	89	11	99	1	95	5	97	3	93	7	91	9	95	5	97	3	90	10	94	6
⑦ 鉛筆を正しく持つことができる。	76	24	73	27	89	11	89	11	69	31	82	18	82	18	62	38	85	15	75	25	78	22	73	27	71	29	65	35
⑧ ひらがなで書いてある自分の名前が読める。	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	99	1	100	0	100	0	99	1	99	1	99	1	98	2	100	0
⑨ ひらがなで自分の名前が書ける。	98	2	99	1	98	2	96	4	98	2	98	2	99	1	98	2	98	2	95	5	97	3	98	2	96	4	99	1

※網掛けは、身に付いている割合が区全体より５％以上低い数値

平成28年度　幼保小連携ブロック別一覧

別紙２

ブロック	小学校	幼稚園・こども園	保育園（認証含）
1	千寿　千寿本町　千寿双葉 千寿常東　千寿桜　千寿第八	元宿　足立　聖和　中条 千住寿	第二日ノ出町　千住あずま　緑町 日ノ出町　千住 せきや　Ｊｷｯｽﾞﾙﾐﾈ北千住　ｽﾃﾗ千住　ｸﾚｱﾅｰｻﾘｰ千住大橋 あい保育園千住大橋　たんぽぽ保育所北千住園 うぃず千住大橋駅前　うぃず千住曙町 ぽけっとﾗﾝﾄﾞ千住曙町　北千住もみじの森保育園 まなびの森保育園千住大橋
2	江北　高野　扇　宮城	足立サレジオ　東京白百合 江北さくら	上沼田　宮城　さつき　江北　三星
3	興本　西新井第一　西新井 本木　寺地	足立愛育　足立双葉　興南 西新井　黒田　第一若草	本木　本木東　興本　興野　西新井教会 西新井聖華　いづみ　扇こころ　ﾁｪﾘｯｼｭ西新井 高野駅前こども園
4	亀田　栗原　関原　梅島　島根 梅島第一　梅島第二	梅島　こだま　満願寺　橘 専念寺　八千代	梅田　中部ひまわり　足立ひまわり　島根 うめだ「子供の家」　栗原つくし　親隣館 島根いちい　西新井きらきら　西新井きらきら「分園」 ｴｰﾜﾝ梅島駅前　ちぐさ 日生梅島保育園ひびき　日生梅島第二保育園ひびき
5	弥生　足立 弘道　弘道第一	弘道　五反野　春光　城北 のぞみ	中央本町　弘道　五反野　やよい　高和 西綾瀬りりおっこ　子ひばり
6	長門　綾瀬　東加平　東渕江 北三谷　大谷田　東綾瀬	足立白うめ　親愛　チェリー 美松学園　聖フランシスコ	あやせ　東綾瀬　北綾瀬聖華 足立若葉　隅田学園 東　チェリー　東部若葉　聖母のさゆり　東和 東綾瀬きらきら　ｺﾝﾋﾞﾌﾟﾗｻﾞ綾瀬　どんぐり ﾁｪﾘｯｼｭ綾瀬　あやせﾊﾞﾍﾞｰﾙ
7	中川東　辰沼　中川 中川北　六木	おおやた　東京いずみ 黒川 六木	大谷田第一　大谷田第二　辰沼　六木 神明町　ﾁｪﾘｯｼｭ北綾瀬
8	青井　栗島　平野 加平　東栗原	あおい　足立つくし　栗島	東栗原　平野　青井　たんぽぽ保育所六町園 ｸﾚｱﾅｰｻﾘｰ足立さくら園
9	花畑第一　花畑西 花畑　桜花　花保	杉の子　石鍋　花畑八千代	花畑桑袋　東花畑　南保木間　六町あづま　愛隣 東保木間　六町駅前　ﾚｲﾓﾝﾄﾞ花畑
10	竹の塚　中島根　渕江 渕江第一　西保木間　保木間	小倉　竹塚　ふちえ　保木間	北保木間　竹の塚北　中島根　西保木間　水神橋 竹の塚　保木間　渕江　ちゃいれっく竹ノ塚駅前 ﾐﾙｷｰｳｪｲ竹の塚
11	東伊興　伊興　西伊興 栗原北　西新井第二	佐藤　福寿院　はなぞの 本行寺第二伊興	伊興　西新井　清水　伊興すみれ　伊興大境　i－ たんぽぽ保育所竹の塚園　うぃず西新井
12	鹿浜五色桜　鹿浜第一 北鹿浜　皿沼　鹿浜西　新田	鹿浜　江北白百合　鹿浜愛育	加賀　第三上沼田　新田わかば 沼田　谷在家　新田 太陽　ｺｺﾛｯﾄ　新田おひさま　新田さくら 新田三丁目なかよし　ｳﾞｨﾗｺｺﾛｯﾄ
13	舎人第一　舎人 古千谷　足立入谷	足立つばめ　足立みどり 舎人 とねり伊藤	いりや第一　いりや第二　聖

教　育　委　員　会　報　告

平成29年6月8日

件　名	平成２８年度あだちっ子歯科健診の実施結果について
所管部課名	子ども家庭部　子ども政策課、子ども施設整備課、子ども施設運営課、子ども施設入園課、衛生部　データヘルス推進課

内容

平成２８年度 あだちっ子歯科健診実施結果について、以下のとおり報告する。

1　あだちっ子歯科健診の目的

足立区の子どもの歯・口の健康状態は、「未処置歯をもつ子の割合が多い」など、課題が多い状態である。そこで、むし歯が増えやすい年少児（４歳）から年長児（６歳）を対象に、（公社）東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携、協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、就学前の児童のむし歯予防および早期の治療、ひいては子どもの貧困対策にも繋がる取り組みを進めている。

2　対象者

通園の有無に関わらず、年少児（４歳）から年長児（６歳）全ての幼児を対象に実施した。

※区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施している。

3　実施状況概要

※詳細は、別添「平成２８年度あだちっ子歯科健診実施結果報告書」（以下、「報告書」という）のとおり。

（１）実施施設および実施率

年少児（４歳）クラス以上のある教育・保育施設のうち、１７４施設（９７．２％）で実施した。

（２）施設等における健診受診率　　（受診者/在籍者）

	受診者数	受診率
区内の保育施設、こども園、幼稚園	15,717 人	99.0%
未通園児・区外通園児	112 人	7.7%
合計	15,829 人	91.3%

※未通園児等へは歯科健診の受診について個別に通知を発送。

（３）未通園児等の未受診理由

	ﾊｶﾞｷ返信者数	ﾊｶﾞｷ返信率
未通園児	148 人	17.0%
区外通園児	198 人	34.0%
合計	346 人	23.8%

歯科健診の案内をしたが受診を希望しないと返信があった方の理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院している」「歯科医院で定期的にチェックしている」「通っている施設で受けた」が多い。

4　歯科健診結果概要

「足立区保健衛生システム」に登録した子ども（１４，９９４名）の歯科健診結果は、以下のとおりであった。

（１）年齢別・乳歯にむし歯がある子どもの割合

	平成２８年度	平成２７年度
４歳（年少児）	１６．７％	１９．９％
５歳（年中児）	２７．７％	３０．３％
６歳（年長児）	３８．２％	３７．８％

乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年齢が上がるごとに増加している。２７年度と比較すると、年少児（４歳）と年中児（５歳）では減少しているが、年長児（６歳）では微増した。

（２）乳歯に未処置のむし歯がある子どもの割合

	未処置あり	処置完了	むし歯あり
４歳（年少児）	１２．２％	４．５％	１６．７％
５歳（年中児）	１９．２％	８．５％	２７．７％
６歳（年長児）	２３．９％	１４．３％	３８．２％

年長児（６歳）では、むし歯がある子どもの割合が約４割と高く、そのうち、３人に２人は未処置歯がある。

（３）乳歯に５本以上むし歯がある子どもの割合

	５本以上
４歳（年少児）	３．８％
５歳（年中児）	８．５％
６歳（年長児）	１３．６％

年長児（６歳）では、５本以上のむし歯がある子どもの割合が１３．６％と高く、そのうち、全て未処置歯となっている子の割合が１８．３％となっている。

（４）永久歯の生えている割合とむし歯の状況

	永久歯あり	むし歯あり	むし歯なし
４歳（年少児）	０．０２％	０％	０．０２％
５歳（年中児）	２．７％	０％	２．７％
６歳（年長児）	３８．５％	１．０％	３７．５％

年長児（６歳）の３８．５％に永久歯が生え始め、１％（５１名）がすでにむし歯がある。

	5　２８年度の取り組みと２９年度の方向性 平成２７年度から取り組んでいるあだちっ子歯科健診は、むし歯がある子どもの割合が減少するなど、一定の効果が認められる。引き続き、子どもの健全な口腔内環境を維持していくために、下記の課題について対策を講じていく。 （1）歯科治療が必要な子どもへの受診勧奨の強化 ①　多数歯にむし歯があっても、歯科医療機関に繋がっていないケースには各教育・保育施設、子ども家庭部、衛生部・保健センター等のフォローの仕組みを検討し、試行する。 ②　歯科健診後の受診報告書の提出率が前年度より低下している施設へは、受診勧奨への協力を依頼し、提出率の向上を目指す。また、小学校へ繋ぐ仕組みづくりにも着手する。 （2）集計・分析結果を活用した子どもの歯みがき習慣づくり ①　むし歯になる傾向が高い歯をターゲットに、むし歯予防に繋がる効果的な取り組みを各教育・保育施設に促していく。 ②　子どもの歯みがき習慣づくり、おやつ指導等、家庭教育の強化の観点からのアプローチを検討する。 ③　健診結果から、むし歯がある子どもの割合が高かった施設に対して個別に働きかけ、保健センターと連携した歯科保健教室等を優先的に実施していく。 （3）未通園児歯科健診未受診者への対応 ①　歯科健診未受診者への訪問調査を引き続き実施し、健診の重要性を伝えるとともに受診へと繋げていく。 ②　複数回訪問する中で、より丁寧な対応を必要とする家庭に対し、庁内各所管や関係機関と連携し対応する。
今後の方針	報告書を各教育・保育施設に送付し、結果を周知する。今後は、未通園児等への健診実施率・受診率の向上のための取り組みを強化していく。また、フォローが必要な子どもや家庭には、庁内各所管や関係機関が連携して対応する仕組みを検討し、試行する。

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件名	平成２９年度の保育所等入所待機児童の状況について
所管部課名	子ども家庭部　待機児ゼロ対策担当課

内容

1　平成２９年４月１日現在待機児童数　３７４人　　(単位：人)

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4･5歳児	計
申込者数［A］(継続利用児含む)		1,034	2,257	2,383	2,216	4,446	12,336
保育施設在園児数	認可保育所	700	1,470	1,855	2,074	4,131	10,230
	認定こども園	18	67	89	109	262	545
	小規模保育	84	139	120	–	–	343
	家庭的保育	63	184	171	–	–	418
	公設認可外	5	19	23	17	48	112
保育施設在園児数 合計［B］		870	1,879	2,258	2,200	4,441	11,648
国定義により待機児童に含めない児童数	認証保育所利用	54	104	28	1	1	188
	足立区認定家庭的保育	1	18	11	–	–	30
	あだち子育て応援隊利用	1	3	0	–	–	4
	幼稚園利用	–	–	–	5	1	6
	企業主導型保育	1	5	1			7
	私的理由	29	39	9	2	0	79
含めない児童数 合　計［C］		86	169	49	8	2	314
待機児童数 [A] − [B] − [C]		78	209	76	8	3	374

2　前年度待機児童数との対比　　(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度待機児童数	78	209	76	8	2	1	374
全体に対する割合	20.9%	55.9%	20.3%	2.1%	0.6%	0.2%	100.0%
28年度待機児童数	84	159	45	17	1	0	306
全体に対する割合	27.5%	52.0%	14.7%	5.6%	0.3%	0.0%	100.0%
28年度と29年度との差	6減	50増	31増	9減	1増	1増	68増

3　待機児童数及び保育定員数の推移　　(単位：人)

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
待機児童数	397	294	330	322	306	374
うち0-2歳	336	241	287	286	288	363
うち3-5歳	61	53	43	36	18	11
保育定員数	11,416	11,832	12,180	12,609	13,094	13,587
定員の増加（前年比）	678増	416増	348増	429増	485増	493増

4　申請事由別待機児童数（各年４月１日現在）

申請事由	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
就労中(フルタイム)	68	57	47	93	88	103	27.5%
就労中(パート)	100	88	96	97	89	110	29.4%
求職中	207	128	156	110	112	137	36.6%
介護	7	4	6	7	6	9	2.4%
疾病障がい	11	10	19	8	7	9	2.4%
出産・就学	4	7	5	5	2	4	1.1%
不存在	0	0	1	2	1	2	0.6%
その他	0	0	0	0	1	0	0.0%
	397	294	330	322	306	374	100%

5　フルタイム就労世帯の待機児童の地域分布　（単位：人）

ブロック		H28	H29	ブロック		H28	H29
1	千住地域	34	19	8	保塚・六町地域	5	0
2	江北・新田地域	6	9	9	花畑・保木間地域	1	0
3	興野・本木地域	4	11	10	竹の塚地域	3	4
4	梅田地域	8	14	11	伊興・西新井地域	4	5
5	中央本町地域	8	6	12	鹿浜地域	0	3
6	綾瀬地域	11	26	13	舎人・東伊興地域	2	5
7	佐野地域	2	1	外	管外(区外)	0	0

6　入所状況、待機状況　　別紙のとおり

7　保育需要率について

０歳から２歳児の保育需要率の伸びは、昨年実績と同様に１．５ポイント増と予測していたが、実際には２．９ポイント増となり、３０年に予測していた保育需要率の水準に一年前倒しで達した（詳細は別紙を参照）。

8　待機児童の状況

（1）０歳から２歳児の保育需要率が急激に上昇した結果、平成２９年４月の待機児童数は、昨年比６８人増の３７４人となった。

（2）１歳児の待機児童数は２０９人であり、前年比５０人増と大幅に増加した。待機児童全体に占める０～２歳児の割合は前年から２．９ポイント増加し、９７．１％に達した。

（3）平成２８年度待機児童が最も多かった千住地域は、前年比１６人減の４２人となったが、依然、区内で３番目に待機児童が多い。綾瀬地域は前年比２２人増の６１人となり、区内１位になった。

（4）フルタイム就労世帯の待機児童数は、前年比１５人増の１０３人となった。この内、綾瀬地域は２６人おり、区内１位である。

今後の方針

早急に地域ごとの保育需要の状況を分析したうえで、８月までに認可保育所等の新たな整備目標や保育士の確保策を盛り込んだ「足立区待機児童解消アクション・プラン（平成２９年度改定版）」を策定する。

別紙

1．平成２９年４月１日現在の年齢別入所状況

①特定教育・保育施設（２号認定・３号認定）

（単位：人）

		施設数	定員						入所数（委託を含み受託を含まない）						
			０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	管外委託(再掲)
認可保育所	公立	31	165	429	554	668	1,417	3,233	162	426	546	623	1,306	3,063	16
	公設民営	14	81	198	262	292	611	1,444	83	202	260	291	604	1,440	7
	私立	62	441	814	1,031	1,210	2,439	5,935	455	842	1,049	1,160	2,221	5,727	45
	小　計	107	687	1,441	1,847	2,170	4,467	10,612	700	1,470	1,855	2,074	4,131	10,230	68
認定こども園	幼保連携型	2	－	25	32	42	95	194	－	25	32	42	92	191	0
	保育所型	1	－	13	14	15	34	76	－	13	14	15	32	74	0
	幼稚園型	4	9	18	33	68	144	272	9	18	32	43	115	217	0
	地方裁量型	1	9	11	11	10	20	61	9	11	11	9	23	63	0
	小　計	8	18	67	90	135	293	603	18	67	89	109	262	545	0
合　計		115	705	1,508	1,937	2,305	4,760	11,215	718	1,537	1,944	2,183	4,393	10,775	68
他自治体へ委託[再掲]									1	5	15	11	36	68	
他自治体から受託[別掲]									4	10	14	19	45	92	

②特定地域型保育事業（３号認定）

（単位：人）

	施設数	定員						入所数（委託を含み受託を含まない）						
		０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	入所率
小規模保育	24	122	148	160	－	－	430	84	139	120	－	－	343	79.77%
家庭的保育	149	124	228	152	－	－	504	63	184	171	－	－	418	82.94%
合　計	173	246	376	312	－	－	934	147	323	291	－	－	761	81.48%
他自治体へ委託[再掲]								1	1	0	－	－	2	
他自治体から受託[別掲]								1	1	9	－	－	11	

③認可外保育施設

（単位：人）

	施設数	定員						入所数（委託を含み受託を含まない）						
		０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	０歳	１歳	２歳	３歳	４・５歳	計	入所率
公設民営認可外保育施設	3	6	19	23	33	68	149	5	19	23	17	48	112	75.17%
足立区認定家庭的保育	14	14	22	3	－	－	39	1	18	11	－	－	30	76.92%
認証保育所	40	287	355	337	114	57	1,150	187	346	290	63	100	986	85.74%
認証保育所（管外）	－	－	－	－	－	－	－	7	12	10	0	9	38	
合　計	－	－	－	－	－	－	1,338	200	395	334	80	157	1,166	87.14%

2．待機児童の年齢別・申請事由別内訳

（単位：人）

申請事由	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	合計	割合
就労中(フルタイム)	26(1)	75(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	103(1)	27.5%
就労中(パート)	20(1)	57(9)	29(3)	3(1)	1(0)	0(0)	110(14)	29.4%
求職中	27(7)	64(8)	40(6)	4(0)	1(0)	1(0)	137(21)	36.6%
介護	2(0)	6(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	9(2)	2.4%
疾病障がい	3(0)	4(1)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	9(1)	2.4%
出産・就学	0(0)	2(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	4(1)	1.1%
不存在	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0.6%
合　計	78(9)	209(20)	76(12)	8(1)	2(0)	1(0)	374(43)	100.0%
割　合	20.9%	55.9%	20.3%	2.1%	0.6%	0.2%	100.0%	

※（　）はひとり親家庭の再掲。また、就労中(パート)には内職を含む

3．ブロック別待機状況

（単位：人）

	認可施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	計	保育施設空き状況（認可保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育、足立区認定家庭的保育、公設認可外保育所、認証保育所）						受入可能数
								施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	
1ブロック（千住地域）	36	15	21	6			**42**	45	7	6	9	40	66	**128**
2ブロック（江北地域）	21	11	12	9		1	**33**	26	9	6	5	21	46	**87**
3ブロック（興野・本木地域）	20	8	17	13	2		**40**	23	1	2	2	1	1	**7**
4ブロック（梅田地域）	22	17	23	7	1		**48**	29	12	6	7	15	26	**66**
5ブロック（中央本町地域）	25	1	13				**14**	29	20	6	12	7	27	**72**
6ブロック（綾瀬地域）	34	6	45	9	1		**61**	42	10	7	10	3	47	**77**
7ブロック（佐野地域）	14	1	16	7	1		**25**	16	2	1	1	9	26	**39**
8ブロック（保塚・六町地域）	23	4	7	3			**14**	27	5	10	0	20	59	**94**
9ブロック（花畑・保木間地域）	13	3	4	2	1		**10**	15	4	7	3	7	21	**42**
10ブロック（竹の塚地域）	23	2	9	5	2	1	**19**	27	9	5	18	2	15	**49**
11ブロック（伊興・西新井地域）	18	6	14	3			**23**	22	7	2	4	1	2	**16**
12ブロック（鹿浜地域）	15	2	12	9		1	**24**	19	4	2	1	11	16	**34**
13ブロック（舎人・東伊興地域）	24	2	16	3			**21**	25	4	2	0	11	8	**25**
管内小計	288	78	209	76	8	3	374	345	94	62	72	148	360	**736**
管外委託分							0							
合　計	288	78	209	76	8	3	**374**							**736**

【参考】施設種別ごとの空き定員　　（単位：人）

	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4・5歳	合計
認可保育所	107	4	4	8	113	315	444
認定こども園	8	0	0	2	12	17	31
小規模保育	24	39	10	36	－	－	85
家庭的保育	149	25	38	6	－	－	69
足立区認定家庭的保育	14	3	5	0	－	－	8
公設認可外	3	1	0	0	16	20	37
認証保育所	40	22	5	20	7	8	62
合　計	345	94	62	72	148	360	736

【参考】ブロック別待機児童数（単位：人）

１３ブロック　４９細分化　地域マップ

舎人・東伊興	待機児童	昨年比
0-2歳児	21	+9
内フルタイム	5	+3
3-5歳児	0	-2
内フルタイム	0	±0

竹の塚	待機児童	昨年比
0-2歳児	16	+2
内フルタイム	4	+2
3-5歳児	3	+2
内フルタイム	0	-1

花畑・保木間	待機児童	昨年比
0-2歳児	9	-2
内フルタイム	0	-1
3-5歳児	1	-1
内フルタイム	0	±0

鹿浜	待機児童	昨年比
0-2歳児	23	+7
内フルタイム	3	+3
3-5歳児	1	+1
内フルタイム	0	±0

伊興・西新井	待機児童	昨年比
0-2歳児	23	+12
内フルタイム	5	+1
3-5歳児	0	-2
内フルタイム	0	±0

保塚・六町	待機児童	昨年比
0-2歳児	14	-9
内フルタイム	0	-5
3-5歳児	0	±0
内フルタイム	0	±0

佐野	待機児童	昨年比
0-2歳児	24	+7
内フルタイム	1	-1
3-5歳児	1	+1
内フルタイム	0	±0

江北・新田	待機児童	昨年比
0-2歳児	32	+11
内フルタイム	9	+3
3-5歳児	1	±0
内フルタイム	0	±0

興野・本木	待機児童	昨年比
0-2歳児	38	+21
内フルタイム	10	+6
3-5歳児	2	±0
内フルタイム	1	+1

梅田	待機児童	昨年比
0-2歳児	47	+23
内フルタイム	14	+6
3-5歳児	1	-2
内フルタイム	0	±0

中央本町	待機児童	昨年比
0-2歳児	14	-11
内フルタイム	6	-2
3-5歳児	0	-3
内フルタイム	0	±0

綾瀬	待機児童	昨年比
0-2歳児	60	+21
内フルタイム	26	+15
3-5歳児	1	+1
内フルタイム	0	±0

千住	待機児童	昨年比
0-2歳児	42	-14
内フルタイム	19	-14
3-5歳児	0	-2
内フルタイム	0	-1

全体	待機児童	昨年比
0-2歳児	363	+75
内フルタイム	102	+16
3-5歳児	11	-7
内フルタイム	1	-1

凡例

千住	
0-2歳児	→0～2歳児 待機児童数
内フルタイム	→0～2歳児 待機児童の内フルタイム就労世帯数
3-5歳児	→3～5歳児 待機児童数
内フルタイム	→3～5歳児 待機児童の内フルタイム就労世帯数

【参考】ブロック別空き定員（単位：人）

１３ブロック　４９細分化　地域マップ

（　）は認可保育所の内訳

舎人・東伊興	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	0 (0)	19 (6)
小規模保育 家庭的保育	6	0
認証保育所	0	0

竹の塚	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	2 (2)	17 (17)
小規模保育 家庭的保育	24※	0
認証保育所	6	0

花畑・保木間	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	0 (0)	28 (27)
小規模保育 家庭的保育	12	0
認証保育所	2	0

鹿浜	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	2 (2)	27 (21)
小規模保育 家庭的保育	5	0
認証保育所	0	0

伊興・西新井	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	0 (0)	1 (1)
小規模保育 家庭的保育	9	0
認証保育所	4	2

保塚・六町	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	0 (0)	79 (75)
小規模保育 家庭的保育	15	0
認証保育所	0	0

佐野	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	0 (0)	33 (30)
小規模保育 家庭的保育	2	0
認証保育所	2	2

江北・新田	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	6 (5)	67 (31)
小規模保育 家庭的保育	13	0
認証保育所	1	0

興野・本木	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	2 (1)	2 (2)
小規模保育 家庭的保育	3	0
認証保育所	0	0

梅田	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	1 (1)	36 (36)
小規模保育 家庭的保育	12	0
認証保育所	12	5

中央本町	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	4 (3)	34 (34)
小規模保育 家庭的保育	20※	0
認証保育所	14	0

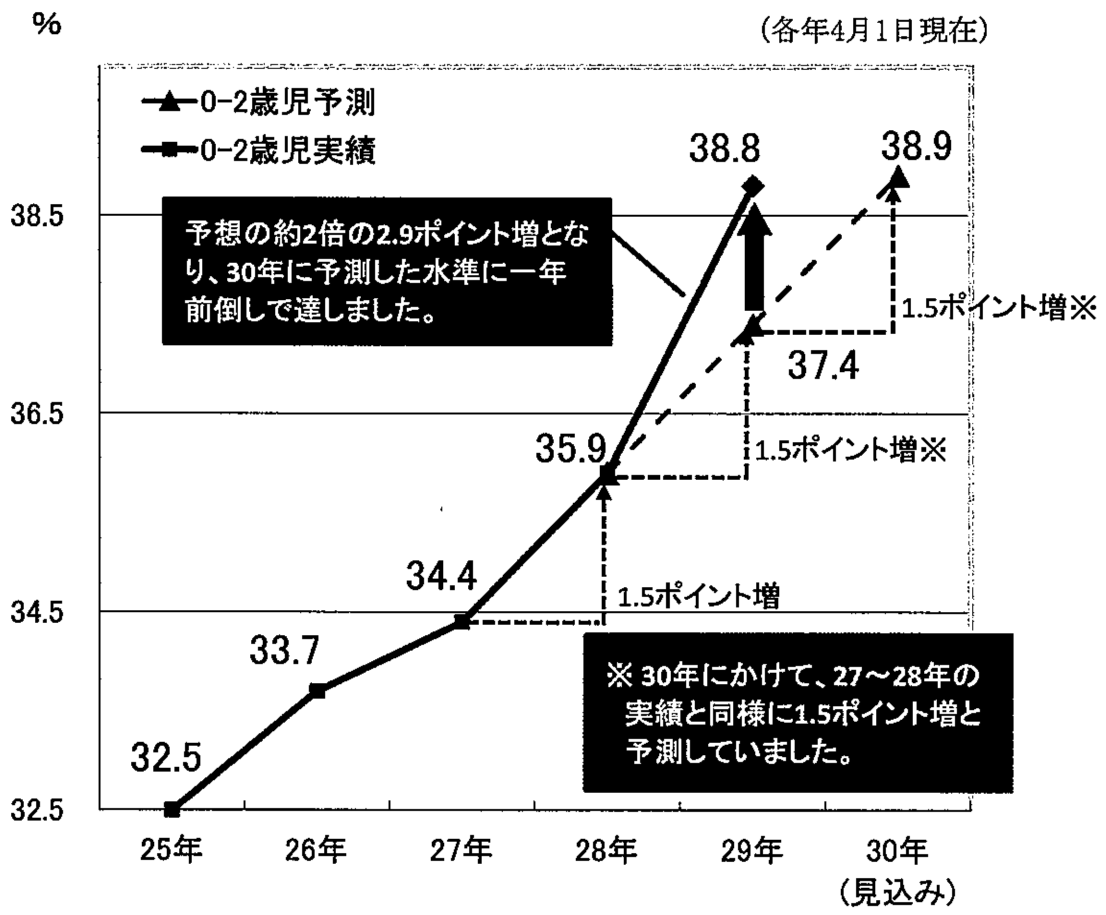
綾瀬	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	1 (1)	48 (48)
小規模保育 家庭的保育	26※	0
認証保育所	0	2

千住	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	1 (1)	102 (100)
小規模保育 家庭的保育	15	0
認証保育所	6	4

※中央本町地域、綾瀬地域及び、竹の塚地域は、平成２９年４月開設の小規模保育があり、4月時点では空きが多く出ている。

全体	0-2歳	3-5歳
認可保育所 認定こども園	19 (16)	493 (428)
小規模保育 家庭的保育	162	0
認証保育所	47	15

４．保育需要率の状況（０～２歳児）



【0～2歳児実績値】

	25年	26年	27年	28年	29年	昨年比
保育需要数（人） A	5,414	5,613	5,740	5,962	6,286	+324
0-2歳人口数（人） B	16,676	16,680	16,680	16,590	16,191	−399
保育需要率 A/B	32.5%	33.7%	34.4%	35.9%	38.8%	+2.9ﾎﾟｲﾝﾄ

教　育　委　員　会　報　告

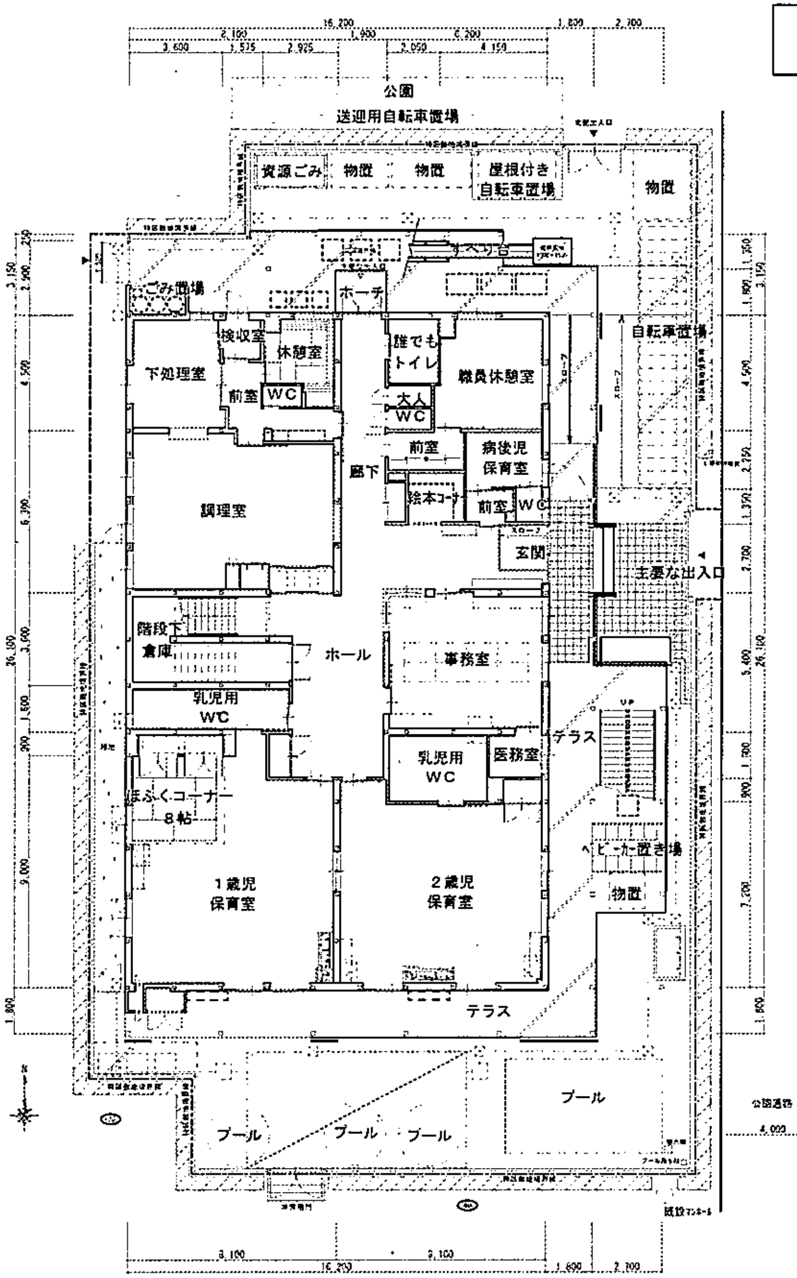
平成２９年６月８日

件　　名	区立あやせ保育園の都立東綾瀬公園内への移転について
所管部課名	子ども家庭部　子ども施設運営課
内　　容	区立あやせ保育園については、都立東綾瀬公園内への移転に向け東京都と協議を行ってきた。このたび、国家戦略特区の認定がされたため、以下のとおり報告する。 １　国家戦略特区の認定について 　平成２９年５月２２日に国家戦略特別区域諮問会議が開催され、同日付けで内閣総理大臣より正式に特区認定された。認定に伴い、都立東綾瀬公園内の敷地に、保育所設置に係る占用が可能となる。 　なお、特区認定により区立普賢寺公園への仮移転計画は取り止めることとする。 ２　施設概要 （１）移転先：都立東綾瀬公園わんぱく広場（東綾瀬二丁目９番先） （２）占用面積：約９００㎡ （３）定員：現１２０人　⇒　１３０人（予定） （４）設計図(案)、配置図(案)、イメージ外観図(案)：別添のとおり （５）開設日：平成３０年８月（予定） ３　周辺住民等への説明について 　都立東綾瀬公園への保育園移転に関して、以下のとおり周辺住民や保育園保護者の方々へ説明会を開催した。 （１）都立東綾瀬公園周辺住民向け説明会 ・５月１２日（金）　１９時から　参加者数 ３２名 ・５月２０日（土）　１３時から　参加者数 ５１名 ※３回目、４回目の説明会を６月９日、６月２４日に開催予定 ※会場はいずれも、東綾瀬小学校 （２）あやせ保育園保護者向け説明会 ・６月１日（木）　１８時から　参加者数 ３６名 ・６月３日（土）　１０時から　参加者数 ３９名 ※会場はいずれも、あやせ保育園

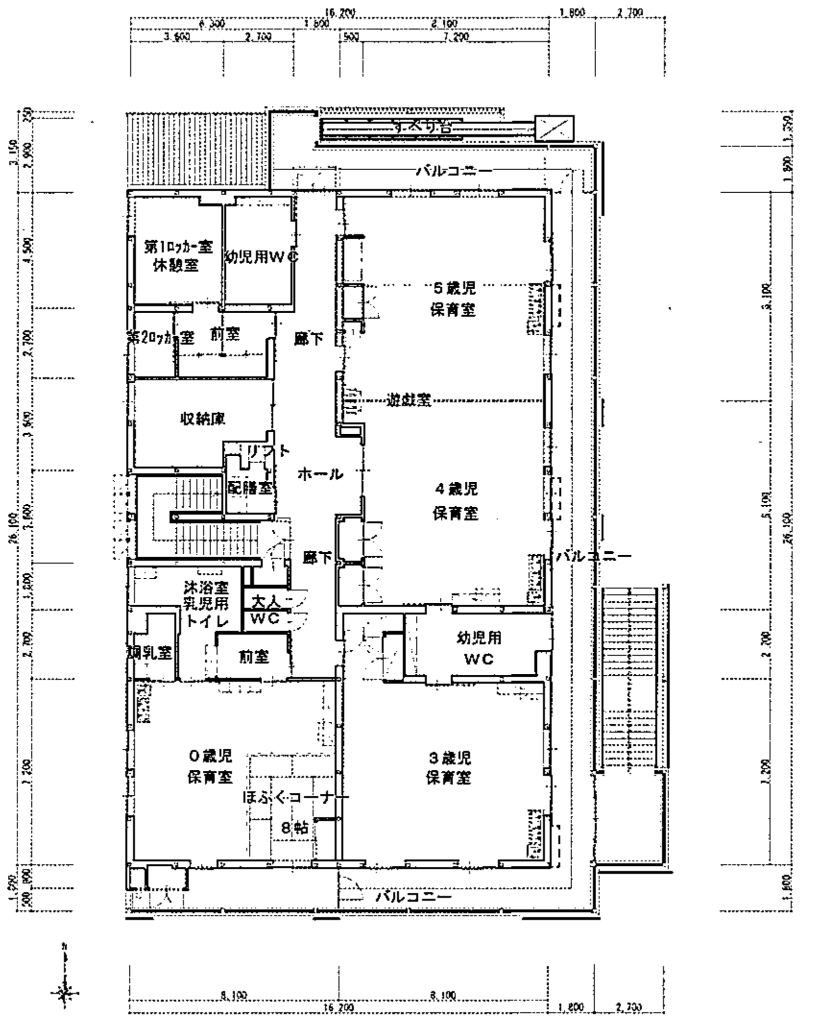
	4　説明会で出された主な意見 （1）都立東綾瀬公園周辺住民向け説明会 ・保育園の移転自体は反対しないが、移転先を再考してほしい。 ・移転先は住民と一緒に考えてほしい。 ・移転先のわんぱく広場は利用者が多いので建設には反対である。 ・通園や通学時間帯の安全対策をどのように考えているか。 ・保育園設置に伴い、公園の他の場所に代替機能を用意できるのか。また、公園の広場の周囲に柵をもうけてほしい。 （2）あやせ保育園保護者向け説明会 ・住民の反対があるなかで、頓挫することはないか。 ・園庭がないなかで、これまでの遊びは保障できるのか。 ・安全対策はいつまでに示してくれるのか。 ・優先的に転園させてもらえるのか。 ・工期を理由に園舎の設計をしているが、開設時期がずれれば３階やホール、屋上が設置できるのではないか。
今後の方針	引き続き、周辺住民や保育園保護者の方々に対して丁寧な説明を重ねながら、移転についての理解を求めていく。

平成２９年６月８日
教育委員会資料

平面図（案）

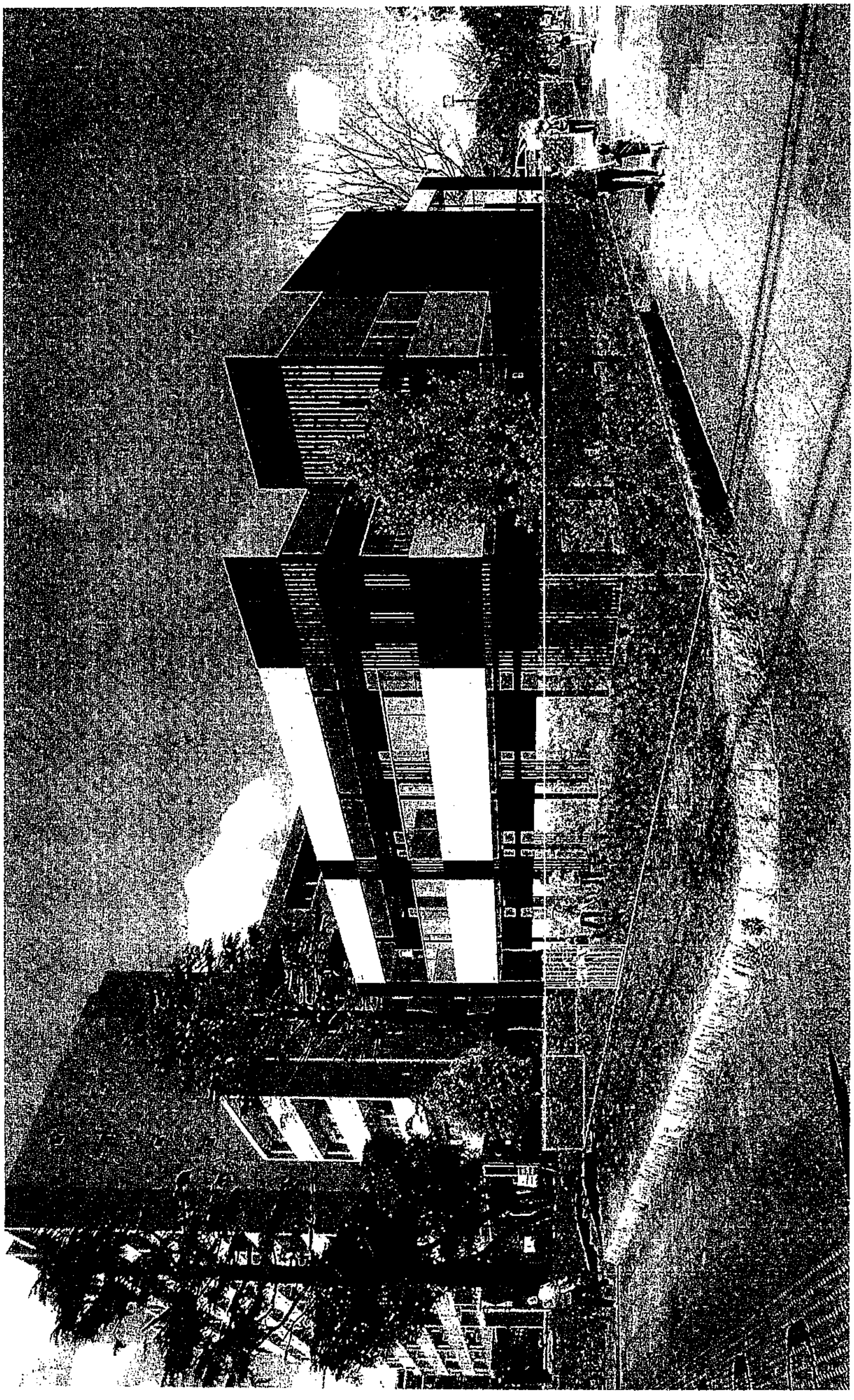


1階平面図（案）



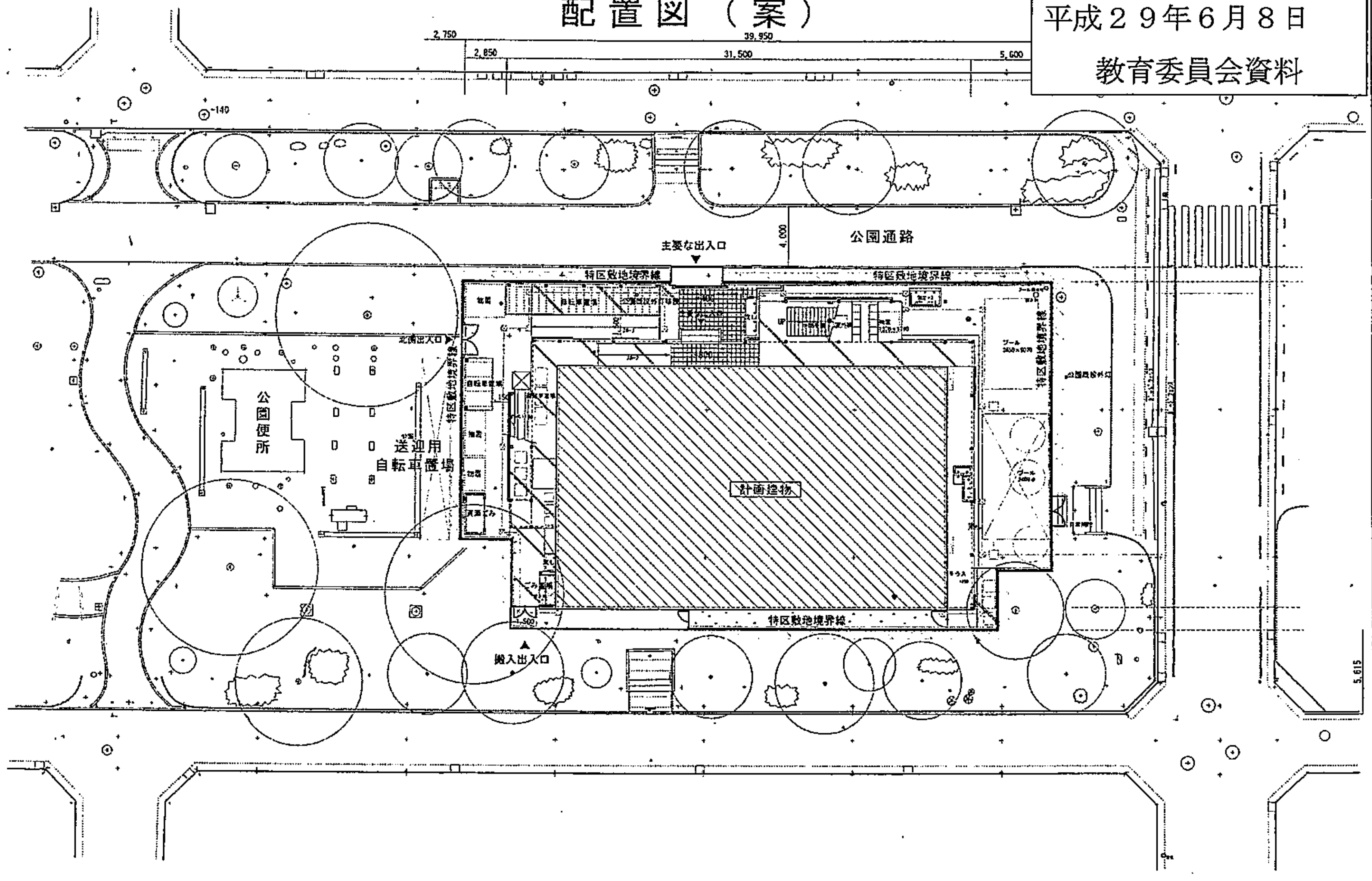
2階平面図（案）

イメージ外観図



平成２９年６月８日
教育委員会資料

配置図（案）



配　置　図　S=1：250

—— 敷地境界線

敷地面積　約９００㎡
延床面積　約１，１００㎡
階数・高さ　２階建・約８ｍ
※樹木移植については場所未定

教　育　委　員　会　報　告　資　料

平成２９年６月８日

件　　名	スクールソーシャルワーカーの平成２８年度活動実績及び 平成２９年度の実施内容について
所管部課名	子ども家庭部　教育相談課

内　容

平成２８年度、３名の統括スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）および６名の一般ＳＳＷを採用し、区内約半数の５２校（小学校３５校、中学校１７校）を中心に活動を行ってきたので、その活動実績について報告する。

１　平成２８年度に実施したＳＳＷの活動

校内の会議参加し教職員・スクールカウンセラー（ＳＣ）等と情報を共有しながら、必要に応じ個人面談や家庭訪問を行い、児童・生徒、保護者への支援を行った。

	平成27年度 総件数	平成28年度		
		単回相談	継続支援	総件数
小学校	120	54	165	219
中学校	67	42	152	194
合　計	187	96	317	413

※単回相談：一回の学校へのコンサルテーションで終了したもの。

継続支援のうち４５％が不登校、３７％が家庭環境に関わる相談であった。　　（詳細は、別紙のとおり）

２　平成２８年度ＳＳＷの活動による成果例

・長期不登校の児童が、校内の別室登校が出来るようになった。
・親子関係に課題があり自傷行為を行っている生徒の親子関係を修復させ、この結果医療機関につなげられ自傷行為が解消した。
・普通級に通学する不登校の児童を、教育相談から特別支援教室につなげることで不登校が解消した。

３　平成２８年度ＳＳＷ活動の課題

学校からの要請により登校サポーターと同様の役割を担った事例など、本来のＳＳＷの役割外の支援を行った学校も見受けられた。

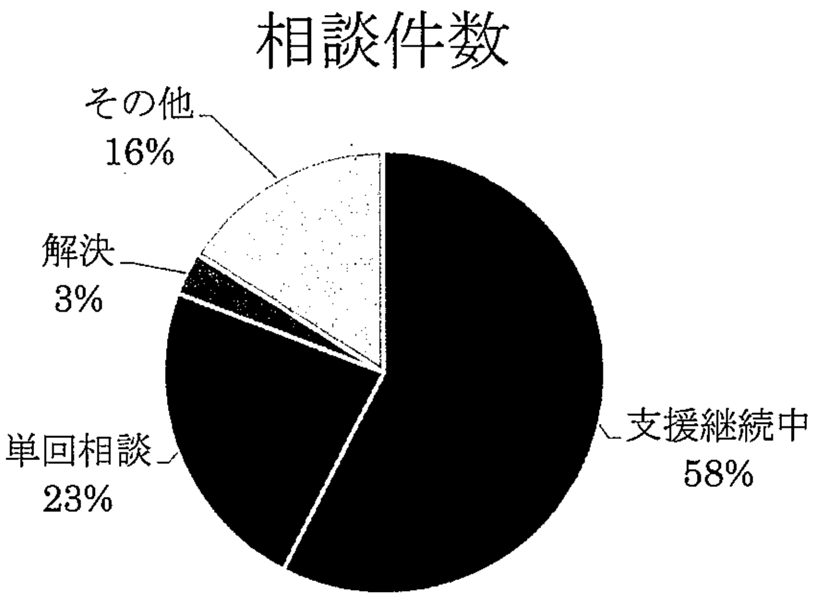
当課での説明不足等から、学校内のＳＳＷ業務への理解や活用の考えに差があったためと考えられるため、改めて各学校へ十分に説明を行っていく。

	4　平成２９年度の実施内容 　６名のＳＳＷを新規採用し、２８年度未配置の５２校（小学校３４校、中学校１８校）について、中学校を重点に巡回派遣を行う。 　小学校については、中学校との兄弟で連携する場合や、緊急・重篤ケースで学校から依頼があった場合に対応する。 　なお、平成２８年度に派遣対応をおこなっている学校については、前年と同体制で継続支援する。
問　題　点 今後の方針	多くの自治体がＳＳＷ事業を実施しはじめており、ＳＳＷの確保が困難になっている。 　こうした状況や平成２９年度の実施状況を踏まえ、平成３０年度以降のＳＳＷの派遣配置等について検討、準備を行っていく。

1　受付件数

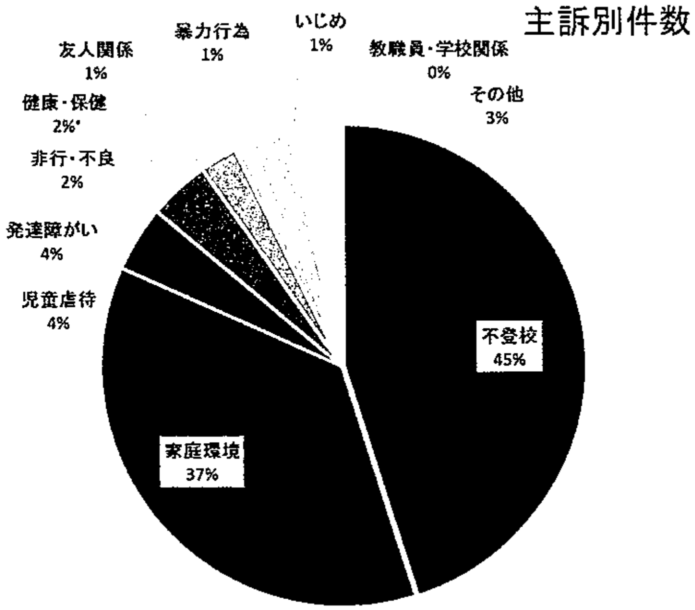
	単回相談	継続支援（SSW支援）				総件数
		支援継続中	解決	その他	合計	
小学校	54	134	4	27	165	219
中学校	42	104	9	39	152	194
合計	96	238	13	66	317	413

・単回相談は、学校への一回のコンサルテーション等のみを実施したもの。
・継続相談は、SSWがアセスメントを実施し、継続相談を行ったもの。
・「その他」は解決・改善前に区外転出、中学卒業したもの。（転校先や進学先に情報提供。）



2　継続相談の主訴別件数

	小学校	中学校	合　計
不登校	65	78	143
いじめ	1	1	2
暴力行為	2	1	3
児童虐待	11	3	14
友人関係	2	2	4
非行・不良	2	6	8
家庭環境	70	46	116
教職員・学校関係	0	0	0
健康・保健	0	5	5
発達障がい	9	4	13
その他	3	6	9
合計	165	152	317

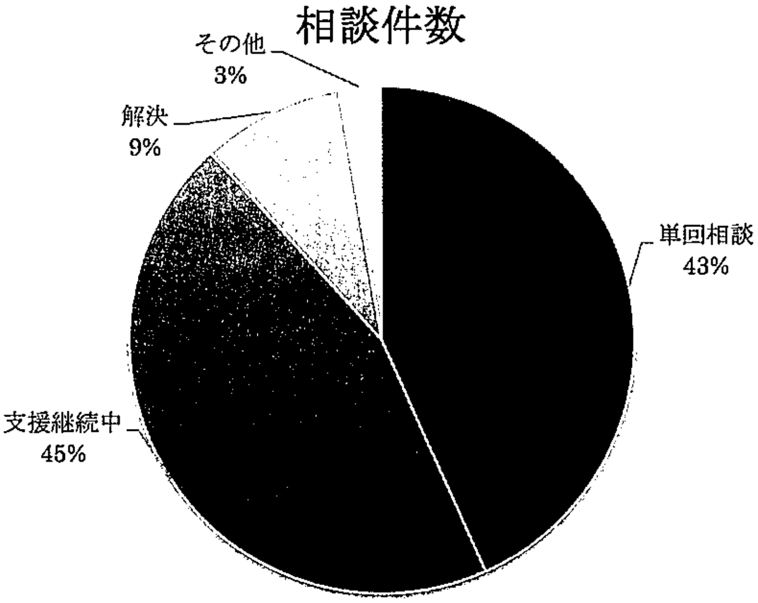


（参考）平成２７年度のＳＳＷ活動実績

1　受付件数

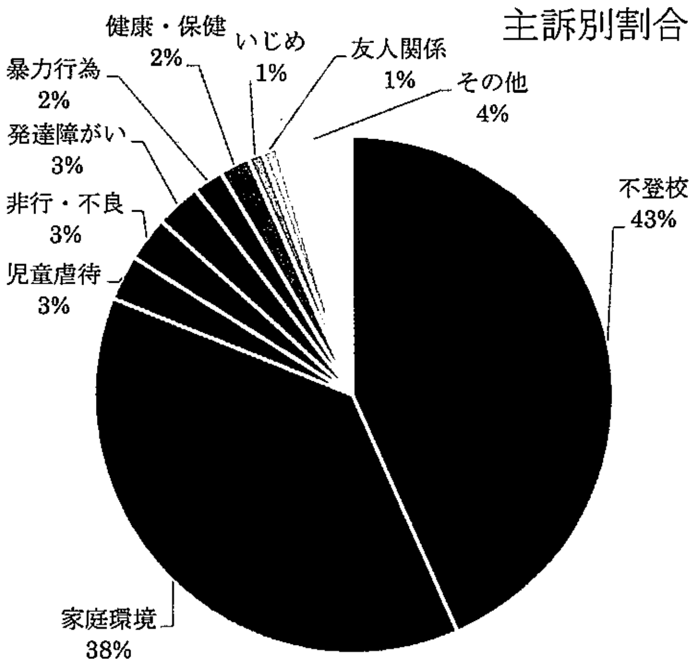
	単回相談	継続支援（SSW 支援）				総件数
		支援継続中	解決	その他	合計	
小学校	68	48	3	1	52	120
中学校	13	36	14	4	54	67
合計	81	84	17	5	106	187

・単回相談は、学校への一回のコンサルテーション等のみを実施したもの。
・継続相談は、SSW がアセスメントを実施し、継続相談を行ったもの。
・「その他」は解決・改善前に区外転出、中学卒業したもの。（転校先や進学先に情報提供。）



2　継続相談の主訴別件数

	小学校	中学校	合　計
不登校	24	22	46
いじめ	0	1	1
暴力行為	2	0	2
児童虐待	1	2	3
友人関係	1	0	1
非行・不良	2	1	3
家庭環境	17	23	40
教職員・学校関係	0	0	0
健康・保健	1	1	2
発達障がい	2	1	3
その他	2	3	5
合計	52	54	106



平成29年度派遣対応校(前年継続対応校)

グループ	1	2	3	4	5	6
統括SSW	大 山	穂 苅	高 木	高 木	穂 苅	大 山
SSW	吉 田	佐 藤	齋 藤	川 西	蔦 谷	堀 江
拠点校	花畑中	六月中	第十一中	竹の塚中	蒲原中	加賀中
巡回派遣校	渕江中	東島根中	第四中	第十四中	第十二中	西新井中
	花畑北中	栗島中	青井中	西保木間小	東綾瀬中	鹿浜菜の花中
	花畑第一小	中島根小	加平小	竹の塚小	綾瀬小	鹿浜五色桜小
	花畑小	保木間小	弘道第一小	東伊興小	東渕江小	西新井第二小
	渕江小	平野小	青井小	西伊興小	中川東小	皿沼小
	渕江第一小	栗島小	足立小	栗原北小	大谷田小	鹿一小
	花西小	東栗原小	弘道小		長門小	北鹿浜小
	桜花小		弥生小		北三谷小	鹿浜西小
					東綾瀬小	

平成29年度新規派遣対応校

グループ	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
統括SSW	高 木	大 山	高 木	穂 苅	穂 苅	大 山
SSW	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	市 村	五十嵐
巡回派遣校	第七中	入谷中	第九中	第一中	谷中中	江北桜中(H29統合)
	第五中	入谷南中	第十中	千寿桜堤中	第十三中	江南中
	第六中	伊興中	扇中	千寿青葉中	花保中	新田中
依頼対応校	西新井小	伊興小	梅島小	千寿小	辰沼小	新田小
	寺地小	舎人小	梅島第一小	千寿本町小	六木小	高野小
	栗原小	古千谷小	梅島第二小	千寿常東小	中川北小	扇小
	西新井第一小	足立入谷小	興本小	千寿桜小	花保小	宮城小
	本木小	舎人第一小	亀田小	千寿双葉小	中川小	江北小
	関原小		島根小	千寿第八小	東加平小	

＊番号に○が付いているグループは、SSWが採用されるまでの間、依頼によりコンサルティングを中心の対応を行う。

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年６月８日

件　　名	平成２９年度第１回学校公開の実施及び平成３０年度新入学児童・生徒受入可能人数の公表と学校選択制度の周知について
所管部課名	学校教育部学務課
内　　容	下記のとおり平成２９年度第１回学校公開を実施し、併せて平成３０年度の新入学児童・生徒受入可能人数及び平成３０年度からの学校選択制度の改正について周知する。 １　平成２９年度第１回学校公開の実施について 区立小・中学校で実施する学校公開の内容について、各小・中学校、区民事務所、保育園等の区内各施設に掲示を依頼し、区民に公表する。 ※別紙添付資料「学校公開一覧表」のとおり。 ２　平成３０年度新入学児童・生徒受入可能人数の公表と学校選択制度の周知について （１）平成３０年度の各小・中学校別の入学受入可能人数について、各小・中学校、区民事務所、保育園等の区内各施設に掲示を依頼し、区民に公表する。 （２）学校選択制度の保護者への周知用パンフレットを、平成３０年度就学予定である幼稚園・保育園・認定こども園等の年長児と小学校６年生に配付する。また、区内各施設においても配付を依頼する。なお学校選択制度は、小学校では平成３０年度入学者から選択の範囲を隣接校等に限定するため、「学校選択制度の改正について」のチラシを同封する。 ※別紙添付資料「受入可能人数一覧表」、「学校選択パンフレット」及び「学校選択制度の改正について」のとおり。
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年6月8日

件　　名	足立区立日光林間学園指定管理者の公募について
所管部課名	学校教育部　学務課
内　　容	平成２５年度に指定した足立区立日光林間学園の指定管理者は、今年度に５ヵ年の指定期間が終了となるため、平成３０年度以降の指定管理者について下記のとおり公募・選定を行う。 記 1　対象施設 足立区立日光林間学園　栃木県日光市所野１５４３－２ 2　指定期間 平成３０年４月１日～平成３５年３月３１日（５年間） 3　スケジュール 平成２９年６月２５日　あだち広報・区ホームページにて公募 ７月１９日　事業者対象の現地説明会 ７月３１日～８月４日　応募受付 ８月１８日　書類審査 ９月２６日　プレゼンテーション １０月上旬　選定候補者決定 １２月中旬　第４回定例会へ指定の議案を提出予定 平成３０年４月　運営開始
今後の方針	指定管理者の公募・選定について、関係法令等に基づき、適正に手続きを進めていく。

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年６月８日

件　　名	通学路防犯カメラ設置事業の前倒し実施について
所管部課名	学校教育部学務課
内　　容	平成２９年度の通学路防犯カメラ設置事業については、先月、１５校で実施する旨を報告したが、犯罪認知件数の増加等を踏まえ、下記のとおり前倒しして実施することになったので報告する。 １　平成２９年度に前倒しして設置する学校 東伊興小学校、保木間小学校 ２　平成２９年度設置予定校（１７校） （１）千住警察署管内　：千寿 （２）綾瀬警察署管内　：足立、綾瀬、加平、栗島 中川北 （３）西新井警察署管内：梅島第二、亀田、北鹿浜 鹿浜西、新田、関原、本木 （４）竹の塚警察署管内：西保木間、東伊興、渕江 保木間 ３　設置台数 一校あたり５台設置する。 ４　事業計画 平成２９年度までに５７校の通学路に防犯カメラ設置を設置する。 平成３０年度に１２校に設置することで、区内全ての小学校の通学路への防犯カメラ設置を完了させる。
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年６月８日

件　　名	再就職セミナー第１回開催報告および第２回開催予定について
所管部課名	子ども家庭部　子ども施設整備課
内　　容	足立区内の保育施設で就労を検討している保育士・看護師の資格を有する方を対象に、区民参画推進課との連携によるセミナー第１回を５月１９日に開催した。また、同セミナー第２回を７月１４日に開催する。 １．『資格を生かして　保育現場で働こう』（第１回） （１）日　時 平成２９年５月１９日（金）　午前９時３０分～正午 （２）場　所 エル・ソフィア　３階会議室 （３）内　容 ○講義「最新の保育就職事情を知る」 ○講師、区職員のベテラン保育士・看護師を囲んでの座談会 （４）講　師 東京都保育人材・保育所支援センター 保育人材コーディネーター　横田　敦子　氏 （５）参加人数 保育士資格保持者１３名（うち１名は看護師資格も所持） ２．『資格を生かして　保育現場で働こう』（第２回） （１）日　時 平成２９年７月１４日（金）　午前９時３０分～正午 （２）場　所 エル・ソフィア　３階会議室 （３）内　容 ○講義「保育求人の最新傾向を知ろう」 ○講師、区職員のベテラン保育士・看護師を囲んでの座談会

	（4）講　師 ハローワーク足立　ハートフルワークコーナー 就職促進指導官　渡邉　則之　氏 （5）参加人数 最大４０名
今後の方針	

教育委員会情報連絡　事業実施報告（５月）

青少年課

行事名	実施日	会場	参加者数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日（9回）	新田地域学習センター他	延べ 23人
	毎週水・土曜日（9回）	東京未来大福祉保育専門学校	15人
	第1・3土曜日（2回）	佐野住区センター	8人
サイエンスラボ スペースシュミレーターコース	7日（日）	ギャラクシティ	3人
アートボランティア	11日（木）	ギャラクシティ	8人
帝京科学大学連携 ふれあい動物教室	13日（土）	長門小学校 弘道小学校	86人 103人
サイエンスラボ 星空観察コース	13日（土）	ギャラクシティ	5人
サイエンスラボ 科学ブロックくらぶ	13日（土） 14日（日）	ギャラクシティ	各10人 計20人
サイエンスラボ ロボットくらぶ	14日（日）	ギャラクシティ	7人
あだち日曜教室	14日（日）	ギャラクシティ	37人
紙芝居講座	16日（火）	ギャラクシティ	9人
あそびのフリマ	20日（土）	アリオ西新井	250人
ジュニアリーダー スーパー研修会	21日（日）	ギャラクシティ	19人
科学工作講座	21日（日）	ギャラクシティ	13人
青少年問題協議会	24日（水）	特別会議室	30人
Gユニ定例会 ワークショップ	27日（土）	ギャラクシティ	50人
キャンプの達人になろう	28日（日）	宮城ゆうゆう公園	24人

教育委員会情報連絡　事業実施予定（6月）　　青少年課

行事名	実施日	会場	参加予定数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日（9回）	新田地域学習センター他	延べ30人
	毎週水・土曜日（9回）	東京未来大福祉保育専門学校	20人
	第1・3土曜日（2回）	神明住区センター	10人
ふれあい動物園	10日（土）	中川小学校	85人
サイエンスラボ 星空観察コース	3日（土）	ギャラクシティ	10人
ジュニアリーダー スーパー研修会	4日（日） 25日（日）	足立区役所	23人 23人
サイエンスラボ 星空撮影コース	4日（日）	ギャラクシティ	10人
成人の日の集い 実行委員会（第1・2回）	7日（水） 21日（水）	本庁舎	各10人
サイエンスラボ 科学ブロックくらぶ	10日（土） 11日（日）	ギャラクシティ	各10人 計20人
サイエンスラボ ロボットくらぶ	11日（日）	ギャラクシティ	10人
ギター講座	11日（日）	ギャラクシティ	10人
あだち日曜教室	11日（日）	ギャラクシティ	45人
紙芝居講座	13日（火）	ギャラクシティ	10人
Gユニワークショップ	17日（土）	ギャラクシティ	30人
科学工作講座	18日（日）	ギャラクシティ	13人
プラネタリウム投影	24日（土）	ギャラクシティ	200人
青少年対策地区委員会 会長連絡協議会	28日（水）	足立区役所	25人

行事実施結果（5月1日～5月31日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日　時	行　事　名	時　間	会　場	主催別	参加人数
5/1（月）～ 5/31（水）	放課後子ども教室 見守りスタッフ安全管理講習会	会場ごとに 設定　90分間	青井小学校、 他17校	主催	計268名
5/16（火）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:30～17:00	寺地小学校	主催	31名
5/22～6/26 毎（月）	こどもサポーター養成講座 「読み語りのためのボイストレーニング」　（全5回）	10:00～12:00	生涯学習センター他	主催	5/22、5/29 延べ38名
5/26（金）	第59回あだちアートリンクカフェ テーマ：「出会う旅へ」	18:30～20:00	エンブレムホステル 西新井（梅島3）	主催	21名
5/31（水）～ 6/14（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ビブリオバトルを楽しもう！」	14:30～15:00	千寿桜小学校	主催	45名
5/31（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ミニコンサート＆楽器体験」	15:30～16:30	西新井第一小学校	主催	55名

行事実施予定（6月1日～6月30日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日　時	行　事　名	時　間	会　場	主催別	参加予定人数
6/1（木）～ 6/30（金）	放課後子ども教室 見守りスタッフ安全管理講習会	会場ごとに 設定　90分間	梅島小学校、 他27校	主催	計350名
6/9（金）	放課後子ども教室 スタッフ研修Ａコース「他校スタッフとの情報交換」	10:00～12:00	生涯学習センター	主催	60名
5/22～6/26 毎（月）	こどもサポーター養成講座 「読み語りのためのボイストレーニング」　（全５回）	10:00～12:00	生涯学習センター他	主催	20名
5/31（水）～ 6/14（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ビブリオバトルを楽しもう！」	14:30～15:00	千寿桜小学校	主催	20名
6/11（日）	あだちアートリンクカフェ・フェスティバル　―出会いがつなぐ芸術の旅―	14:00～16:00	天空劇場	主催	400名
6/14（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ミニコンサート＆楽器体験」	15:00～16:00	梅島第一小学校	主催	30名
6/20（火）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:30～17:00	寺地小学校	主催	38名
6/21（水）	放課後子ども教室体験プログラム ハンズヒントクラブ 「おがくずねんどでふうりんをつくる」	14:30～16:00	舎人小学校	主催	50名

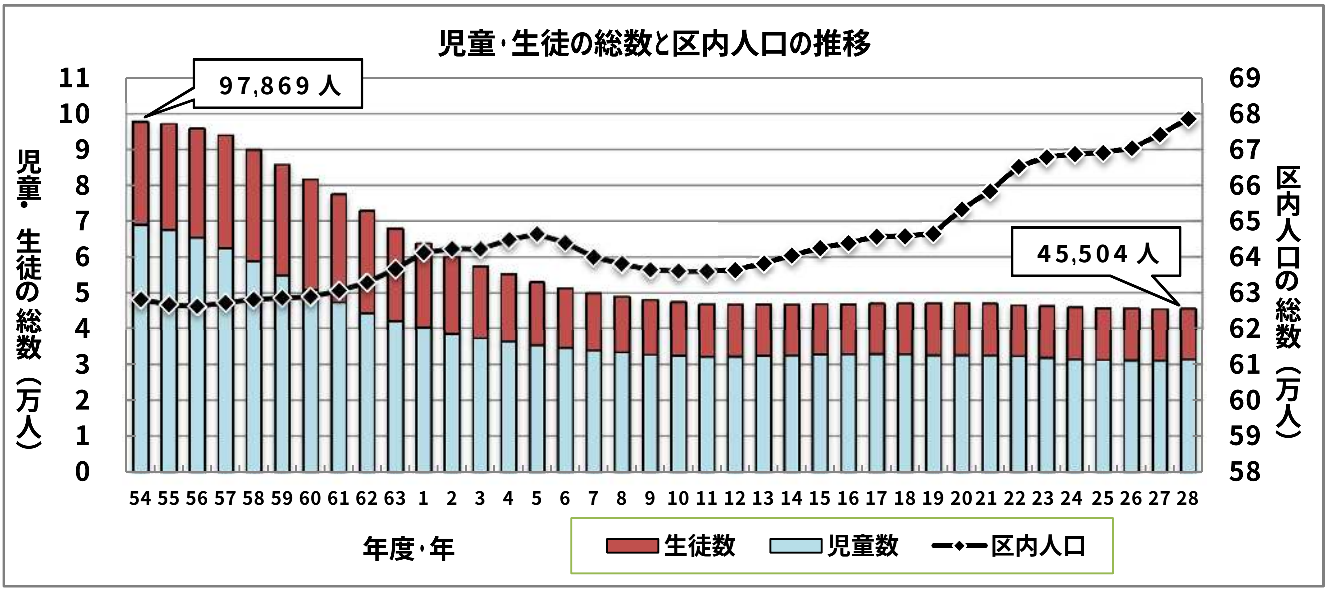
足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて 概要版

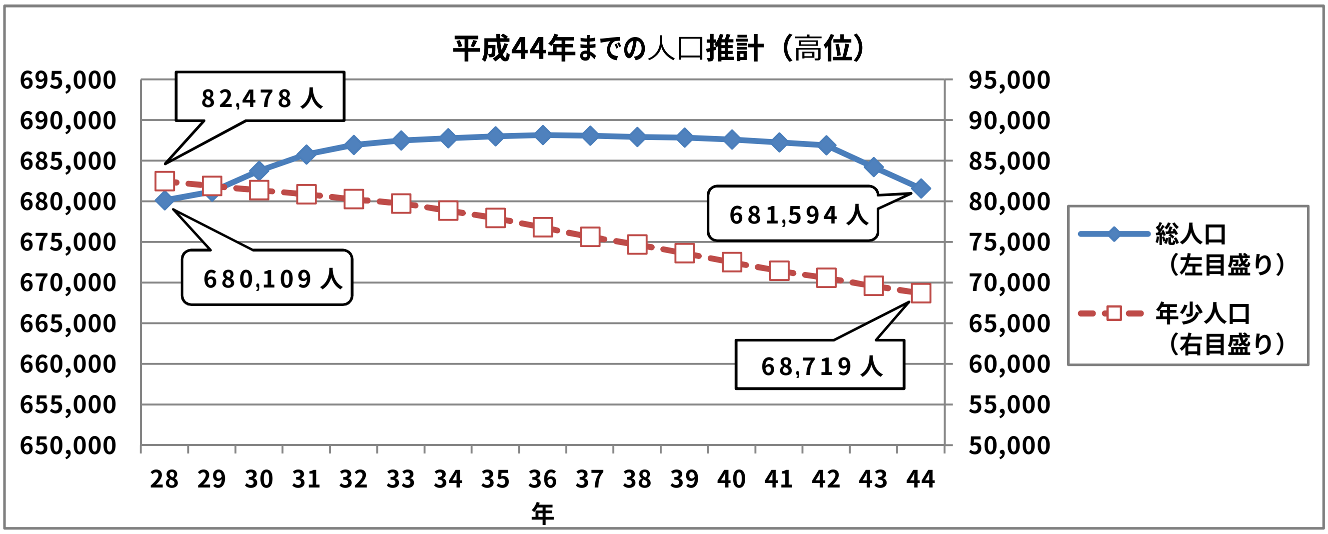
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

発行：足立区教育委員会事務局　学校適正配置担当
電話：03-3880-5111（代表）　内線 3535

1　児童・生徒の総数と人口推計

足立区の総人口は近年増加傾向にあり、平成 28 年 4 月には 68 万人を超えました。しかし、児童生徒数は減少傾向をたどっています。平成 27 年 9 月実施の人口推計(高位)では、総人口は平成 36 年頃にピークを迎えるとされていますが、年少人口(0 歳～14 歳)は今後も減少傾向にあると予測されています。





（平成 27 年 9 月実施人口推計(高位)より作成。なお、平成 28 年は 4 月 1 日現在の実居住者人口です）

2　適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会では、平成 21 年度に前ガイドラインを策定し、今後の適正規模・適正配置事業の新たな指針を定めました。その後の取り組みにより、平成 28 年度現在、小学校は 69 校、中学校 36 校の合計 105 校となっています。

◆平成 21 年度以降の主な適正規模・適正配置事業の取り組み

年度	区分	統合等を実施した小・中学校
平成 24	統合	本木小学校の開校（本木小学校と本木東小学校を統合）
	学区域変更	栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更
平成 25	統合	足立小学校の開校（千寿第五小学校と五反野小学校を統合）
平成 27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校（上沼田小学校と鹿浜小学校を統合）
平成 28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校（鹿浜中学校と第八中学校を統合）
平成 29	統合	江北桜中学校の開校（上沼田中学校と江北中学校を統合）
予定	統合	新校開校予定（高野小学校と江北小学校を統合）

３　適正規模・適正配置の基準の見直し

[適正規模の新基準]

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)

適正な学級数「12 学級から 24 学級」

小学校では、最低限クラス替えができる各学年 2 学級以上が必要であるため「1 学年 2～4 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4～8 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。

適正な人数「小学校 340～760 人・中学校 370～840 人」

現在、足立区の 1 学級あたりの人数には東京都が定める基準を採用しています。1 学級あたりの人数は、小学 1・2 年生と中学 1 年生が 35 人編成で、それ以外の学年は 40 人編成です。この点を踏まえ、1 学級あたりの平均人数と適正な学級数、児童・生徒数を現状に合わせて変更します。

適正規模以外の考え方

学校の適正規模は一つの学校だけの問題ではなく、地域全体の問題として考える必要があります。また、6 学級以下の学校であっても、その地域全体で子どもが増える可能性があれば、直ちに統合の検討に入るのではなく、その後の推移を見守っていくなど、柔軟な対応が必要です。今後は過小・過大という表現を改め、適正規模に満たない学校はすべて小規模校とし、超える学校はすべて大規模校とします。

[適正配置の新基準]

	小学校	中学校
通学時間	おおむね 30 分以内	
通学距離	おおむね 1,200m以内が望ましい	おおむね 1,800m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせ、1 中学校あたり 2～3 の小学校が望ましい。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域、町会・自治会の区域をできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道 4 号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

適正な通学時間の目安「おおむね 30 分以内」

これまでは、通学距離、通学区域、通学路について基準を定めてきました。今回の見直しでは、より具体的な基準とするため、一般的に子どもが通学にかけられる時間を、目安として新たに定めます。

そこで、内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都内の学校の通学時間の調査、足立区の学校の登校時間などを勘案し、通学で使える時間は 30 分から 40 分という結果が得られました。このことから、通学時間は「おおむね 30 分以内」を一つの目安とします。

適正な通学距離の目安「小学校は、おおむね 1,200m以内・中学校は、おおむね 1,800m以内」

新たに設けた、通学時間「おおむね 30 分以内」という基準から、30 分で子どもが歩ける距離を求め、新たな距離の基準とします。

子どもの歩く速さに関するデータを基にして、その中でも比較的遅く歩いた場合の速度である、小学生は分速 40m、中学生は分速 60mを採用します。

その結果、小学生は「分速 40mで 30 分歩くとおおむね 1,200m進む」、中学生は「分速 60mで 30 分歩くとおおむね 1,800m進む」ことができます。

実際の通学路は、学校ごとに道路条件や地形によって状況が異なります。そのため、通学距離の基準は、自宅から学校までの直線距離で測って設定しています。この基準は、今後も通学路が著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

4　通学路の安全対策

学校の統合が行われると、通学する校舎の変更のため、在学中に通学路が数回変わります。通学路の変更に伴う子どもたちの不安を出来る限り取り除き、また、保護者の心配を軽減できるよう、これまでの取り組みに新たな対策を追加します。

これまでの安全対策

① 通学路合同点検の実施
　実施概要　交差点改良（ガードパイプや歩道、外側線の調整）、歩行者用信号の横断可能時間の延長、横断歩道の新設や移転、路面表示・グリーンベルトの施工、スクールゾーン規制の新設など。

② ＰＴＡ及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方による見守りや、通学路安全マップの作成

③ 交通安全教室の実施・青パトによる巡回

④ 学童擁護員による通学指導

⑤ 防犯カメラの設置
　ア．設置場所　　通学路のうち、犯罪抑止に効果的な場所（公園付近など）
　イ．設置台数　　各校５台、平成 30 年度までに全校に設置

新たな安全対策

① *学童擁護員を増員し、支援を行います。
　ア．配置場所　　統合等により新たに設けた通学路のうち、通学路合同点検などで危険と判断した場所に配置します。
　イ．配置時間　　登校時 1 時間、下校時 3 時間を上限に必要な時間配置します。
　ウ．配置箇所数　1 校につき原則 3 か所以内とします。

② *スクールガードボランティアの募集を行います。
　ＰＴＡ及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方が実施している見守りについて、スクールガードボランティアとして登録し、物品の貸与やボランティア保険の適用など活動の支援を行います。

③ *小学校登下校システムの設置（メール配信サービス）
　児童の登下校を、保護者に電子メールでお知らせするサービスを、モデル校に導入します。モデル校での検証を経て、今後の統合校に導入していきます。

④ *防犯カメラを増設します。
　統合に伴い距離が延びる通学路に、通常 5 台（東京都補助台数）に上乗せして防犯カメラを設置します。

⑤ *交通安全グッズ（反射板等）を配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整えます。

⑥ 下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高めます。

⑦ 登校班の編成を促していきます。

*印の取り組みについては、統合校で実施します。

5　施設更新に関する方針

学校施設の耐用年数「65 年から 82 年程度」

これまで学校施設の耐用年数は５０年としてきましたが、建築年次によってコンクリート強度が異なるため、建物のコンクリート耐久設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とします。この年数は、構造体及び部材の要求性能を示し、設計・施工の目標を明確にした「構造体の総合的耐久性（日本建築学会)」に基づくものです。

また、供用限界期間は、その年数までに建物保全を行わなかった場合と定義しており、期間内に適切に保全工事を実施することにより、さらに寿命を延ばすことができるとされています。

・昭和 40 年代半ばまでに建設した学校は 65 年程度とします。
・平成 10 年代半ばまでに建設した学校は 82 年程度とします。
・新耐震構造基準（昭和 56 年）に適合した建物及び近年の躯体強度の高い建物については、コンクリート強度に応じた供用限界期間を参考にします。

施設更新の実施基準

①　原則として建築年次の古い順とします。
②　新耐震構造基準（昭和 56 年）に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用します。また、統合が伴った場合も、長期使用可能な建物強度を有するため、原則使用します。さらに、耐用年数に達していない小・中学校についても同様とします。
③　原則「ＲＣ造（鉄筋コンクリート造)」としますが、周辺や立地、敷地の状況等により「Ｓ造（鉄骨造)」及び「ＳＲＣ造（鉄骨鉄筋コンクリート造)」を適宜取り入れます。

＊統合の実施、周辺の公共施設整備や施工時期、社会情勢等に伴い、実施年次の調整や停止を行う場合があります。

保全工事の実施基準

①　改築目標年次まで、10 年を超える期間を有する学校を対象とします。
②　施設の長寿命化を目的とする関連工事を中心に実施します。
③　工事内容は、各学校の施設状況に応じて判断します。
④　環境の向上を図るため、耐用年数満了となる空調設備の入れ替え及びトイレ改修を進め、新校との平準化に早急に取り組んでいきます。

特別支援教室の設置

平成 28 年度から特別支援教室を順次導入し、平成 30 年度までに全ての小学校に設置します。また、中学校においては現在、都内 4 区市で特別支援教室モデル事業を実施しているため、状況を注視しながら柔軟に対応できるよう準備を進めていきます。

＊特別支援教室とは、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れのない発達障がいや、情緒障がいのある児童のための教室です。

６　今後取り組むエリア

平成２５年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成２５年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く３校は建築後４０年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
	皿沼小	11	小規模	S57	
入谷	舎人小	15	適正	S44	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。 入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。 この地区は、平成３４年以降に生産緑地の宅地化が進んだ場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性もあるため、その動向も注視しながら検討していきます。
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	
	入谷南中	9	小規模	H2	

※学級数は、平成２８年度現在

- 統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- 江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進めます。平成２５年度に策定した実施計画（案）と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定していきます。

新たに取り組むエリア

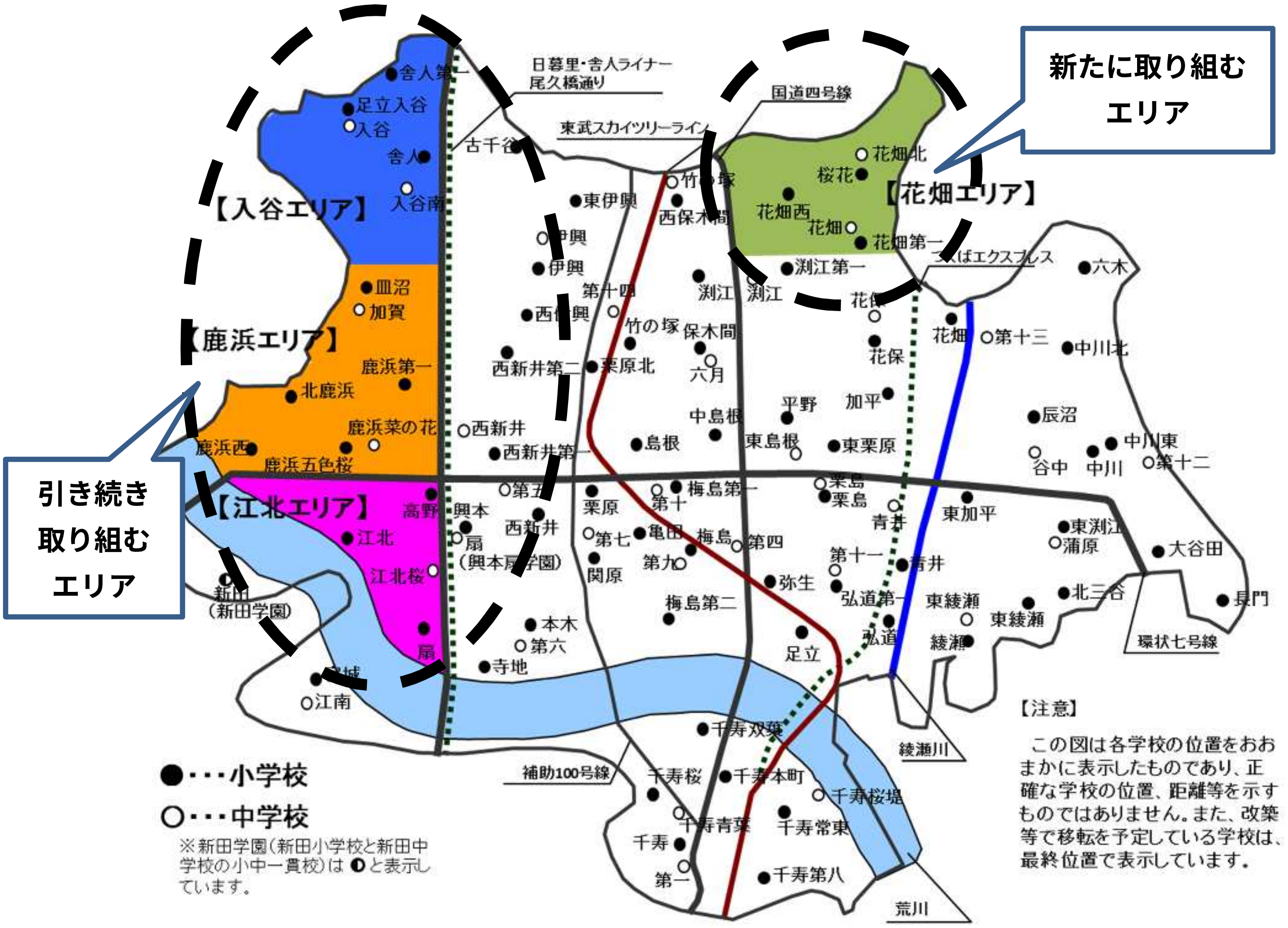
花畑地区の検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模(人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

※学級数は、平成２８年度現在

- 花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行います。
- 小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- 中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行います。

※今後取り組むエリアの取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進めます。



足立区立小・中学校の
適正規模・適正配置の実現に向けて

～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

平成２９年５月

足立区教育委員会

◆◇◆　目次　◆◇◆

第１章　足立区立小・中学校の現状

１　適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み　・・・・・　１ページ

２　足立区立小・中学校の規模の推移と平成 28 年度の状況　・・　４ページ

３　将来の区内人口と児童・生徒数の見込み　・・・・・・・・・・　５ページ

４　他区との比較　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６ページ

第２章　足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

１　適正規模・適正配置の基本的な考え方　・・・・・・・・・・・　7 ページ

２　適正規模の基準の見直し　・・・・・・・・・・・・・・・・・　8 ページ

３　適正配置の基準の見直し　・・・・・・・・・・・・・・・・１０ページ

４　通学路の安全対策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２ページ

第３章　施設更新に関する方針

１　これまでの取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４ページ

２　施設更新の基本的な考え方　・・・・・・・・・・・・・・・１５ページ

３　施設更新にかかるコスト試算と計画の連動　・・・・・・・・１８ページ

第４章　今後の取り組みの方向性

１　将来の子どもたちに必要な学校数　・・・・・・・・・・・・２３ページ

２　学校規模の視点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４ページ

３　年少人口の視点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６ページ

４　施設更新の視点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８ページ

５　今後取り組むエリア　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０ページ

【資料編】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２ページ

基本理念

足立区教育大綱

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

足立区と足立区教育委員会では、この教育大綱の基本理念のもと、次代を担う子どもたちがたくましく生き抜く力を育み、教育目標を達成するための施策を展開しています。

教育大綱の実現に向けた取り組みには、２本の柱があります。第一は、「誰もが子どもを支える主役」です。地域全体が子どもを支え、育てあげていく学びの循環を促し、豊かな地域社会を実現します。第二は、「貧困の連鎖を断ち切る教育」です。子どもたちが孤立せず、貧困から脱出し、自立して生き抜く力を育む様々な機会を繰り返し提供していきます。

そのためには、学校を児童・生徒数に見合った適正な規模にし、教育環境を整備していくことが不可欠です。小規模な学校を適正規模にすることは、様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことにつながり、教育大綱の２本の柱を支える社会性の育成や人間力の向上に結びつくことになります。

足立区の総人口は 68 万人を超え、平成 27 年 9 月実施の人口推計における高位推計によると、平成 36 年頃には人口のピークを迎えるとされていますが、年少人口（0歳～14 歳）は減少を続けると予測されています。このことからも、適正規模・適正配置事業の推進は、教育環境を整備する施策の中でも、最も重要であると考えています。

このたび、平成 21 年 5 月に策定しました「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて―これからの 25 年を考える適正規模・適正配置のガイドライン―」の見直しを行いました。区立学校の現状を踏まえ、将来人口推計や施設更新の視点から、新たな適正規模・適正配置の基本的な考え方や施設更新基準を示しております。今後は、このガイドラインを指針とし、「子どもたちに明るい未来を、成長を実感できる教育を！」を目指して全力で取り組んでまいります。

平成２９年５月
足 立 区 教 育 委 員 会

第１章　足立区立小・中学校の現状

１　適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

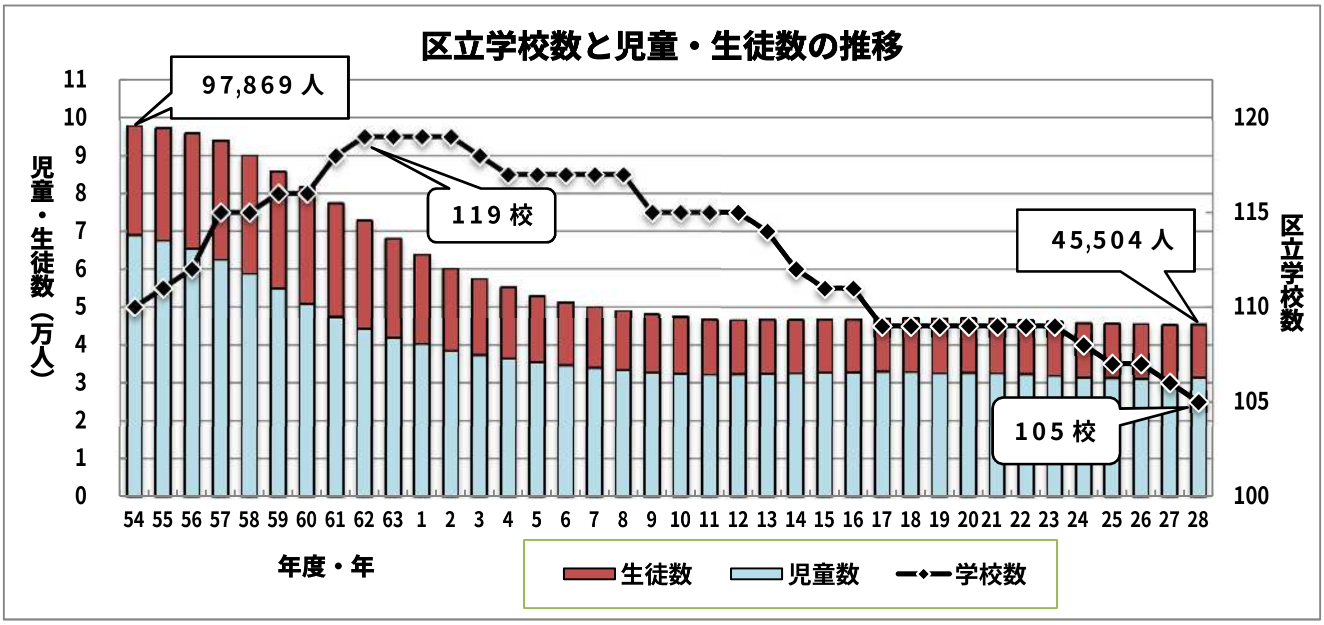
足立区教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、減少する児童・生徒数の状況を受けて、昭和 61 年 2 月に、東京都足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会（以下「審議会」という。）に対して、「区立小学校及び中学校の適正規模に関すること」および「区立小学校及び中学校の適正配置に関すること」を諮問しました。その後、昭和 63 年 2 月、審議会は教育委員会に対して、「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」（以下「昭和 62 年度の答申」という。）を答申しています。

この昭和 62 年度の答申後、教育委員会では、いくつかの計画を策定しながら、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。その中でも、平成 7 年 12 月に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」（以下「平成 7 年度の報告書」という。）は、平成 10 年度から平成 44 年度までの 3 期 35 年の長期計画でした。

前期 10 年が終了した後の平成 21 年度には、「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて－これからの 25 年を考える適正規模・適正配置のガイドライン－」（以下「平成 21 年度のガイドライン」という。）を策定し、今後の適正規模・適正配置事業の新たな指針を定めています。

中期 17 年の中間年度の平成２８年度から今年度にかけて、平成 21 年度のガイドラインからの取り組みを振り返り、学校を取り巻く環境に対応するための見直しを行いました。

なお、昭和 62 年度には小学校 80 校、中学校 39 校の合計 119 校の学校がありましたが、その後、小・中学校の適正規模・適正配置事業を進めてきた結果、平成 28 年度現在では、小学校 69 校、中学校 36 校の合計 105 校となっています。また、区立学校の児童・生徒数は、最も多かった昭和 54 年度と比較すると、児童数は 69,033 人から 31,434 人へ、生徒数は 28,836 人から 14,070 人へ減少しています。



◆　「昭和 62 年度の答申」以降の主な適正規模・適正配置に関する計画および統合等実施校

年度	区分	計画・報告書の名称および統合等を実施した小・中学校
昭和 62	計画	足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について(答申)
平成元	計画	足立区立小学校適正配置計画
平成 3	統合	千寿本町小学校の開校（千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合）
平成 4	統合	千寿桜小学校の開校（千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合）
平成 5	計画	足立区立学校の適正規模・適正配置ならびに改築計画について
平成 7	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書
平成 9	統合	桜花小学校の開校（花畑東小学校と桑袋小学校を統合） 西保木間小学校の開校（渕江第二小学校と竹の塚北小学校を統合）
平成 12	計画	千住地域の小・中学校の適正配置全体計画－改築・適正配置 5 ヵ年計画－
平成 13	統合	足立入谷小学校の開校（入谷小学校と入谷南小学校を統合）
平成 14	統合	千寿小学校の開校（千寿小学校と千寿第二小学校を統合） 千寿常東小学校の開校（千寿第四小学校と柳原小学校を統合）
平成 15	統合	千寿青葉中学校の開校（第三中学校と第十五中学校を統合）
平成 17	統合	千寿双葉小学校の開校（千寿第三小学校と元宿小学校を統合） 千寿桜堤中学校の開校（第二中学校と第十六中学校を統合）
平成 21	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて －これからの 25 年を考える適正規模・適正配置のガイドライン－
平成 22	計画	足立区立本木東小学校の適正規模・適正配置実施計画 －足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画－
平成 23	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -栗原小学校と亀田小学校の適正規模・適正配置実施計画- -第七中学校と第十中学校の適正規模・適正配置実施計画- 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -千寿第五小学校と五反野小学校の適正規模・適正配置実施計画-

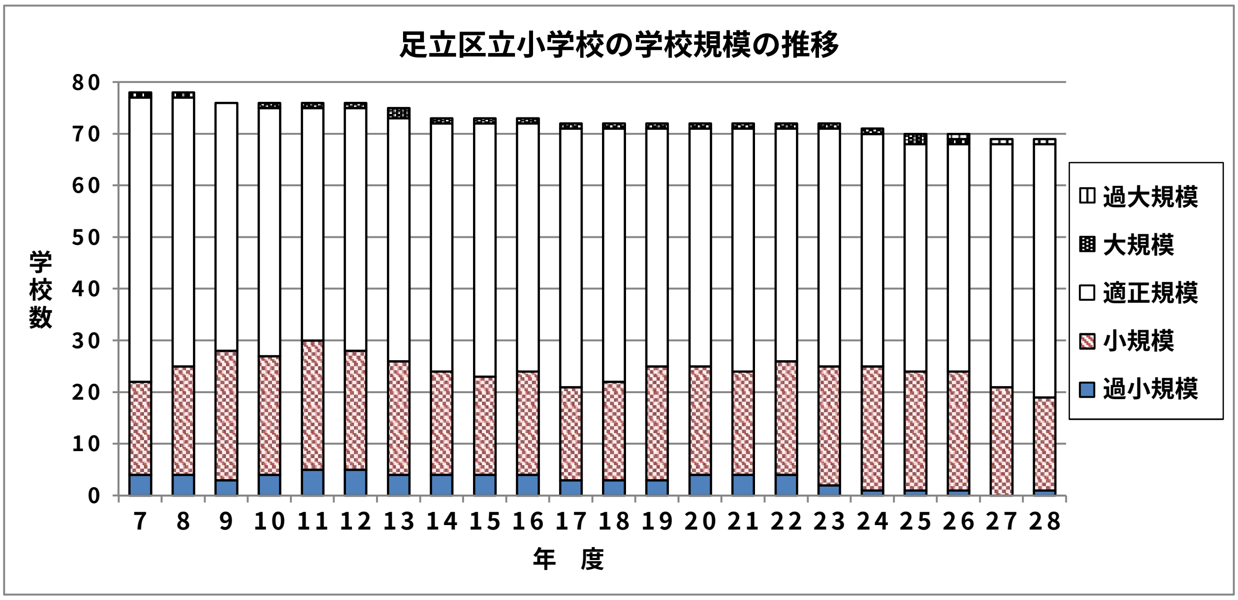
年度	区分	計画・報告書の名称および統合等を実施した小・中学校
平成 24	統合	本木小学校の開校（本木小学校と本木東小学校を統合）
	通学区域変更	栗原小学校と亀田小学校の通学区域を変更 第七中学校と第十中学校の通学区域を変更
	計画	足立区立小・中学校の施設更新計画 適正規模・適正配置事業の今後の取り組みエリアと施設更新計画との連動に関する方針
平成 25	統合	足立小学校の開校（千寿第五小学校と五反野小学校を統合）
	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -上沼田小学校と鹿浜小学校の適正規模・適正配置実施計画- 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -鹿浜中学校と第八中学校の適正規模・適正配置実施計画- 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -高野小学校と江北小学校の適正規模・適正配置実施計画(案)-
平成 26	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -上沼田中学校と江北中学校の適正規模・適正配置実施計画-
平成 27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校（上沼田小学校と鹿浜小学校を統合）
平成 28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校（鹿浜中学校と第八中学校を統合）
平成 29	統合	江北桜中学校の開校（上沼田中学校と江北中学校を統合）
予定	統合	新校開校予定（高野小学校と江北小学校を統合）

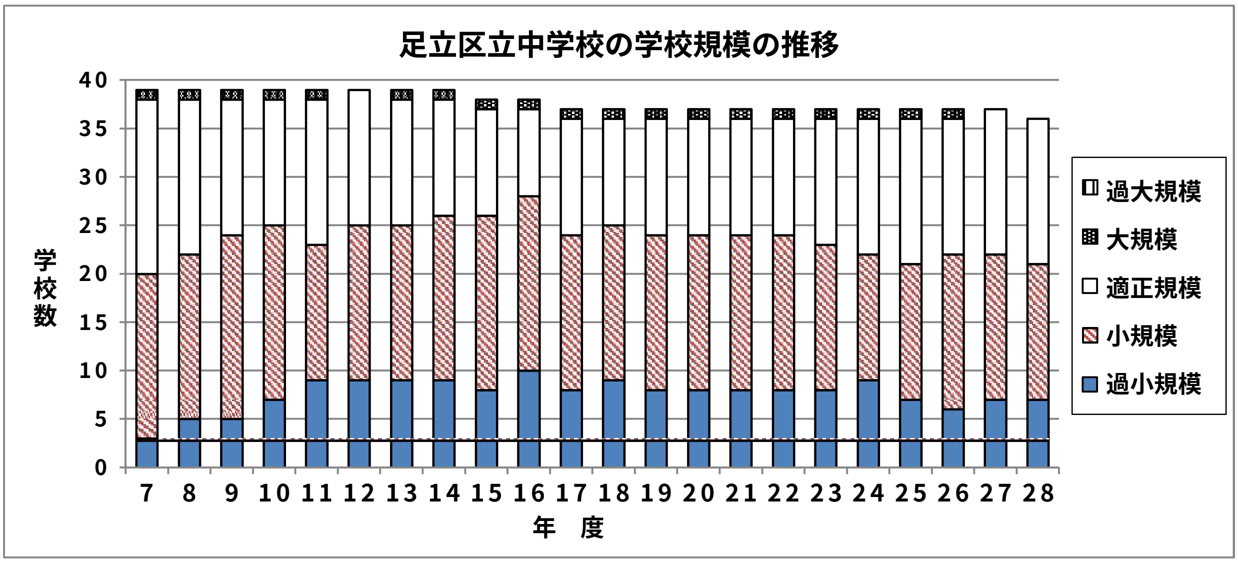
2　足立区立小・中学校の規模の推移と平成 28 年度の状況

平成 7 年度以降のデータによると、適正規模以外の学校は、増減を繰り返しながら、小学校 20～31 校、中学校 21～29 校の範囲で推移しています。

小学校は、平成 14 年度以降の千住地域を中心に実施した統合や、平成 24 年度以降の取り組みにより小規模校が減少しています。適正規模以外の学校は 69 校中 20 校、全体の 29.0%です。

中学校は、現在小規模化が顕著です。全体の 58.3%にあたる 36 校中 21 校が小規模以下の学校となっています。





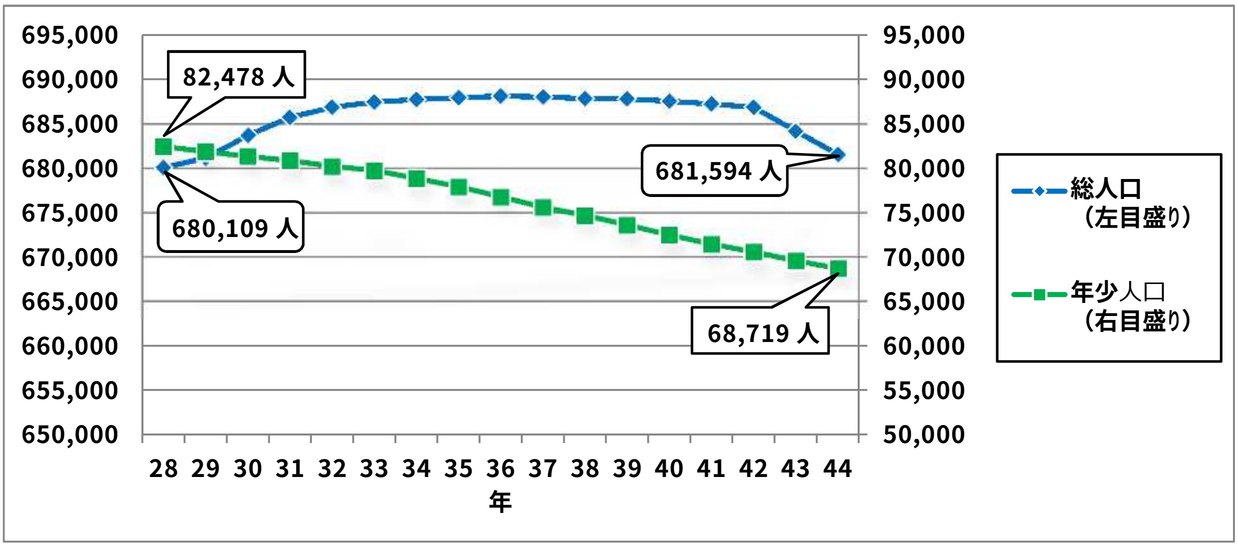
＊学級数、児童・生徒数の詳細データは、資料 3「平成 28 年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧」に掲載しています。また、学校規模の基準は、従来の基準により表示しています。

３　将来の区内人口と児童・生徒数の見込み

(1) 平成 44 年（35 年計画の最終年）までの人口推移

足立区の総人口（日本人及び外国人の計）は、平成 36 年の 688,161 人をピークに、その後は平成 44 年の 681,594 人まで減少していく見込みです。

年齢別人口推移のうち、年少人口（0～14 歳）は平成 28 年の 82,478 人をピークに、緩やかに減少し、平成 44 年には 68,719 人となる見込みです。



（平成 27 年人口推計(高位)より作成。なお、平成 28 年は 4 月 1 日現在の実居住者人口です）

(2) 平成 44 年の学校規模の見込み

平成 44 年度において、6～11 歳および 12～14 歳の通学区域内に住む子ども全員が通学区域校に入学すると仮定し、学校規模を割り出すと、小規模校が小学校では 37 校、中学校では 20 校にのぼる見込みです。（現在計画されている高野小学校と江北小学校の統合までを除きます）。

一方、現在の通学区域内の子どもが足立区立小･中学校以外の学校に通学する割合（以下「区立校以外通学割合」という。）は、小学校では 3.5%、中学校では 16.6%です。地域によってはその割合が 30～40%におよぶ地域もあります。この傾向が続いた場合、平成 44 年度までの中学校の小規模化は、この見込みよりもさらに上回る可能性があります。

＊区立校以外通学割合は、平成 28 年度児童数と生徒数を、平成 28 年 4 月 1 日付住民基本台帳上の 6 歳から 11 歳と 12 歳から 14 歳で除算して求めています。

4　他区との比較

(1) 足立区と児童・生徒数が同程度の区の状況

◆ 学校数及び児童・生徒数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

	自治体名	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
	足立区	69	31,159	36	13,798
1	大田区	59	28,632	28	10,928
2	世田谷区	63	34,107	29	10,460
3	練馬区	65	32,186	34	13,748
4	江戸川区	71	34,646	33	15,926

＊該当する区のみ表示しています。

小学校では、世田谷区は足立区より児童数が 2,948 人多く在籍していますが、学校数は 6 校少なくなっています。また、練馬区では、足立区より児童数が 1,027 人多く在籍していますが、学校数は 4 校少なくなっています。

中学校では、江戸川区は足立区より生徒数が 2,128 人多く在籍していますが、学校数は 3 校少なくなっています。また、練馬区では、足立区と同程度の生徒数ですが、学校数は 2 校少なくなっています。

＊各区、学校ごとに通学区域の形状や、幹線道路、河川の有無など条件は異なります。

第２章　足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

１　適正規模・適正配置の基本的な考え方

（1）適正規模の考え方

小・中学校は、「確かな学力の定着と向上」と、多様な「遊び・学び・体験」を通して、「豊かな心」と「健やかな体」を育む場所です。子どもたちが、毎日明るく、楽しく、元気に学び、遊べる環境を整えることは、学校教育の基本のひとつといえます。

また、多くの友人や教師とふれあいながら育まれる社会性や人間性は、将来社会に巣立つ子どもたちが必ず身につけなければならない「大切な生きる力」です。義務教育という大切な時期に、適正な児童・生徒数の集団生活の中で、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる教育環境を整えることが、子どもたちの学力向上と人間力の育成の両面において大切なことであると考えます。

一方、小規模な学校や学級の良い面もあります。児童・生徒一人ひとりに教員の目が行き届き、個に応じた学習指導・生活指導がきめ細かくできることです。これからは、適正規模化を第一に考えながらも、区独自の非常勤講師や民間教育事業者を活用した少人数指導や個別指導も併せて取り組んでいきます。

（2）適正配置の考え方

学校を適正な規模にしていくと同時に、小・中学校をバランスよく配置していくことが重要です。通学距離が不均衡となることで、子どもたちの通学時間に影響が生じることはもちろん、著しい長距離の通学によって、交通安全や防犯上の問題が発生します。

また、小・中学校は地域コミュニティの核となる施設のひとつであり、町会・自治会をはじめとする地域との連携・協働によって、より一層の教育指導や教育環境の向上が図られます。災害時の避難所施設となることなども考慮し、地域の特性や近隣の公共施設の配置状況などを総合的に判断しながら適正配置を進めていきます。

（3）地域コミュニティと通学区域

平成 21 年度のガイドラインでは、引き続き、統合により学校規模を適正にすることを優先し、統合または単独の改築・改修にあわせて周辺校の通学区域の変更を検討し、実施してきました。しかし、現在でも一部の学校では望ましい通学距離を超える通学区域が存在します。これは、地域と学校が協力して地域コミュニティを形成していることから、通学距離の基準を著しく超えない限り、許容範囲とします。また通学区域変更は、既に形成された地域コミュニティを分断する可能性を含んでいるため、地域や学校・保護者と調整を図る必要があります。

２　適正規模の基準の見直し

【適正規模の新基準】

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級 （標準児童数 340～760 人）	12～24 学級 （標準生徒数 370～840 人）

(1) 適正な学級数「12 学級から 24 学級」

小学校では、最低限クラス替えができる各学年２学級以上が必要であるため「1 学年 2～4 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4～8 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。

なお、学校教育法施行規則では、小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」を標準としています。ただし、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」と定められています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では「5 学級以下の学校と 12 学級～18 学級の学校を統合する場合には 24 学級までを適正とする」と定めています。このことから「24 学級まで」を適正規模であるとします。

(2) 適正な人数「小学校 340～760 人、中学校 370～840 人」

現在、足立区の１学級あたりの人数には東京都が定める基準を採用しています。１学級あたりの人数は、小学 1・2 年生と中学 1 年生が 35 人編成で、それ以外の学年は 40 人編成です。この点を踏まえ、１学級あたりの平均人数と適正な学級数、児童・生徒数を現状に合わせて変更します。

◆ 足立区の適正規模の考え方

	小学校	中学校
平成２８年５月１日現在の１学級の平均人数	29～32 人	31～35 人
適正な学級数	12～24 学級	
適正な児童・生徒数	29 人×12 学級＝348　340 人 32 人×24 学級＝768　760 人	31 人×12 学級＝372　370 人 35 人×24 学級＝840 人

(3) 適正規模以外の考え方

これまでの取り組みは、6 学級以下の過小規模校の解消に重点を置いてきました。

しかし、学校の適正規模は一つの学校だけの問題ではなく、地域全体の問題として考える必要があります。また、6 学級以下の学校であっても、その地域全体で子どもが増える可能性があれば、直ちに統合の検討に入るのではなく、その後の推移を見守っていくなど、柔軟な対応が必要です。

以上のことから、今後は過小・過大という表現を改め、適正規模に満たない学校はすべて小規模校とし、超える学校はすべて大規模校とします。

３　適正配置の基準の見直し

【適正配置の新基準】

	小学校	中学校
通学時間	おおむね 30 分以内	
通学距離	おおむね 1,200m以内が望ましい	おおむね 1,800m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせ、1 中学校あたり 2～3 の小学校が望ましい。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として従来の 13 ブロック、町丁目の区域、町会・自治会の区域をできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道４号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

上記の通学時間、通学距離は個人差や気象条件、道路条件などに左右されます。そのため、平均的な児童・生徒の歩ける時間と距離として、あくまでも目安ととらえて運用していきます。

(1) 適正な通学時間の目安「おおむね 30 分以内」

これまでは、通学距離、通学区域、通学路について基準を定めてきました。今回の見直しでは、より具体的な基準とするため、一般的に子どもが通学にかけられる時間を、目安として新たに定めます。

そこで、内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都内の学校の通学時間の調査、足立区の学校の登校時間などを勘案し、通学で使える時間は 30 分から 40 分という結果が得られました。このことから、通学時間は「おおむね 30 分以内」を一つの目安とします。

なお、国においても、通学距離に加えて通学時間を定める動きがあります。中央教育審議会の作業部会では「距離と時間を併用するということも考えられるのでは」という意見や、文部科学省が平成 27 年に定めた手引きでは、「おおむね 1 時間以内を一応の目安」と明示しています。

(2) 適正な通学距離の目安「小学校は、おおむね 1,200m 以内、中学校は、おおむね 1,800m 以内」

新たに設けた、通学時間「おおむね 30 分以内」という基準から、30 分で子どもが歩ける距離を求め、新たな距離の基準とします。

子どもの歩く速さに関するデータを基にして、その中でも比較的遅く歩いた場合の速度である、小学生は分速 40m、中学生は分速 60m を採用します。

その結果、小学生は「分速 40m で 30 分歩くとおおむね 1,200m 進む」、中学生は「分速 60m で 30 分歩くとおおむね 1,800m 進む」ことができます。

実際の通学路は、学校ごとに道路条件や地形によって状況が異なります。そのため、通学距離の基準は、自宅から学校までの直線距離で測って設定しています。この基準は、今後も通学路が著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

なお、基準を定めている他区では、小学校では 1km から 1.5km 程度、中学校では 1.5km から 2km 程度としており、足立区の基準が著しく長距離ではないことがわかります。

４　通学路の安全対策

子どもたちが安心して学校に通うためには、通学路の安全対策が欠かせません。現在も各学校では、PTA や地域のみなさまのご協力による声掛けや交通誘導のほか、通学路合同点検や、防犯カメラの設置などの取り組みが行われています。

特に通学路合同点検では、各関係機関が一堂に会して現地調査を行っており、通学路全体の安全対策の基礎となっています。また、平成 26 年度からは順次、通学路上に防犯カメラを設置し、保護者からは「安心感が増した」という声や、町会・自治会からも、犯罪抑止に大変効果があると評価されています。

学校の統合が行われると、通学する校舎の変更のため、在学中に通学路が数回変わります。通学路の変更に伴う子どもたちの不安を出来る限り取り除き、また、保護者の心配を軽減できるよう、これまでの取り組みに新たな対策を追加します。

(1) これまでの安全対策

① 通学路合同点検の実施

ア．参加者　PTA、開かれた学校づくり協議会、学校、警察、道路管理者、教育委員会など。

イ．実施概要　交差点改良（ガードパイプや歩道、外側線の調整）、歩行者用信号の横断可能時間の延長、横断歩道の新設や移転、路面表示・グリーンベルトの施工、スクールゾーン規制の新設など。

② ＰＴＡ及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方による見守りや、通学路安全マップの作成

③ 交通安全教室の実施・青パトによる巡回

④ 学童擁護員による通学指導

⑤ 防犯カメラの設置

ア．設置場所　通学路のうち、犯罪抑止に効果的な場所（公園付近など）

イ．設置台数　各校５台、平成 30 年度までに全校に設置

(2) 新たな安全対策

① *学童擁護員を増員し、支援を行います。

ア．配置場所　　統合等により新たに設けた通学路のうち、通学路合同点検などで危険と判断した場所に配置します。

イ．配置時間　　登校時 1 時間、下校時 3 時間を上限に必要な時間配置します。

ウ．配置箇所数　1 校につき原則 3 か所以内とします。

② *スクールガードボランティアの募集を行います。

ＰＴＡ及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方が実施している見守りについて、スクールガードボランティアとして登録し、物品の貸与やボランティア保険の適用など活動の支援を行います。

③ *小学校登下校システムの設置（メール配信サービス）

児童の登下校を、保護者に電子メールでお知らせするサービスを、モデル校に導入します。モデル校での検証を経て、今後の統合校に導入していきます。

④ *防犯カメラを増設します。

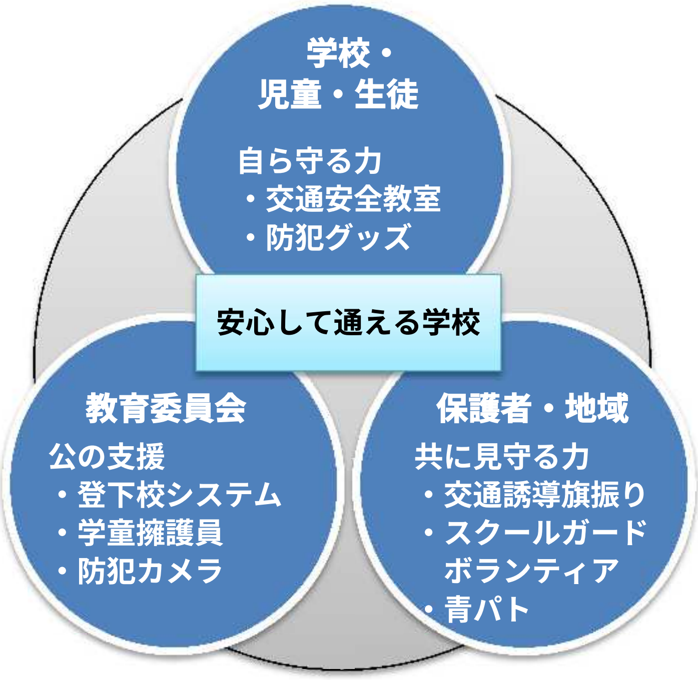
統合に伴い距離が延びる通学路に、通常 5 台（東京都補助台数）に上乗せして防犯カメラを設置します。

⑤ *交通安全グッズ（反射板等）を配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整えます。

⑥ 下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高めます。

⑦ 登校班の編成を促していきます。

*印の取り組みについては、統合校で実施します。



第３章　施設更新に関する方針

１　これまでの取り組み

(1) 平成 7 年度の報告書の進捗状況

平成 7 年度の報告書では、学校改築に際しては、築後 50 年を経過しない範囲で行うことや、財政的に多大な影響を及ぼすため、改築対象校の前倒しによる平準化を図っていました。

具体的な年次計画は、昭和 62 年度以降に建設された小・中学校各 2 校を除き、前期 10 年が年 2 校、中期 17 年が年 3 校、後期 8 年が年 1～2 校とし、小学校 58 校、中学校 27 校を改築する計画となっていました。

① 事業計画の期間や実施した校数等

◆ 事業期間と改築対象とした学校数

区分	期間	改築対象とした学校数	
		小学校	中学校
前期 10 年	平成 10 年度～平成 19 年度	18 校中 12 校	11 校中　8 校
中期 17 年	平成 20 年度～平成 36 年度	49 校中 38 校	19 校中 13 校
後期　8 年	平成 37 年度～平成 44 年度	9 校中　8 校	7 校中　6 校
昭和 62 年度以降に建設された学校（計画対象外）		2 校	2 校

◆ 実施校

・単独改築校

小学校：梅島小学校、島根小学校、西新井小学校、新田小学校、加平小学校、伊興小学校、関原小学校、千寿小学校（予定）

中学校：第一中学校、新田中学校

・統合に伴う改築校

小学校：千寿双葉小学校、本木小学校、足立小学校、鹿浜五色桜小学校（予定）

中学校：千寿桜堤中学校、鹿浜菜の花中学校（予定）

２　施設更新の基本的な考え方

(1) 学校施設の耐用年数「65 年から 82 年程度」

① これまでの考え方

学校改築については、建築後 50 年を経過しない範囲で実施することを基本的な考え方とし、50 年を経過しない範囲での実施が困難な場合には、保全工事を実施して安全性を担保するとしていました。施設更新年数の目安を 50 年とした根拠は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（財務省）」です。しかし、この耐用年数は、税法上の建物の財産価値について、恣意性を排除し画一的に扱うため法令上定めた対象資産の取得価値を費用配分する期間であり、建物の寿命を示すものではありませんでした。

② 今後の考え方

・昭和 40 年代半ばまでに建設した学校は 65 年程度とします。
・平成 10 年代半ばまでに建設した学校は 82 年程度とします。
・新耐震構造基準（昭和 56 年）に適合した建物及び近年の躯体強度の高い建物については、コンクリート強度に応じた供用限界期間を参考にします。

今後は、建物のコンクリート耐久設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とします。具体的な期間は、学校のコンクリート強度により個々に判定します。この年数は、構造体及び部材の要求性能を示し、設計・施工の目標を明確にした「構造体の総合的耐久性（日本建築学会）」（耐久設計基準強度（コンクリート圧縮強度）と耐久性関係を示す）に基づくものです。

また、供用限界期間は、その年数までに建物保全を行わなかった場合と定義しており、期間内に適切に保全工事を実施することにより、さらに寿命を延ばすことができるとされています。

学校の整備は、昭和 50 年代に入り学齢人口が増加したことに伴い、小・中学校 21 校を新設するとともに、既設校についても当初の規模に加えて増築を行ってきた経過があります。近年、開発により人口が急増した地区の学校では、現在も校舎の増築を実施しています。このように、順次拡張をした学校には建設年次や使用したコンクリート強度が異なる複数の校舎が存在します。さらに、大規模改修（リニューアル工事）は 7 校で実施しました。

改築目標年次は、原則として、最初に建設した校舎のコンクリート強度による耐用期間満了時とします。ただし、大規模改修（リニューアル工事）の実施、改築対象校の集中等により、耐用年数を超えて学校を使用する場合は、保全工事はもとより、躯体コンクリートの劣化状態を検査し、安全性を担保し建物の長寿命化を図ります。

一方、躯体の構造強度が確保されてはいても、校舎の状態は、立地や方位、管理・使用状況等により、必ずしも一律とはいえない側面もあります。そのため、各学校の建物の経過年数を考慮しつつも、改築経費と個々の学校の機能更新や保全等に係る改修経費を比較した上で、個別に改築時期の検討を行っていきます。

◆ **構造体の総合的耐久性（日本建築学会）**

計画供用の級	計画供用期間	耐久設計基準強度	供用限界期間
① 短　期	およそ　30 年	18N／mm^2	およそ　65 年
② 標　準	およそ　65 年	24N／mm^2	およそ 100 年
③ 長　期	およそ 100 年	30N／mm^2	およそ 200 年
④ 超長期	およそ 200 年	36N／mm^2	-

◆ **今後の耐用年数の考え方**

耐久設計基準強度	耐用年数
18N／mm^2	65 年
21N／mm^2	82 年
24N／mm^2	100 年
27N／mm^2	150 年
30N／mm^2	200 年
33N／mm^2	-
36N／mm^2	-

＊日本建築学会が定めた構造体の総合的耐久性の 4 区分に、各区分の中間数値を追加した 7 区分とします。

＊各学校の建築年次、耐久設計基準強度は、資料 4「足立区立小・中学校の建築年次一覧」に掲載しています。

(2) 施設更新の実施基準

①　改築は、原則として「建築年次の古い順」とします。

②　新耐震構造基準（昭和 56 年）に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用します。また、統合が伴った場合も、長期使用可能な建物強度を有するため、原則使用します。さらに、耐用年数に達していない小・中学校についても同様とします。

③　改築は、原則「ＲＣ造（鉄筋コンクリート造）」としますが、周辺や立地、敷地の状況等により「Ｓ造（鉄骨造）」及び「ＳＲＣ造（鉄骨鉄筋コンクリート造）」を適宜取り入れます。

＊統合の実施、周辺の公共施設整備や施工時期、社会情勢等に伴い、実施年次の調整や停止を行う場合があります。

（3）保全工事の実施基準

①　保全工事は、原則として「改築目標年次まで、10 年を超える学校」を対象とします。

②　保全工事は、施設の長寿命化を目的とする関連工事（内外装・給排水・空調・受変電設備・小荷物専用昇降機等）を中心に実施します。

③　保全工事の内容は、各学校の施設状況に応じて判断します。

④　環境の向上を図るため、保全工事のうち、耐用年数満了となる空調設備の入れ替え及びトイレ改修を進め、新校との平準化に早急に取り組んでいきます。

（4）特別支援教室の設置

発達障がいの児童・生徒への支援について、平成 16 年 12 月に公布された発達障害者支援法第 8 条において、国及び地方公共団体は、「適切な教育的支援、支援体制の整備その他必要な措置」を講じる責務が規定されました。また、平成 19 年 4 月の学校教育法の一部改正では、従来の「特殊教育」から「特別支援教育」への転換が図られ、特別支援教育の対象が、知的障がいのない発達障がいの児童・生徒にも拡大され、全ての学校において特別支援教育を実施するものとなりました。さらに、平成 22 年 11 月に策定された東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画において、全ての小・中学校に特別支援教室を設置する基本的な考えを示しました。

区では、この計画に基づき、平成 28 年度から特別支援教室を順次導入し、平成 30 年度までに全ての小学校に設置します。また、中学校においては現在、都内 4 区市で特別支援教室モデル事業を実施しているため、状況を注視しながら柔軟に対応できるよう準備を進めていきます。なお、教室整備については、専用スペースを設けて指導を行う場合や空き教室、図書室、特別支援学級などの既存スペースを活用する場合もあります。各学校の教室の空き状況や指導児童数に応じて施設の整備に取り組んでいきます。

＊特別支援教室とは、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れのない発達障がいや、情緒障がいのある児童のための教室です。

３　施設更新にかかるコスト試算と計画の連動

学校の施設更新は、大きな財政負担を伴います。特に、昭和 30 年代から 50 年代にかけて、集中的に建てられた学校の多くが施設更新時期を迎え、その負担も大きくなります。そのため、平成７年度の報告書では、改築対象校の前倒しによる平準化を図っていました。

しかし、近年建築コストの急騰や、学校に求められる施設の変化など、社会情勢が大きく変わってきました。これらに対応するため、施設更新費用の試算を行い、より現状に合わせた計画的な施設更新を実施していく必要があります。また、今後の維持管理経費が財政に与える負担を軽減させるためにも、統合による総量縮減も必要となります。

（1）延べ床面積の見込み

平成 28 年度の学校の延べ床面積は 698,099 ㎡です。

学校数は、小学校 69 校、中学校 36 校、合計 105 校です。

新築校舎の床面積は、近年改築を行った学校の標準的な面積である、小学校 8,000 ㎡、中学校 12,000 ㎡で試算します。

① 105 校すべて改築した場合

小学校 69 校	×	8,000 ㎡	＝	552,000 ㎡	⇒ 延べ床面積
中学校 36 校	×	12,000 ㎡	＝	432,000 ㎡	**984,000 ㎡**

② 統合による学校数の減と改築を組み合わせた場合

学校数は、第４章で求める「将来の子どもたちに必要な学校数」とします。

小学校 60 校、中学校 25 校で試算します。

小学校 60 校	×	8,000 ㎡	＝	480,000 ㎡	⇒ 延べ床面積
中学校 25 校	×	12,000 ㎡	＝	300,000 ㎡	**780,000 ㎡**

(2) コスト試算と施設更新計画

足立区の公共施設の建替え・改修にかかるコスト試算は、平成 28 年４月に発行した「足立区施設白書」（以下「平成 28 年施設白書」という。）で行っています。しかし、平成 28 年施設白書で採用した総務省のコスト試算条件の単価と、区の建替え実績による単価では、現在の建築単価と比較してかい離がみられます。そのため、学校の建築単価を新たに設定し、さらに年間管理運営費や今後発生が見込まれる保全経費等も含めて試算しました。

① 試算条件

ア．平成 28 年施設白書（抜粋）…… 次ページ②のグラフ

◆ 建築時より 30 年後に大規模改修を行い、60 年間使用して建替えます。

◆ 建替え、大規模改修時の単価設定

	建替え	大規模改修
学校教育系	33 万円／㎡	17 万円／㎡

イ．新たに設定した単価 …… 次ページ③～⑤のグラフ

◆ 設計基準強度より求めた耐用年数で建替えます（65 年、82 年)。

◆ 改築には、建設費、解体費、仮設校舎設置費、設計委託費を含みます。

◆ 保全にかかる経費は、年 19.5 億円で設定し、管理運営費に含みます。

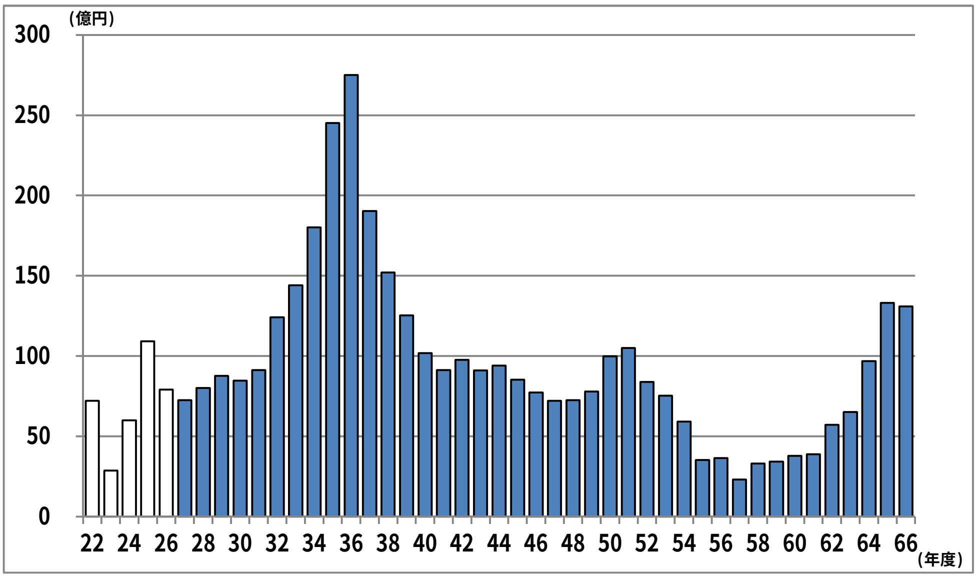
◆ 今後発生する空調設備の入れ替え及びトイレ改修経費は、発生が見込まれる年の年間管理運営費に加算します。

◆ 改築、年間管理運営費等の単価設定

	改築	年間管理運営費等
小学校	48.6 億円	94.5 億円 （1 校 9,000 万）
中学校	68.1 億円	

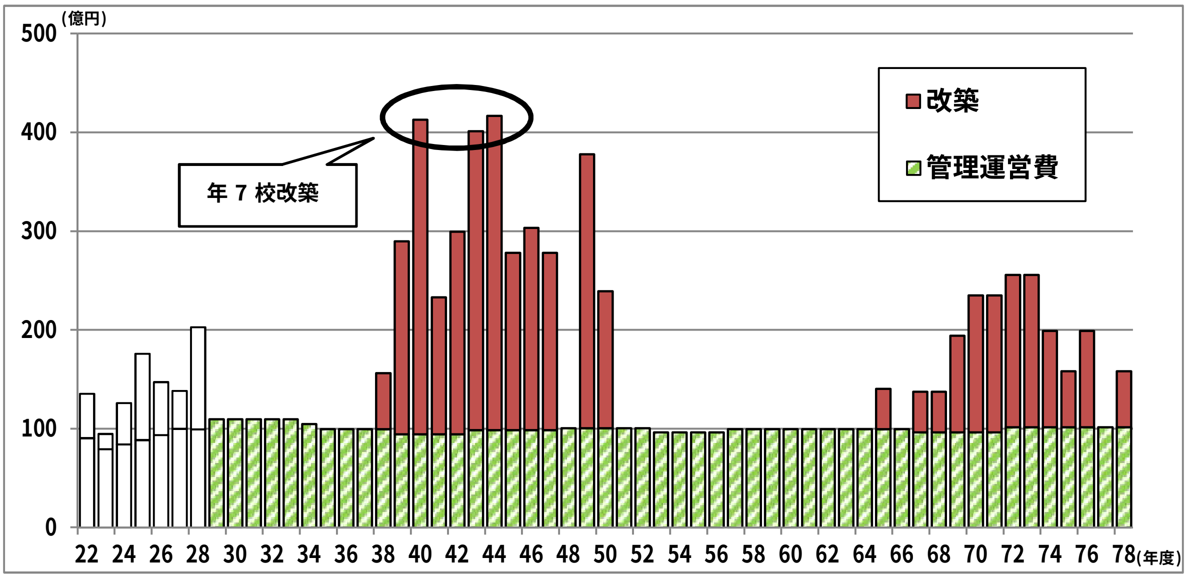
＊ 現在は、改築単価が高騰しています。今回のコスト試算では、平成 33 年度以降、建設費に 0.8 を乗じて試算していますが、今後単価変動については、注視していく必要があります。

② 平成 28 年施設白書「学校教育施設の建替え・改修にかかるコスト試算」



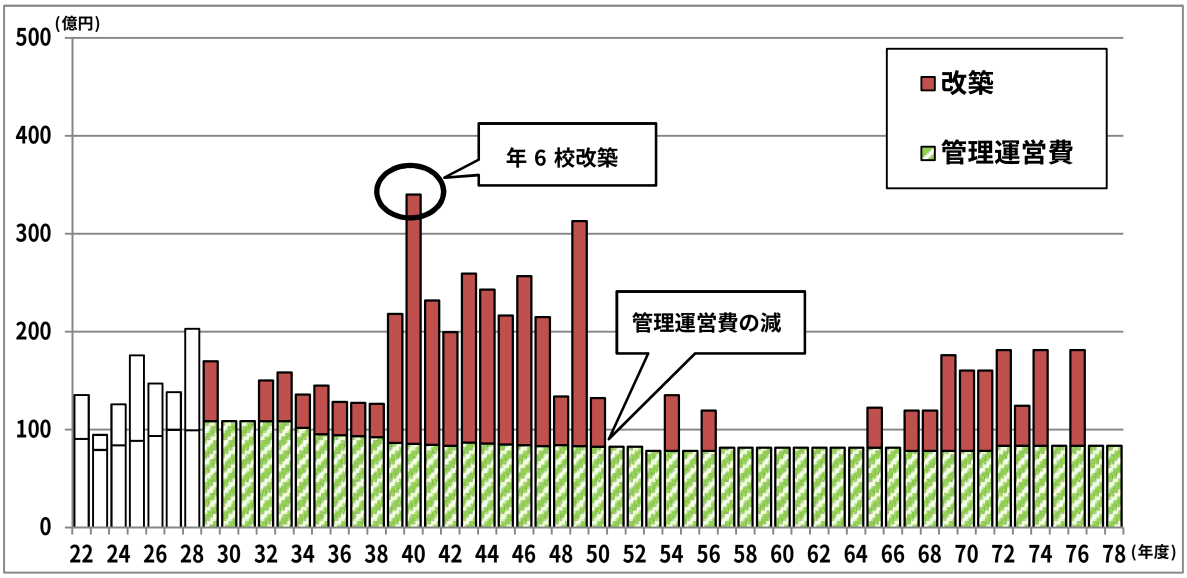
平成 28 年施設白書より抜粋（一部加工）

③ 供用限界期間が満了した時点で改築する場合



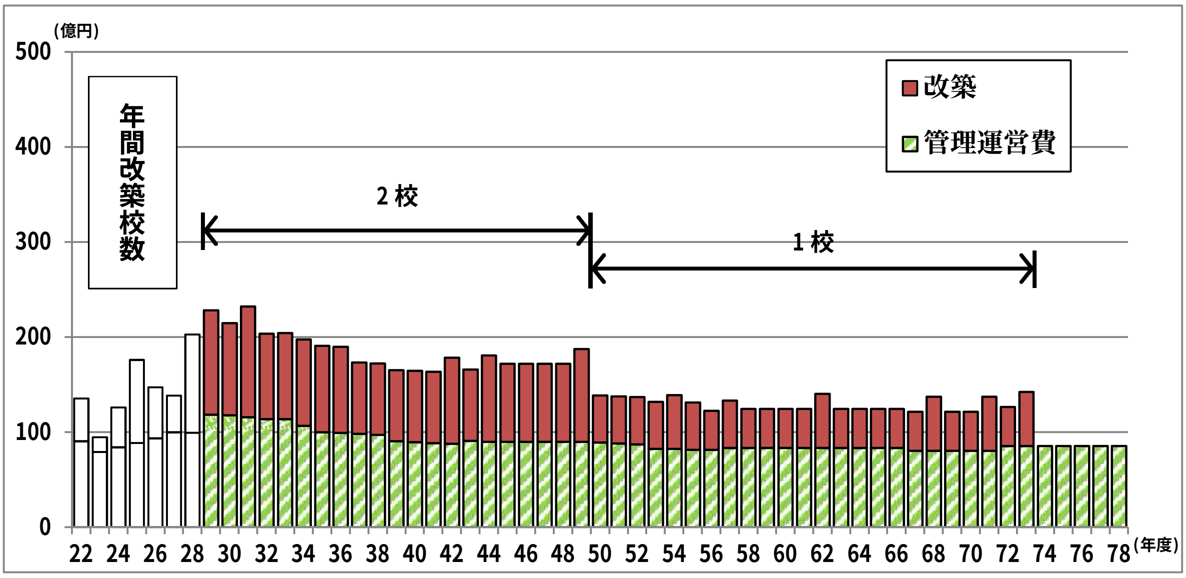
設計基準強度より求めた供用限界期間が満了した時点で改築すると、このようなグラフになります。昭和 40 年代に建てられた学校の多くは、65 年目で改築を迎えるため、平成 40 年代に集中しています。この中でも、平成 40 年度、43 年度、44 年度には 7 校同時に改築時期を迎えます。また、昭和 50 年代に建てられた学校の多くは、82 年目で改築を迎えるため、平成 70 年代に集中しています。

④ ③の条件に加えて、統合による総量縮減を図った場合



統合による学校数の縮減と、それに伴い改築時期を前倒ししたことにより、平成40 年代に集中していた改築校数が減少しました。また、統合により管理運営費が減少しました。平成 50 年度までに 20 校統合すると想定した場合、平成 28 年度と比べて、年 18 億円の削減効果が見られます。

⑤ ④の条件を、改築の前倒しによる平準化を図った場合



④で想定したスケジュールを、改築時期を前倒しして平準化すると、このようなグラフになります。平成 49 年度までは年 2 校の改築が必要となり、その後は年 1 校の改築となります。また、供用限界期間が満了する学校が多く見られる年は、統合を先送りし、単独改築を優先しています。

(3) 適正規模・適正配置事業と施設更新計画の連動

子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送るため、学校改築や保全工事による施設整備と、適正規模化による環境整備が欠かせません。

しかし、施設整備には大きな財政負担が伴います。さらに、扶助費の増加等による財政制約が強まる状況の中、財源確保が困難になっています。

そのためには、管理運営コストや建築コストを縮減し、そこから生み出される財源を活用していくことが望まれます。

① 年間管理運営費と将来負担の減

管理運営コストを縮減するためには、統合により学校数を適正化し、1 校あたりの年間管理運営費を縮減する必要があります。さらに、将来の維持管理経費や建築コストを縮減するため、床面積を減らす必要があります。しかし、現在の学校施設は、習熟度別少人数指導や中学校における武道の必修化など多様化する教育プログラムに対応するため、1 校あたりの床面積は増加傾向にあります。そのためにも、学校数を適正化していくことが重要です。

② ２つの計画の連動

平成 24 年度に策定した「足立区立小・中学校の施設更新計画」では、「適正規模・適正配置事業」と「施設更新計画」を、これまで以上に連動させることで、将来に向けてより良い教育環境の創造を目指していくとしています。今後も、学校規模の適正化による総量縮減と、改築時期の前倒しによる平準化により、計画的な施設更新を行っていきます。

第４章　今後の取り組みの方向性

１　将来の子どもたちに必要な学校数

平成 7 年度の報告では、当時の住民基本台帳人口等から算出した結果、小学校 60 校、中学校 29 校が改築対象として残る学校数としています。また、平成 21 年度のガイドラインでは、計画最終年の平成 44 年の人口推計から、小学校は最大 60 校、中学校は最大 29 校が必要であるとしています。

今回は、平成 28 年度の状況を基本に、平成 21 年度のガイドラインの算出方法に区立校以外通学割合を加味し、平成 44 年の将来人口推計（高位）から必要とする学校数を算出します。

◆ 基本的な考え方

予測数値をもとに、区の適正規模の基準である 12 学級以上 24 学級以下のうち、「15 学級」と「18 学級」の 2 つの場合で必要校数を試算します。

また、平成 28 年度現在、東京都では小学 1・2 年生と中学 1 年生が 35 人学級、それ以外の学年は 40 人学級の編成です。新たなガイドラインは長期的な視野が必要であるため、現行制度での試算と全学年が 35 人学級の場合の 2 パターンの試算をすることとします。

◆ 算出に用いる基礎数値

① 平成 44 年の児童数は 27,075 人、生徒数は 14,017 人で推計します。

② 平成 28 年度区立校以外通学割合は、小学校 3.5%、中学校 16.6%です。

③ 現行制度の 1 クラスの平均人数は、小学校 30.52 人、中学校 33.65 人で計算します。

④ 35 人学級の 1 クラスの平均人数は、小学校 29.12 人、中学校 31.43 人で計算します。

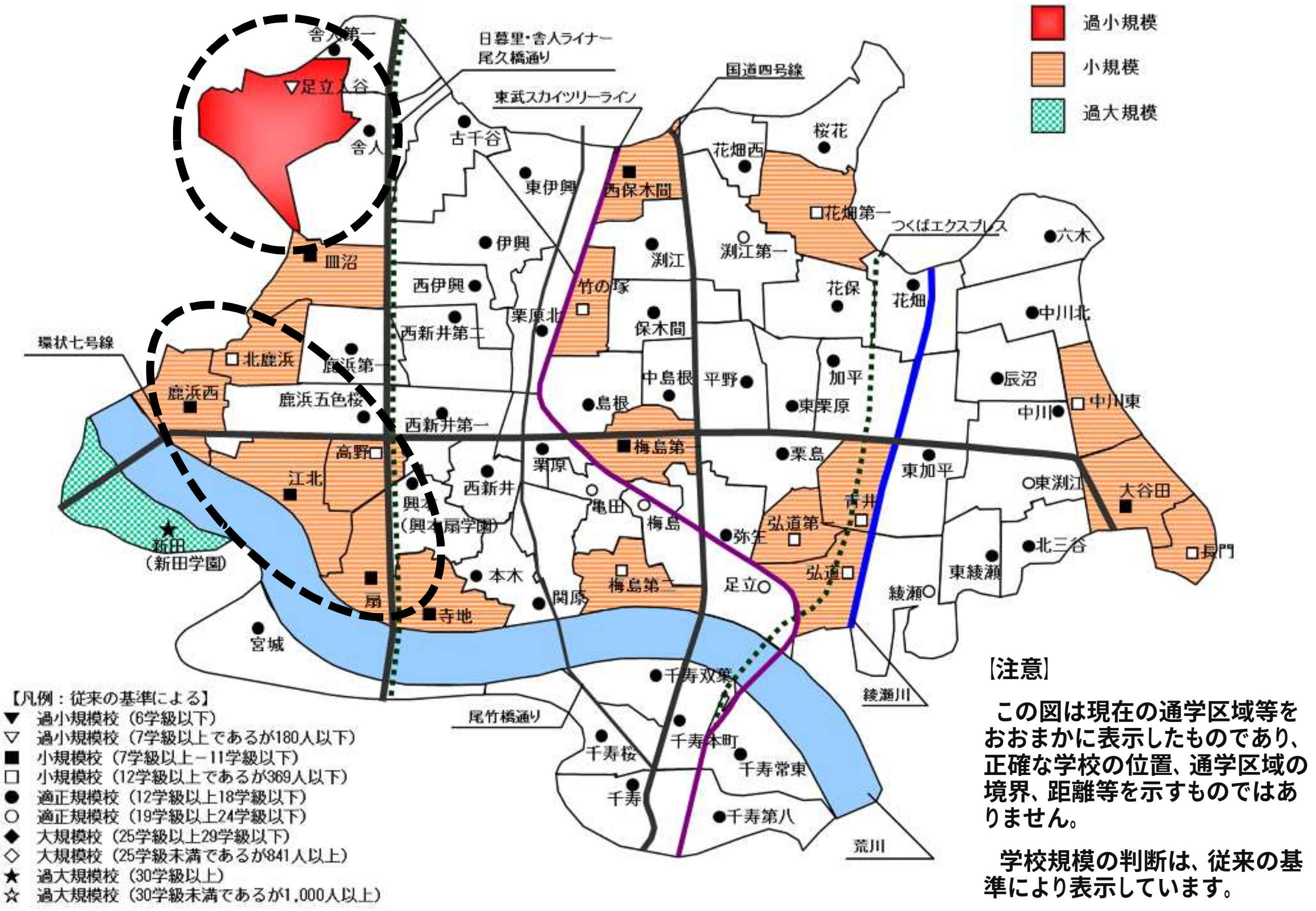
◆ 基礎数値を基にした学校数の試算

学校／数値	現行制度の場合				35 人学級の場合			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
平成 44 年の推計人数	27,075 人		14,017 人		27,075 人		14,017 人	
区立校以外通学割合控除後	26,127 人		11,690 人		26,127 人		11,690 人	
1 学級の平均人数	30.52 人		33.65 人		29.12 人		31.43 人	
必要な学級数	857 クラス		348 クラス		898 クラス		372 クラス	
学級数	15	18	15	18	15	18	15	18
学校数	58 校	48 校	24 校	20 校	60 校	50 校	25 校	21 校

以上の結果から、平成 44 年に必要となる区立学校数は、小学校が最大で 60 校・最少で 48 校、中学校が最大で 25 校・最少で 20 校が必要であると予測されます。

２　学校規模の視点

（1）小学校の学校規模の特徴（平成 28 年 5 月 1 日現在）

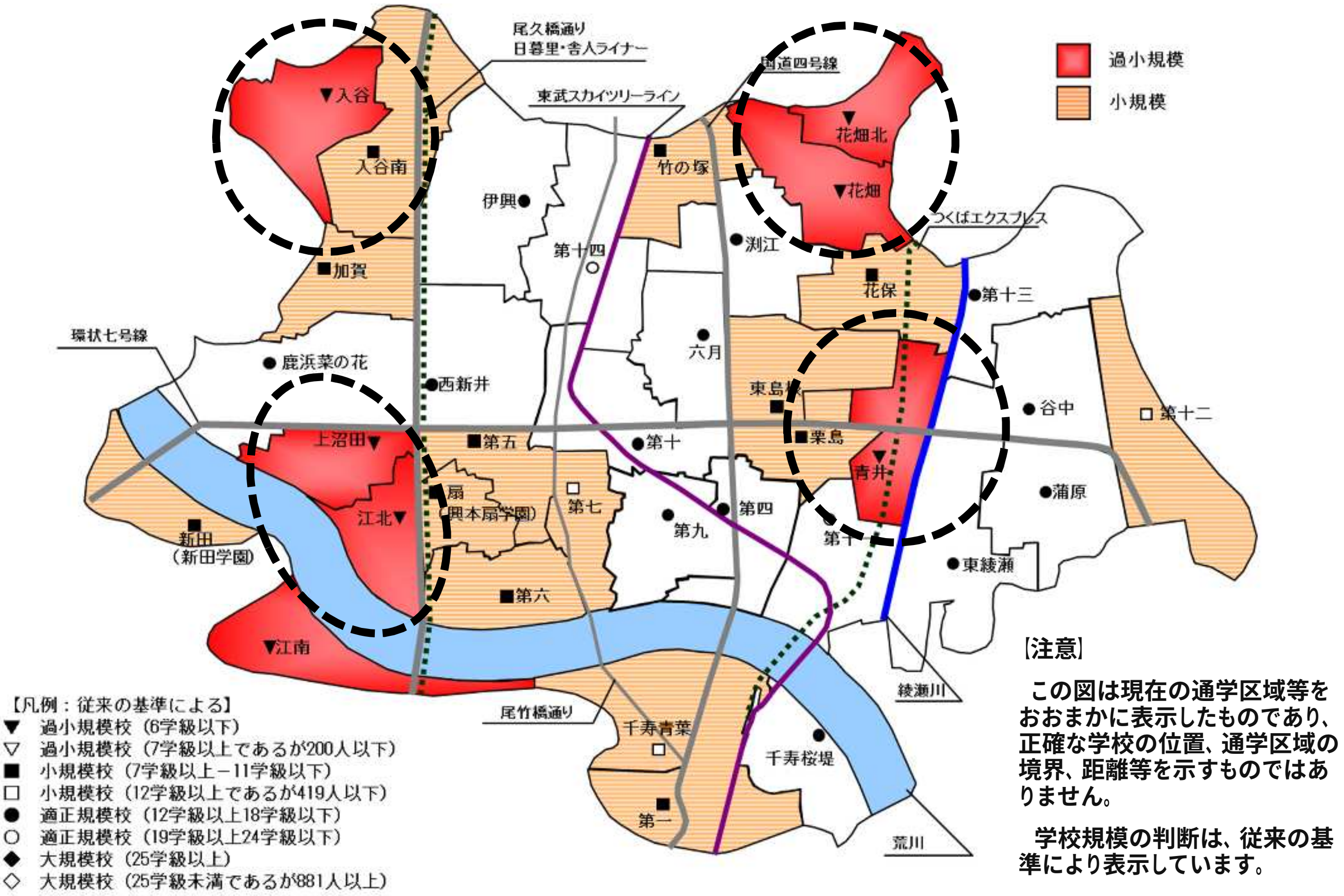


入谷・鹿浜・江北エリアに小規模校が点在しています。

６学級以下の学校は統合により学校規模の適正化を図りました。しかし、今後も単学級規模または単学級以下となる可能性のある学校が足立入谷小学校をはじめとして、特に西部地域に点在しています。西部地域の小規模傾向を改善するためにも、江北エリアの高野小学校と江北小学校の統合とともに、入谷エリア・鹿浜エリアの小学校の統合を検討していく必要があります。

＊小学校の学校規模の推移は、資料 8「足立区立小学校の学校規模の推移（平成 25 年度～平成 27 年度)」に掲載しています。また、学校規模の判断は、従来の基準により表示しています。

（2）中学校の学校規模の特徴（平成 28 年 5 月 1 日現在）



江北エリアと入谷エリア、花畑エリアと青井エリアに小規模化が見られます。

鹿浜中学校と第八中学校を統合して、鹿浜菜の花中学校が開校しました。これにより、鹿浜地域の中学校の適正規模化を図りました。

一方で、江北・入谷・花畑・青井エリアの小規模化が進んでいます。江北エリアでは平成 29 年 4 月 1 日に、上沼田中学校と江北中学校を統合して、江北桜中学校が開校し、適正規模化が図られる予定です。入谷エリアでは、入谷中学校が 5 学級、入谷南中学校が 9 学級になっています。花畑エリアでは、花畑中学校が 5 学級、花畑北中学校が 6 学級になっています。青井エリアでは青井中学校が 5 学級です。なお、花畑エリアの周辺校の竹の塚中学校と花保中学校、また青井エリアの周辺校の東島根中学校、栗島中学校にも小規模傾向が見られます。

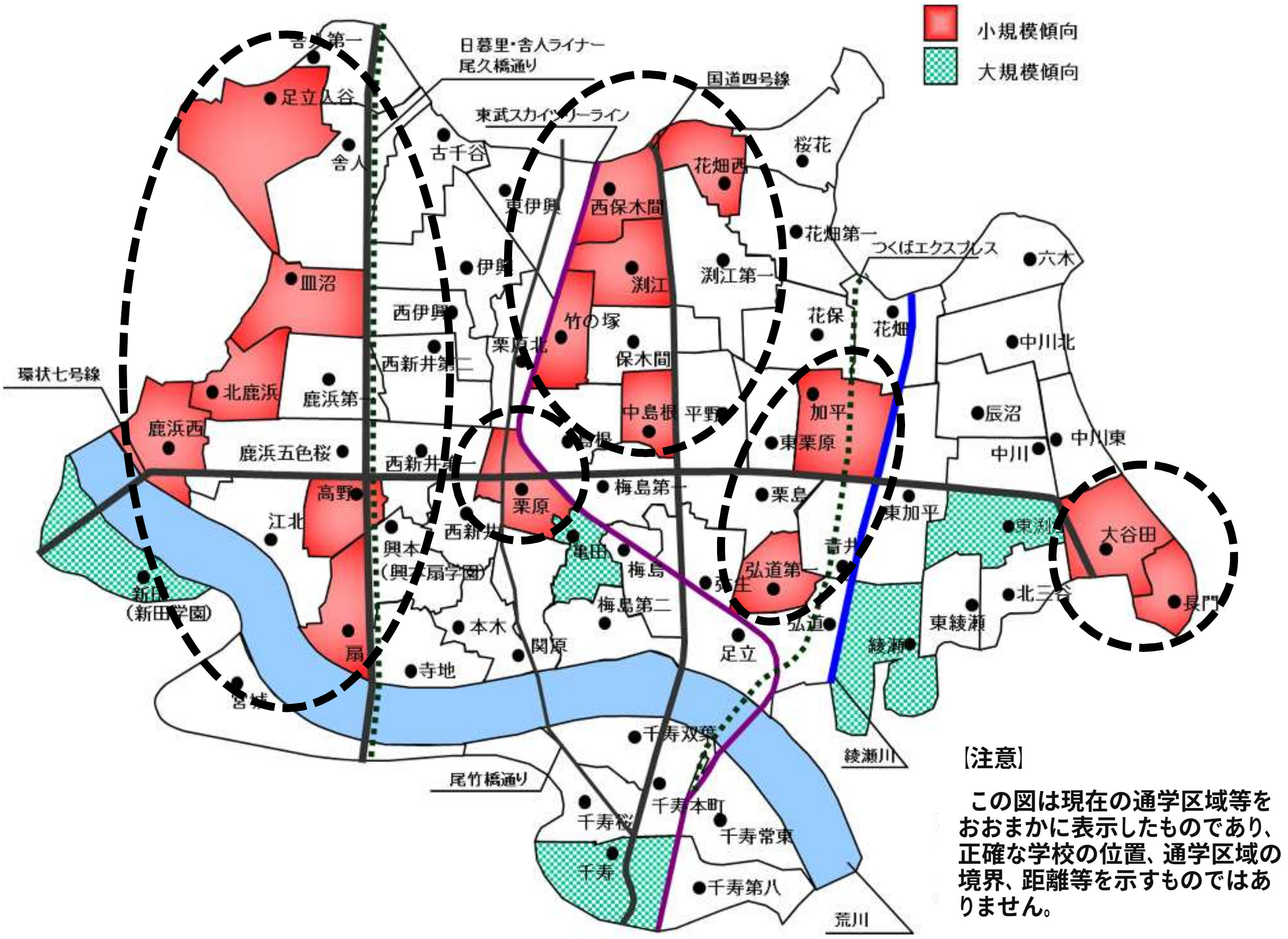
いずれの地域も、複数校で小規模傾向が続いているため、周辺地域を一体的にとらえた対策が必要です。

＊中学校の学校規模の推移は、資料 9「足立区立中学校の学校規模の推移（平成 25 年度～平成 27 年度)」に掲載しています。また、学校規模の判断は、従来の基準により表示しています。

３　年少人口の視点

区内には約３３ヘクタールの生産緑地があり、平成３４年以降に順次、指定後３０年を経過します。これらが短期間に集中して宅地化された場合、エリアによっては小学校及び中学校の入学前人口の増減に影響を及ぼす可能性があります。また、工業系地域等において大規模な住宅開発があった場合も同様です。こうしたエリアは、年少人口の動向を注視していきます。

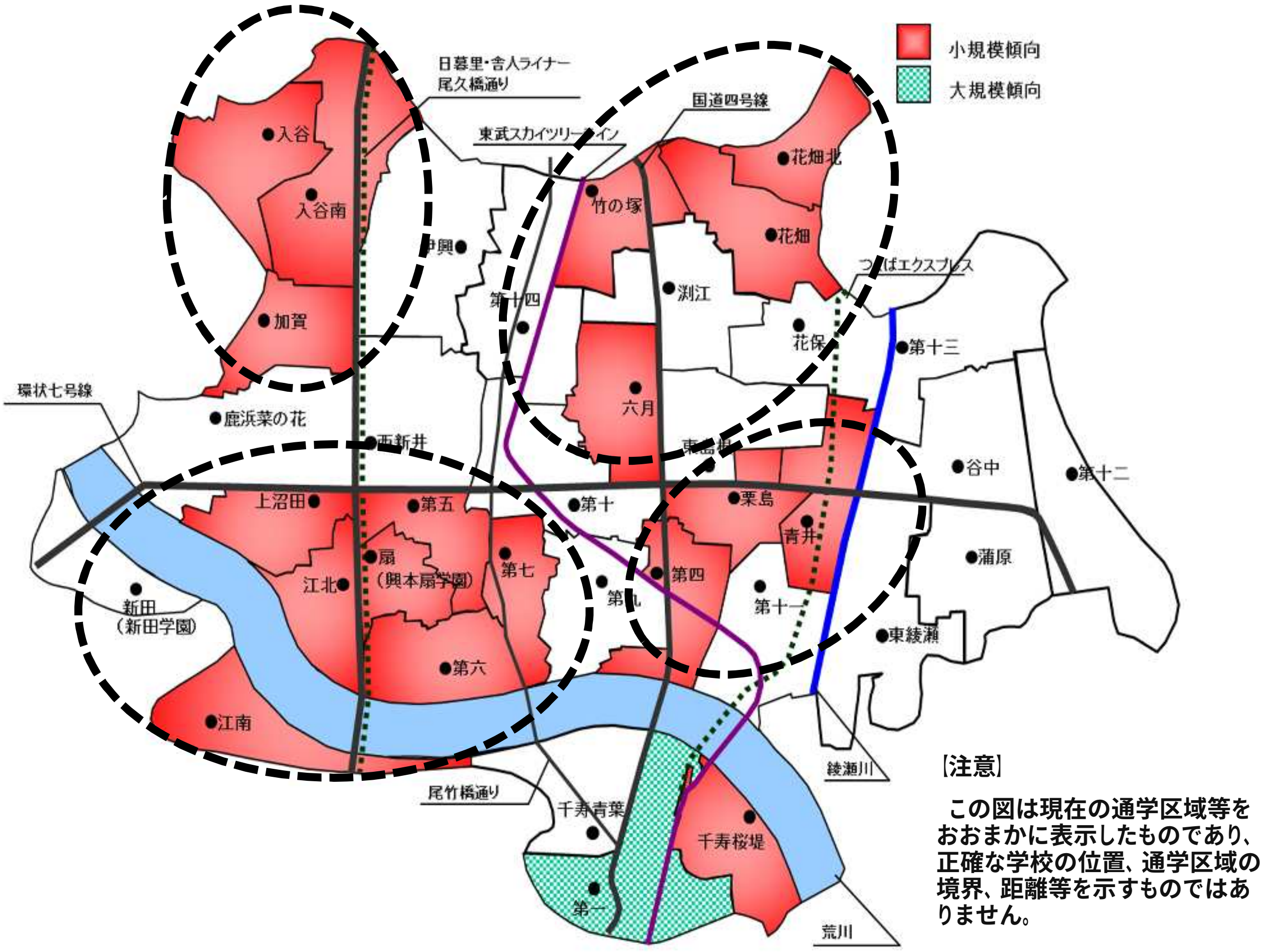
(1) 小学校の入学前人口（0～5 歳）の特徴



年少人口の小規模傾向は区内に点在しています。

平成 28 年度現在、通学区域内の小学校の入学前人口（0～5 歳）が全員通学区域校に入学すると仮定した場合、学校によって、上図のような傾向がみられます。新田小学校、千寿小学校、亀田小学校、綾瀬小学校、東渕江小学校など、集合住宅が集中的に建てられた地域は、大規模傾向になります。一方、区内西部地域や北部地域の学校では、小規模傾向にある学校が多くみられます。また、その他の地域でも、小規模傾向にある学校が点在しています。

(2) 中学校の入学前人口（0～11 歳）の特徴

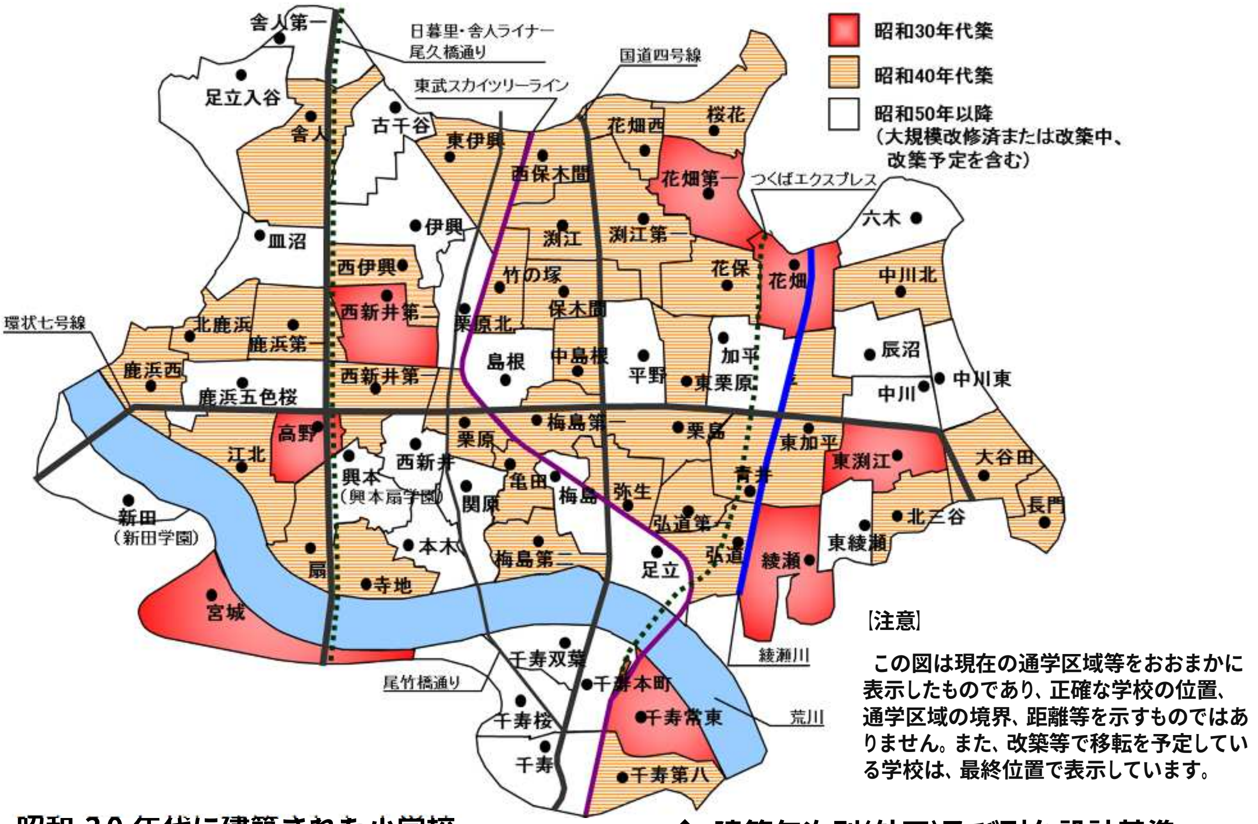


江北・入谷エリア、竹ノ塚・花畑・青井エリアに小規模傾向があります。

平成 28 年度現在、通学区域内の中学校の入学前人口（0～11 歳）が全員通学区域校に入学すると仮定した場合、上図のようになります。集合住宅が集中的に建てられた第一中学校では、大規模傾向にあります。一方、区内西部地域、花畑エリア、青井エリアなどは小規模傾向にあるため、引き続き人口動態を注視していきます。

４　施設更新の視点

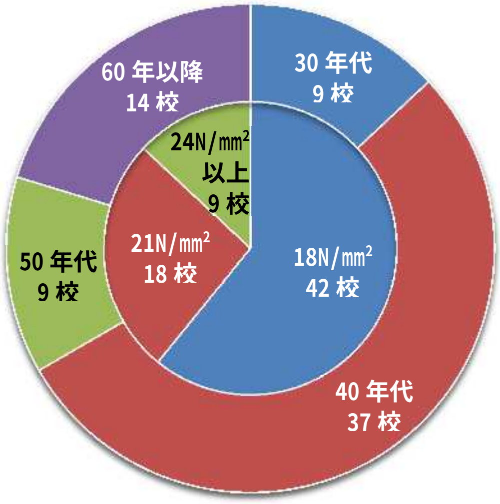
(1) 小学校の建築年次別分布（平成 28 年度現在）



◆ 昭和 30 年代に建築された小学校

番号	学校名	建築年
1	興本	昭和 37 年
2	高野	
3	千寿常東	昭和 38 年
4	綾瀬	
5	東渕江	
6	花畑	
7	花畑第一	
8	西新井第二	昭和 39 年
9	宮城	

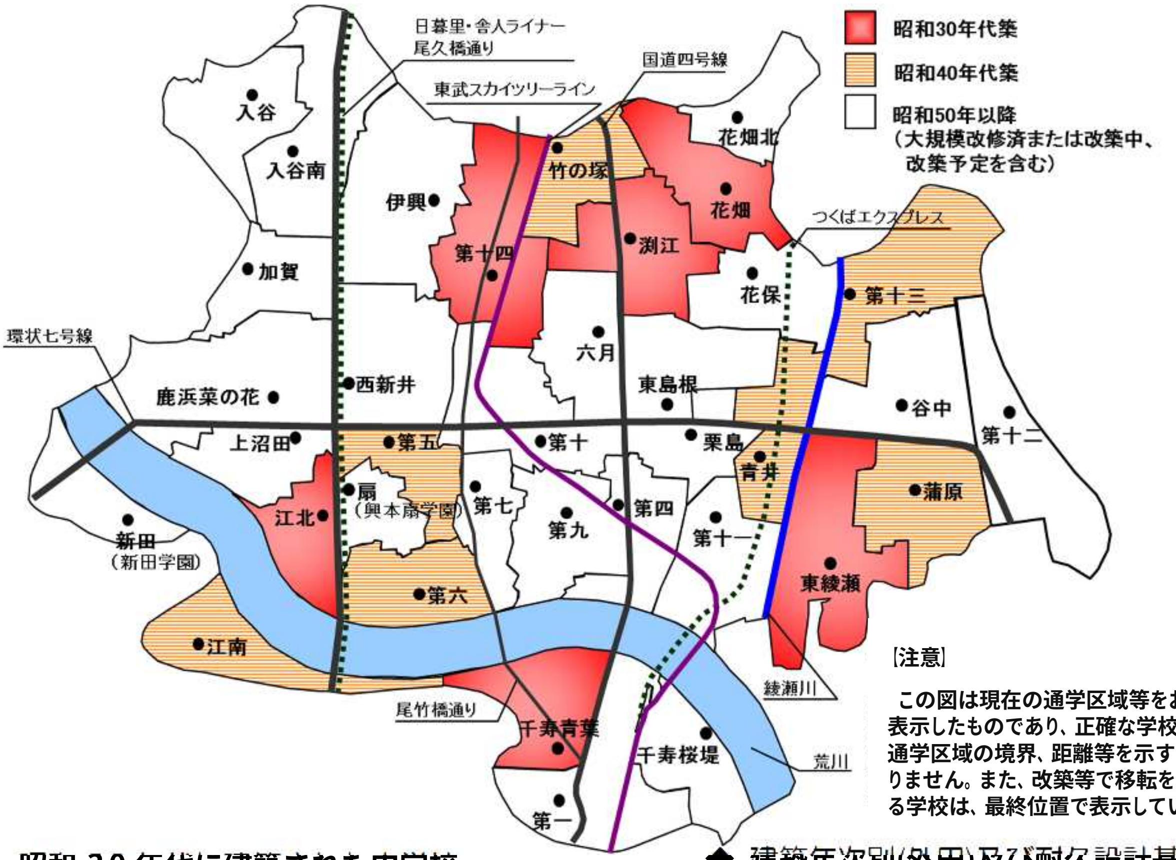
◆ 建築年次別(外円)及び耐久設計基準強度別(内円)小学校数



学校の統合に伴う改築と単独改築で施設更新を進めてきたことにより、昭和 30 年代に建築された校舎を有する学校は 9 校になり、昭和 40 年代に建築された校舎を有する学校は 37 校になりました。また、コンクリートの耐久設計基準強度が 18N/mm² の学校は 42 校となっています。

今後も改築対象校が集中することが想定されるので、保全工事による長寿命化と施設更新を計画的に実施していく必要があります。

(2) 中学校の建築年次別分布（平成 28 年度現在）



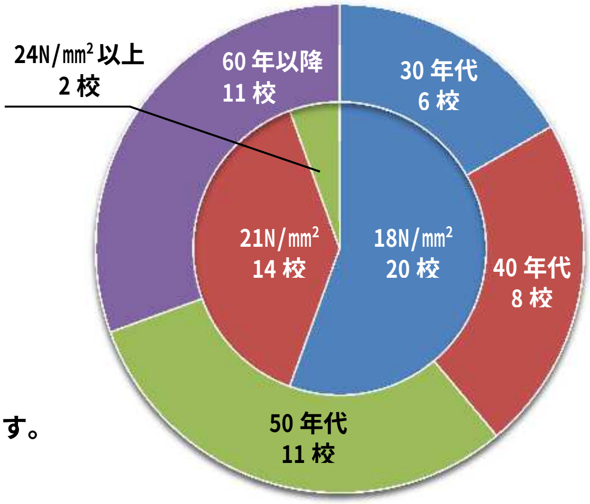
【注意】
この図は現在の通学区域等をおおまかに表示したものであり、正確な学校の位置、通学区域の境界、距離等を示すものではありません。また、改築等で移転を予定している学校は、最終位置で表示しています。

◆ 昭和 30 年代に建築された中学校

番号	学校名	建築年
1	江北	昭和 36 年
2	千寿青葉	昭和 37 年
3	渕江	
4	東綾瀬	昭和 38 年
5	花畑	
6	第十四	昭和 39 年

＊小・中学校ともに、建築年は最も古い校舎の年度です。
　大規模改修済みの学校は 60 年以降にカウントしています。

◆ 建築年次別(外円)及び耐久設計基準強度別(内円)中学校数



学校の統合に伴う改築と単独改築で施設更新を進めてきたことにより、昭和 30 年代に建築された校舎を有する学校は 6 校になり、昭和 40 年代に建築された校舎を有する学校は 8 校になりました。また、コンクリートの耐久設計基準強度が 18N/mm^2 の学校は 20 校となっています。

小学校と同様、今後も改築対象校が集中することが想定されるので、保全工事による長寿命化と施設更新を計画的に実施していく必要があります。

５　今後取り組むエリア

(1) 平成２５年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成２５年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く３校は建築後４０年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
	皿沼小	11	小規模	S57	
入谷	舎人小	15	適正	S44	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。 入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。 この地区は、平成３４年以降に生産緑地の宅地化が進んだ場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性もあるため、その動向も注視しながら検討していきます。
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	
	入谷南中	9	小規模	H2	

※学級数は、平成２８年度現在

・統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
・江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進めます。平成２５年度に策定した実施計画（案）と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定していきます。

(2) 新たに取り組むエリア

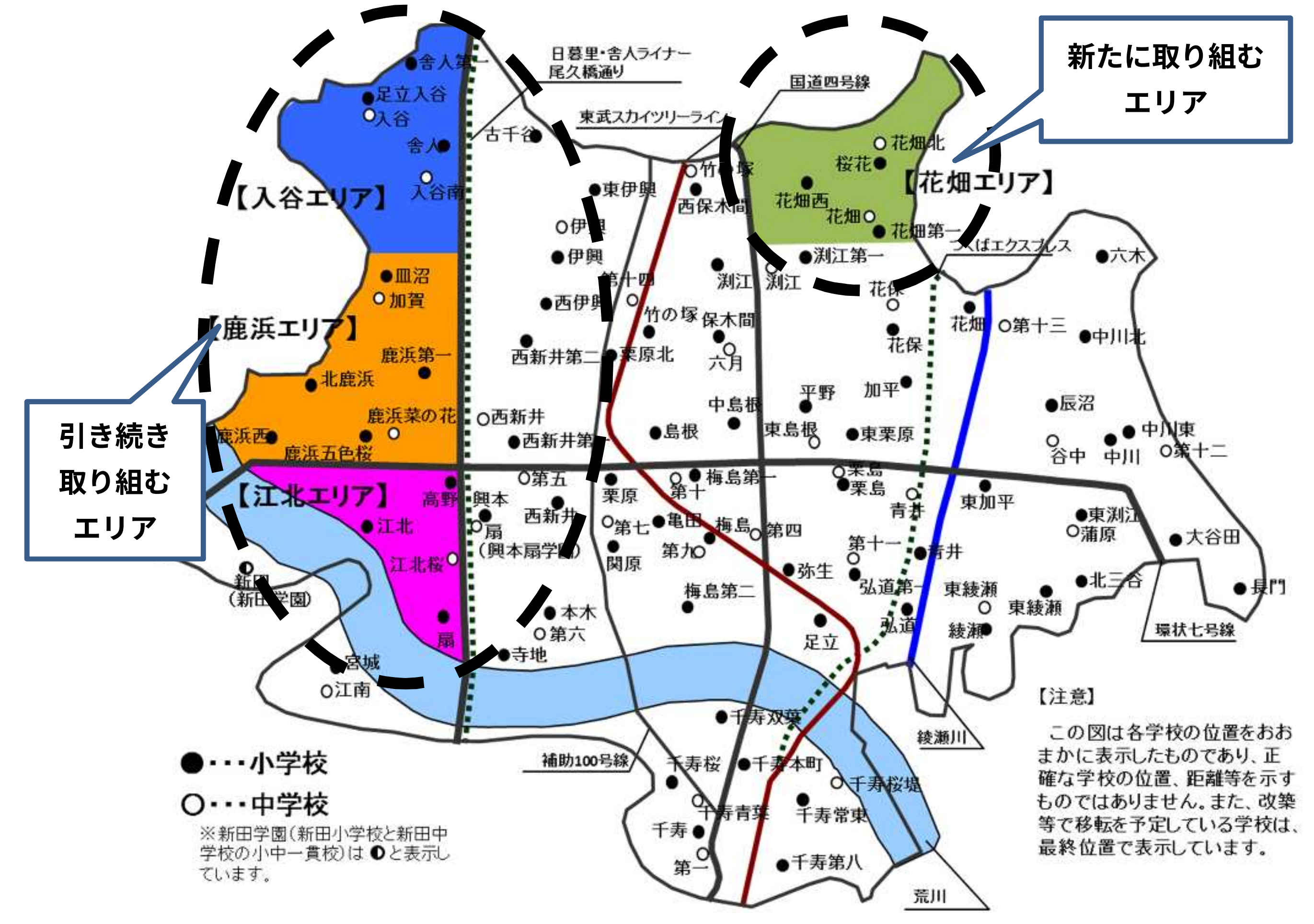
花畑地区の検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模(人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約５０年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

※学級数は、平成２８年度現在

- 花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行います。
- 小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- 中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行います。

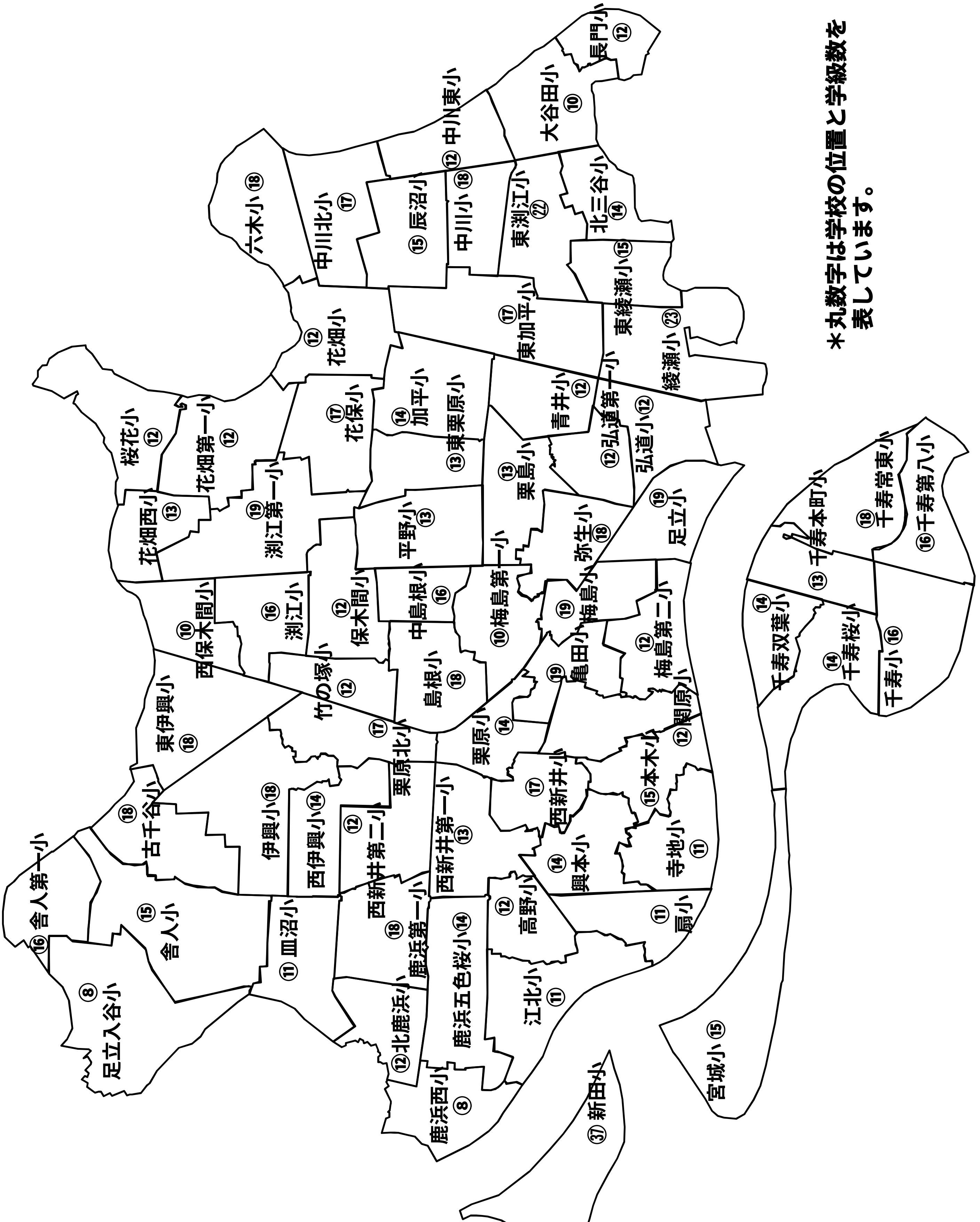
※(1)及び(2)の取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進めます。



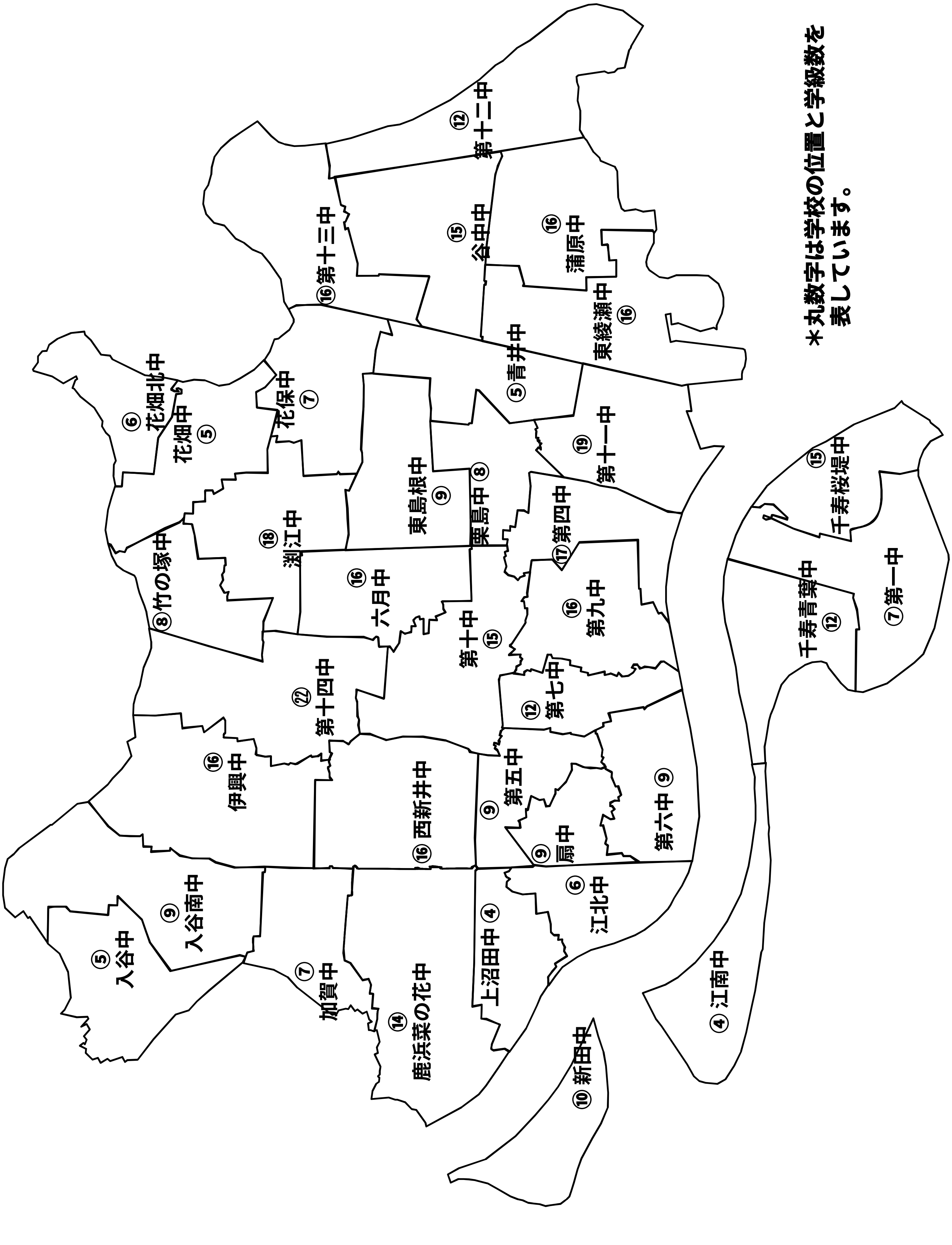
資料編

資料１　平成 28 年度 足立区立小学校通学区域図
資料２　平成 28 年度 足立区立中学校通学区域図
資料３　平成 28 年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧
資料４　足立区立小・中学校の建築年次一覧
資料５　平成 28 年度 足立区立小学校基礎データ
資料６　平成 28 年度 足立区立中学校基礎データ
資料７　昭和 54 年度以降の区内人口および児童・生徒数等の推移
資料８　足立区立小学校の学校規模の推移（平成 25 年度～平成 27 年度）
資料９　足立区立中学校の学校規模の推移（平成 25 年度～平成 27 年度）
資料 10　足立区立小・中学校の適正規模・適正配置のガイドライン（平成 21 年策定）【概要版】

資料１　平成２８年度足立区立小学校通学区域図



＊丸数字は学校の位置と学級数を表しています。


＊丸数字は学校の位置と学級数を表しています。
⑫第十二中
⑮谷中中
⑯蒲原中
⑯東綾瀬中
⑯第十三中
⑤青井中
⑥花畑北中
⑤花畑中
⑦花保中
⑲第十一中
⑮千寿桜堤中
⑨東島根中
⑧栗島中
⑰第四中
⑱渕江中
⑧竹の塚中
⑯六月中
⑯第九中
⑦第一中
⑫千寿青葉中
⑮第十中
㉒第十四中
⑫第七中
⑯伊興中
⑯西新井中
⑨第五中
⑨第六中
⑨扇中
⑨入谷南中
⑤入谷中
⑥江北中
④上沼田中
⑦加賀中
⑭鹿浜菜の花中
④江南中
⑩新田中

資料３　平成２８年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧

【小学校別】

平成２８年５月１日現在

番号	小学校名	児童数							学級数						
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
1	千寿第八	94	98	85	94	67	67	505	3	3	3	3	2	2	16
2	西新井	96	104	90	83	82	71	526	3	3	3	3	3	2	17
3	西新井第一	57	80	66	80	67	77	427	2	3	2	2	2	2	13
4	西新井第二	58	62	65	62	62	69	378	2	2	2	2	2	2	12
5	西伊興	77	84	60	61	64	52	398	3	3	2	2	2	2	14
6	興本	74	77	75	73	67	66	432	3	3	2	2	2	2	14
7	本木	82	70	93	74	67	83	469	3	2	3	2	2	3	15
8	寺地	58	54	45	54	43	41	295	2	2	2	2	2	1	11
9	関原	67	63	64	67	56	60	377	2	2	2	2	2	2	12
10	江北	36	51	43	40	45	42	257	2	2	2	1	2	2	11
11	高野	61	48	50	58	45	58	320	2	2	2	2	2	2	12
12	扇	44	55	42	50	39	50	280	2	2	2	2	1	2	11
13	鹿浜第一	100	96	116	102	89	112	615	3	3	3	3	3	3	18
14	北鹿浜	54	48	51	62	47	60	322	2	2	2	2	2	2	12
15	鹿浜西	33	29	34	36	48	43	223	1	1	1	1	2	2	8
16	新田	227	246	209	224	175	170	1251	7	8	6	6	5	5	37
17	宮城	94	85	63	82	65	67	456	3	3	2	3	2	2	15
18	舎人	100	79	101	66	69	62	477	3	3	3	2	2	2	15
19	梅島	101	102	131	105	93	103	635	3	3	4	3	3	3	19
20	梅島第一	43	48	37	36	54	43	261	2	2	1	1	2	2	10
21	梅島第二	60	58	53	50	47	50	318	2	2	2	2	2	2	12
22	島根	91	81	90	91	91	101	545	3	3	3	3	3	3	18
23	亀田	135	125	130	103	79	48	620	4	4	4	3	2	2	19
24	栗原	64	61	61	62	83	82	413	2	2	2	2	3	3	14
25	栗島	70	88	65	61	61	80	425	2	3	2	2	2	2	13
26	加平	98	86	100	68	49	37	438	3	3	3	2	2	1	14
27	東栗原	64	65	70	73	86	76	434	2	2	2	2	3	2	13
28	弥生	76	91	96	88	96	106	553	3	3	3	3	3	3	18
29	弘道	46	44	51	61	47	56	305	2	2	2	2	2	2	12
30	弘道第一	58	57	57	66	64	50	352	2	2	2	2	2	2	12
31	青井	65	50	59	58	50	57	339	2	2	2	2	2	2	12
32	綾瀬	130	134	120	157	129	131	801	4	4	3	4	4	4	23
33	東加平	96	82	97	91	74	90	530	3	3	3	3	2	3	17
34	東渕江	120	113	136	131	119	119	738	4	4	4	4	3	3	22
35	中川	85	95	93	92	81	92	538	3	3	3	3	3	3	18
36	中川北	85	84	89	98	78	88	522	3	3	3	3	2	3	17
37	北三谷	68	90	52	57	67	86	420	2	3	2	2	2	3	14

番号	小学校名	児童数							学級数						
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
38	大谷田	54	43	37	49	38	43	264	2	2	1	2	1	2	10
39	長門	43	54	58	69	56	56	336	2	2	2	2	2	2	12
40	花畑	61	54	61	68	59	75	378	2	2	2	2	2	2	12
41	花畑第一	55	57	52	55	57	62	338	2	2	2	2	2	2	12
42	花畑西	60	70	92	68	65	67	422	2	2	3	2	2	2	13
43	花保	100	89	84	89	93	75	530	3	3	3	3	3	2	17
44	渕江	73	75	68	66	82	92	456	3	3	2	2	3	3	16
45	渕江第一	88	113	93	119	95	115	623	3	4	3	3	3	3	19
46	保木間	50	66	68	66	65	69	384	2	2	2	2	2	2	12
47	竹の塚	54	55	60	53	56	66	344	2	2	2	2	2	2	12
48	伊興	92	87	101	97	103	109	589	3	3	3	3	3	3	18
49	東伊興	83	104	102	91	92	100	572	3	3	3	3	3	3	18
50	中島根	79	87	77	79	83	83	488	3	3	2	2	3	3	16
51	古千谷	103	99	90	100	86	104	582	3	3	3	3	3	3	18
52	東綾瀬	78	89	83	54	62	64	430	3	3	3	2	2	2	15
53	栗原北	89	79	86	82	80	102	518	3	3	3	3	2	3	17
54	平野	73	67	67	61	76	79	423	3	2	2	2	2	2	13
55	辰沼	76	81	89	74	67	64	451	3	3	3	2	2	2	15
56	六木	85	76	86	85	81	81	494	3	3	3	3	3	3	18
57	中川東	56	49	55	51	56	55	322	2	2	2	2	2	2	12
58	皿沼	52	48	61	38	52	51	302	2	2	2	1	2	2	11
59	舎人第一	86	83	85	82	76	74	486	3	3	3	3	2	2	16
60	千寿本町	67	68	66	65	84	69	419	2	2	2	2	3	2	13
61	千寿桜	80	73	48	69	60	67	397	3	3	2	2	2	2	14
62	桜花	66	70	60	64	62	48	370	2	2	2	2	2	2	12
63	西保木間	32	48	39	46	55	56	276	1	2	1	2	2	2	10
64	足立入谷	17	37	21	31	41	33	180	1	2	1	1	2	1	8
65	千寿	104	100	87	71	72	91	525	3	3	3	2	2	3	16
66	千寿常東	103	104	88	83	98	84	560	3	3	3	3	3	3	18
67	千寿双葉	94	71	68	78	56	78	445	3	3	2	2	2	2	14
68	足立	119	99	87	86	119	115	625	4	3	3	3	3	3	19
69	鹿浜五色桜	67	58	70	93	63	84	435	2	2	2	3	2	3	14
合計		5,306	5,336	5,228	5,198	4,935	5,156	31,159	180	184	169	163	161	163	1,020

【中学校別】

平成２８年５月１日現在

番号	中学校名	生徒数				学級数				
		１年	２年	３年	合計	１年	２年	３年	複式	合計
1	第　一	59	74	119	252	2	2	3		7
2	第　四	194	203	195	592	6	6	5		17
3	第　五	96	99	97	292	3	3	3		9
4	第　六	71	110	84	265	3	3	3		9
5	第　七	121	129	130	380	4	4	4		12
6	第　九	179	186	199	564	6	5	5		16
7	第　十	162	167	165	494	5	5	5		15
8	第十一	231	211	219	661	7	6	6		19
9	第十二	130	131	154	415	4	4	4		12
10	第十三	194	183	198	575	6	5	5		16
11	第十四	270	273	270	813	8	7	7		22
12	江　南	45	28	40	113	2	1	1		4
13	新　田	134	93	97	324	4	3	3		10
14	江　北	66	58	73	197	2	2	2		6
15	鹿浜菜の花	169	162	141	472	5	5	4		14
16	東島根	99	86	98	283	3	3	3		9
17	渕　江	202	235	235	672	6	6	6		18
18	竹の塚	85	78	83	246	3	2	3		8
19	東綾瀬	189	168	188	545	6	5	5		16
20	青　井	44	31	65	140	2	1	2		5
21	花　畑	70	33	44	147	2	1	2		5
22	蒲　原	194	173	197	564	6	5	5		16
23	西新井	209	198	195	602	6	5	5		16
24	入　谷	53	31	65	149	2	1	2		5
25	上沼田	9	29	58	96	1	1	2		4
26	伊　興	156	191	201	548	5	5	6		16
27	花畑北	59	69	54	182	2	2	2		6
28	花　保	59	71	101	231	2	2	3		7
29	谷　中	160	167	163	490	5	5	5		15
30	栗　島	65	82	89	236	2	3	3		8
31	扇	92	93	99	284	3	3	3		9
32	加　賀	70	77	96	243	2	2	3		7
33	入谷南	98	115	87	300	3	3	3		9
34	六　月	190	191	179	560	6	5	5		16
35	千寿青葉	108	132	122	362	4	4	4		12
36	千寿桜堤	170	167	172	509	5	5	5		15
	小　計	4,502	4,524	4,772	13,798	143	130	137		410
	四中夜間（一　般）	1	2	30	33	1	1	1		3
	四中夜間（日本語）	0	18	32	50				3	3
	合　計	4,503	4,544	4,834	13,881	144	131	138	3	416

【特別支援学級】

■小学校

平成２８年５月１日現在

区分	障がい種別	番号	学校名	児童数							学級数
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
固定級	知的	1	千寿常東	1	4	2	1	1	2	11	2
		2	本　木	2	1	3	2	4	4	16	2
		3	関　原		1	3	3	2	3	12	2
		4	高　野	4	7	4	3		2	20	3
		5	鹿浜第一	2	2	2	4	3	4	17	3
		6	新　田	2	3	2	1		1	9	2
		7	梅島第二	4	1	3	5		2	15	2
		8	東 渕 江	4	4	4	2	1	5	20	3
		9	花　畑			1	1	2	3	7	1
		10	渕　江	1	4	8	2		4	19	3
		11	青　井		2	1	3	5	5	16	2
		12	古 千 谷	1	4	2	2	7	3	19	3
		13	平　野	3	2	7	2	4	3	21	3
		14	六　木	5	2	1	6	5	4	23	3
		15	千 寿 桜			1	1	1	4	7	1
		16	宮　城		1	2	1	1		5	1
		17	桜　花	1		1	1	1	3	7	1
		18	西 伊 興	4	5	1	3	2	6	21	3
		19	足　立	1	3	3		1	2	10	2
固定級　合計				**35**	**46**	**51**	**43**	**40**	**60**	**275**	**42**
通級	弱視	1	足　立	1	3	1	2	1		8	1
	小計			**1**	**3**	**1**	**2**	**1**		**8**	**1**
	難聴	2	弥　生	3	1	3	2	1	1	11	1
		3	中 川 東	休学級						／	／
		4	千寿本町	1		1	3		2	7	1
	小計			**4**	**1**	**4**	**5**	**1**	**3**	**18**	**2**
	言語	5	弥　生	7	16	2	10	5	6	46	3
		6	中 川 東	3	10	5	1	1	5	25	2
		7	千寿本町	2	9	7	3	5		26	2
	小計			**12**	**35**	**14**	**14**	**11**	**11**	**97**	**7**
	情緒	8	辰　沼	3	4	5	6	7	8	33	4
		9	保 木 間	7	11	17	7	12	5	59	6
		10	鹿浜五色桜	5	5	8	10	13	10	51	6
	小計			**15**	**20**	**30**	**23**	**32**	**23**	**143**	**16**
通級　合計				**32**	**59**	**49**	**44**	**45**	**37**	**266**	**26**
特別支援教室	情緒	２３校		23	43	50	44	54	45	259	23
	小計			**23**	**43**	**50**	**44**	**54**	**45**	**259**	**23**
訪問　合計				**23**	**43**	**50**	**44**	**54**	**45**	**259**	**23**

■中学校

平成２８年５月１日現在

区分	障がい種別	番号	学校名	生徒数				学級数
				1年	2年	3年	合計	
固定級	知的	1	第　一	10	6	5	21	3
		2	第　六	4	8	8	20	3
		3	第　七	13	6	13	32	4
		4	鹿浜菜の花	4	4	9	17	3
		5	第 十 三	11	13	8	32	4
		6	東 綾 瀬	6	12	5	23	3
		7	伊　興	5	9	7	21	3
		8	栗　島	8	7	8	23	3
固定級　合計				**61**	**65**	**63**	**189**	**26**
通級	情緒	1	第　十	17	17	25	59	6
		2	花　保	11	21	19	51	6
通級　合計				**28**	**38**	**44**	**110**	**12**

資料4　足立区立小・中学校の建築年次一覧

＊ 設計基準強度は、建物の構造計算で基準とする圧縮強度で、実際に使用した構造体のコンクリートとは異なる場合があります。東京都建築工事標準仕様書が平成２３年に改正されるまで、設計基準強度に３N/mm^{2}割り増したコンクリートの使用が規程されていました。そのため、それ以前の建物は設計基準強度より高強度のコンクリートで施工されています。

＊ 平成２８年度現在

【小学校】

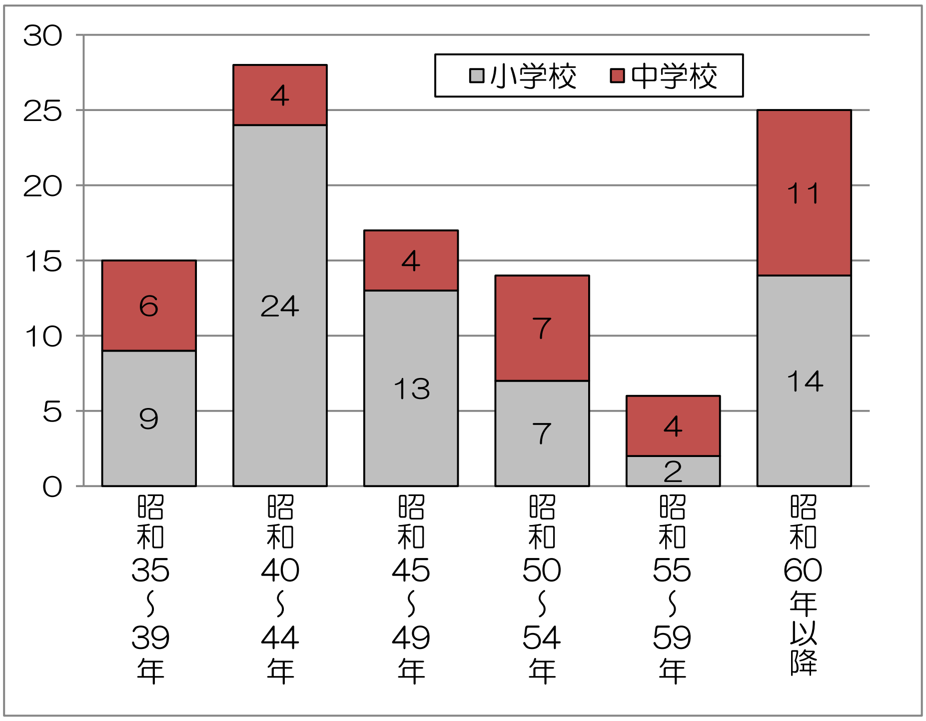
番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	設計基準強度（N/mm^2）	改築目標年次	備考
1	興本小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	13,344	5,766	18	平成39年	
2	高野小学校	昭和38年4月1日	昭和37年	12,964	6,106	18	平成39年	統合予定
3	千寿常東小学校	平成14年4月1日	昭和38年	9,563	6,568	18	平成40年	
4	綾瀬小学校	昭和37年4月1日	昭和38年	11,396	6,556	18	平成40年	
5	東渕江小学校	明治44年8月1日	昭和38年	9,134	6,667	18	平成40年	
6	花畑小学校	明治33年11月28日	昭和38年	10,867	6,043	18	平成40年	
7	花畑第一小学校	昭和40年4月1日	昭和38年	10,480	6,155	18	平成40年	H26全体保全
8	西新井第二小学校	昭和39年9月1日	昭和39年	9,953	5,611	18	平成41年	
9	宮城小学校	昭和22年4月1日	昭和39年	8,496	6,264	18	平成41年	
10	鹿浜第一小学校	昭和41年4月1日	昭和40年	12,636	6,022	18	平成42年	H26全体保全
11	梅島第一小学校	昭和8年4月11日	昭和40年	6,919	5,583	18	平成42年	
12	亀田小学校	昭和31年4月1日	昭和40年	11,744	5,373	18	平成42年	H28全体保全
13	弘道第一小学校	昭和40年9月1日	昭和40年	11,056	5,975	18	平成42年	
14	長門小学校	昭和39年4月1日	昭和40年	9,329	4,315	18	平成42年	H27全体保全
15	千寿第八小学校	昭和13年4月1日	昭和41年	9,439	6,532	18	平成43年	全体保全予定
16	西新井第一小学校	昭和27年4月1日	昭和41年	10,904	6,191	18	平成43年	H25全体保全
17	江北小学校	明治7年11月1日	昭和41年	8,115	5,675	18	平成43年	統合予定
18	弥生小学校	昭和28年4月1日	昭和41年	12,865	6,635	18	平成43年	
19	大谷田小学校	昭和25年5月1日	昭和41年	10,599	4,726	18	平成43年	H27全体保全
20	渕江小学校	明治34年5月1日	昭和41年	9,729	6,351	18	平成43年	
21	梅島第二小学校	昭和19年6月1日	昭和42年	8,198	5,397	18	平成44年	
22	栗原小学校	昭和17年7月1日	昭和42年	6,105	4,542	18	平成44年	全体保全予定
23	栗島小学校	昭和29年4月1日	昭和42年	9,405	5,330	18	平成44年	
24	弘道小学校	明治11年5月28日	昭和42年	10,734	5,709	18	平成44年	H27全体保全
25	渕江第一小学校	昭和42年4月1日	昭和42年	12,989	6,197	18	平成44年	
26	寺地小学校	昭和15年9月16日	昭和43年	9,637	6,229	18	平成45年	H27全体保全
27	北三谷小学校	昭和30年2月1日	昭和43年	7,916	5,782	18	平成45年	
28	竹の塚小学校	昭和43年4月1日	昭和43年	11,593	6,221	18	平成45年	H24全体保全
29	千寿小学校	平成14年4月1日	昭和44年	7,681	4,747	18	平成46年	改築中
30	鹿浜西小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,153	4,226	18	平成46年	
31	舎人小学校	明治26年1月28日	昭和44年	10,685	6,376	18	平成46年	
32	東加平小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,110	5,593	18	平成46年	

番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	設計基準強度（N/mm²）	改築目標年次	備考
33	西保木間小学校	平成9年4月1日	昭和44年	9,945	5,569	18	平成46年	
34	扇小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	8,059	5,027	18	平成47年	H24全体保全
35	東栗原小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	10,963	5,723	18	平成47年	
36	花畑西小学校	昭和46年4月1日	昭和45年	10,537	6,412	18	平成47年	
37	東伊興小学校	昭和46年4月1日	昭和46年	10,350	5,877	21	平成65年	
38	西伊興小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,383	5,428	18	平成49年	
39	鹿浜五色桜小学校	平成27年4月1日	昭和47年	9,042	6,195	21	平成66年	改築中
40	中川北小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,445	6,376	18	平成49年	
41	桜花小学校	平成9年4月1日	昭和47年	11,826	5,936	18	平成49年	
42	花保小学校	昭和48年4月1日	昭和47年	9,718	5,639	18	平成49年	
43	北鹿浜小学校	昭和48年4月1日	昭和48年	10,275	5,698	18	平成50年	
44	青井小学校	昭和48年4月2日	昭和48年	9,114	4,660	21	平成67年	
45	保木間小学校	昭和34年9月1日	昭和48年	13,277	6,277	18	平成50年	
46	中島根小学校	昭和49年4月1日	昭和49年	11,522	4,935	21	平成68年	
47	足立入谷小学校	平成13年4月1日	昭和50年	10,665	5,668	21	平成69年	
48	古千谷小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	9,198	5,048	21	平成70年	
49	東綾瀬小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	7,073	4,881	21	平成70年	
50	栗原北小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	9,426	5,820	21	平成71年	
51	平野小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	8,384	6,068	21	平成71年	
52	辰沼小学校	昭和53年4月1日	昭和53年	14,807	6,093	21	平成72年	
53	六木小学校	昭和54年4月1日	昭和54年	11,581	6,063	21	平成73年	
54	中川東小学校	昭和55年4月1日	昭和55年	13,787	7,669	21	平成74年	
55	皿沼小学校	昭和57年4月1日	昭和57年	12,735	6,095	21	平成76年	
56	舎人第一小学校	昭和61年4月1日	昭和61年	9,471	8,969	21	平成80年	
57	千寿本町小学校	平成3年4月1日	平成5年	6,252	8,889	21	平成87年	
58	千寿桜小学校	平成4年4月1日	平成6年	8,175	8,987	21	平成88年	
59	梅島小学校	明治22年10月26日	平成12年	10,366	7,934	27	平成94年	
60	島根小学校	昭和36年10月1日	平成14年	9,240	7,732	24	平成96年	
61	千寿双葉小学校	平成17年4月1日	平成19年	7,949	7,551	21	平成101年	
62	新田小学校	昭和23年4月1日	平成22年	16,000	12,340	30	平成102年	
63	中川小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	12,861	4,778	21	平成56年	H22大規模改修
64	西新井小学校	昭和4年4月1日	平成23年	9,023	7,867	30	平成105年	
65	本木小学校	明治10年3月10日	平成26年	6,527	7,962	36	平成108年	
66	加平小学校	昭和40年4月1日	平成26年	10,762	8,136	36	平成108年	
67	足立小学校	平成25年4月1日	平成27年	8,693	10,075	36	平成109年	
68	関原小学校	昭和7年4月1日	平成28年	7,209	7,650	27	平成110年	
69	伊興小学校	明治9年10月16日	平成28年	10,890	8,261	30	平成110年	

【中学校】

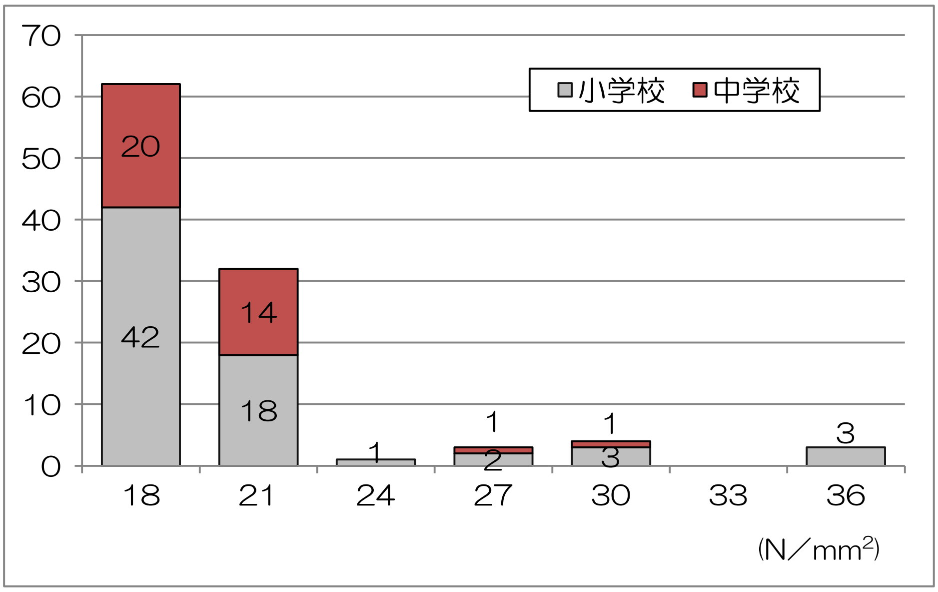
番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	設計基準強度 (N/mm²)	改築目標年次	備考
1	江北中学校	昭和38年4月1日	昭和36年	12,184	7,188	18	平成38年	統合予定
2	千寿青葉中学校	平成15年4月1日	昭和37年	10,390	6,281	18	平成39年	
3	渕江中学校	昭和35年4月1日	昭和37年	12,814	8,692	18	平成39年	
4	東綾瀬中学校	昭和39年4月1日	昭和38年	12,658	7,912	18	平成40年	
5	花畑中学校	昭和41年4月1日	昭和38年	14,122	6,769	18	平成40年	
6	第十四中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	14,828	8,092	18	平成41年	
7	鹿浜菜の花中学校	平成28年4月1日	昭和41年	11,647	6,988	18	平成43年	改築中
8	第十三中学校	昭和22年4月1日	昭和42年	11,840	8,111	18	平成44年	
9	江南中学校	昭和28年4月1日	昭和42年	9,243	5,458	18	平成44年	H28全体保全
10	第五中学校	昭和22年4月1日	昭和43年	11,803	7,294	18	平成45年	
11	竹の塚中学校	昭和45年4月1日	昭和45年	11,120	7,383	18	平成47年	
12	第六中学校	昭和22年4月19日	昭和47年	10,609	7,152	18	平成49年	H28全体保全
13	蒲原中学校	昭和32年4月1日	昭和47年	15,133	7,576	18	平成49年	
14	青井中学校	昭和48年4月1日	昭和48年	15,701	5,532	18	平成50年	
15	西新井中学校	昭和50年4月1日	昭和50年	10,830	7,367	21	平成69年	
16	入谷中学校	昭和51年4月1日	昭和51年	14,686	6,388	21	平成70年	
17	上沼田中学校	昭和52年4月1日	昭和52年	7,666	4,476	21	平成71年	統合予定
18	伊興中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	13,640	6,939	21	平成72年	
19	花畑北中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	13,223	7,387	21	平成72年	
20	谷中中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	13,195	6,957	21	平成73年	H24全体保全
21	花保中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	12,451	7,403	21	平成73年	
22	第十一中学校	昭和22年4月1日	昭和55年	13,227	7,817	21	平成74年	
23	栗島中学校	昭和56年4月1日	昭和56年	11,859	6,759	21	平成75年	H25全体保全
24	扇中学校	昭和57年4月1日	昭和57年	15,852	5,614	21	平成76年	
25	加賀中学校	昭和59年4月1日	昭和59年	11,459	8,098	21	平成78年	
26	六月中学校	昭和62年4月1日	昭和62年	16,084	8,433	21	平成81年	
27	入谷南中学校	昭和61年4月1日	平成2年	14,249	7,373	21	平成84年	
28	第一中学校	昭和22年4月1日	平成17年	9,270	7,853	21	平成99年	
29	千寿桜堤中学校	平成17年4月1日	平成17年	7,756	8,120	27	平成99年	
30	第四中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,863	7,407	18	平成55年	H22大規模改修
31	第七中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	10,955	6,158	18	平成58年	H22大規模改修
32	第九中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,970	6,884	18	平成55年	H22大規模改修
33	新田中学校	昭和34年9月1日	平成22年	16,000	12,340	30	平成104年	
34	第十中学校	昭和22年4月19日	昭和37年	11,212	7,812	18	平成56年	H25大規模改修
35	第十二中学校	昭和22年4月1日	昭和35年	13,835	7,066	18	平成54年	H25大規模改修
36	東島根中学校	昭和35年9月1日	昭和34年	12,387	7,269	18	平成53年	H25大規模改修

◆ 建築年次別学校数



＊各学校が保有する最も古い校舎の建築年次で集計しています。
大規模改修済みの学校は昭和 60 年以降にカウントしています。

◆ 耐久設計基準強度別学校数



資料５　平成28年度 足立区立小学校基礎データ

	学校名	ページ
1	青井小学校	44
2	足立小学校	44
3	足立入谷小学校	45
4	綾瀬小学校	45
5	伊興小学校	46
6	梅島小学校	46
7	梅島第一小学校	47
8	梅島第二小学校	47
9	桜花小学校	48
10	扇小学校	48
11	大谷田小学校	49
12	興本小学校	49
13	加平小学校	50
14	亀田小学校	50
15	北三谷小学校	51
16	北鹿浜小学校	51
17	栗島小学校	52
18	栗原小学校	52
19	栗原北小学校	53
20	弘道小学校	53
21	弘道第一小学校	54
22	江北小学校	54
23	高野小学校	55
24	古千谷小学校	55
25	皿沼小学校	56
26	鹿浜五色桜小学校	56
27	鹿浜第一小学校	57
28	鹿浜西小学校	57
29	島根小学校	58
30	新田小学校	58
31	関原小学校	59
32	千寿小学校	59
33	千寿桜小学校	60
34	千寿常東小学校	60
35	千寿第八小学校	61
36	千寿双葉小学校	61

	学校名	ページ
37	千寿本町小学校	62
38	竹の塚小学校	62
39	辰沼小学校	63
40	寺地小学校	63
41	舎人小学校	64
42	舎人第一小学校	64
43	中川小学校	65
44	中川北小学校	65
45	中川東小学校	66
46	中島根小学校	66
47	長門小学校	67
48	西新井小学校	67
49	西新井第一小学校	68
50	西新井第二小学校	68
51	西伊興小学校	69
52	西保木間小学校	69
53	花畑小学校	70
54	花畑第一小学校	70
55	花畑西小学校	71
56	花保小学校	71
57	東綾瀬小学校	72
58	東伊興小学校	72
59	東加平小学校	73
60	東栗原小学校	73
61	東渕江小学校	74
62	平野小学校	74
63	渕江小学校	75
64	渕江第一小学校	75
65	保木間小学校	76
66	宮城小学校	76
67	六木小学校	77
68	本木小学校	77
69	弥生小学校	78

1 学校基礎データ

学校名	青井小学校	所在地	120-0012 足立区青井3-12-2		
交通	青井駅（つくばエクスプレス）下車徒歩2分 五反野駅（東武線）下車徒歩16分				
開校年月日	昭和48年4月2日	敷地面積	9,114 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和48年	延床面積	4,660 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

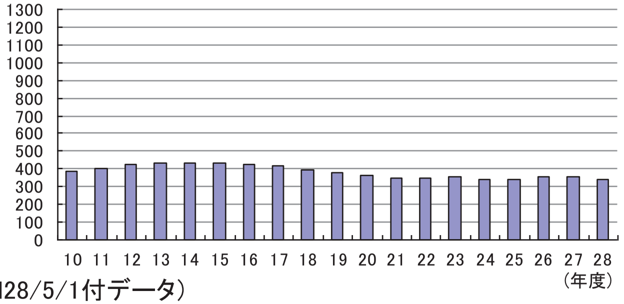
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	386	406	426	434	431	432	425	418	394	383	361	345	347	358	338	344	353	354	339
学級	12	12	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は横ばいとなっており、学級数は12学級で一定しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



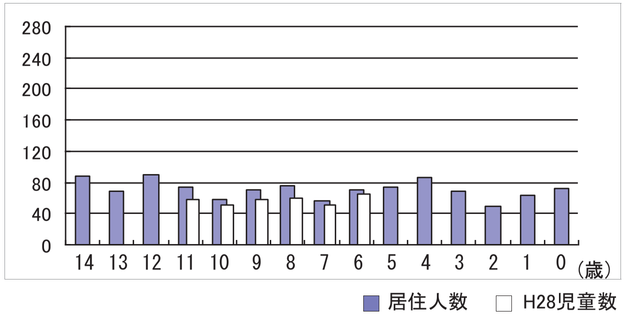
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	88	69	89	74	58	71	75	56	71	74	87	68	50	64	72
H28児童数				57	50	58	59	50	65						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は小幅な増減を繰り返しながら、2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	足立小学校	所在地	120-0015 足立区足立3-11-5		
交通	五反野駅（東武線）下車徒歩5分				
開校年月日	平成25年4月1日	敷地面積	8,693 ㎡	特別支援学級	知的障がい・弱視
建築年	平成27年	延床面積	10,075 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	36 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

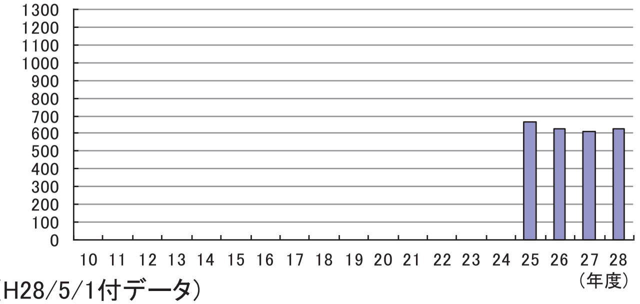
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数																667	628	610	625
学級																21	19	18	19

①これまでの学校規模の推移について

平成25年4月の統合後は18学級から21学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。平成27年4月から新校舎での学校運営を開始しました。

②学校全体の児童数の推移グラフ



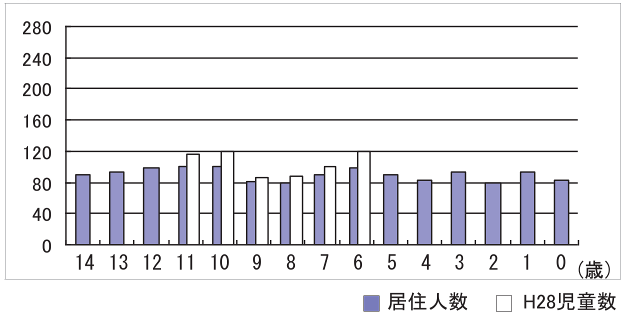
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	89	94	99	101	100	81	80	90	98	90	83	94	79	94	83
H28児童数				115	119	86	87	99	119						
H28学級数				3	3	3	3	3	4						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成25年4月に千寿第五小学校と五反野小学校を統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	足立入谷小学校	所在地	121-0836 足立区入谷3-8-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス舎人団地南下車徒歩4分		

開校年月日	平成13年4月1日	敷地面積	10,665 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和50年	延床面積	5,668 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

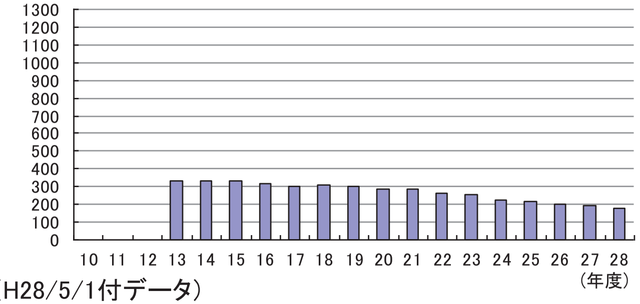
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数				332	334	329	320	304	309	303	288	290	264	259	227	217	199	191	180
学級				12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	7	8	8

①これまでの学校規模の推移について

開校以来、平成21年度まで学級数は12学級で一定していました。平成22年度以降は減少傾向が見られ、8学級前後で推移しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



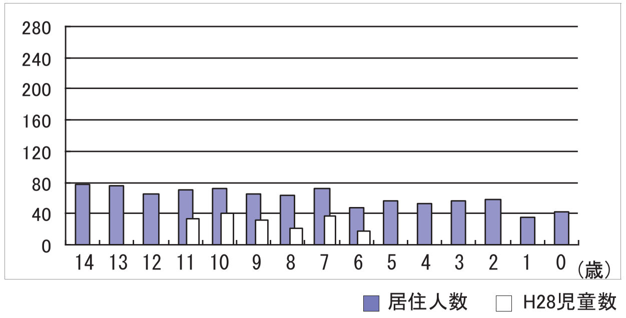
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	77	76	65	70	73	65	64	72	48	57	52	57	58	36	43
H28児童数				33	41	31	21	37	17						
H28学級数				1	2	1	1	2	1						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年度から児童数が減少傾向にあり、平成28年度は8学級となっています。学区域内の学齢前人口は1学級から2学級規模になりますが、近隣の小学校に入学する児童が多くみられるため、今後も減少傾向が継続すると見込まれます。この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	綾瀬小学校	所在地	120-0005 足立区綾瀬3-12-15
交通	綾瀬駅（千代田線）下車徒歩3分		

開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	11,396 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和38年	延床面積	6,556 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

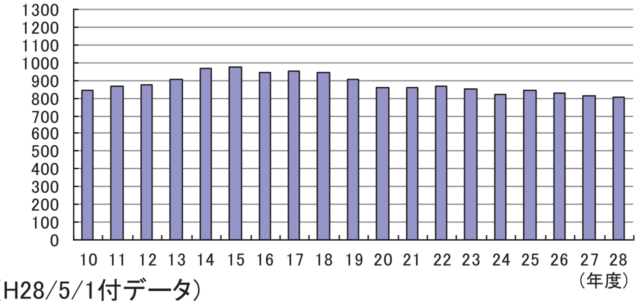
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	847	870	872	903	967	972	943	949	941	908	859	861	864	850	822	846	830	810	801
学級	25	25	26	27	27	27	27	27	25	25	24	24	24	24	24	25	25	24	23

①これまでの学校規模の推移について

これまで大規模校となっていましたが、平成18年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



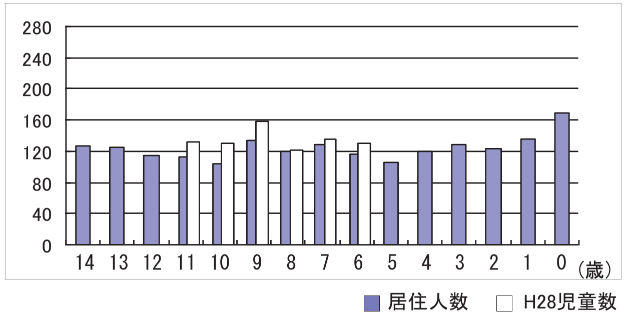
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	127	125	115	112	104	134	119	129	117	105	119	129	123	135	169
H28児童数				131	129	157	120	134	130						
H28学級数				4	4	4	3	4	4						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。今後、集合住宅の建設による人口増加が見込まれます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅の建設による人口増加や学区域外からの入学者が多いため、大規模化の傾向がみられます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。適正規模、施設更新の視点の両面から検討していくことが必要です。

1 学校基礎データ

学校名	伊興小学校	所在地	121-0823 足立区伊興4-16-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分 舎人公園駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩15分				
開校年月日	明治9年10月16日	敷地面積	10,890 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成28年	延床面積	8,261 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	30 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

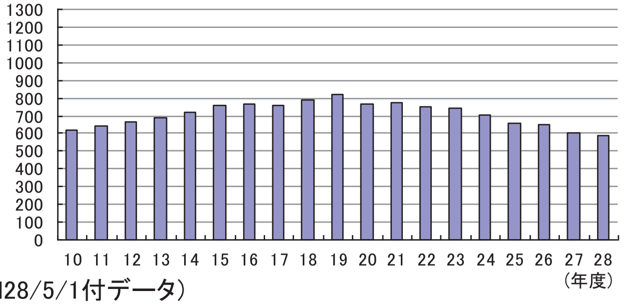
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	622	641	664	690	723	758	763	759	786	820	763	771	750	740	702	658	649	602	589
学級	18	18	19	20	21	22	22	21	22	23	21	21	21	21	21	19	19	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降減少傾向にあり、21学級から18学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



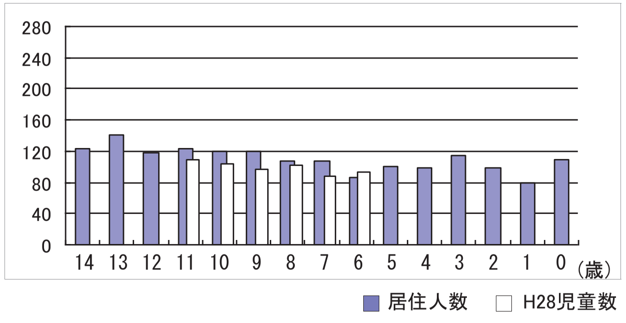
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	124	141	118	124	120	119	107	107	86	101	99	114	98	80	109
H28児童数				109	103	97	101	87	92						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は小幅な増減を繰り返しながら2学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	梅島小学校	所在地	123-0851 足立区梅田7-35-1		
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩1分				
開校年月日	明治22年10月26日	敷地面積	10,366 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成12年	延床面積	7,934 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	27 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

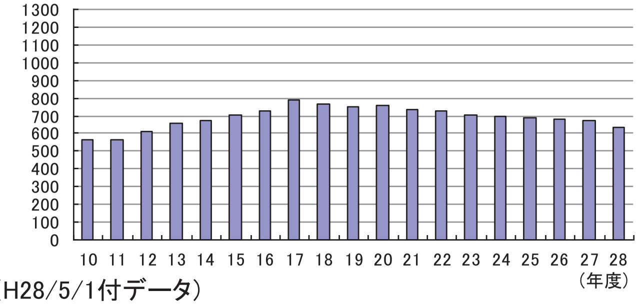
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	566	562	609	656	670	704	729	793	765	747	757	738	728	706	697	690	683	673	635
学級	18	18	19	20	20	20	21	23	23	22	22	21	21	20	20	20	20	20	19

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、21学級から19学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



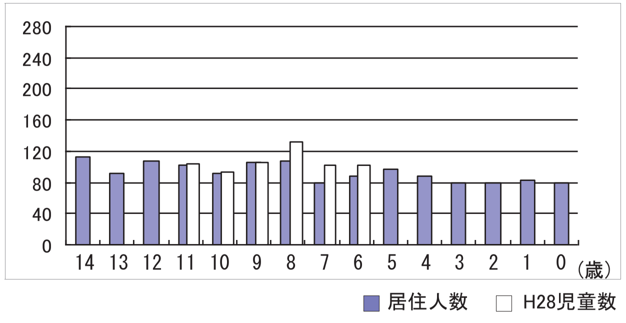
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	112	92	107	103	91	105	107	80	88	97	88	80	79	82	80
H28児童数				103	93	105	131	102	101						
H28学級数				3	3	3	4	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。学齢前人口には減少傾向がみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域内に住む学齢前人口には、減少が見込まれますが、学区域外からの入学者も多いことから、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	梅島第一小学校	所在地	121-0816 足立区梅島3-37-4
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩6分		

開校年月日	昭和8年4月11日	敷地面積	6,919 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	5,583 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

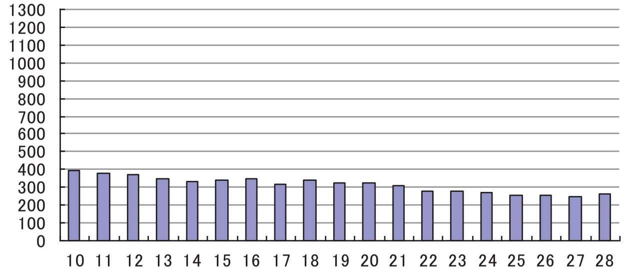
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	391	379	371	346	331	341	349	319	343	326	323	306	278	275	272	257	254	250	261
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	10	10	10	10

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向がみられます。学級数は平成21年度以降、12学級から10学級に減少しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



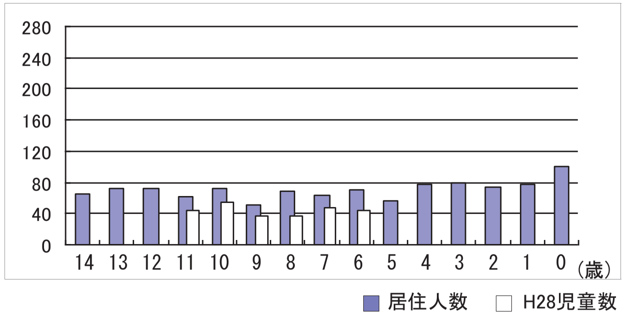
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	66	73	72	61	72	51	69	64	70	56	77	79	74	78	100
H28児童数				43	54	36	37	48	43						
H28学級数				2	2	1	1	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域内に住む学齢前人口は増加傾向にあります。近隣の小学校に入学する児童が多くみられるため、児童数の増減によっては改善策の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	梅島第二小学校	所在地	123-0851 足立区梅田3-27-4
交通	梅島駅(東武線)下車徒歩13分		

開校年月日	昭和19年6月1日	敷地面積	8,198 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和42年	延床面積	5,397 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

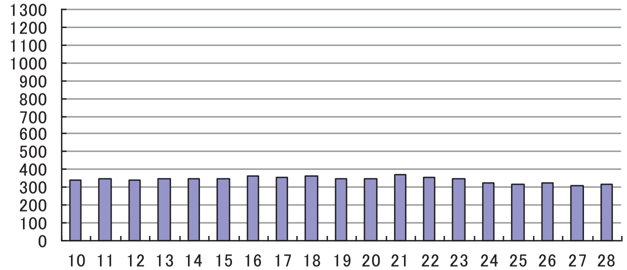
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	340	346	342	346	349	349	362	358	362	348	347	373	358	346	327	318	326	311	318
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



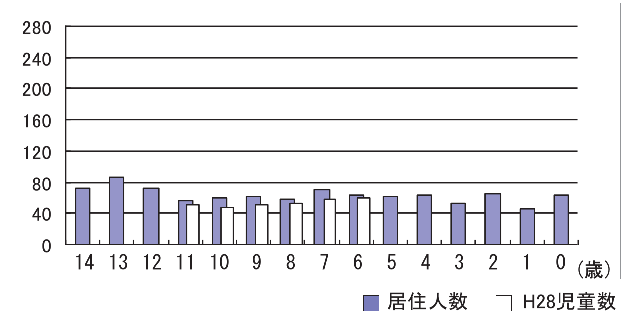
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	72	86	72	57	60	62	58	70	64	61	64	53	66	45	64
H28児童数				50	47	50	53	58	60						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	桜花小学校	所在地	121-0061 足立区花畑6-4-6
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス花畑団地下車徒歩5分		

開校年月日	平成9年4月1日	敷地面積	11,826 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和47年	延床面積	5,936 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

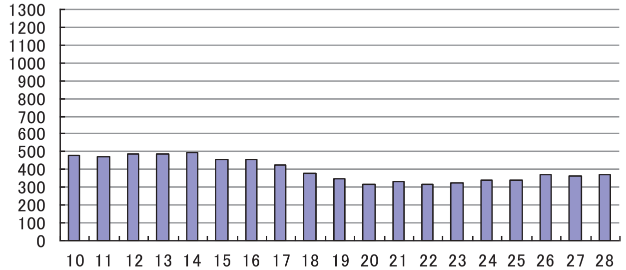
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	480	474	485	490	492	460	460	426	377	345	319	335	318	328	342	340	370	365	370
学級	14	16	15	15	15	14	14	13	12	12	11	11	11	11	11	11	12	13	12

①これまでの学校規模の推移について

平成20年度から平成25年度まで11学級で推移していましたが、平成26年度以降、12学級から13学級で推移しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



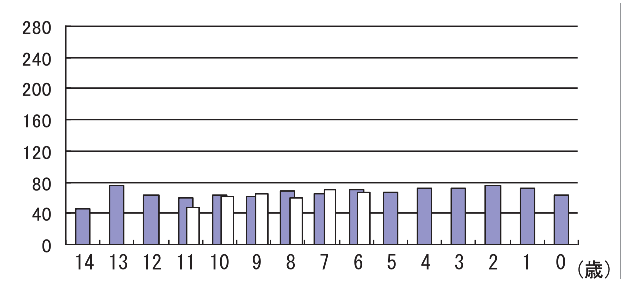
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	45	75	63	59	64	61	68	65	71	67	72	72	76	72	63
H28児童数				48	62	64	60	70	66						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	扇小学校	所在地	123-0873 足立区扇2-30-1
交通	北千住駅（東武線等）からはるかぜ扇小学校北下車徒歩4分 扇大橋駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩4分		

開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	8,059 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和45年	延床面積	5,027 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

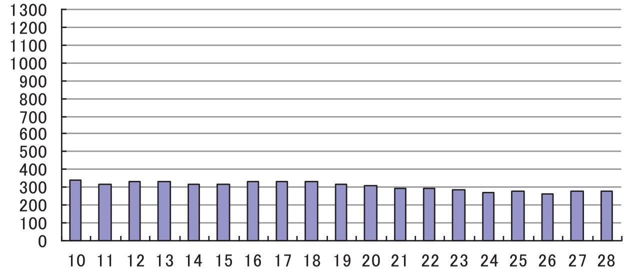
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	338	318	335	336	316	320	336	334	334	318	312	295	297	288	272	277	263	277	280
学級	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	12	11

①これまでの学校規模の推移について

学級数は11学級から12学級で推移しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



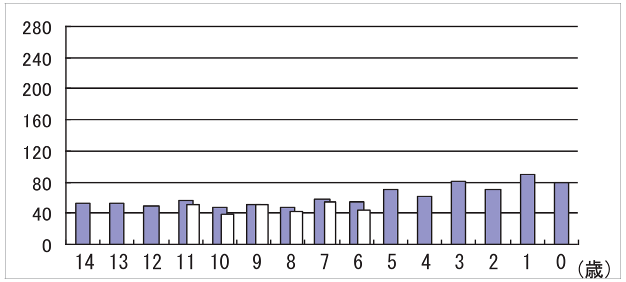
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	53	52	50	56	47	51	47	58	55	70	61	81	70	89	80
H28児童数				50	39	50	42	55	44						
H28学級数				2	1	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口には増加傾向が見られ、2学級から3学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していく必要があります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。近隣の小学校の統合計画があるため、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

1 学校基礎データ

学校名	大谷田小学校	所在地	120-0002 足立区中川4-41-27
交通	亀有駅(JR)下車徒歩8分		

開校年月日	昭和25年5月1日	敷地面積	10,599 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	4,726 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

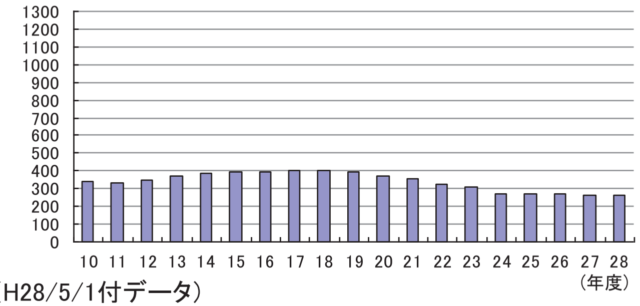
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	338	336	351	368	390	396	398	400	402	396	370	353	325	308	271	267	273	261	264
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	10	11	11	11	10

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度まで12学級で一定していましたが、近年は10学級から11学級となっており、減少傾向が見られます。

②学校全体の児童数の推移グラフ



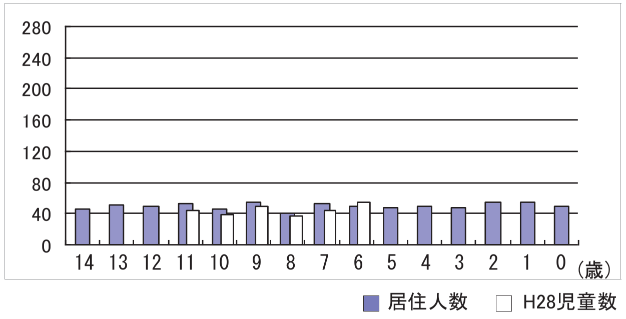
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	45	51	49	53	45	54	40	52	49	48	49	48	54	54	49
H28児童数				43	38	49	37	43	54						
H28学級数				2	1	2	1	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。今後もほぼ横ばいが見込まれます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成20年度以降、児童数が減少傾向にあり、学級数も10学級から11学級です。児童数の増減によっては、隣接の長門小学校と地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	興本小学校	所在地	123-0873 足立区扇3-22-1
交通	西新井駅(東武線)から都営バス阿弥陀橋下車徒歩3分 江北駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分		

開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	13,344 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和37年	延床面積	5,766 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

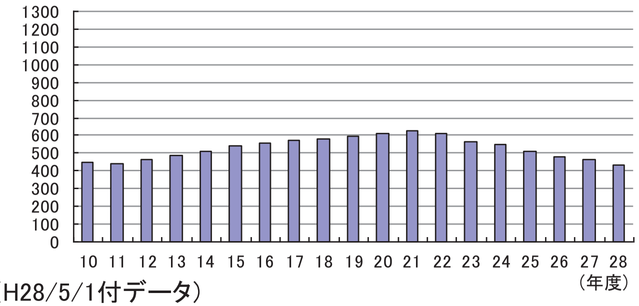
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	452	443	463	485	512	539	558	576	579	597	612	628	613	567	548	512	483	461	432
学級	13	12	13	14	15	17	17	18	18	18	18	18	18	17	17	16	16	15	14

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降減少傾向にあり、18学級から14学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



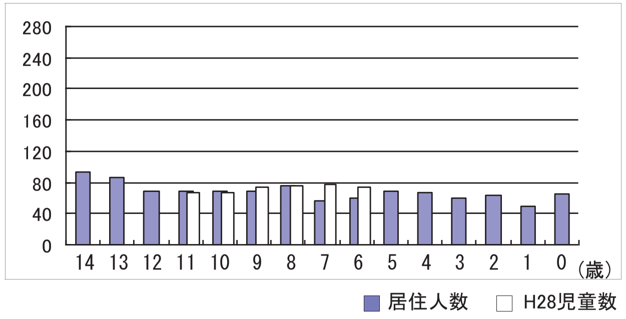
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	93	86	69	69	68	69	75	56	60	68	67	60	64	49	65
H28児童数				66	67	73	75	77	74						
H28学級数				2	2	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。今後もほぼ横ばいが見込まれます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多いことから、今後の児童数・学級数も適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	加平小学校	所在地	121-0073 足立区六町3-3-11
交通	六町駅（つくばエクスプレス）下車徒歩5分		

開校年月日	昭和40年4月1日	敷地面積	10,762 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成26年	延床面積	8,136 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	36 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

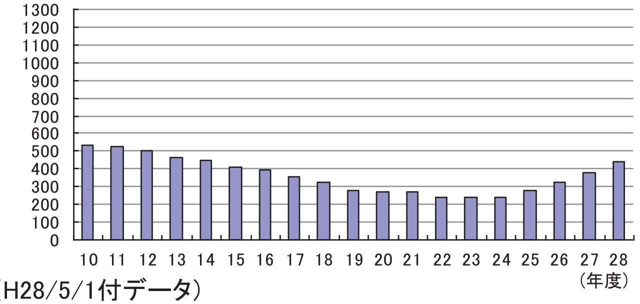
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	536	524	505	467	450	413	391	358	322	281	268	267	243	239	241	280	328	380	438
学級	17	16	15	14	14	13	13	13	11	10	11	10	9	9	9	10	10	13	14

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。平成27年度以降は13学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



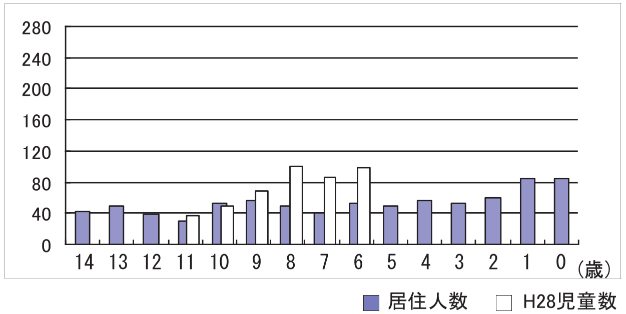
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	42	50	38	30	53	56	50	40	53	50	57	53	59	85	85
H28児童数				37	49	68	100	86	98						
H28学級数				1	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。新校舎で学校運営を開始した平成26年度以降、学区域外からの入学者が半数をこえています。六町駅周辺エリアデザイン地区のため、今後の開発により人口増加の可能性があります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移する見込みですが、六町駅周辺エリアデザイン地区のため、今後人口が増加する可能性があります。

1 学校基礎データ

学校名	亀田小学校	所在地	123-0843 足立区西新井栄町1-1-1
交通	西新井駅（東武線）下車徒歩8分		

開校年月日	昭和31年4月1日	敷地面積	11,744 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	5,373 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

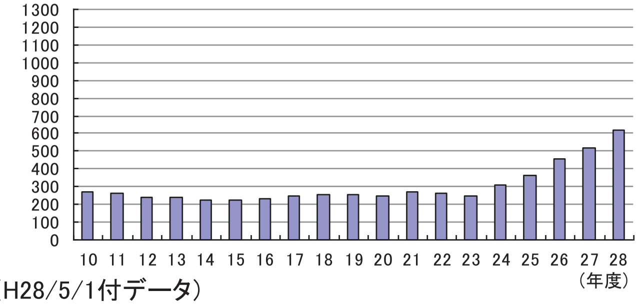
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	271	262	243	238	225	228	236	249	255	252	251	271	264	251	307	364	455	522	620
学級	11	11	10	10	10	9	9	10	10	9	8	9	10	9	11	13	15	17	19

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に、大規模住宅の建設に伴う栗原小学校との学区域変更を行ったことで、平成25年度以降、13学級から19学級で推移しています。平成26年度から児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



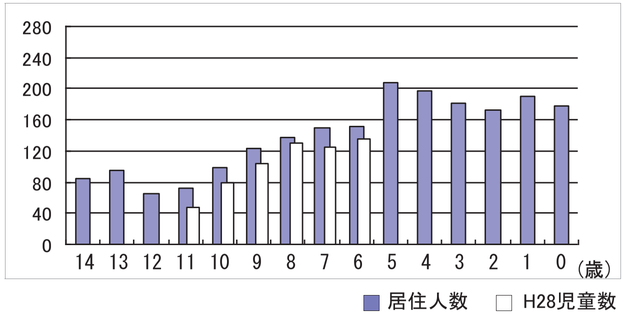
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	85	95	65	72	99	124	138	149	151	207	197	182	173	190	178
H28児童数				48	79	103	130	125	135						
H28学級数				2	2	3	4	4	4						

①今後の児童数の推移について

大規模住宅の建設により、学区域内に住む学齢前人口は5学級から6学級規模で推移する見込みです。今後、大規模となる可能性があります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅の建設により、急激に人口が増加しました。平成29年度から、増築した校舎で対応します。

1 学校基礎データ

学校名	北三谷小学校	所在地	120-0003 足立区東和1-17-12
交通	亀有駅(JR)下車徒歩15分		

開校年月日	昭和30年2月1日	敷地面積	7,916 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	5,782 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

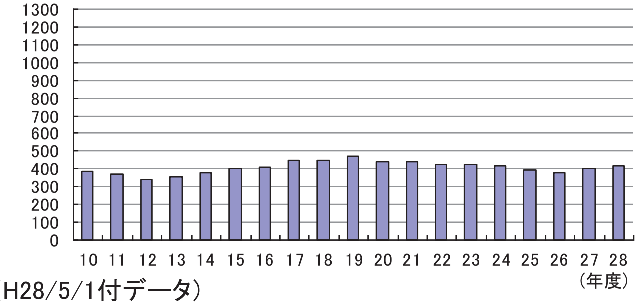
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	388	368	341	357	383	400	413	445	451	473	444	439	428	422	418	396	376	405	420
学級	12	12	12	12	13	13	13	14	14	15	14	14	14	14	14	13	13	14	14

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



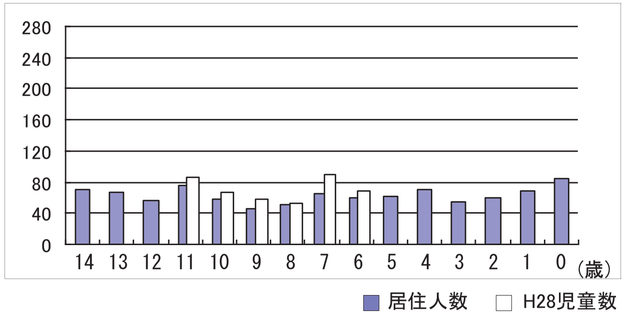
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	67	56	76	58	46	51	66	60	61	70	55	60	69	85
H28児童数				86	67	57	52	90	68						
H28学級数				3	2	2	2	3	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	北鹿浜小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜5-27-1
交通	西新井駅(東武線)から東武バス産業道路東下車徒歩3分		

開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	10,275 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和48年	延床面積	5,698 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

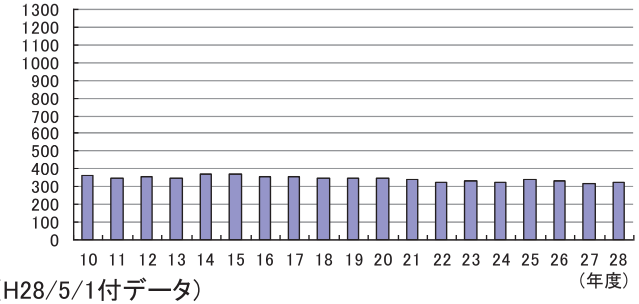
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	365	352	355	348	368	370	357	356	347	346	346	343	327	333	328	341	334	316	322
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



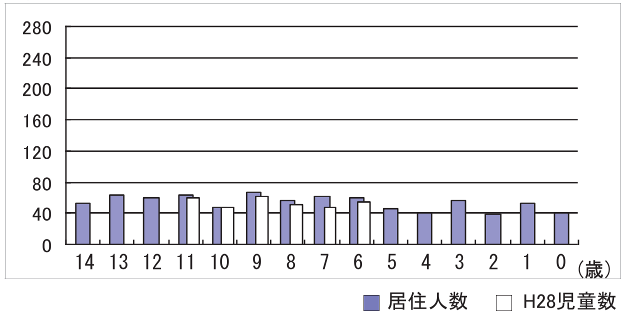
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	53	64	59	64	47	67	57	62	59	46	40	56	39	53	40
H28児童数				60	47	62	51	48	54						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学級数は12学級で一定していますが、児童数と学齢前人口が減少傾向にあります。また、隣接する鹿浜西小学校も小規模傾向が見られるため、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	栗島小学校	所在地	121-0012 足立区青井6-13-10
交通	青井駅（つくばエクスプレス）下車徒歩15分 五反野駅（東武線）下車徒歩18分		

開校年月日	昭和29年4月1日	敷地面積	9,405 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	5,330 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

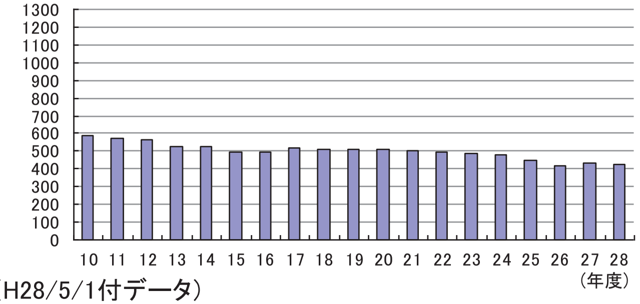
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	589	572	563	528	527	499	492	522	508	507	513	503	497	487	480	448	419	434	425
学級	18	18	18	17	17	16	15	16	15	16	16	15	15	15	15	14	12	13	13

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



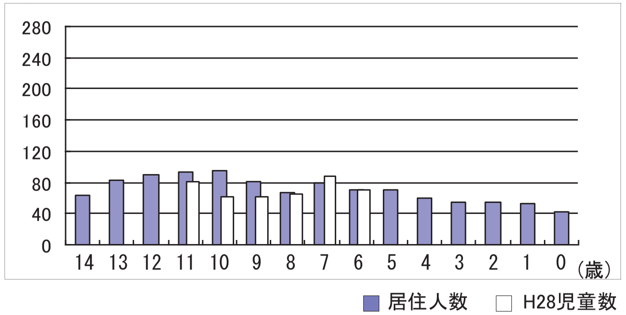
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	64	83	89	93	95	81	67	80	71	70	59	54	54	52	43
H28児童数				80	61	61	65	88	70						
H28学級数				2	2	2	2	3	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	栗原小学校	所在地	123-0843 足立区西新井栄町2-10-18
交通	西新井駅（東武線）下車徒歩2分		

開校年月日	昭和17年7月1日	敷地面積	6,105 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	4,542 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

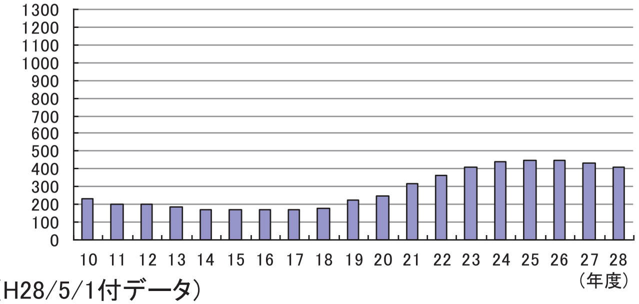
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	235	204	202	184	167	168	167	172	175	225	250	317	361	411	440	445	447	430	413
学級	9	8	8	7	6	6	6	6	6	8	9	11	12	14	15	15	15	14	14

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に大規模住宅の建設に伴う亀田小学校との学区域変更を行ったことで、平成25年度以降、14学級から15学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



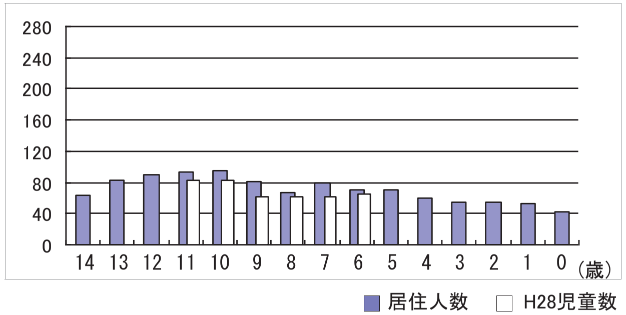
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	64	83	89	93	95	81	67	80	71	70	59	54	54	52	43
H28児童数				82	83	62	61	61	64						
H28学級数				3	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

大規模住宅の建設により学区域内に住む学齢前人口は増加傾向にありましたが、近年は減少傾向にあり2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成24年度に学区域変更を行い、適正規模で推移しています。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	栗原北小学校	所在地	123-0842 足立区栗原4-25-9
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩12分		

開校年月日	昭和52年4月1日	敷地面積	9,426 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和52年	延床面積	5,820 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

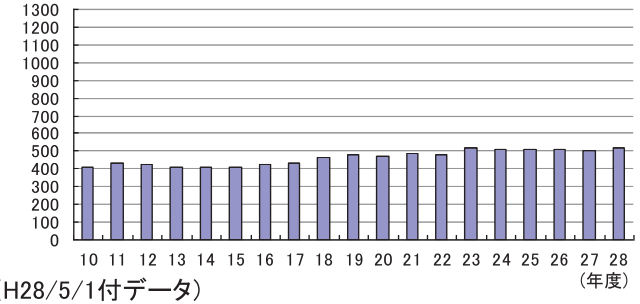
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	407	437	423	412	410	409	428	436	464	478	475	486	483	522	510	511	513	501	518
学級	12	13	13	12	12	12	12	12	13	15	15	16	16	17	17	17	16	16	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



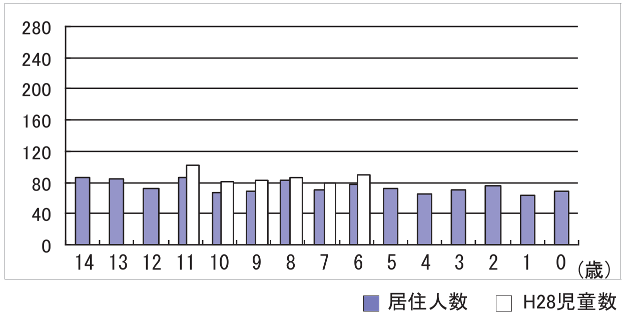
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	86	85	72	87	67	68	82	70	77	73	65	70	75	63	68
H28児童数				102	80	82	86	79	89						
H28学級数				3	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は、2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	弘道小学校	所在地	120-0014 足立区西綾瀬4-7-27
交通	青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩10分		
	五反野駅(東武線)下車徒歩12分 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩10分		

開校年月日	明治11年5月28日	敷地面積	10,734 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	5,709 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

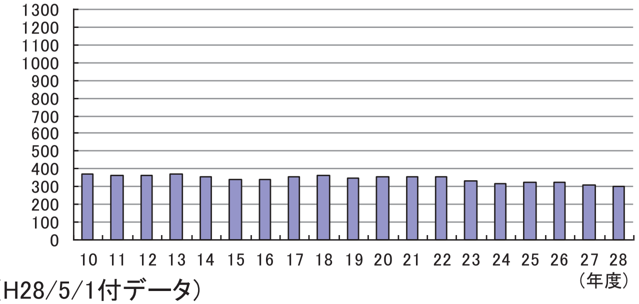
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	362	361	370	357	344	339	359	360	349	357	353	356	335	318	323	324	313	305
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



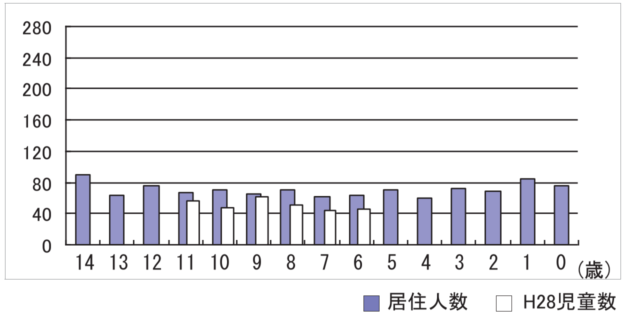
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	90	63	76	67	70	65	70	62	63	71	59	72	69	84	76
H28児童数				56	47	61	51	44	46						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する五反野小学校が平成25年度に統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	弘道第一小学校	所在地	120-0013 足立区弘道1-20-8		
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩8分　青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩12分 青井駅(つくばエクスプレス)からはるかぜ第十一中学校下車徒歩2分				
開校年月日	昭和40年9月1日	敷地面積	11,056 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	5,975 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

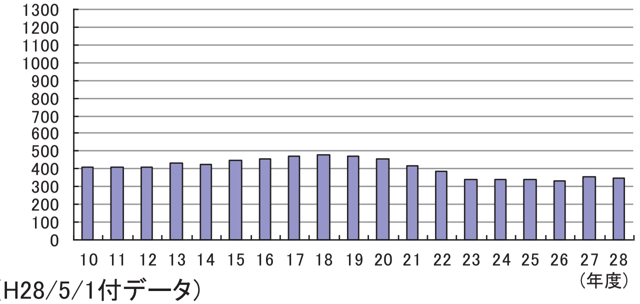
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	407	409	409	431	429	449	457	471	480	469	457	416	388	340	341	338	333	353	352
学級	12	12	12	13	13	14	14	15	15	15	15	13	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数は横ばいとなっています。学級数は12学級で一定しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



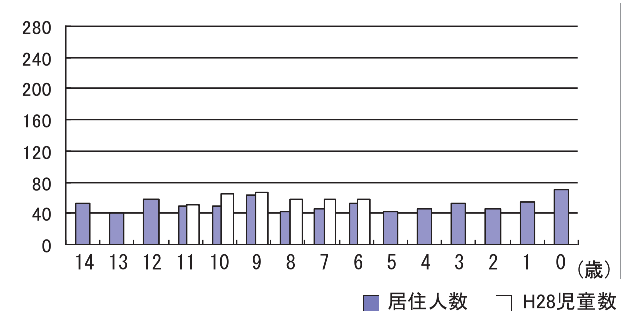
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	53	41	58	50	49	64	42	45	52	43	45	52	45	54	70
H28児童数				50	64	66	57	57	58						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	江北小学校	所在地	123-0872 足立区江北3-50-1		
交通	西新井駅(東武線)から都営バス荒川土手操車所下車徒歩10分				
開校年月日	明治7年11月1日	敷地面積	8,115 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	5,675 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

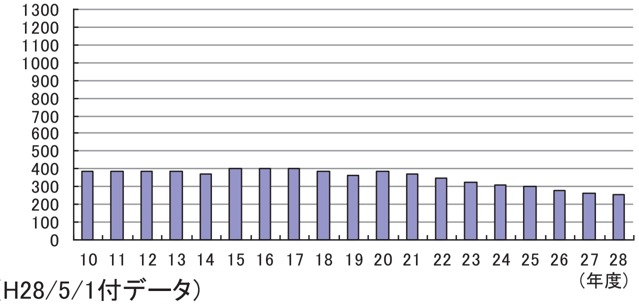
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	390	386	386	387	374	402	404	399	387	366	386	372	347	326	312	304	280	261	257
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	12	12	11	10	11

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は減少傾向にあり、学級数は10学級から12学級で推移しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



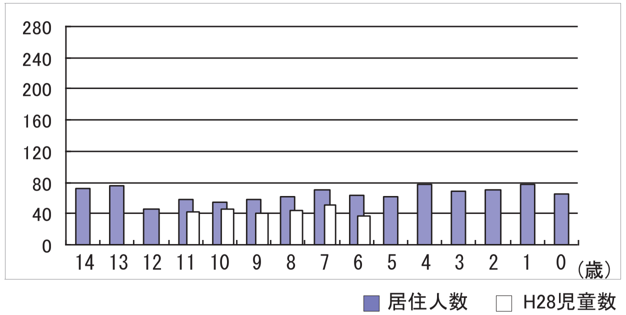
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	72	75	45	58	55	58	62	71	64	61	78	69	71	77	66
H28児童数				42	45	40	43	51	36						
H28学級数				2	2	1	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

江北小学校と高野小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、高野小学校との統合計画を進めます。

1　学校基礎データ

学校名	高野小学校	所在地	123-0872 足立区江北5-4-1		
交通	西新井駅（東武線）から国際興業バス江北陸橋下車徒歩2分 江北駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩3分				
開校年月日	昭和38年4月1日	敷地面積	12,964 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和37年	延床面積	6,106 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

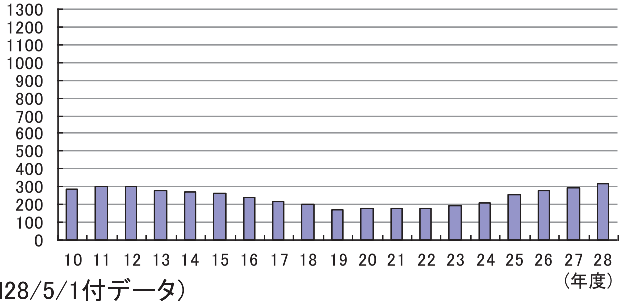
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	290	303	301	279	273	261	243	220	198	172	177	175	176	197	212	253	281	293	320
学級	10	11	11	11	11	10	9	8	7	6	6	6	6	7	8	9	10	11	12

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向にありましたが、平成23年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向となっています

②学校全体の児童数の推移グラフ



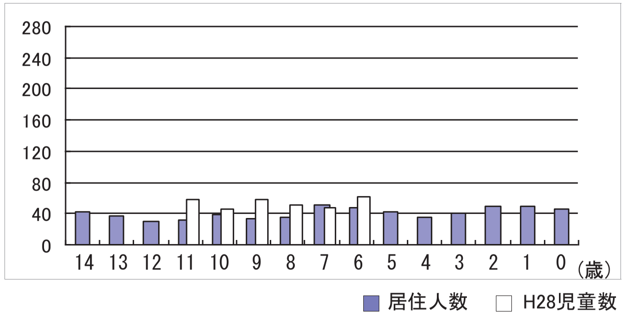
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	43	37	30	32	38	33	36	51	48	43	36	40	49	50	45
H28児童数				58	45	58	50	48	61						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

高野小学校と江北小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、江北小学校との統合計画を進めます。

1　学校基礎データ

学校名	古千谷小学校	所在地	121-0832 足立区古千谷本町4-12-16		
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス古千谷橋下車徒歩3分 舎人駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩10分				
開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	9,198 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和51年	延床面積	5,048 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

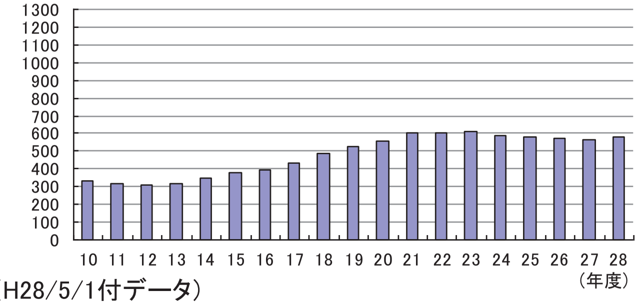
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	330	318	307	317	351	377	398	436	487	525	556	601	607	608	585	580	575	565	582
学級	12	12	12	12	12	12	12	14	15	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



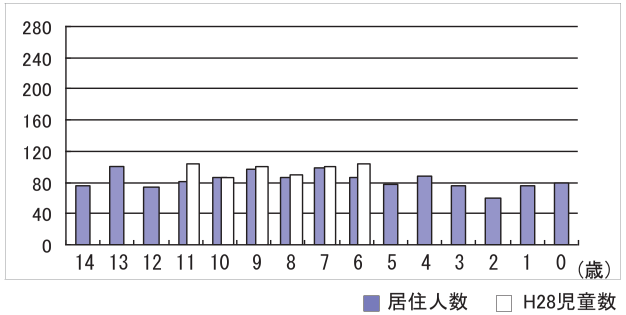
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	76	100	74	81	86	97	86	98	87	78	88	76	60	75	80
H28児童数				104	86	100	90	99	103						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は増減を繰り返し、2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	皿沼小学校	所在地	123-0862 足立区皿沼1-19-1
交通	西新井駅（東武線）から東武バス皿沼不動前下車徒歩7分		

開校年月日	昭和57年4月1日	敷地面積	12,735 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和57年	延床面積	6,095 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

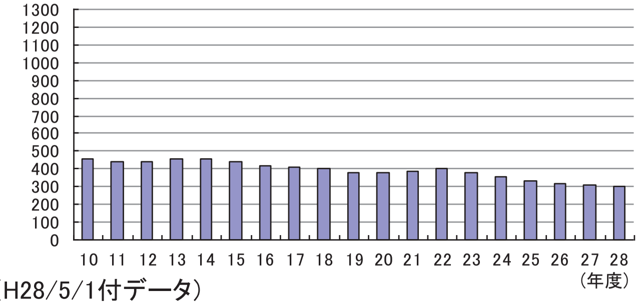
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	457	438	438	459	460	443	419	413	403	382	379	386	401	378	359	332	320	313	302
学級	14	13	13	15	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11

①これまでの学校規模の推移について

児童数に減少傾向が見られ、平成27年度以降は、学級数が11学級となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



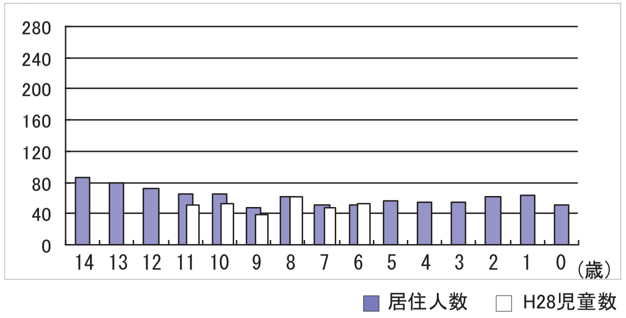
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	86	80	72	65	65	48	62	51	51	56	55	54	62	63	51
H28児童数				51	52	38	61	48	52						
H28学級数				2	2	1	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数・学級数ともに減少傾向は見られますが、周囲の学校と適正な距離が保たれており、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

1 学校基礎データ

学校名	鹿浜五色桜小学校	所在地	123-0872 足立区江北6-10-2
交通	西新井大師西駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩3分 大師前駅（東武大師線）下車徒歩18分		

開校年月日	平成27年4月1日	敷地面積	9,042 ㎡	特別支援学級	情緒障がい等
建築年	昭和47年（改築中）	延床面積	6,195 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

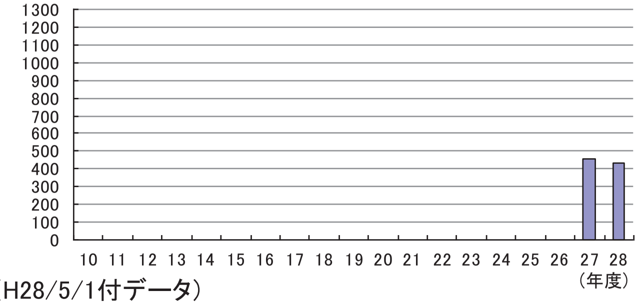
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数																		460	435
学級																		15	14

①これまでの学校規模の推移について

平成27年4月に統合し、適正な学校規模となっています。14学級から15学級となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



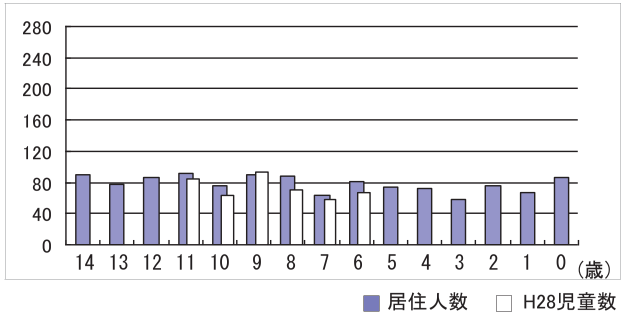
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	89	77	86	92	76	89	88	64	81	74	72	58	76	67	87
H28児童数				84	63	93	70	58	67						
H28学級数				3	2	3	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成27年4月に上沼田小学校と鹿浜小学校を統合しました。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。平成29年度には新校舎へ移転する予定です。

1 学校基礎データ

学校名	鹿浜第一小学校	所在地	123-0863 足立区谷在家2-24-1
交通	西新井駅（東武線）から東武バス谷在家下車徒歩5分 谷在家駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩8分		

開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	12,636 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和40年	延床面積	6,022 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

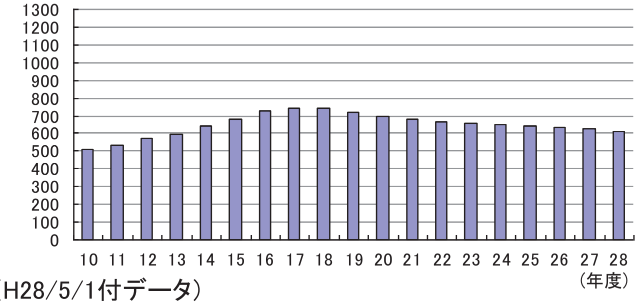
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	512	532	576	597	643	684	729	746	746	718	699	681	664	659	650	646	634	628	615
学級	17	17	19	20	20	22	22	22	22	21	21	20	19	20	20	19	19	19	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級から20学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



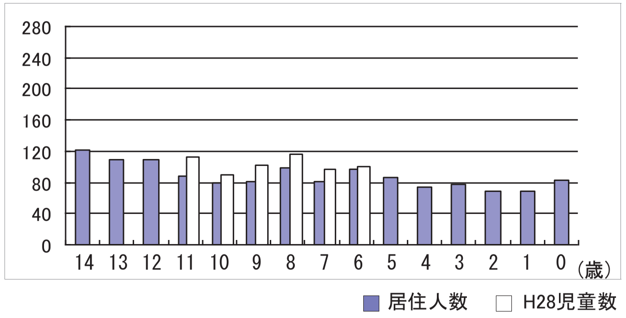
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	122	110	109	88	80	81	98	81	97	87	74	78	68	68	83
H28児童数				112	89	102	116	96	100						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。近隣の小学校の統合により、適正な配置が保たれています。

1 学校基礎データ

学校名	鹿浜西小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜2-24-1
交通	西新井駅（東武線）から東武バス鹿浜下車徒歩3分 王子・赤羽駅（JR等）から都営バス鹿浜橋下車徒歩3分		

開校年月日	昭和44年4月1日	敷地面積	10,153 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	4,226 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

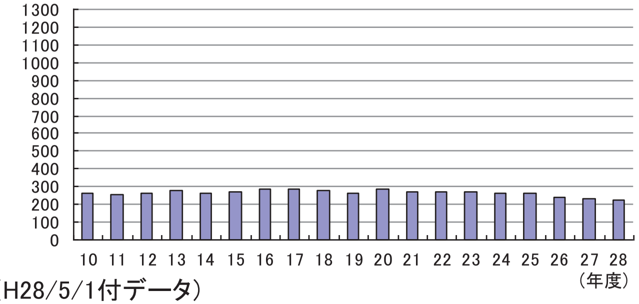
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	262	254	263	279	266	274	286	285	275	262	284	274	269	273	264	264	243	232	223
学級	9	8	9	11	9	11	11	10	10	11	11	10	9	10	10	11	10	8	8

①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向が見られます。

②学校全体の児童数の推移グラフ



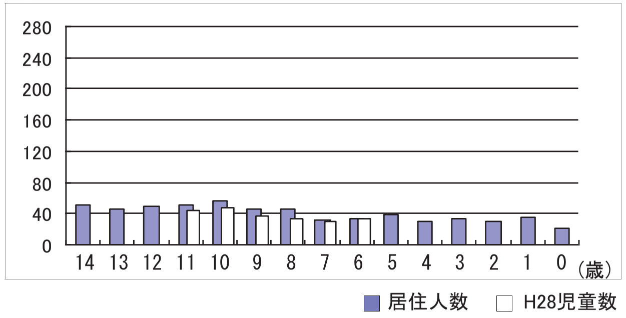
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	51	46	49	51	56	45	45	31	33	38	30	33	30	35	22
H28児童数				43	48	36	34	29	33						
H28学級数				2	2	1	1	1	1						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数・学級数の減少傾向が続いています。また、隣接する北鹿浜小学校も小規模傾向が見られるため、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	島根小学校	所在地	121-0815 足立区島根3-28-11
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩5分		

開校年月日	昭和36年10月1日	敷地面積	9,240 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成14年	延床面積	7,732 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	24 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

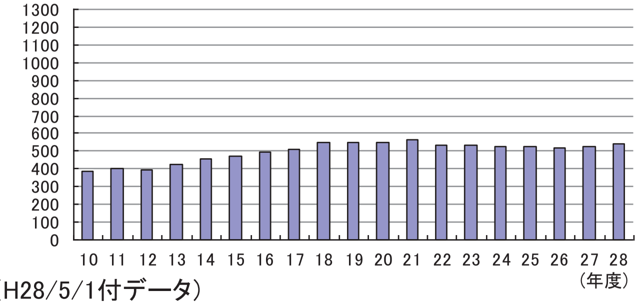
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	388	399	396	424	454	470	499	512	551	547	552	567	531	532	523	530	516	525	545
学級	12	12	12	13	14	14	15	16	17	17	17	18	17	16	17	17	17	17	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



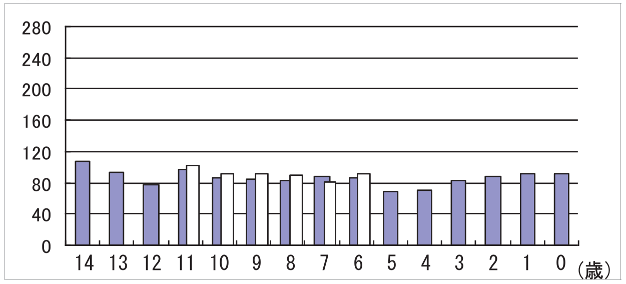
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	107	93	78	97	86	85	83	88	87	68	71	83	88	91	92
H28児童数				101	91	91	90	81	91						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は増加傾向にあります。2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数　□ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	新田小学校	所在地	123-0865 足立区新田3-34-2(第二校舎:足立区新田3-30-16)
交通	北千住駅(東武線等)から都営バス ハートアイランド西下車1分		
	王子駅(JR等)から都営バス ハートアイランド南下車徒歩3分		

開校年月日	昭和23年4月1日	敷地面積	16,000 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	平成22年	延床面積	12,340 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	30 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

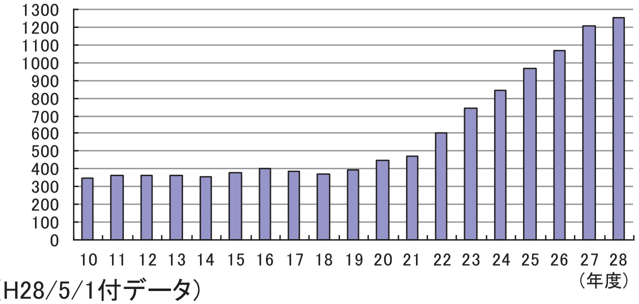
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	346	362	361	363	358	381	399	389	370	393	446	475	607	739	843	965	1067	1208	1251
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	15	18	22	26	29	32	36	37

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に児童数・学級数ともに大規模となり、平成26年度以降、30学級を超える規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



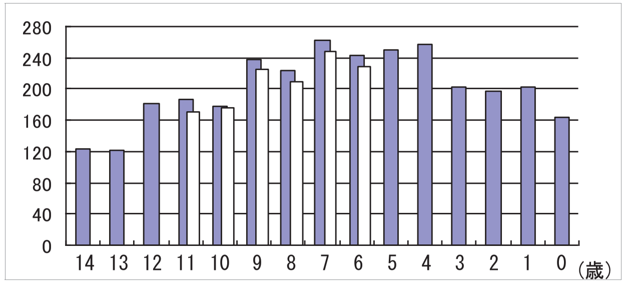
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	123	122	181	187	178	237	224	262	243	250	257	203	198	202	164
H28児童数				170	175	224	209	246	227						
H28学級数				5	5	6	6	8	7						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は減少傾向にありますが、学級数は5学級から8学級規模で推移し、現状よりも増加する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数　□ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

現在、37学級となっています。しかし、周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。

1　学校基礎データ

学校名	関原小学校	所在地	123-0852 足立区関原3-38-3
交通	西新井駅(東武線)下車徒歩12分		

開校年月日	昭和7年4月1日	敷地面積	7,209 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	平成28年	延床面積	7,650 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	27 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

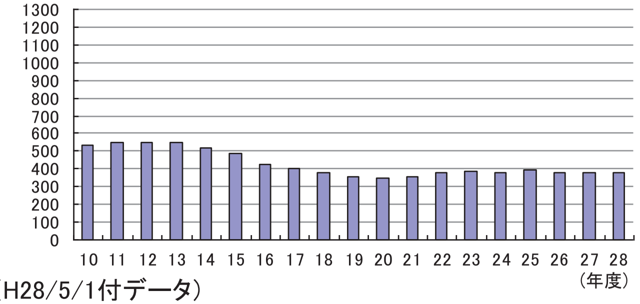
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	537	546	549	547	517	488	427	400	380	355	351	359	382	389	380	391	383	380	377
学級	16	17	17	17	16	15	14	14	13	12	12	12	12	12	12	13	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から13学級で推移しています。平成22年度から、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



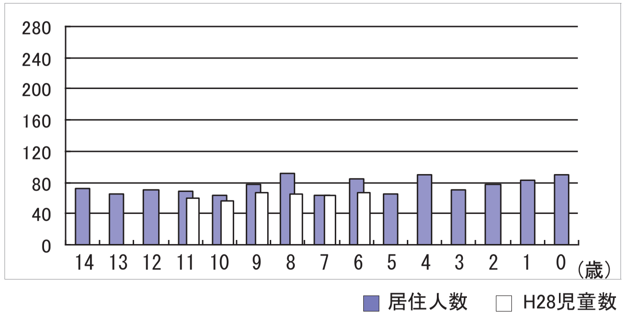
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	73	66	70	68	63	77	92	64	84	66	90	70	77	82	90
H28児童数				60	56	67	64	63	67						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

平成24年度の本木東小学校と本木小学校の統合に伴い、学区域変更を行いました。平成28年度には施設更新が完了し、新校舎へ移転しました。引き続き、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	千寿小学校	所在地	120-0043 足立区千住宮元町6-1(仮設校舎:足立区千住緑町1-4-16)
交通	北千住駅(東武線等)下車徒歩15分		
	千住大橋駅(京成線)下車徒歩5分		

開校年月日	平成14年4月1日	敷地面積	7,681 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和44年(改築中)	延床面積	4,747 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

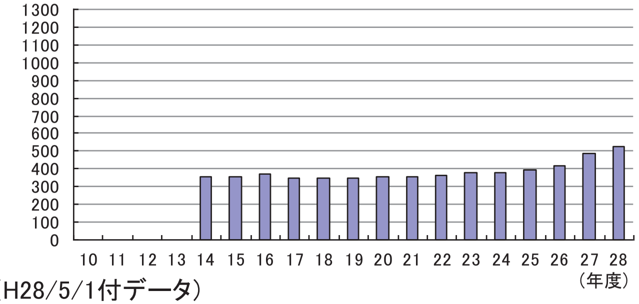
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数					355	357	368	348	351	347	353	353	364	383	383	395	421	489	525
学級					12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	14	15	16

①これまでの学校規模の推移について

12学級から16学級で推移しており、平成23年度以降は児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



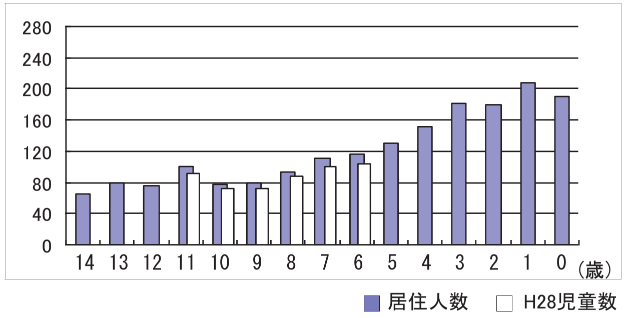
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	66	80	76	101	78	80	94	111	117	130	151	181	179	208	191
H28児童数				91	72	71	87	100	104						
H28学級数				3	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は4学級から6学級規模で推移する見込みです。大規模住宅等の建設により、増加傾向にあります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅等の建設により急激な人口増加が見込まれ、大規模化の傾向が見られます。現在既存校舎の建て替えを行っており、平成31年度から新校舎で学校運営を開始する予定です。

1 学校基礎データ

学校名	千寿桜小学校	所在地	120-0045 足立区千住桜木1-8-15
交通	北千住駅(東武線等)下車徒歩15分 北千住駅(東武線等)から東武・都営バス龍田町下車徒歩3分		

開校年月日	平成4年4月1日	敷地面積	8,175 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	平成6年	延床面積	8,987 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

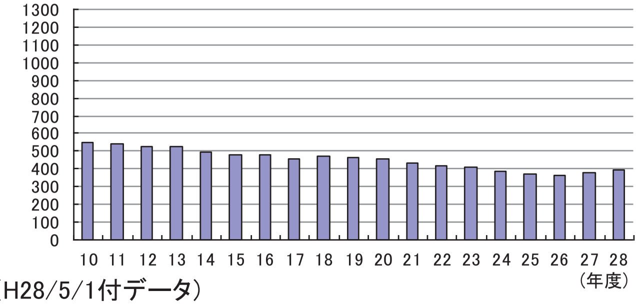
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	553	543	527	526	498	483	481	458	469	464	458	430	419	410	388	375	363	383	397
学級	18	18	16	17	16	16	15	14	15	15	15	14	13	13	12	12	12	13	14

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



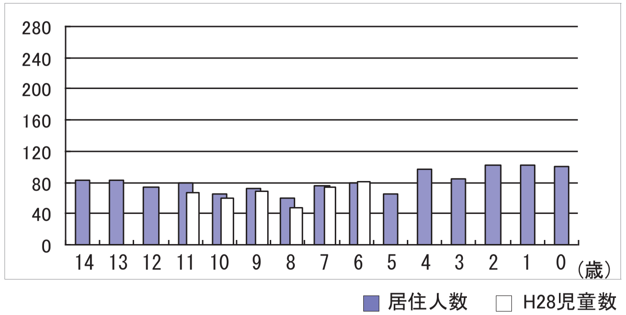
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	82	83	74	80	65	72	59	76	80	66	97	84	102	103	100
H28児童数				67	60	69	48	73	80						
H28学級数				2	2	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は増加傾向にあり、2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	千寿常東小学校	所在地	120-0026 足立区千住旭町10-31
交通	北千住駅(東武線等)下車徒歩5分		

開校年月日	平成14年4月1日	敷地面積	9,563 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	6,568 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

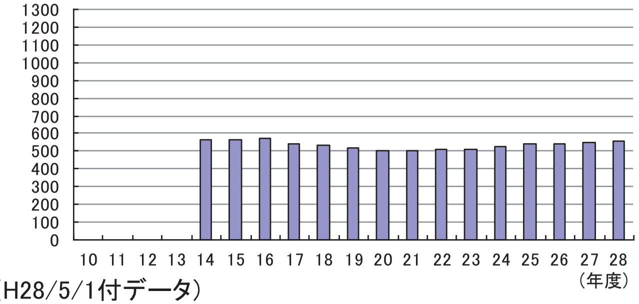
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数					565	565	574	541	534	518	504	502	507	509	530	538	542	552	560
学級					17	17	17	17	17	16	15	16	15	16	17	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

15学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



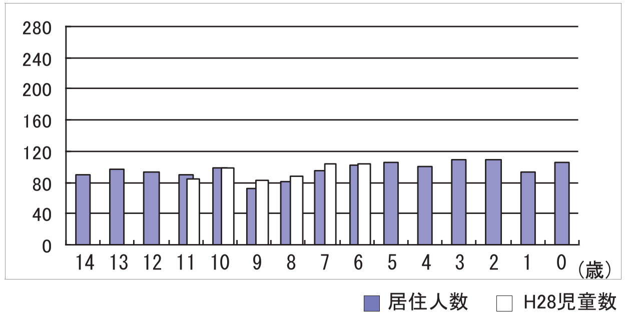
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	89	96	94	90	98	72	81	95	103	105	101	109	109	94	106
H28児童数				84	98	83	88	104	103						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	千寿第八小学校	所在地	120-0024 足立区千住関屋町16-1
交通	牛田駅(東武線)下車徒歩10分 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分		

開校年月日	昭和13年4月1日	敷地面積	9,439 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和41年	延床面積	6,532 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

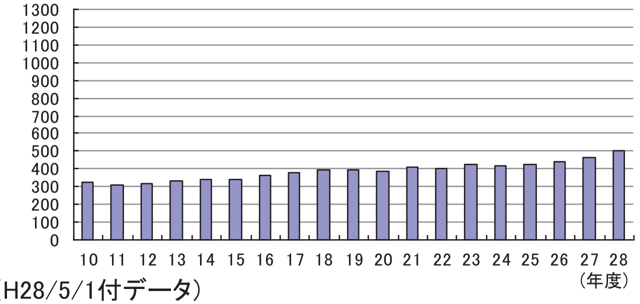
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	327	309	320	336	340	338	361	378	395	396	390	413	401	425	419	429	442	468	505
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	13	14	15	16

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに増加傾向にあり、12学級から16学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



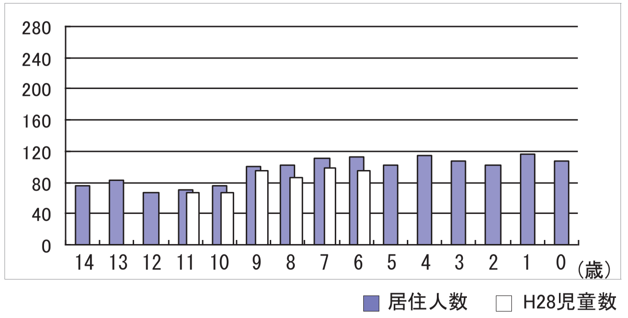
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	76	83	67	71	76	101	102	111	113	103	114	107	103	117	107
H28児童数				67	67	94	85	98	94						
H28学級数				2	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

大規模開発による一時的な人口増加が見られますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	千寿双葉小学校	所在地	120-0031 足立区千住大川町17-1
交通	北千住駅(東武線等)下車徒歩13分 北千住駅(東武線等)から東武・都営バス千住四丁目下車徒歩3分		

開校年月日	平成17年4月1日	敷地面積	7,949 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成19年	延床面積	7,551 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

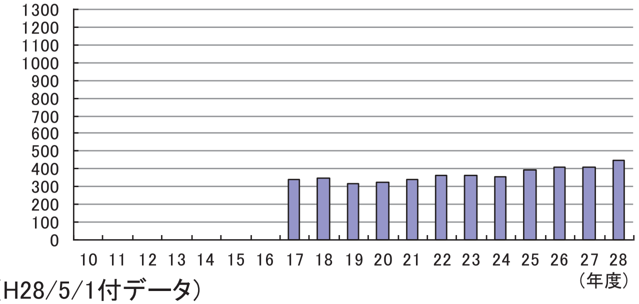
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数								342	346	320	326	338	360	362	359	391	408	413	445
学級								12	12	11	12	12	12	12	12	13	13	12	14

①これまでの学校規模の推移について

開校以来、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



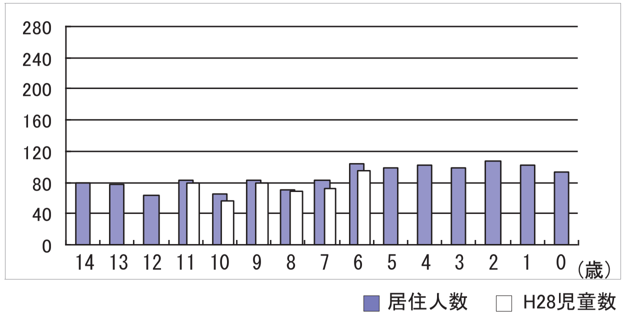
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	79	77	64	82	66	82	70	83	104	99	102	98	107	103	93
H28児童数				78	56	78	68	71	94						
H28学級数				2	2	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	千寿本町小学校	所在地	120-0034 足立区千住3-30
交通	北千住駅（東武線等）下車徒歩5分		

開校年月日	平成3年4月1日	敷地面積	6,252 ㎡	特別支援学級	難聴・言語障がい
建築年	平成5年	延床面積	8,889 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

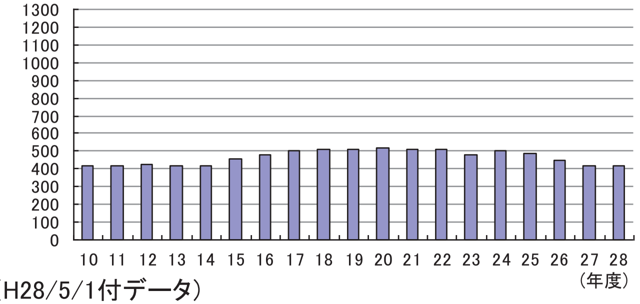
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	420	418	426	417	420	458	478	506	511	507	522	512	509	481	501	484	451	420	419
学級	13	12	13	13	13	14	14	15	15	15	15	15	15	14	15	15	14	13	13

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



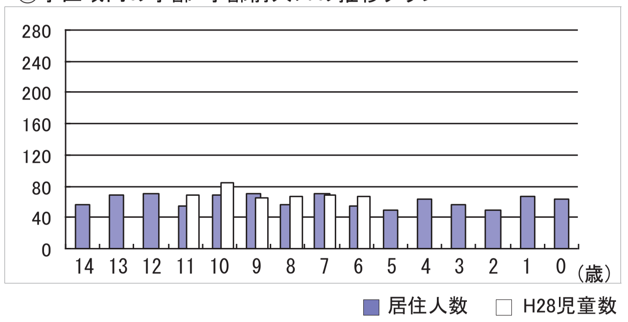
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	57	68	71	55	68	71	56	71	55	49	63	56	50	67	64
H28児童数				69	84	65	66	68	67						
H28学級数				2	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多く見られるため、適正規模で推移していくことが見込まれます。今後、再開発計画等による人口増に注視する必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	竹の塚小学校	所在地	121-0813 足立区竹の塚1-8-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩7分		

開校年月日	昭和43年4月1日	敷地面積	11,593 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	6,221 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

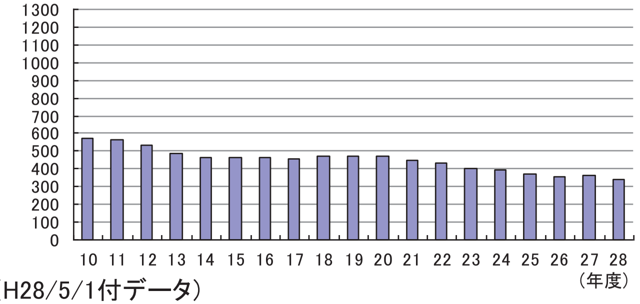
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	570	563	533	489	465	463	462	455	470	475	469	450	430	401	394	373	354	364	344
学級	18	18	17	16	15	14	14	14	14	15	14	14	13	12	13	13	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



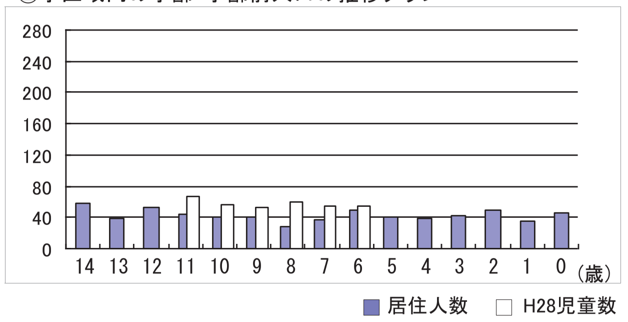
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	58	39	53	44	40	40	29	37	49	41	38	42	49	36	45
H28児童数				66	56	53	60	55	54						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられます。学校選択の状況によって、適正規模を維持していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	辰沼小学校	所在地	120-0006 足立区谷中5-12-1
交通	北綾瀬駅（千代田線）下車徒歩15分		

開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	14,807 ㎡	特別支援学級	情緒障がい等
建築年	昭和53年	延床面積	6,093 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

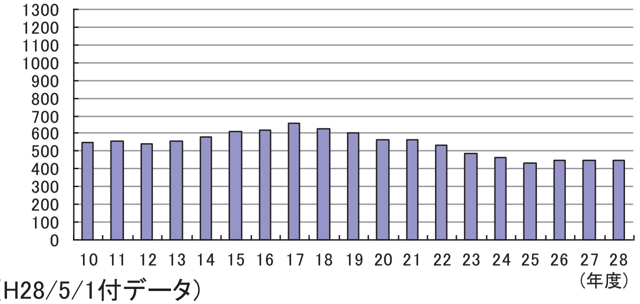
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	547	554	541	558	579	614	620	657	630	606	563	562	536	484	464	437	452	447	451
学級	18	18	17	17	17	17	17	18	17	18	17	18	17	16	14	13	15	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、13学級から16学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模になっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



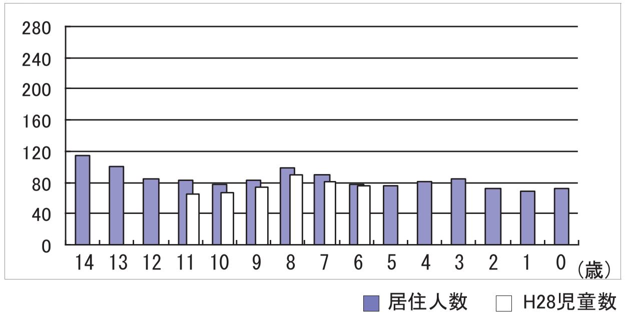
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	115	100	85	83	77	82	99	90	78	75	81	84	72	68	73
H28児童数				64	67	74	89	81	76						
H28学級数				2	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	寺地小学校	所在地	123-0873 足立区扇1-7-1
交通	北千住駅（東武線等）から東武バス本木小学校前下車徒歩10分		
	扇大橋駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩8分		

開校年月日	昭和15年9月16日	敷地面積	9,637 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和43年	延床面積	6,229 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

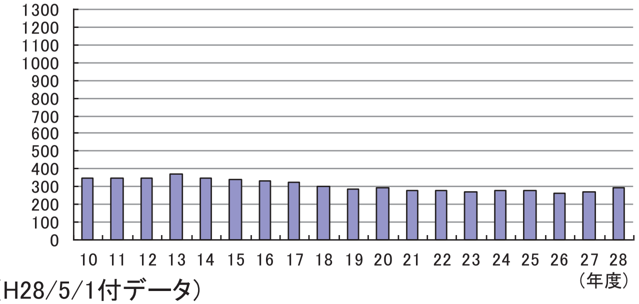
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	352	350	352	370	351	344	334	322	302	288	297	280	275	273	276	275	262	267	295
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	12	12	12	11	10	10	11

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向がみられます。学級数は平成21年度以降、12学級から10学級に減少しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



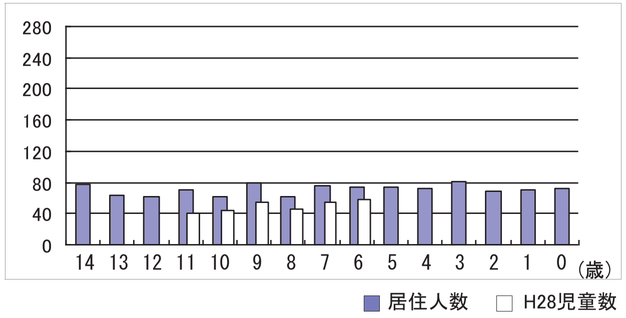
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	77	64	61	70	61	79	61	75	74	74	72	81	69	70	73
H28児童数				41	43	54	45	54	58						
H28学級数				1	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は今後もほぼ横ばいが続き、2学級から3学級規模で推移する見込みです。大規模住宅の建設が予定されています。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する本木小学校が平成24年度に統合しました。大規模住宅建設後の状況によっては児童数が増える可能性があります。

1 学校基礎データ

学校名	舎人小学校	所在地	121-0831 足立区舎人1-25-32		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス舎人町下車徒歩5分 舎人駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩1分				
開校年月日	明治26年1月28日	敷地面積	10,685 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	6,376 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

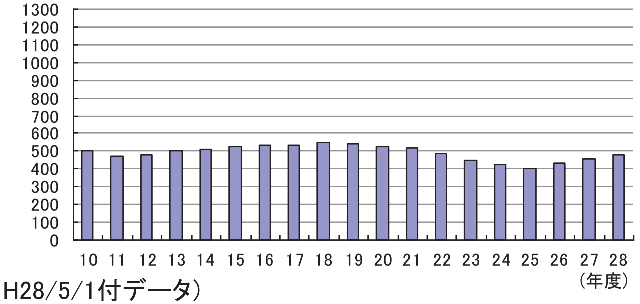
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	501	472	476	504	510	523	532	534	547	542	530	520	485	451	422	403	434	453	477
学級	15	14	14	15	16	17	17	17	18	18	17	16	15	14	13	13	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



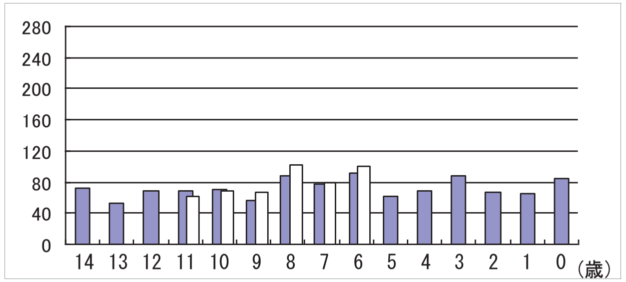
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	72	52	69	68	70	57	88	78	91	62	68	88	67	66	84
H28児童数				62	69	66	101	79	100						
H28学級数				2	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していく必要があります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多く見られますが、隣接する小学校が減少傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	舎人第一小学校	所在地	121-0831 足立区舎人6-4-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス見沼代親水公園駅下車徒歩7分 見沼代親水公園駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩7分				
開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	9,471 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和61年	延床面積	8,969 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

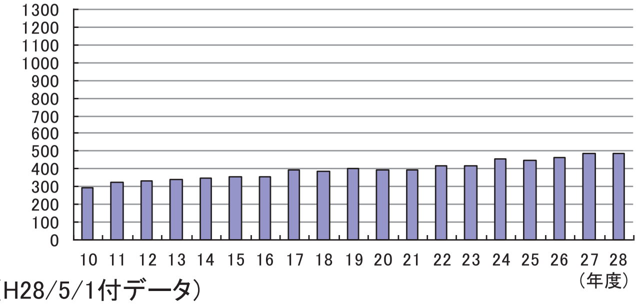
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	297	323	332	340	350	359	359	392	388	401	392	391	421	421	455	448	468	490	486
学級	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	14	15	16	15	15	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。14学級から16学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



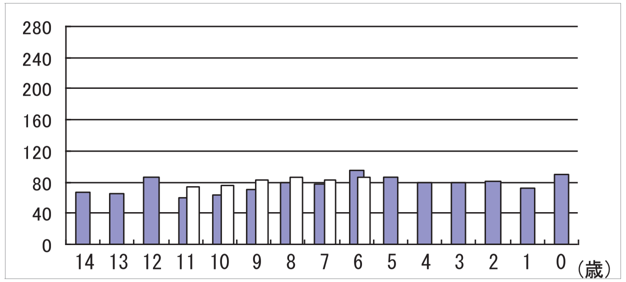
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	67	65	86	60	64	71	79	77	95	87	80	79	81	73	90
H28児童数				74	76	82	85	83	86						
H28学級数				2	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれますが、隣接する小学校が減少傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1　学校基礎データ

学校名	中川小学校	所在地	120-0001 足立区大谷田3-17-20
交通	亀有駅(JR)から東武バス中川小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和37年4月1日	敷地面積	12,861 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和37年(H22大規模改修)	延床面積	4,778 ㎡	学童保育室
設計基準強度	21 N/mm²			

2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

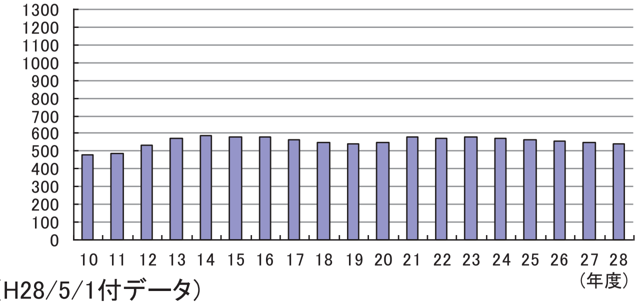
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	476	485	535	572	587	580	583	563	548	538	546	582	576	583	575	566	559	550	538
学級	16	15	16	17	18	18	18	17	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



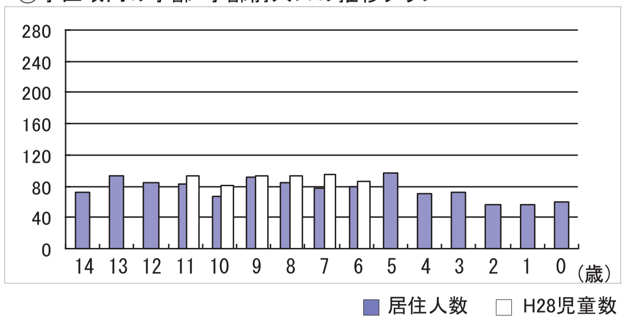
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	72	93	84	83	67	92	85	78	79	97	70	72	57	56	60
H28児童数				92	81	92	93	95	85						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	中川北小学校	所在地	121-0052 足立区六木1-6-10
交通	亀有駅(JR)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス六ツ木団地下車徒歩1分		

開校年月日	昭和47年4月1日	敷地面積	11,445 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和47年	延床面積	6,376 ㎡	学童保育室
設計基準強度	18 N/mm²			

2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

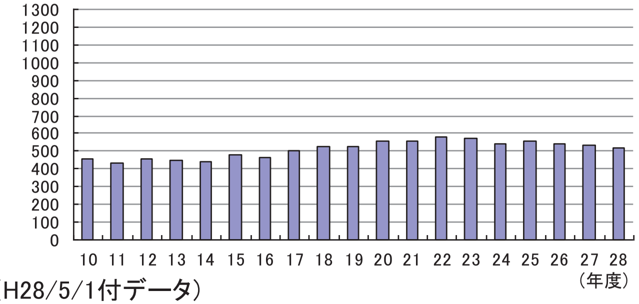
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	455	433	453	446	443	479	465	504	523	528	560	555	578	569	545	556	540	531	522
学級	13	13	14	15	15	16	14	16	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



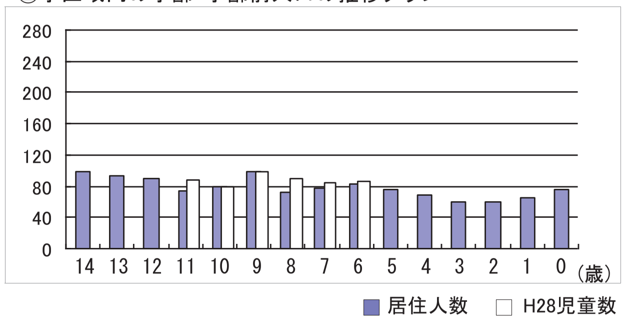
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	99	94	89	74	79	98	73	78	83	76	68	60	60	65	76
H28児童数				88	78	98	89	84	85						
H28学級数				3	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	中川東小学校	所在地	120-0001 足立区大谷田2-1-10
交通	亀有駅（JR）から東武バス中川小学校前下車徒歩2分		

開校年月日	昭和55年4月1日	敷地面積	13,787 ㎡	特別支援学級	難聴・言語障がい
建築年	昭和55年	延床面積	7,669 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

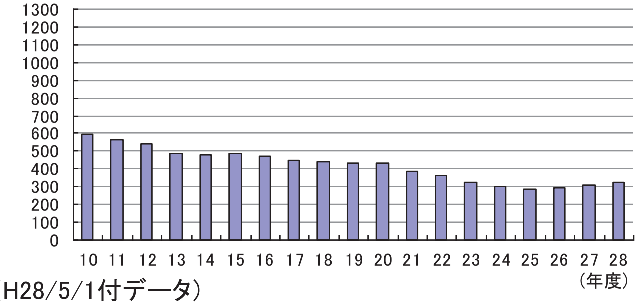
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	595	563	538	484	477	484	473	451	444	436	434	390	360	327	303	287	297	307	322
学級	18	18	18	15	15	15	14	14	13	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、11学級から12学級で推移しており、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。

②学校全体の児童数の推移グラフ



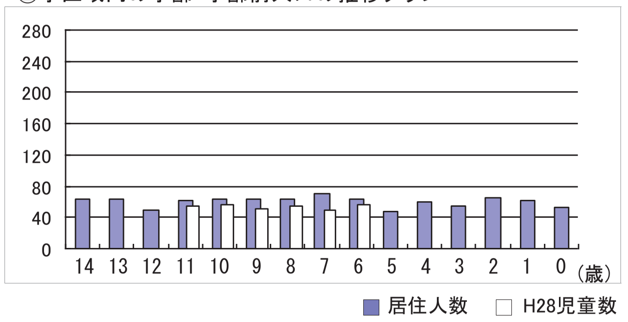
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	63	63	49	61	64	63	63	71	63	47	60	55	65	61	53
H28児童数				55	56	51	55	49	56						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	中島根小学校	所在地	121-0815 足立区島根2-9-22
交通	梅島駅（東武線）下車徒歩18分 西新井駅（東武線）下車徒歩18分		

開校年月日	昭和49年4月1日	敷地面積	11,522 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和49年	延床面積	4,935 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

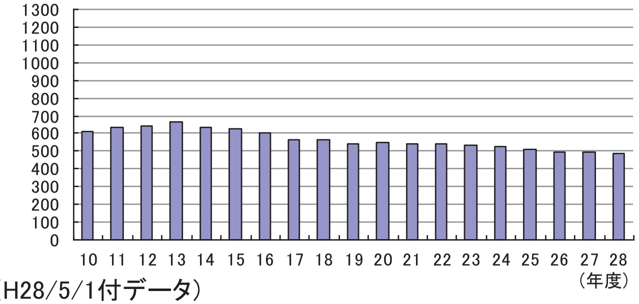
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	612	638	643	662	631	627	603	566	565	541	553	541	539	532	525	507	495	493	488
学級	19	19	19	19	18	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	17	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、18学級から16学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



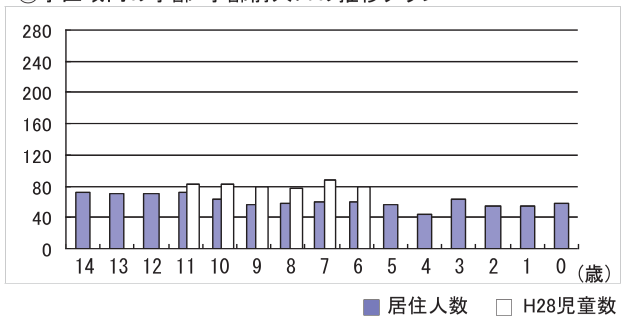
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	73	71	71	73	64	57	58	59	59	57	44	64	55	54	58
H28児童数				83	83	79	77	87	79						
H28学級数				3	3	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数は減少傾向にありますが、学区域外からの入学者数が多くみられるため、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	長門小学校	所在地	120-0002 足立区中川1-19-32
交通	亀有駅(JR)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和39年4月1日	敷地面積	9,329 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和40年	延床面積	4,315 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

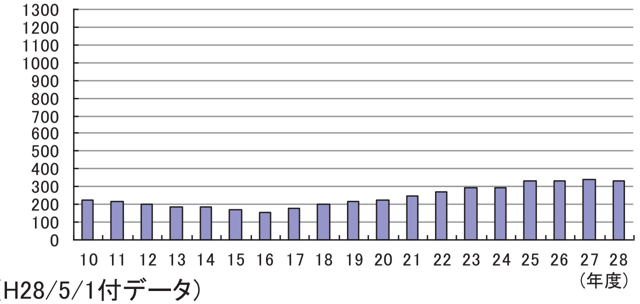
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	226	214	202	187	183	168	156	178	203	215	224	244	271	291	294	330	331	341	336
学級	8	7	7	7	6	6	6	8	9	8	8	9	10	11	11	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成17年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。平成25年度から12学級で一定しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



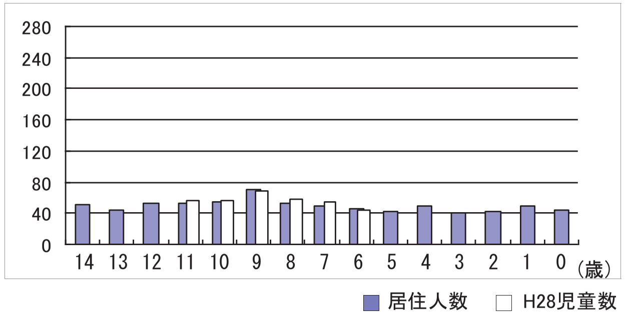
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	51	44	53	53	55	71	52	49	45	42	50	41	43	49	44
H28児童数				56	56	69	58	54	43						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数は増加傾向にありますが、隣接する大谷田小学校が小規模傾向にあることから、地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	西新井小学校	所在地	123-0845 足立区西新井本町4-9-27
交通	大師前駅(東武大師線)下車徒歩7分		

開校年月日	昭和4年4月1日	敷地面積	9,023 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成23年	延床面積	7,867 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	30 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

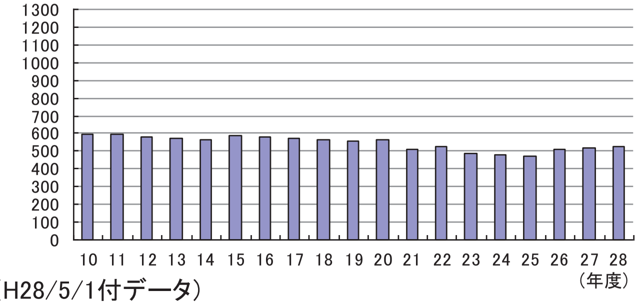
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	593	594	577	574	562	591	577	574	563	557	562	514	524	485	480	474	510	521	526
学級	18	18	18	18	18	19	18	18	17	17	17	16	17	16	16	16	16	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



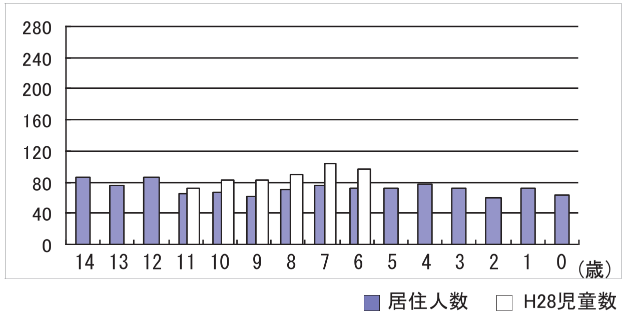
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	86	76	86	66	67	62	70	76	72	72	77	73	60	72	63
H28児童数				71	82	83	90	104	96						
H28学級数				2	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模ですが、学区域外からの入学者も多いことから、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	西新井第一小学校	所在地	123-0841 足立区西新井6-21-3
交通	大師前駅（東武大師線）下車徒歩5分 西新井大師西駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩7分		
開校年月日	昭和27年4月1日	敷地面積	10,904 ㎡
建築年	昭和41年	延床面積	6,191 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2		

特別支援学級　学童保育室

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

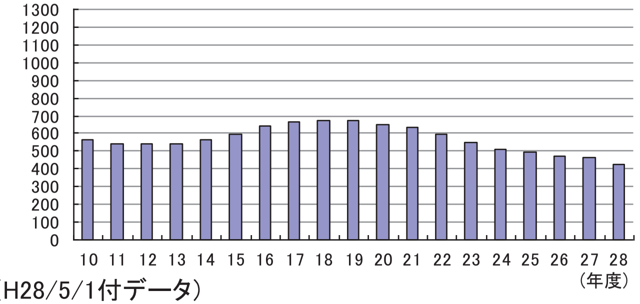
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	566	545	538	543	567	597	642	667	674	675	648	632	595	550	514	493	471	461	427
学級	17	17	17	17	17	18	19	19	19	19	19	19	18	18	17	16	15	14	13

①これまでの学校規模の推移について

一時的に児童数が増加していましたが、平成20年度以降減少傾向にあり、19学級から13学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学級規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



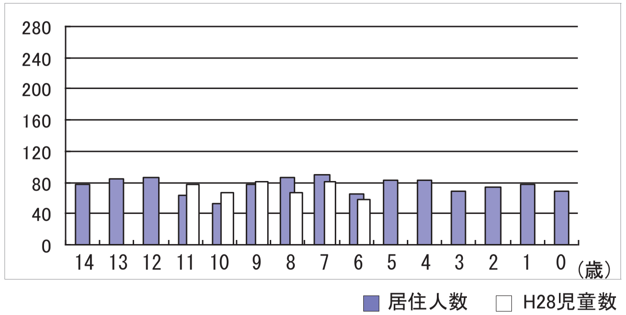
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	78	85	86	63	53	77	87	89	66	83	82	69	74	77	68
H28児童数				77	67	80	66	80	57						
H28学級数				2	2	2	2	3	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	西新井第二小学校	所在地	123-0841 足立区西新井4-34-1
交通	西新井駅（東武線）から東武バス西新井消防署下車徒歩2分　竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩20分 大師前駅（東武大師線）下車徒歩20分　谷在家（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩10分		
開校年月日	昭和39年9月1日	敷地面積	9,953 ㎡
建築年	昭和39年	延床面積	5,611 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2		

特別支援学級　学童保育室

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

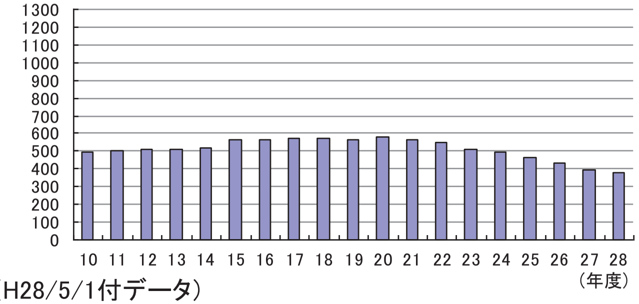
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	495	501	514	514	519	565	562	575	569	568	578	567	551	509	494	468	433	393	378
学級	15	15	16	17	17	18	18	18	17	17	17	17	17	16	16	15	14	13	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、17学級から12学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学級規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



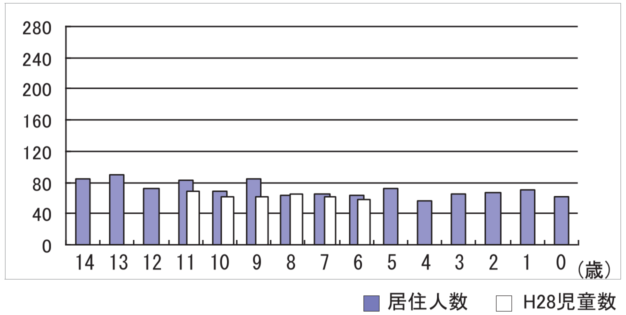
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	85	90	73	83	68	85	64	66	64	72	57	65	67	71	62
H28児童数				69	62	62	65	62	58						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅の建設がみられるため、今後学齢前人口が増加する可能性があります。最も古い校舎は昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	西伊興小学校	所在地	121-0823 足立区伊興2-6-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩13分		

開校年月日	昭和47年4月1日	敷地面積	11,383 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和47年	延床面積	5,428 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

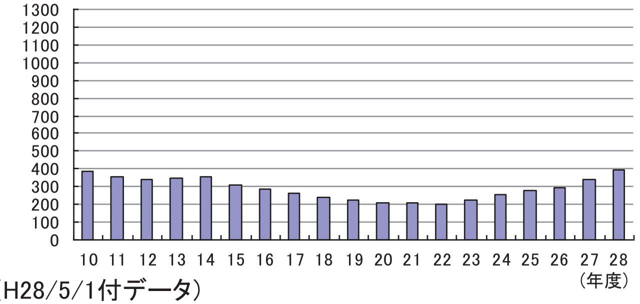
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	384	356	338	351	355	311	289	266	241	221	209	211	204	221	255	280	295	344	398
学級	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	7	8	9	10	12	14

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降増加傾向にあり、7学級から14学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学級規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



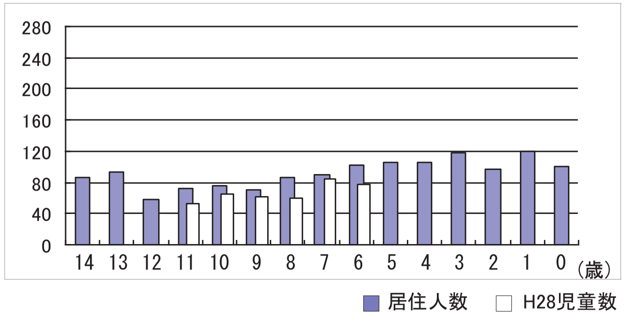
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	87	93	58	73	76	70	86	90	103	105	106	118	96	120	100
H28児童数				52	64	61	60	84	77						
H28学級数				2	2	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は増加傾向にあり、3学級から4学級規模で推移する見込みです。集合住宅等の建設の影響がみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	西保木間小学校	所在地	121-0812 足立区西保木間4-2-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩15分		

開校年月日	平成9年4月1日	敷地面積	9,945 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	5,569 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

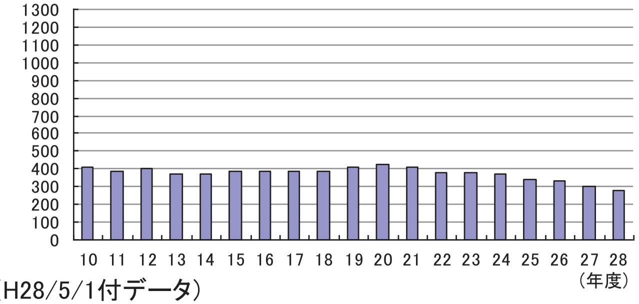
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	413	386	402	375	375	385	389	387	389	411	422	407	381	378	368	344	331	302	276
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	10

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は減少傾向にあります。学級数は12学級で一定していましたが、平成28年度に10学級となりました。

②学校全体の児童数の推移グラフ



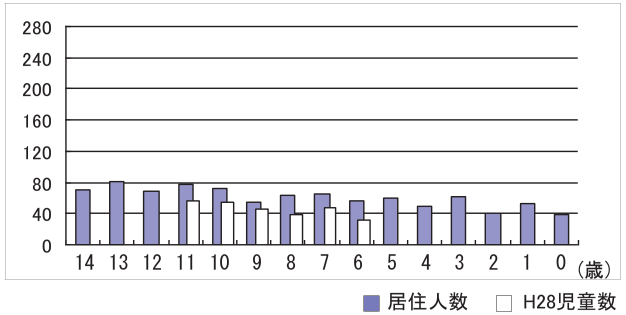
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	81	68	77	72	54	63	65	56	60	49	62	41	52	38
H28児童数				56	55	46	39	48	32						
H28学級数				2	2	2	1	2	1						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口には減少傾向がみられ、1学級から2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

今後、緩やかに人口が減少する見込みです。児童数の増減によっては改善策の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	花畑小学校	所在地	121-0062 足立区南花畑3-22-1
交通	北千住駅（東武線等）・五反野駅（東武線）・綾瀬駅（千代田線）から東武バス花畑車庫下車徒歩4分 綾瀬駅（千代田線）から東武バス神明町下車徒歩5分　六町駅（つくばエクスプレス）下車徒歩15分		

開校年月日	明治33年11月28日	敷地面積	10,867 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	6,043 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

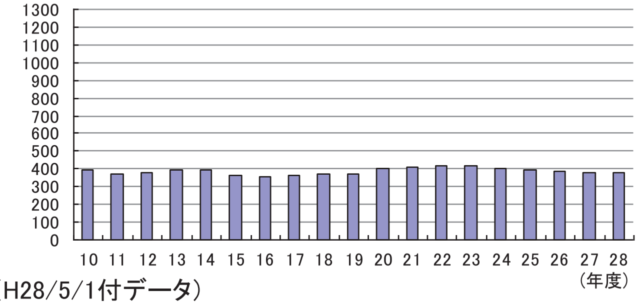
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	392	375	376	394	394	367	356	363	369	368	404	412	414	420	405	398	390	381	378
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	13	13	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から13学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正規模で推移しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



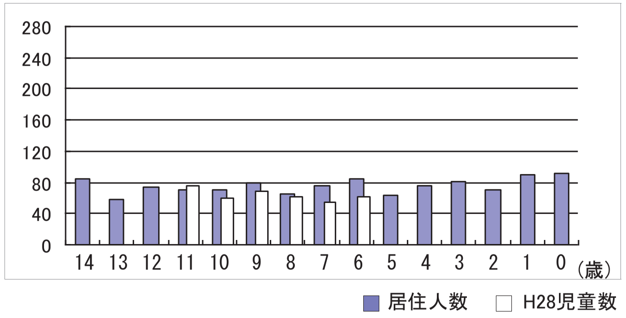
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	85	58	74	70	71	80	66	76	84	63	76	81	71	90	91
H28児童数				75	59	68	61	54	61						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	花畑第一小学校	所在地	121-0061 足立区花畑1-29-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス南花畑特別支援学校前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和40年4月1日	敷地面積	10,480 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和38年	延床面積	6,155 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

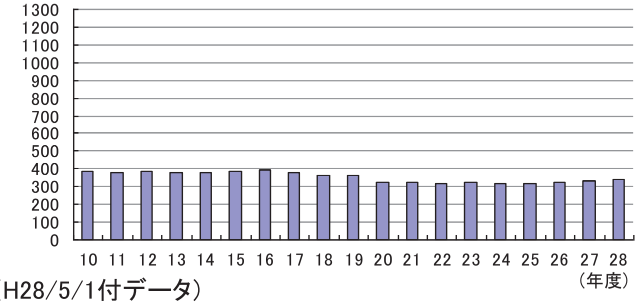
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	385	378	388	376	379	384	397	381	366	361	328	326	315	322	320	314	326	336	338
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は横ばいとなっています。学級数は12学級で一定しています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



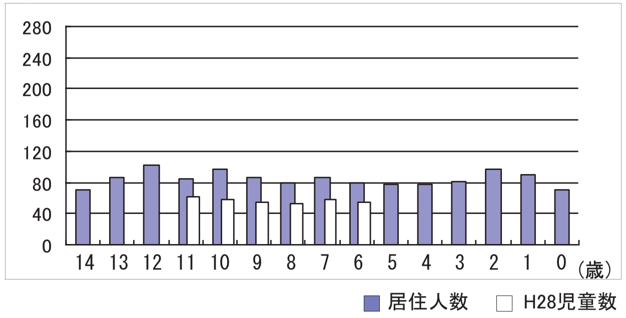
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	71	86	102	84	96	86	80	86	80	78	78	81	96	89	70
H28児童数				62	57	55	52	57	55						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

近隣の小学校に入学する児童が多くみられ、今後、児童数の動向に注視していく必要があります。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	花畑西小学校	所在地	121-0061 足立区花畑4-21-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス団地入口下車徒歩5分		

開校年月日	昭和46年4月1日	敷地面積	10,537 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和45年	延床面積	6,412 ㎡	学童保育室
設計基準強度	18 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

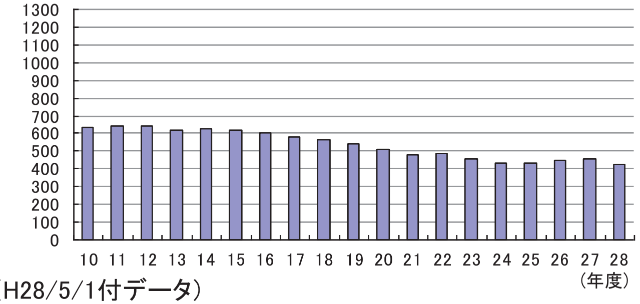
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	631	639	644	617	623	617	603	584	568	544	510	477	484	456	435	435	452	453	422
学級	18	18	18	18	18	18	18	17	17	16	15	14	14	14	13	13	14	15	13

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



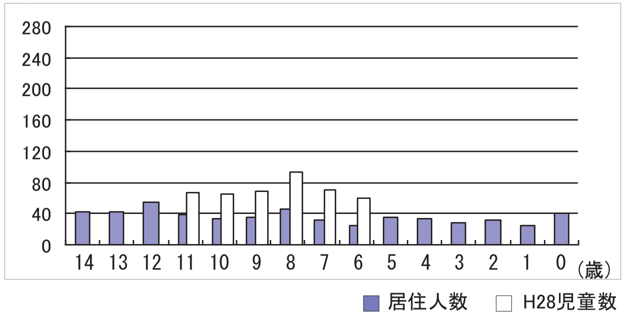
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	42	42	54	39	34	36	46	32	25	36	34	28	32	24	40
H28児童数				67	65	68	92	70	60						
H28学級数				2	2	2	3	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みですが、学区域外からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられますが、学区域内の学齢前人口が減少傾向にあるため、児童数の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	花保小学校	所在地	121-0062 足立区南花畑2-19-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）または綾瀬駅（千代田線）から東武バス東保木間下車徒歩1分 六町駅（つくばエクスプレス）から徒歩12分		

開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	9,718 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和47年	延床面積	5,639 ㎡	学童保育室
設計基準強度	18 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

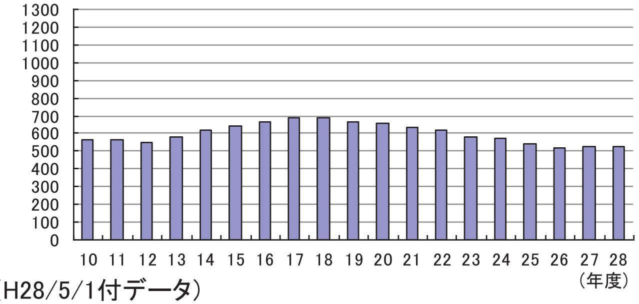
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	562	564	549	582	622	645	668	687	692	669	658	632	621	584	571	545	522	527	530
学級	18	18	18	19	20	21	21	20	20	20	19	18	19	19	18	17	17	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



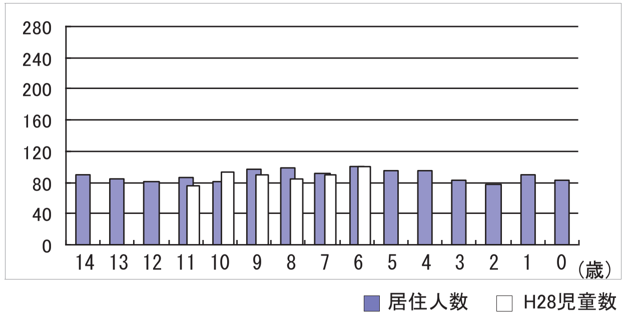
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	90	85	81	86	81	96	98	92	100	95	95	82	78	90	83
H28児童数				75	93	89	84	89	100						
H28学級数				2	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	東綾瀬小学校	所在地	120-0004 足立区東綾瀬2-15-15
交通	綾瀬駅(千代田線)下車徒歩13分		

開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	7,073 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和51年	延床面積	4,881 ㎡	学童保育室
設計基準強度	21 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

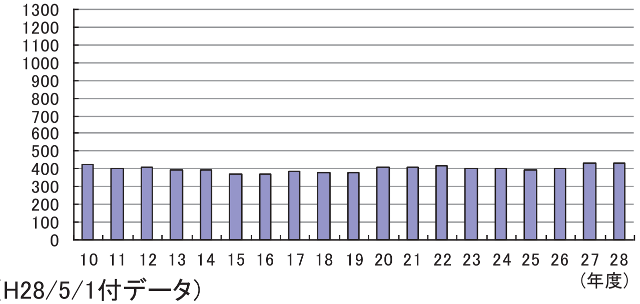
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	423	400	411	392	395	369	375	388	377	379	407	407	416	402	402	391	403	436	430
学級	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	12	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



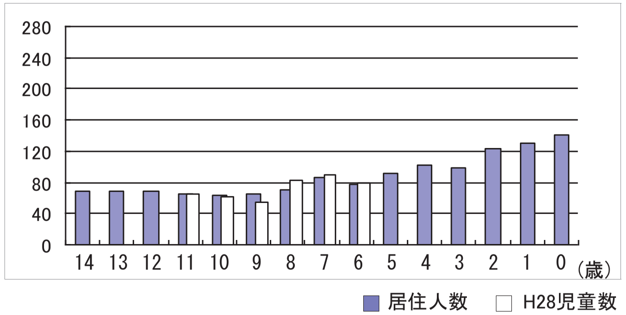
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	69	69	68	66	64	66	71	87	77	92	103	98	124	130	141
H28児童数				64	62	54	83	89	78						
H28学級数				2	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅が建設されたため一時的な人口増加が見られますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	東伊興小学校	所在地	121-0801 足立区東伊興1-4-15
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分		
	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス伊興吉浜下車徒歩4分、聖一の橋下車徒歩2分、竹の塚車庫下車徒歩2分		

開校年月日	昭和46年4月1日	敷地面積	10,350 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和46年	延床面積	5,877 ㎡	学童保育室
設計基準強度	21 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

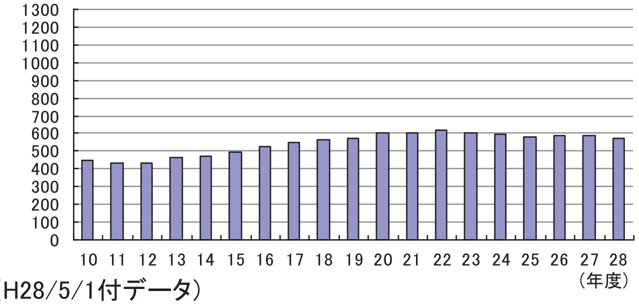
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	449	432	434	462	471	498	524	548	568	574	605	606	617	605	592	584	586	587	572
学級	14	13	13	14	14	16	17	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



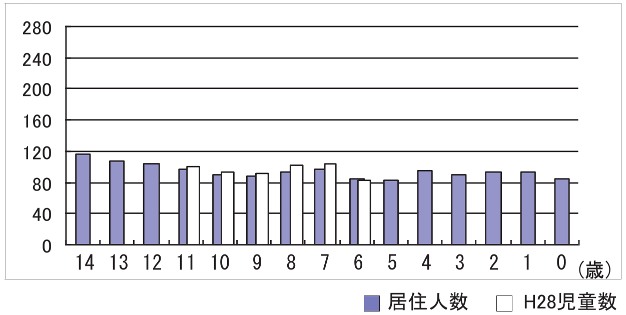
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	116	108	104	97	89	88	93	96	84	82	95	90	94	93	85
H28児童数				100	92	91	102	104	83						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	東加平小学校	所在地	121-0055 足立区加平1-12-12
交通	北綾瀬駅（千代田線）下車徒歩5分 綾瀬駅（千代田線）から東武バス加平橋下車徒歩3分		
開校年月日	昭和44年4月1日	敷地面積	10,110 ㎡
特別支援学級			
建築年	昭和44年	延床面積	5,593 ㎡
学童保育室			
設計基準強度	18 N/mm^2		

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

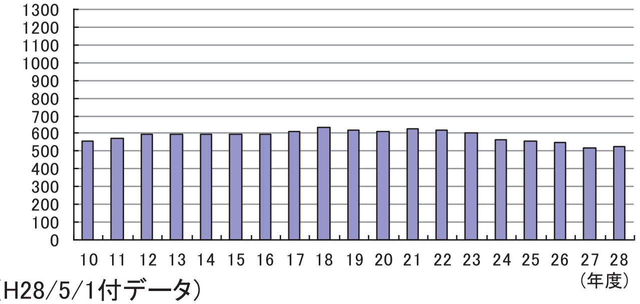
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	560	575	592	594	594	592	595	615	631	620	612	623	618	607	562	561	548	521	530
学級	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、18学級から17学級で推移しています。適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



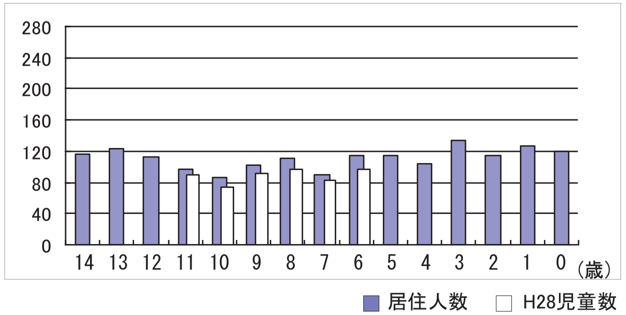
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	117	124	112	97	86	103	111	90	114	114	104	133	115	126	119
H28児童数				90	74	91	97	82	96						
H28学級数				3	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	東栗原小学校	所在地	121-0075 足立区一ツ家3-20-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）から東武バス都営住宅下車徒歩5分　六町駅（つくばエクスプレス）から徒歩12分 綾瀬駅（千代田線）から東武バス青井六丁目下車徒歩5分		
開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	10,963 ㎡
特別支援学級			
建築年	昭和45年	延床面積	5,723 ㎡
学童保育室	あり		
設計基準強度	18 N/mm^2		

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

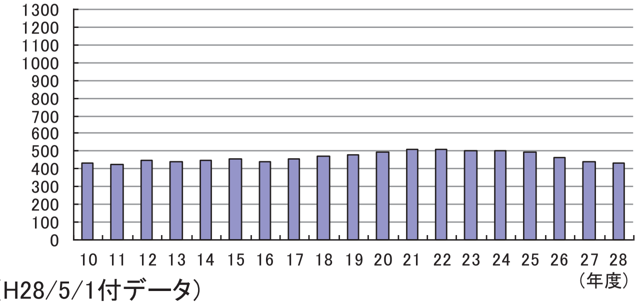
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	436	425	448	438	448	455	444	454	472	480	499	510	514	501	505	499	467	441	434
学級	13	13	13	13	13	14	13	14	15	15	15	16	17	17	17	16	15	13	13

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、17学級から13学級で推移しています。適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



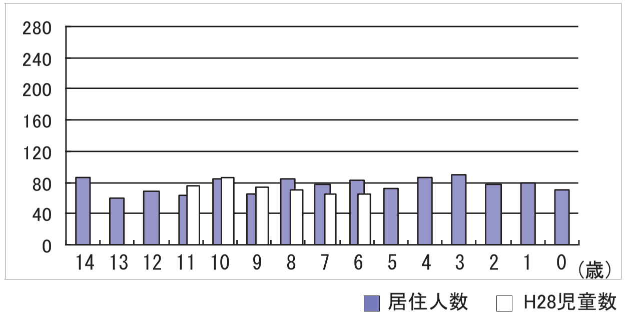
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	87	59	68	64	85	66	85	77	82	73	87	89	77	79	70
H28児童数				76	86	73	70	65	64						
H28学級数				2	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	東渕江小学校	所在地	123-0003 足立区東和3-20-11
交通	亀有駅(JR)から東武バス東和五丁目下車徒歩1分		

開校年月日	明治44年8月1日	敷地面積	9,134 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	6,667 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

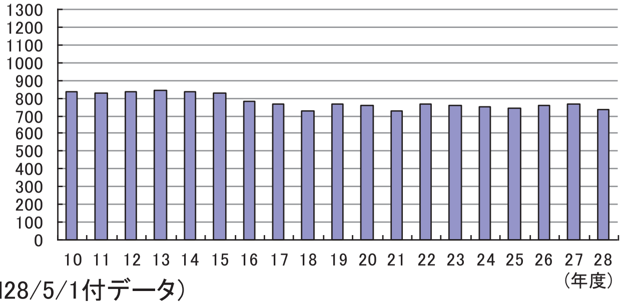
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	836	827	839	847	835	828	781	765	726	767	757	730	767	758	750	746	758	769	738
学級	24	24	24	24	24	23	22	23	22	22	22	21	21	21	22	21	21	22	22

①これまでの学校規模の推移について

平成18年度以降、21学級から22学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



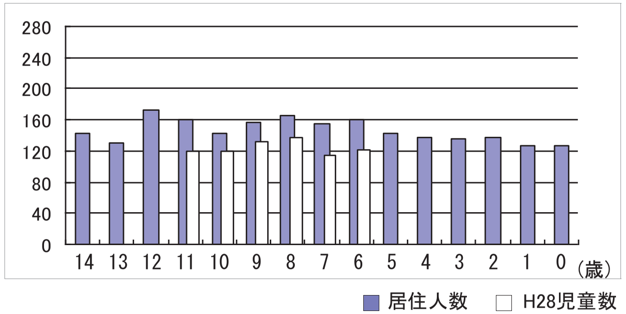
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	143	131	173	160	143	156	166	155	161	142	138	135	138	126	127
H28児童数				119	119	131	136	113	120						
H28学級数				3	3	4	4	4	4						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増加が見られた場合は、大規模校になる場合も考えられます。今後の児童数や学区域外からの入学者数の推移を注視していく必要があります。最も古い校舎は、昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	平野小学校	所在地	121-0076 足立区平野3-6-3
交通	北千住駅(東武線等)または竹ノ塚駅(東武線)から都営バス島根町下車徒歩7分		

開校年月日	昭和52年4月1日	敷地面積	8,384 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和52年	延床面積	6,068 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

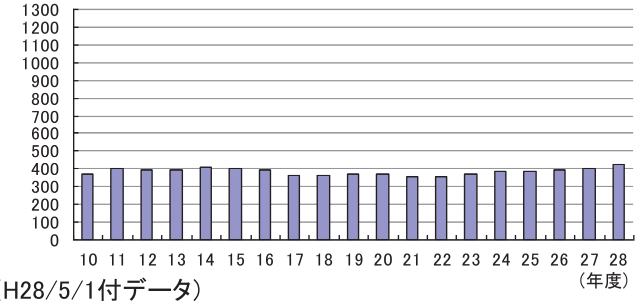
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	402	395	393	410	406	391	366	360	369	369	357	354	368	386	384	391	406	423
学級	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	13

①これまでの学校規模の推移について

12学級から13学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



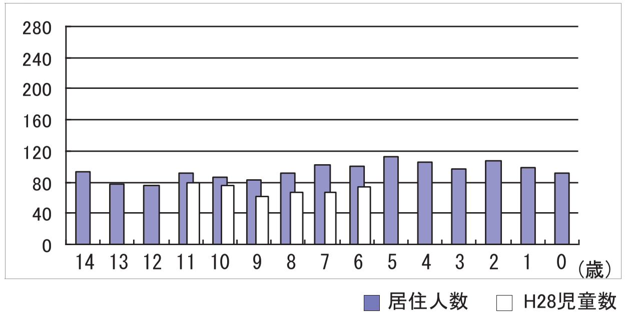
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	93	77	76	92	86	82	92	102	101	113	105	96	107	98	92
H28児童数				79	76	61	67	67	73						
H28学級数				2	2	2	2	2	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	渕江小学校	所在地	121-0812 足立区西保木間1-10-3
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩10分		

開校年月日	明治34年5月1日	敷地面積	9,729 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和41年	延床面積	6,351 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm²				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

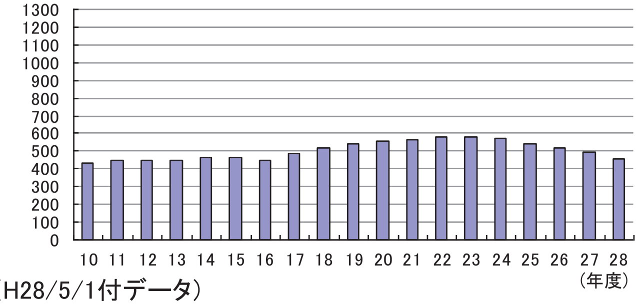
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	437	450	446	452	468	464	452	487	519	538	557	568	583	579	576	545	517	492	456
学級	13	14	13	13	14	14	14	15	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17	16

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、18学級から16学級で推移しています。適正な学級規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



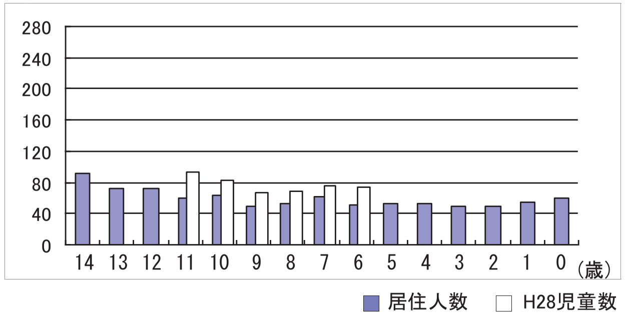
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	91	72	72	60	64	50	53	61	51	53	52	49	49	55	60
H28児童数				92	82	66	68	75	73						
H28学級数				3	3	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	渕江第一小学校	所在地	121-0064 足立区保木間3-27-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）または綾瀬駅（千代田線）から東武バス渕江第一小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和42年4月1日	敷地面積	12,989 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和42年	延床面積	6,197 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm²				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

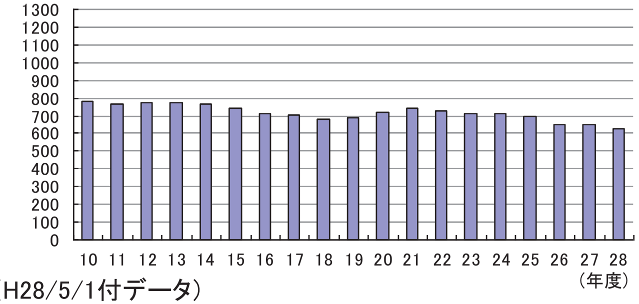
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	779	766	777	774	765	745	713	702	678	692	721	741	727	712	715	698	648	651	623
学級	23	22	23	22	22	22	20	21	20	20	21	23	22	21	22	20	19	20	19

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、22学級から19学級で推移しています。適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



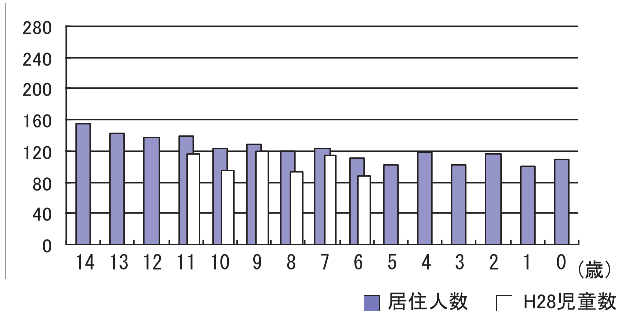
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	155	142	137	140	124	129	120	123	111	103	118	102	117	101	109
H28児童数				115	95	119	93	113	88						
H28学級数				3	3	3	3	4	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	保木間小学校	所在地	121-0813 足立区竹の塚3-6-3
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩13分		

開校年月日	昭和34年9月1日	敷地面積	13,277 ㎡	特別支援学級	情緒障がい等
建築年	昭和48年	延床面積	6,277 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

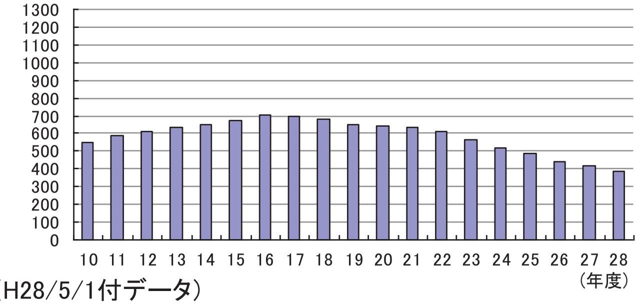
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	549	587	610	634	649	670	701	696	684	647	639	636	609	564	520	488	438	417	384
学級	18	18	18	19	19	19	21	20	19	18	18	18	18	17	16	15	14	13	12

①これまでの学校規模の推移について

平成17年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、20学級から12学級で推移しています。適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



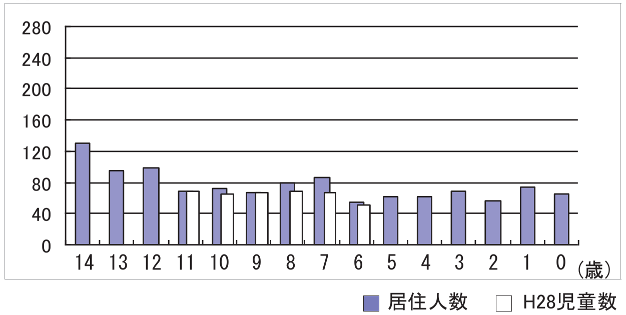
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	130	95	99	69	72	67	80	86	54	62	62	69	57	74	66
H28児童数				69	65	66	68	66	50						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	宮城小学校	所在地	120-0047 足立区宮城1-27-25
交通	西新井駅（東武線）から都営バス宮城二丁目下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	8,496 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和39年	延床面積	6,264 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

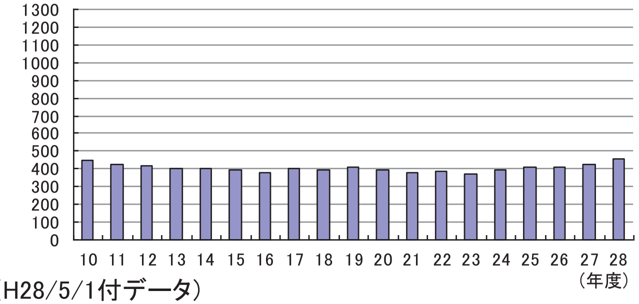
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	448	425	421	404	402	392	381	404	395	408	393	377	385	375	395	408	409	428	456
学級	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



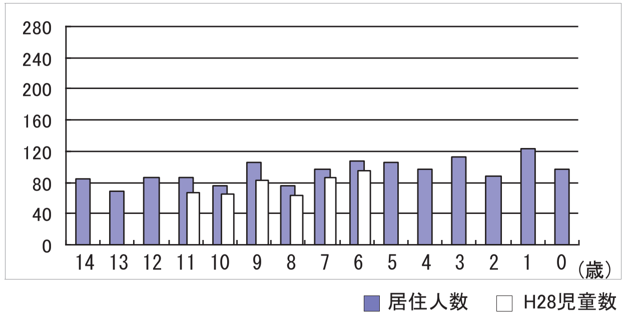
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	85	69	86	87	75	105	76	97	108	105	96	112	88	124	96
H28児童数				67	65	82	63	85	94						
H28学級数				2	2	3	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。最も古い校舎は、昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1　学校基礎データ

学校名	六木小学校	所在地	121-0052 足立区六木3-21-11
交通	綾瀬駅（千代田線）または亀有駅（JR）から東武バスまたははるかぜ六木小学校前下車徒歩1分 八潮駅（つくばエクスプレス）下車徒歩15分　朝日バス（はるかぜ）六木小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	11,581 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和54年	延床面積	6,063 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	21 N/mm²				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

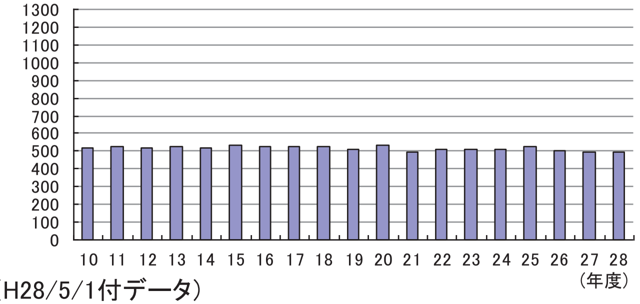
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	519	524	520	528	521	534	527	527	524	511	531	499	508	510	512	526	502	499	494
学級	17	17	17	17	16	17	17	17	17	17	17	15	15	16	16	17	17	18	18

①これまでの学校規模の推移について

15学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



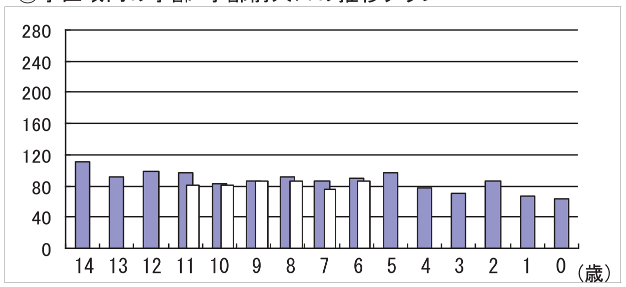
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	111	91	98	96	83	86	92	86	89	96	77	71	86	67	63
H28児童数				81	81	85	86	76	85						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	本木小学校	所在地	123-0857 足立区本木北町7-1
交通	北千住駅（東武線等）または大師前駅（東武大師線）から東武バス本木小学校前下車徒歩1分		

開校年月日	明治10年3月10日	敷地面積	6,527 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	平成26年	延床面積	7,962 ㎡	学童保育室	
設計基準強度	36 N/mm²				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

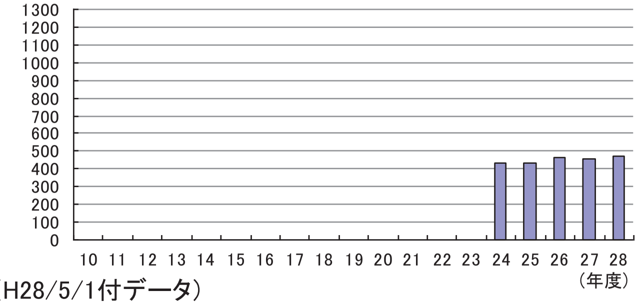
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数															435	437	461	459	469
学級															13	14	15	15	15

①これまでの学校規模の推移について

平成24年4月の統合後は13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



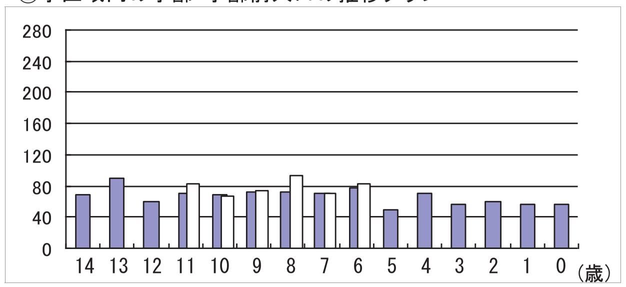
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	68	90	60	70	68	72	72	71	77	49	70	57	60	57	56
H28児童数				83	67	74	93	70	82						
H28学級数				3	2	2	3	2	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

平成24年4月に本木小学校と本木東小学校を統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	弥生小学校	所在地	120-0011 足立区中央本町2-5-1
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩7分		

開校年月日	昭和28年4月1日	敷地面積	12,865 ㎡	特別支援学級	難聴・言語障がい
建築年	昭和41年	延床面積	6,635 ㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

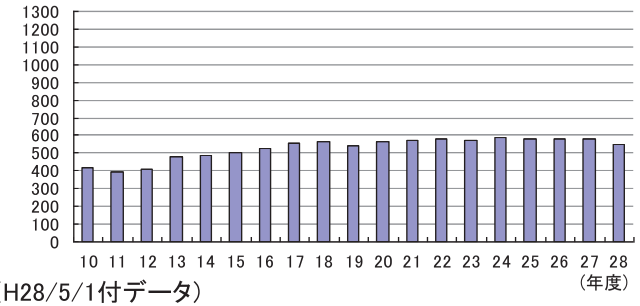
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	417	394	407	477	489	505	527	558	567	541	567	571	580	570	591	581	577	578	553
学級	13	12	12	15	15	17	17	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の児童数の推移グラフ



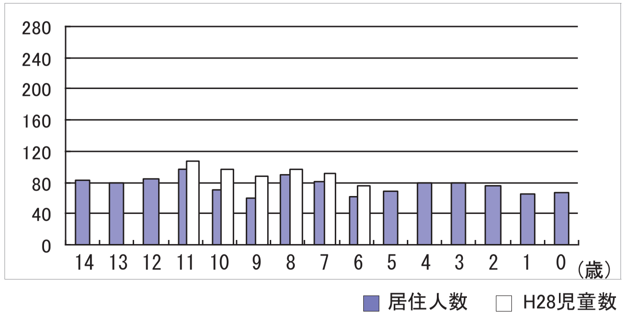
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	82	79	84	97	71	59	89	81	62	69	79	79	76	66	67
H28児童数				106	96	88	96	91	76						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する千寿第五小学校が平成25年度に統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

資料６　平成28年度 足立区立中学校基礎データ

	学校名	ページ
1	青井中学校	80
2	伊興中学校	80
3	入谷中学校	81
4	入谷南中学校	81
5	扇中学校	82
6	加賀中学校	82
7	蒲原中学校	83
8	上沼田中学校	83
9	栗島中学校	84
10	江南中学校	84
11	江北中学校	85
12	鹿浜菜の花中学校	85
13	新田中学校	86
14	千寿青葉中学校	86
15	千寿桜堤中学校	87
16	第一中学校	87
17	第四中学校	88
18	第五中学校	88
19	第六中学校	89
20	第七中学校	89
21	第九中学校	90
22	第十中学校	90
23	第十一中学校	91
24	第十二中学校	91
25	第十三中学校	92
26	第十四中学校	92
27	竹の塚中学校	93
28	西新井中学校	93
29	花畑中学校	94
30	花畑北中学校	94
31	花保中学校	95
32	東綾瀬中学校	95
33	東島根中学校	96
34	渕江中学校	96
35	谷中中学校	97
36	六月中学校	97

1 学校基礎データ

学校名	青井中学校	所在地	121-0012 足立区青井4-19-1
交通	青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩5分		

開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	15,701 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和48年	延床面積	5,532 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

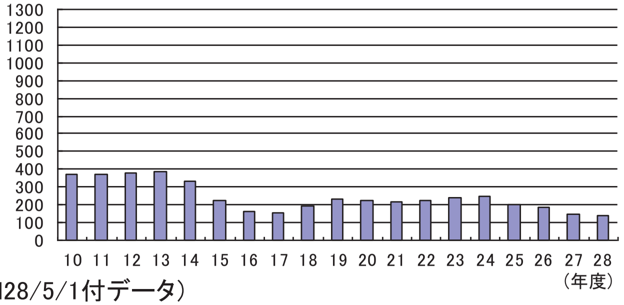
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	373	380	387	329	223	160	153	197	230	221	214	228	238	247	203	188	150	140
学級	11	11	11	12	10	7	5	5	6	7	7	7	7	8	8	7	6	5	5

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成21年度以降、5学級から8学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



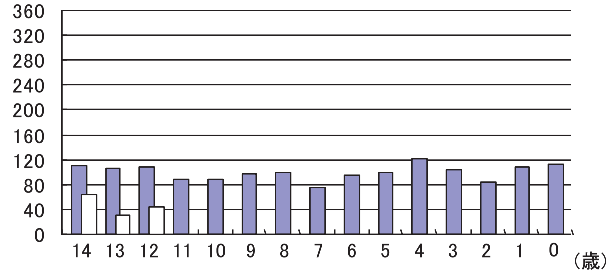
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	110	105	109	88	88	98	100	74	94	99	121	103	85	109	112
H28生徒数	65	31	44												
H28学級数	2	1	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒が多く、減少傾向が続いています、隣接する栗島中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	伊興中学校	所在地	121-0823 足立区伊興5-17-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分		

開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	13,640 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和53年	延床面積	6,939 ㎡		
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

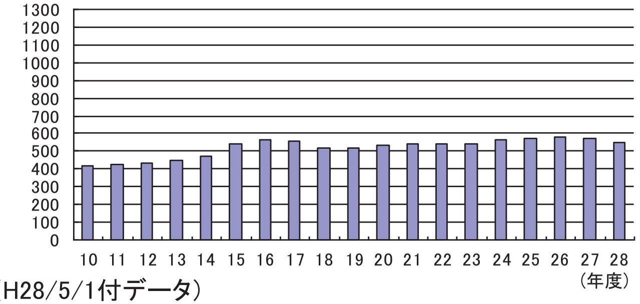
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	416	428	430	452	475	543	562	559	515	517	531	539	540	542	565	571	578	576	548
学級	12	12	12	12	13	15	16	16	14	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、15学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



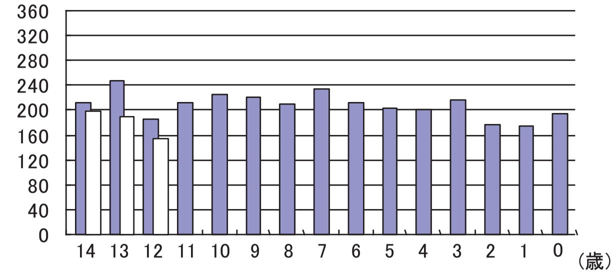
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	211	247	186	213	226	220	209	234	213	204	202	216	176	174	195
H28生徒数	201	191	156												
H28学級数	6	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	入谷中学校	所在地	121-0836 足立区入谷3-6-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷三丁目下車徒歩3分 舎人駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分				
開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	14,686 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和51年	延床面積	6,388 ㎡		
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

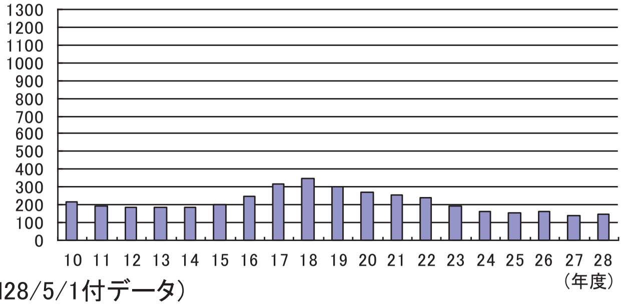
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	216	196	186	187	187	201	249	316	349	300	267	255	238	192	160	157	163	141	149
学級	7	6	6	6	6	6	7	9	10	9	8	8	8	7	6	6	6	5	5

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向が続いており、10学級から5学級で推移しています。平成24年度以降は、6学級以下で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



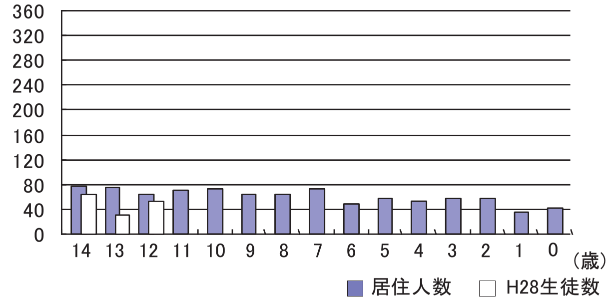
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	77	76	65	70	73	65	64	72	48	57	52	57	58	36	43
H28生徒数	65	31	53												
H28学級数	2	1	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、1学級から3学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒も多く、減少傾向が続いてます。隣接する入谷南中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	入谷南中学校	所在地	121-0836 足立区入谷1-24-1		
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷新道下車徒歩5分 舎人駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩8分				
開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	14,249 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成2年	延床面積	7,373 ㎡		
設計基準強度	21 N/mm²				

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

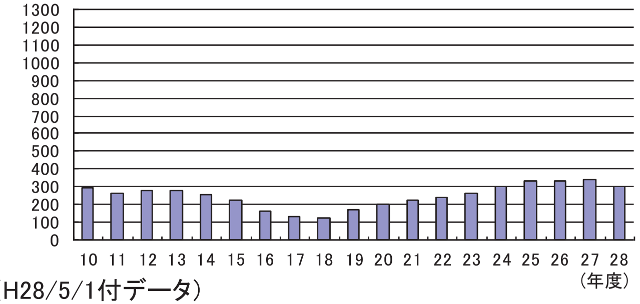
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	291	265	276	275	254	222	160	133	122	174	201	223	239	265	301	336	329	343	300
学級	8	8	9	9	8	7	6	5	5	6	7	7	7	8	9	10	10	11	9

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、6学級から11学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



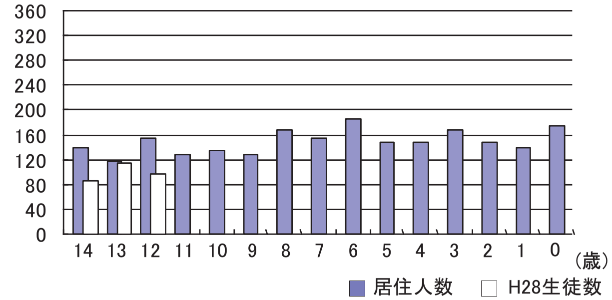
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	139	117	155	128	134	128	167	155	186	149	148	167	148	139	174
H28生徒数	87	115	98												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していく必要があります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。隣接する入谷中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。また、校舎は平成2年に建てられ、新耐震構造基準に適合した新しい校舎です。

1　学校基礎データ

学校名	扇中学校	所在地	123-0873 足立区扇3-18-14
交通	西新井駅（東武線）から都営バス阿弥陀橋下車徒歩3分 江北駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩3分		
開校年月日	昭和57年4月1日	敷地面積	15,852 ㎡
建築年	昭和57年	延床面積	5,614 ㎡
設計基準強度	21 N/mm²	特別支援学級	

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

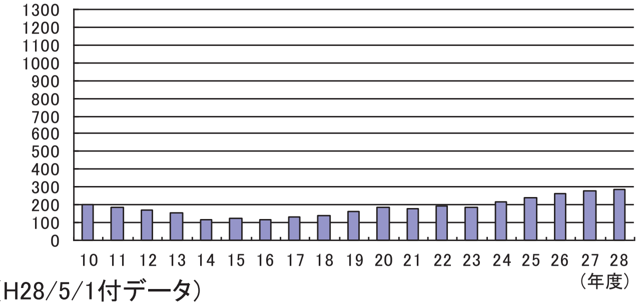
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	199	185	169	152	116	121	116	133	140	160	187	181	190	187	219	240	265	277	284
学級	6	6	6	6	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	8	9	9

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、6学級から9学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



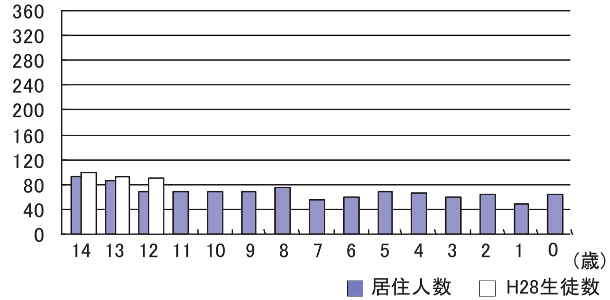
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	93	86	69	69	68	69	75	56	60	68	67	60	64	49	65
H28生徒数	99	93	92												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から3学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者も多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられ、生徒数・学級数は今後は横ばいで推移すると見込まれます。興本小学校との小中一貫校のため、適正規模・適正配置の検討をすることが難しい地域です。

1　学校基礎データ

学校名	加賀中学校	所在地	123-0861 足立区加賀2-25-22
交通	西新井駅（東武線）から東武バス加賀一丁目下車徒歩5分		
開校年月日	昭和59年4月1日	敷地面積	11,459 ㎡
建築年	昭和59年	延床面積	8,098 ㎡
設計基準強度	21 N/mm²	特別支援学級	

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

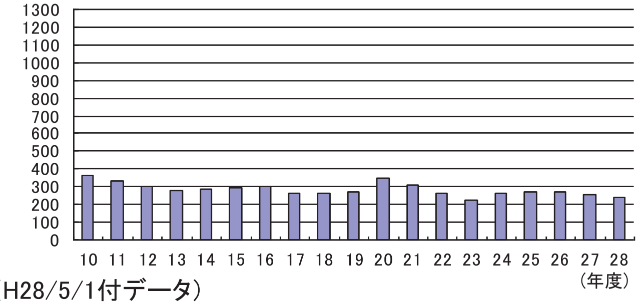
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	360	335	298	278	290	292	302	261	263	274	352	310	264	228	260	267	272	253	243
学級	11	10	9	9	9	9	9	8	8	8	10	9	8	7	8	9	8	8	7

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向にあり、9学級から7学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



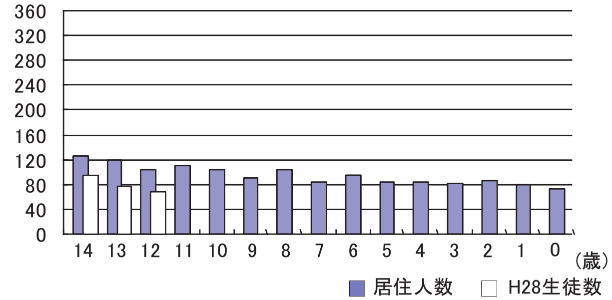
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	125	119	104	110	104	90	104	85	94	85	83	81	86	79	72
H28生徒数	96	77	70												
H28学級数	3	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

生徒数・学級数ともに減少傾向は見られますが、周囲の学校と適正な距離が保たれており、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

1　学校基礎データ

学校名	蒲原中学校	所在地	120-0003 足立区東和3-17-15
交通	綾瀬駅(千代田線)からはるかぜ蒲原中学校入り口下車徒歩2分		

開校年月日	昭和32年4月1日	敷地面積	15,133 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和47年	延床面積	7,576 ㎡	
設計基準強度	18 N/mm^2			

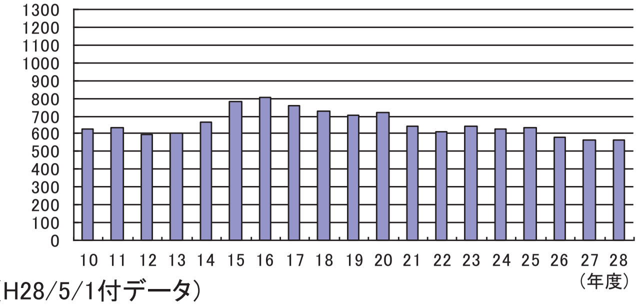
2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)　＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	630	633	597	600	664	783	802	761	729	705	718	645	613	643	630	635	580	567	564
学級	17	17	16	16	18	21	22	21	20	19	19	17	16	18	17	18	17	15	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、15学級から18学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



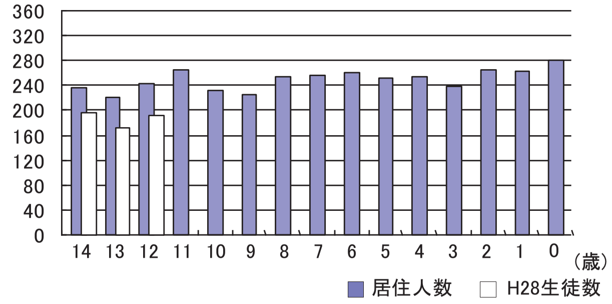
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	237	221	244	265	233	226	253	257	261	251	254	238	264	262	281
H28生徒数	197	173	194												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は6学級から8学級で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。学区域内で集合住宅の建設があり、今後の人口増加に注視する必要があります。

1　学校基礎データ

学校名	上沼田中学校	所在地	123-0872 足立区江北5-14-1
交通	西新井駅(東武線)から都営バス・国際興業バス江北陸橋下下車徒歩7分		
	江北駅・西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和52年4月1日	敷地面積	7,666 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和52年	延床面積	4,476 ㎡	
設計基準強度	21 N/mm^2			

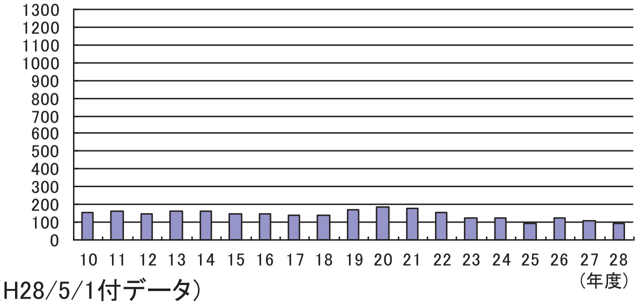
2　これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)　＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	153	160	148	166	159	147	150	141	142	171	182	175	153	120	121	91	125	112	96
学級	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	5	4	4

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成23年度以降は、4学級から5学級で推移し、学年によっては単学級となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



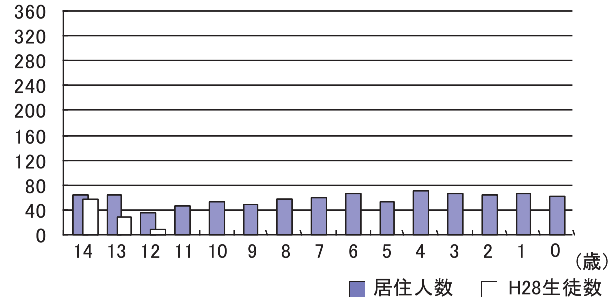
3　学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	65	65	35	46	52	49	58	59	66	53	70	67	65	67	61
H28生徒数	58	29	9												
H28学級数	2	1	1												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

小規模傾向の改善と施設更新の課題を解決するため、平成29年度に江北中学校との統合を予定しています。

1 学校基礎データ

学校名	栗島中学校	所在地	121-0011 足立区中央本町5-23-1
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩20分 西新井駅(東武線)からはるかぜ栗島中学校前下車徒歩1分		
開校年月日	昭和56年4月1日	敷地面積	11,859 ㎡
特別支援学級	知的障がい		
建築年	昭和56年	延床面積	6,759 ㎡
設計基準強度	21 N/mm^2		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

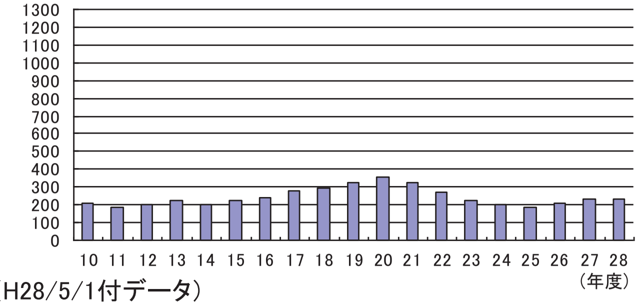
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	211	188	202	223	205	228	243	282	293	325	354	325	271	223	200	183	209	232	236
学級	6	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	9	7	7	6	6	7	8	8

①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、7学級から8学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



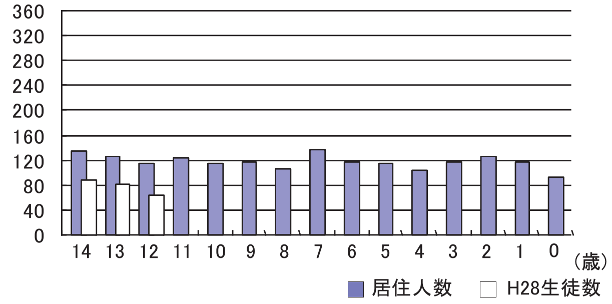
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	134	126	115	123	115	116	107	136	117	114	103	117	126	117	93
H28生徒数	89	82	65												
H28学級数	3	3	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、8学級となっています。隣接する青井中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	江南中学校	所在地	120-0047 足立区宮城1-8-4
交通	西新井駅(東武線)から都営バス宮城二丁目下車徒歩7分 田端駅(JR)から都営バス宮城都営住宅前下車徒歩3分		
開校年月日	昭和28年4月1日	敷地面積	9,243 ㎡
特別支援学級			
建築年	昭和42年	延床面積	5,458 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

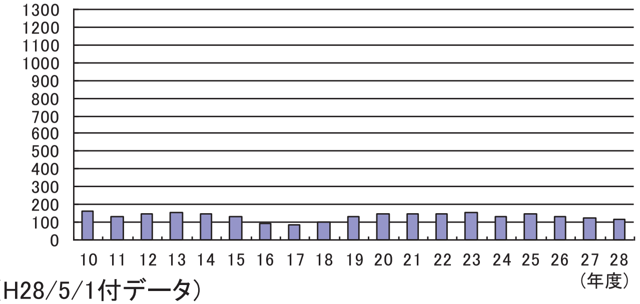
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	163	135	146	152	150	135	95	87	99	129	145	150	148	151	129	145	134	127	113
学級	6	6	6	6	6	6	5	4	4	5	6	6	6	6	5	5	4	4	4

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数は、ほぼ横ばいの状態です。4学級から6学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



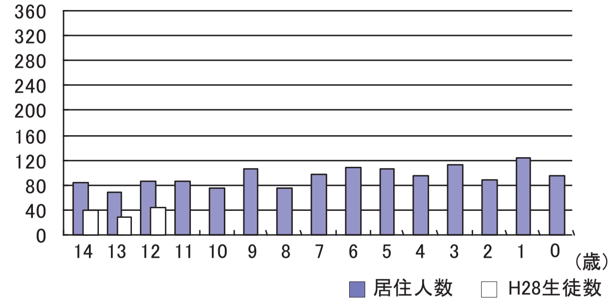
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	85	69	86	87	75	105	76	97	108	105	96	112	88	124	96
H28生徒数	40	28	45												
H28学級数	1	1	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、4学級となっています。周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。

1　学校基礎データ

学校名	江北中学校	所在地	123-0872 足立区江北1-17-1		
交通	西新井駅（東武線）から都営バス江北四丁目下車徒歩3分 高野駅・江北駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩3分				
開校年月日	昭和38年4月1日	敷地面積	12,184 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和36年	延床面積	7,188 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

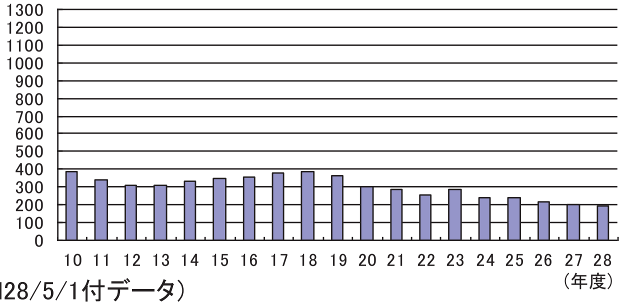
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	384	339	311	307	332	348	359	377	389	367	300	290	253	286	239	243	216	204	197
学級	12	11	10	9	9	9	10	11	12	11	9	8	7	8	7	8	7	6	6

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成21年度以降は、6学級から8学級規模で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



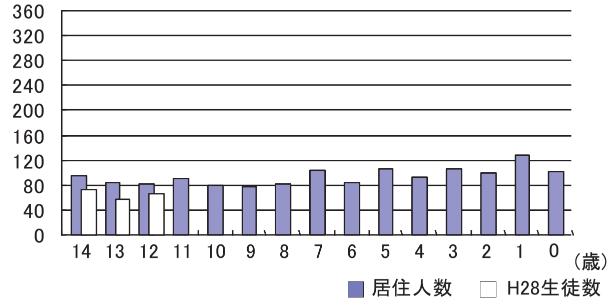
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	94	84	81	90	79	78	81	103	85	106	93	107	99	128	102
H28生徒数	73	58	66												
H28学級数	2	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

小規模傾向の改善と施設更新の課題を解決するため、平成29年度に上沼田中学校との統合を予定しています。

1　学校基礎データ

学校名	鹿浜菜の花中学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜5-18-1		
交通	西新井駅（東武線）から東武バス鹿浜中学校前下車徒歩3分				
開校年月日	平成28年4月1日	敷地面積	11,647 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和41年	延床面積	6,988 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

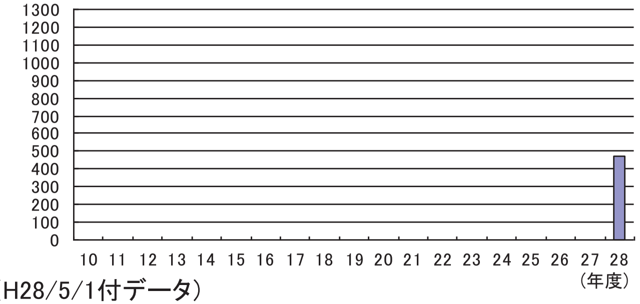
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数																			472
学級																			14

①これまでの学校規模の推移について

平成28年4月に鹿浜中学校と第八中学校を統合し開校しました。生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



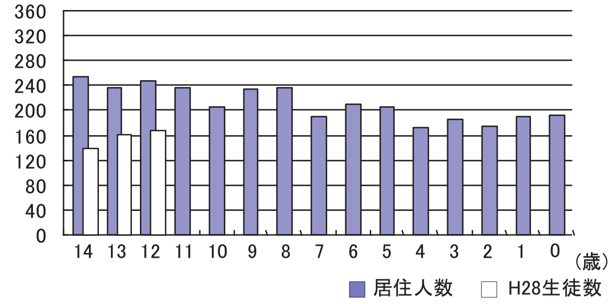
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	254	236	248	236	205	234	237	190	210	205	172	186	175	191	192
H28生徒数	141	162	169												
H28学級数	4	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

平成28年4月に鹿浜中学校と第八中学校を統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	新田中学校	所在地	123-0865 足立区新田3-34-2
交通	北千住駅(東武線等)から都営バス ハートアイランド西下車1分 王子駅(JR等)から都営バス ハートアイランド南下車徒歩3分		
開校年月日	昭和34年9月1日	敷地面積	16,000 ㎡
建築年	平成22年	延床面積	12,340 ㎡
設計基準強度	30 N/mm^2	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

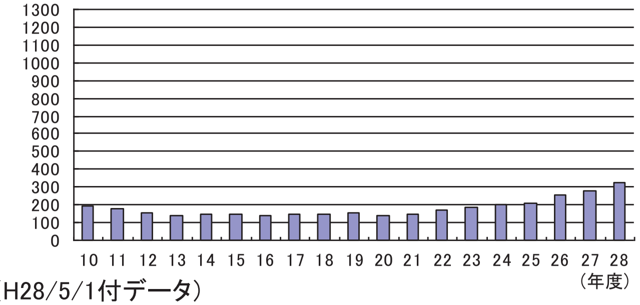
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	192	175	151	138	146	144	143	149	147	155	137	147	167	189	201	212	256	276	324
学級	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6	6	7	8	9	10

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向がみられます。5学級から10学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



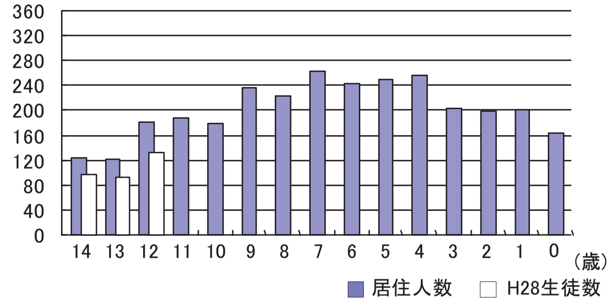
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	123	122	181	187	178	237	224	262	243	250	257	203	198	202	164
H28生徒数	97	93	134												
H28学級数	3	3	4												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、増加傾向がみられます。学級数は5学級から8学級規模で推移し、現状よりも増加する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域内に住む入学前人口は増加傾向にあります。しかし、周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。

1 学校基礎データ

学校名	千寿青葉中学校	所在地	120-0043 足立区千住宮元町27-6
交通	北千住駅(東武線等)下車徒歩13分		
開校年月日	平成15年4月1日	敷地面積	10,390 ㎡
建築年	昭和37年	延床面積	6,281 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

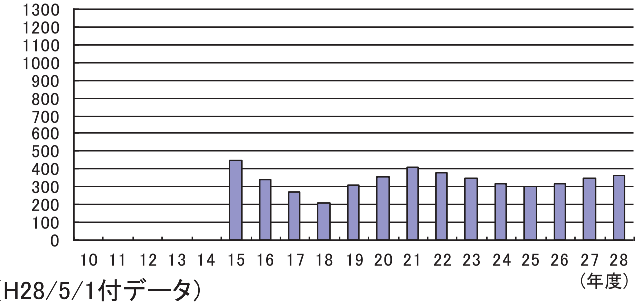
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数						450	338	271	207	306	357	408	379	348	319	300	315	345	362
学級						12	10	9	7	10	11	12	11	10	9	9	10	10	12

①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、10学級から12学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



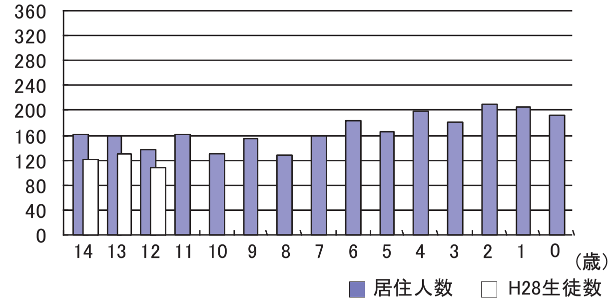
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	161	160	138	162	131	154	129	159	184	165	199	182	209	206	193
H28生徒数	122	132	108												
H28学級数	4	4	4												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域内に住む入学前人口は増加傾向にあります。大規模開発による影響を注視していく必要があります。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	千寿桜堤中学校	所在地	120-0022 足立区柳原2-49-1
交通	北千住駅（東武線等）下車徒歩10分		

開校年月日	平成17年4月1日	敷地面積	7,756 ㎡	特別支援学級	
建築年	平成17年	延床面積	8,120 ㎡		
設計基準強度	27 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

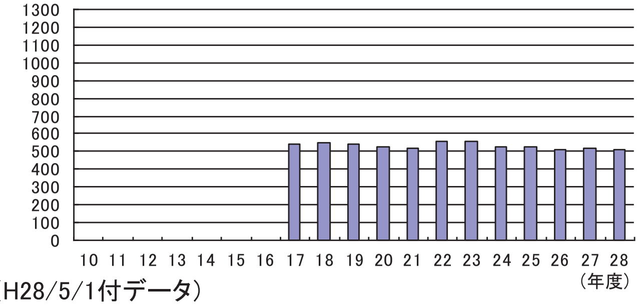
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数								539	552	545	529	522	560	558	529	523	512	520	509
学級								15	15	15	14	14	15	15	15	16	15	15	15

①これまでの学校規模の推移について

開校以来、14学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



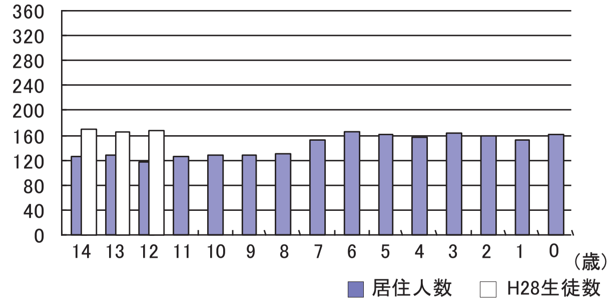
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	125	128	118	125	129	129	130	153	166	161	157	163	159	153	162
H28生徒数	172	167	170												
H28学級数	5	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者も多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第一中学校	所在地	120-0037 足立区千住河原町4-7
交通	北千住駅（東武線等）下車徒歩15分		
	千住大橋駅（京成線）下車徒歩2分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	9,270 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	平成17年	延床面積	7,853 ㎡		
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

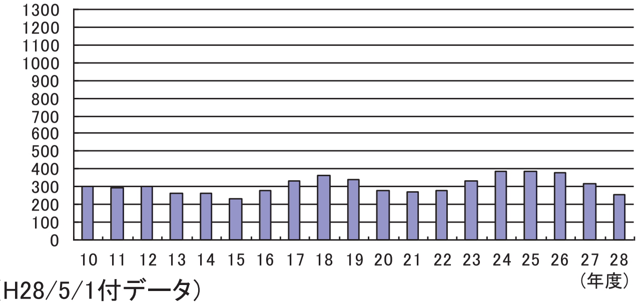
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	299	297	299	266	264	231	276	331	367	343	280	267	278	334	387	390	382	318	252
学級	9	9	9	8	8	7	9	10	11	10	8	8	8	10	11	12	12	10	7

①これまでの学校規模の推移について

平成27年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向にあり、10学級から7学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



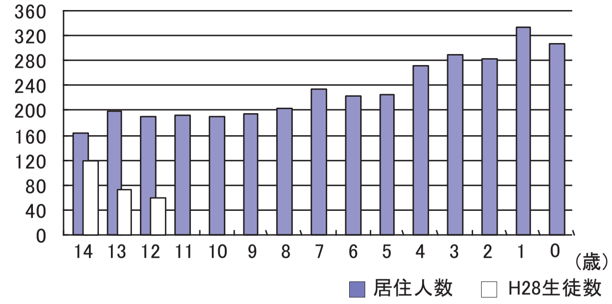
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	163	199	190	192	191	195	203	235	222	226	272	290	282	333	306
H28生徒数	119	74	59												
H28学級数	3	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は増加傾向にあり、5学級から10学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、7学級となっていますが、大規模開発により急激な人口増加が見込まれます。今後の生徒数や学区域内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	第四中学校	所在地	121-0816 足立区梅島1-2-33
交通	梅島駅（東武線）下車徒歩7分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,863 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和36年（H22大規模改修）	延床面積	7,407 ㎡	
設計基準強度	18 N/mm²			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

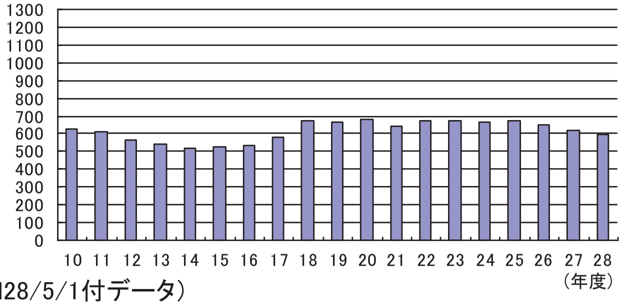
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	626	610	566	538	517	523	533	579	675	669	684	640	673	672	669	673	647	619	592
学級	18	17	16	15	15	15	15	16	18	18	18	17	18	18	18	19	18	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



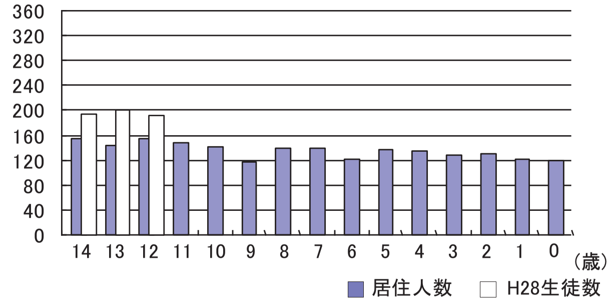
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	154	144	154	149	141	116	140	139	121	136	135	129	130	121	120
H28生徒数	195	203	194												
H28学級数	5	6	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、3学級から5学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者も多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことがと見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第五中学校	所在地	123-0845 足立区西新井本町2-3-1
交通	大師前駅（東武大師線）下車徒歩5分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	11,803 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和43年	延床面積	7,294 ㎡	
設計基準強度	18 N/mm²			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

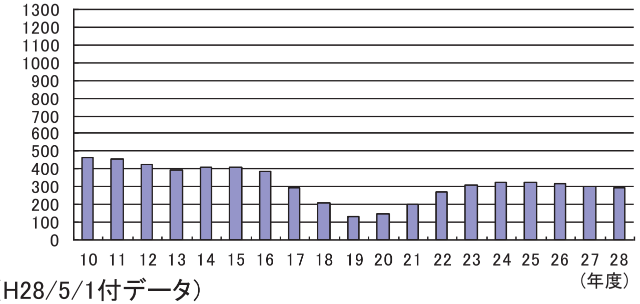
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	464	454	426	394	407	412	386	294	206	132	149	202	269	309	326	328	315	302	292
学級	13	13	13	12	12	12	11	9	7	5	5	7	9	9	9	9	9	9	9

①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、近年は9学級で一定しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



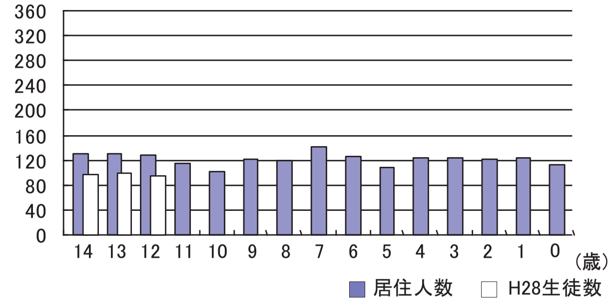
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	131	131	128	114	101	122	120	141	126	109	124	124	121	123	112
H28生徒数	97	99	96												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、3学級から5学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。近隣の中学校に入学する生徒が多く見られます。今後の生徒数や学区域内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1　学校基礎データ

学校名	第六中学校	所在地	123-0856 足立区本木西町16-1
交通	北千住駅（東武線等）から東武バス本木小学校前下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月19日	敷地面積	10,609 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和47年	延床面積	7,152 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

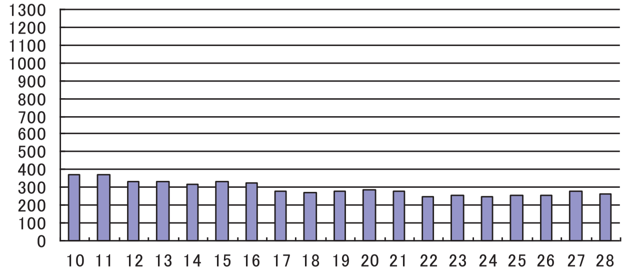
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	369	334	331	321	334	325	276	273	279	290	275	245	253	246	255	257	280	265
学級	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8	8	7	8	8	9	9	10	9

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数は、ほぼ横ばいの状態です。7学級から10学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



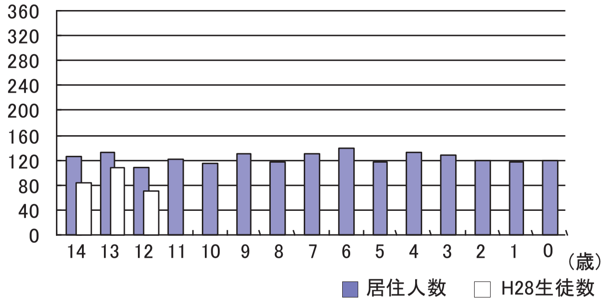
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	126	133	109	121	114	130	118	130	140	118	133	128	120	118	119
H28生徒数	84	110	71												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。大規模住宅の建設が予定されています。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅建設の状況によっては、生徒数が増える可能性があります。今後の生徒数や学区域内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1　学校基礎データ

学校名	第七中学校	所在地	123-0852 足立区関原3-32-14
交通	西新井駅（東武線）下車徒歩10分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	10,955 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和39年（H22大規模改修）	延床面積	6,158 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

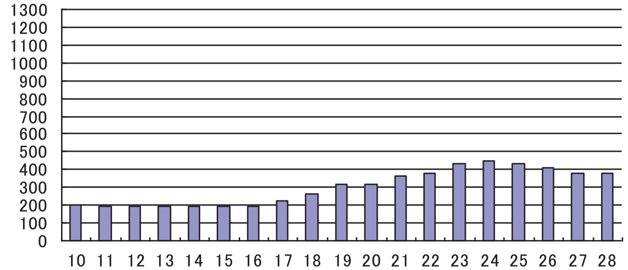
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	204	193	191	197	195	196	190	223	265	317	319	363	382	431	449	431	409	383	380
学級	6	6	6	6	6	6	6	7	8	10	9	11	11	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、12学級で一定していますが、生徒数は減少傾向にあります。平成24年度に第十中学校との学区域変更を行いました。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



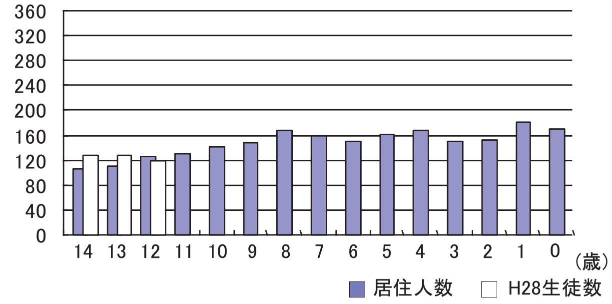
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	107	110	126	131	142	149	167	158	151	161	167	151	153	182	169
H28生徒数	130	129	121												
H28学級数	4	4	4												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者も多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第九中学校	所在地	123-0851 足立区梅田6-32-1
交通	梅島駅（東武線）下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,970 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和36年（H22大規模改修）	延床面積	6,884 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

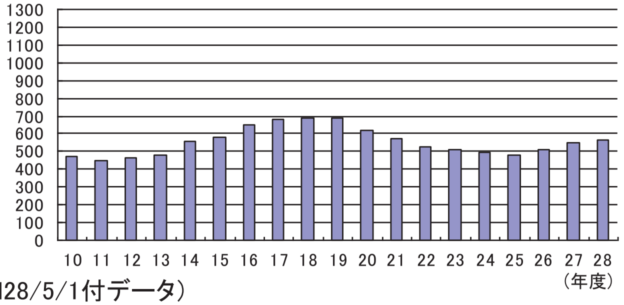
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	475	451	461	482	554	583	647	682	691	692	620	569	524	509	495	477	508	548	564
学級	14	13	13	14	16	16	17	19	19	19	17	16	15	14	14	14	15	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、14学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



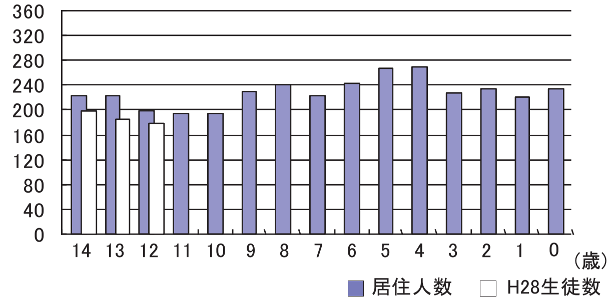
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	223	224	199	195	194	230	240	224	244	268	269	228	235	221	235
H28生徒数	199	186	179												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は増加傾向にあり、5学級から8学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第十中学校	所在地	121-0816 足立区梅島3-23-3
交通	西新井駅（東武線）下車徒歩5分		

開校年月日	昭和22年4月19日	敷地面積	11,212 ㎡	特別支援学級	情緒障がい等
建築年	昭和37年（H25大規模改修）	延床面積	7,812 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

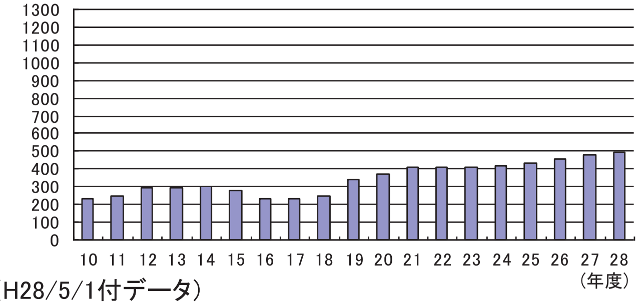
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	231	244	291	291	299	275	229	231	249	342	369	409	409	411	421	432	453	477	494
学級	7	8	9	9	9	9	8	8	8	10	11	12	12	12	12	13	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正規模となっています。平成24年度に第七中学校との学区域変更を行いました。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



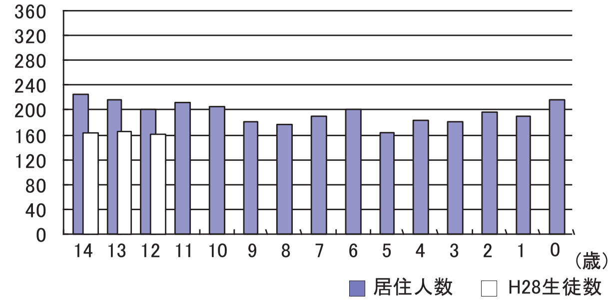
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	225	217	200	212	206	182	177	189	201	164	184	182	197	189	217
H28生徒数	165	167	162												
H28学級数	5	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第十一中学校	所在地	120-0013 足立区弘道1-38-15
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩10分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,227 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和55年	延床面積	7,817 ㎡	
設計基準強度	21 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

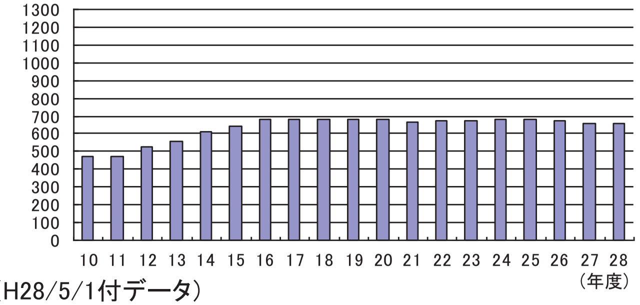
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	469	470	523	554	614	645	682	683	684	680	680	669	670	670	682	679	672	654	661
学級	13	13	15	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



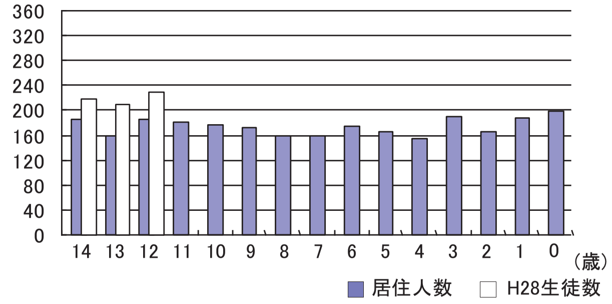
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	186	160	186	182	177	173	158	159	174	165	155	189	165	188	199
H28生徒数	219	211	231												
H28学級数	6	6	7												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校からの入学者が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第十二中学校	所在地	120-0001 足立区大谷田1-37-1
交通	亀有駅(JR)から東武バス大谷田下車徒歩5分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	13,835 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和35年(H25大規模改修)	延床面積	7,066 ㎡	
設計基準強度	18 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

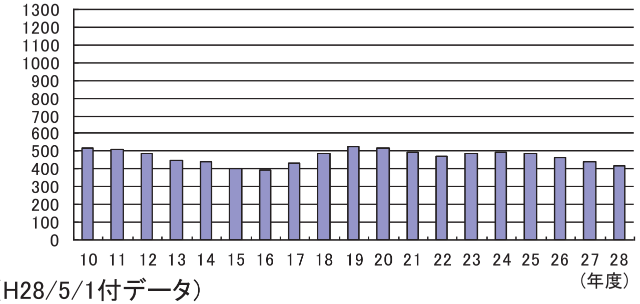
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	517	508	488	448	443	402	395	430	490	529	522	492	469	486	493	491	466	444	415
学級	15	14	13	12	12	11	11	12	14	15	15	14	13	13	13	14	13	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



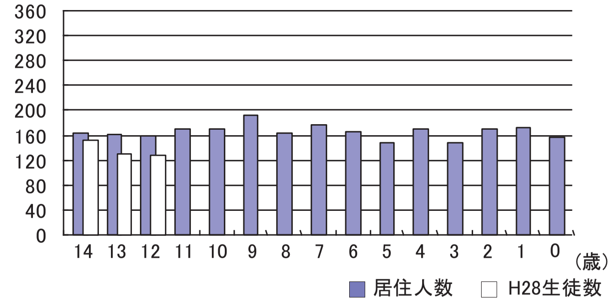
3 学区域内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	164	162	160	170	169	193	163	177	165	148	169	149	171	172	157
H28生徒数	154	131	130												
H28学級数	4	4	4												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第十三中学校	所在地	121-0057 足立区神明南1-16-1
交通	綾瀬駅（千代田線）から東武バス神明南下車徒歩5分またははるかぜ雪見橋南詰下車徒歩5分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	11,840 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和42年	延床面積	8,111 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

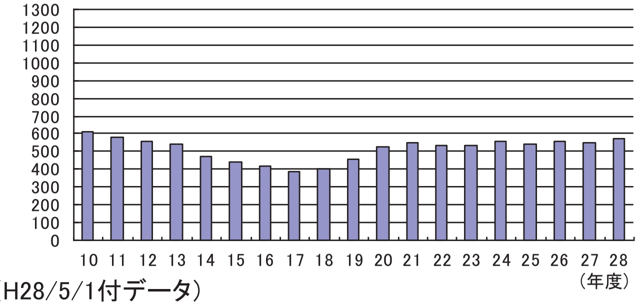
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	609	583	555	538	474	440	414	387	404	460	525	553	533	537	554	541	560	552	575
学級	17	16	15	15	14	13	12	11	11	13	15	16	15	15	15	15	16	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、15学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



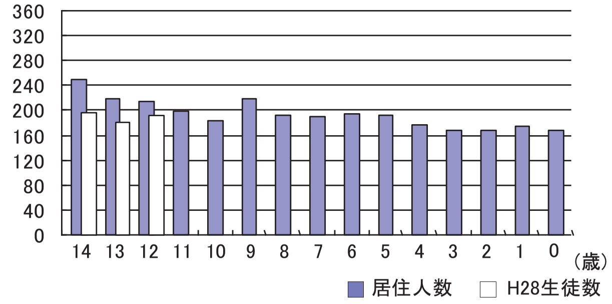
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	250	218	214	198	183	219	192	189	195	192	176	168	168	175	168
H28生徒数	198	183	194												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名	第十四中学校	所在地	121-0822 足立区西竹の塚1-8-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩3分		

開校年月日	昭和22年4月1日	敷地面積	14,828 ㎡	特別支援学級	
建築年	昭和39年	延床面積	8,092 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

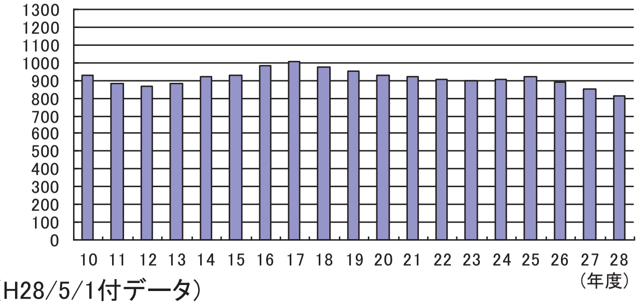
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	928	881	864	882	917	932	986	1006	975	953	927	923	906	899	904	919	890	850	813
学級	24	24	23	24	25	25	27	27	26	25	24	24	24	24	24	25	24	23	22

①これまでの学校規模の推移について

これまで大規模校となっていましたが、平成27年度以降、生徒数・学級数ともに適正規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



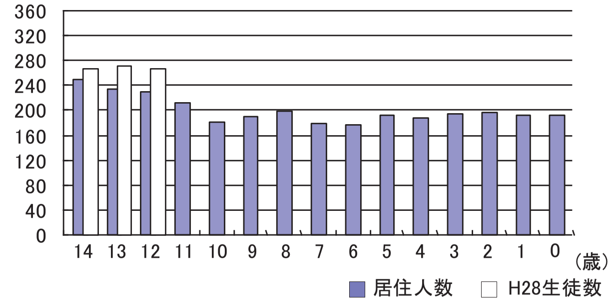
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	249	234	229	213	182	190	198	178	176	192	188	195	196	192	192
H28生徒数	270	273	270												
H28学級数	7	7	8												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から6学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多い傾向を加味すると、今後もほぼ横ばいで推移すると見込まれます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学希望者が多いため、居住人数よりも生徒数が多くなる傾向にありますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	竹の塚中学校	所在地	121-0812 足立区西保木間4-12-13
交通	竹ノ塚駅（東武線）から都営バスまたは東武バス足立清掃工場下車徒歩3分		
開校年月日	昭和45年4月1日	敷地面積	11,120 ㎡
建築年	昭和45年	延床面積	7,383 ㎡
設計基準強度	18 N/mm²	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

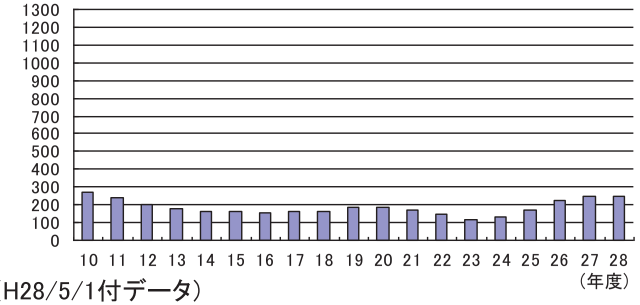
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	270	237	202	177	164	164	156	166	165	186	186	170	148	113	133	171	227	245	246
学級	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	8	9	8

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、5学級から9学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



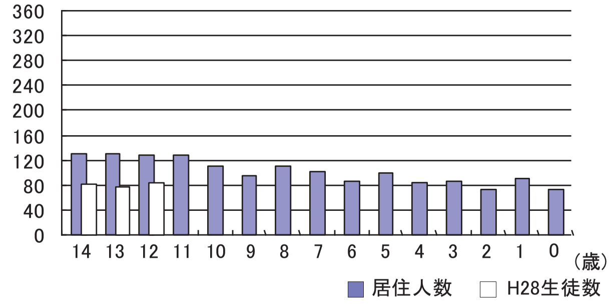
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	130	131	129	128	110	95	110	101	87	99	84	87	72	90	72
H28生徒数	83	78	85												
H28学級数	3	2	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校に入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、8学級となっています。隣接する中学校へ入学する生徒も多くみられるため、今後の生徒数や学区域内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	西新井中学校	所在地	123-0841 足立区西新井7-22-1
交通	大師前駅（東武大師線）下車徒歩15分 西新井大師西駅（日暮里・舎人ライナー）下車徒歩3分		
開校年月日	昭和50年4月1日	敷地面積	10,830 ㎡
建築年	昭和50年	延床面積	7,367 ㎡
設計基準強度	21 N/mm²	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

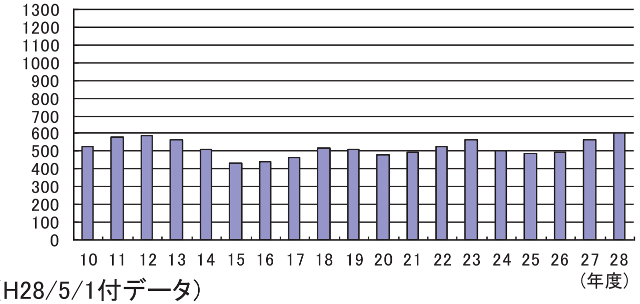
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	528	583	591	565	507	432	440	463	522	510	479	497	523	565	503	486	499	566	602
学級	15	16	16	15	14	12	12	14	15	14	13	14	14	15	14	14	15	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、14学級から16学級の学級数で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。平成26年度以降は鹿浜地域で実施した統合の影響から、生徒数が増加しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



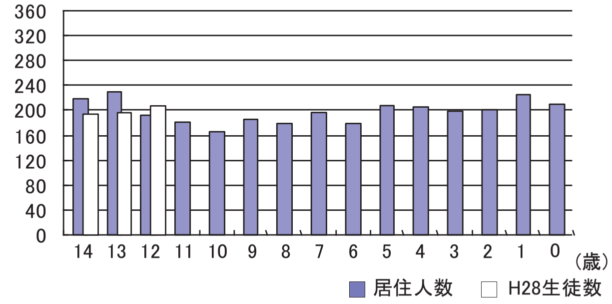
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	219	230	193	182	165	185	178	197	178	208	205	198	200	226	210
H28生徒数	195	198	209												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。一時的に減少傾向にありましたが、学区域内で集合住宅の建設がみられるため、入学前人口は回復しつつあります。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1　学校基礎データ

学校名	花畑中学校	所在地	121-0061 足立区花畑1-31-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス第五都営住宅下車徒歩5分 六町駅(つくばエクスプレス)から東武バス南花畑特別支援学校前下車徒歩5分		
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	14,122 ㎡
建築年	昭和38年	延床面積	6,769 ㎡
設計基準強度	18 N/mm²	特別支援学級	

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

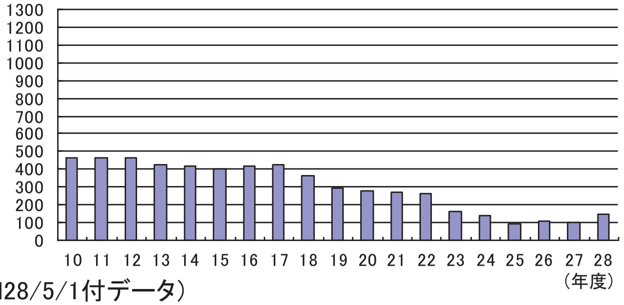
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	468	463	467	426	416	406	418	426	362	295	275	270	260	165	139	93	109	97	147
学級	13	13	13	12	12	12	12	12	11	9	8	8	8	5	5	4	5	4	5

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成23年度以降、4学級から5学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



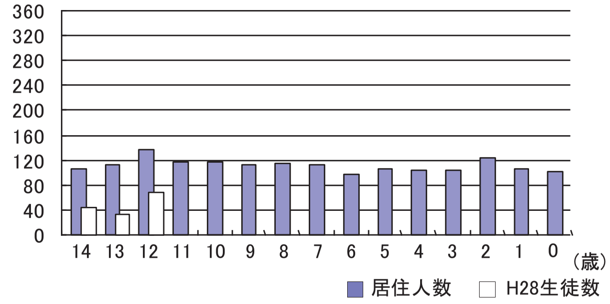
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	107	112	137	117	116	113	115	112	97	105	104	103	124	107	101
H28生徒数	44	33	70												
H28学級数	2	1	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。隣接する花畑北中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1　学校基礎データ

学校名	花畑北中学校	所在地	121-0061 足立区花畑6-12-35
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス花畑団地下車徒歩5分		
開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	13,223 ㎡
建築年	昭和53年	延床面積	7,387 ㎡
設計基準強度	21 N/mm²	特別支援学級	

2　これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

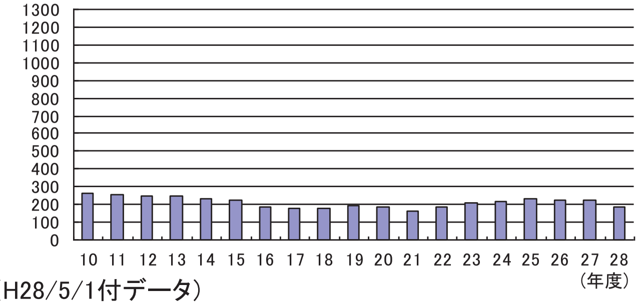
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	266	256	247	249	229	224	186	179	179	193	183	165	185	207	217	234	225	224	182
学級	9	9	8	9	8	7	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	6

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数はほぼ横ばいの状態です。平成21年度以降、6学級から7学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



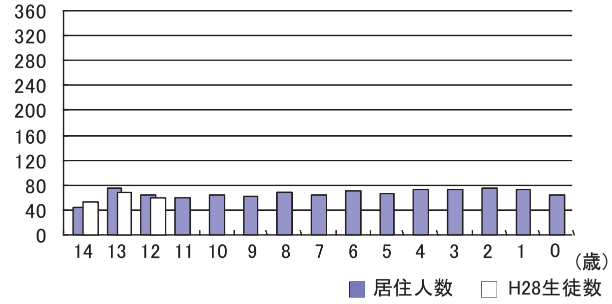
3　学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	45	75	63	59	64	61	68	65	71	67	72	72	76	72	63
H28生徒数	54	69	59												
H28学級数	2	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4　適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、6学級となっています。隣接する花畑中学校も小規模傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	花保中学校	所在地	121-0062 足立区南花畑2-41-1

交通：六町駅（つくばエクスプレス）または綾瀬駅（千代田線）から東武バス東保木間下車徒歩2分

竹ノ塚駅（東武線）から東武バス南花畑下車徒歩2分

開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	12,451 ㎡	特別支援学級	情緒障がい等
建築年	昭和54年	延床面積	7,403 ㎡		
設計基準強度	21 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

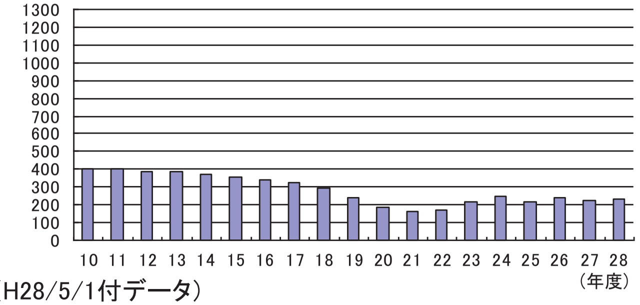
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	402	404	386	389	372	355	340	322	292	239	185	159	172	218	244	213	240	227	231
学級	12	12	11	11	11	10	10	10	9	7	5	5	6	7	8	7	8	8	7

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、増減を繰り返しながら、5学級から8学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



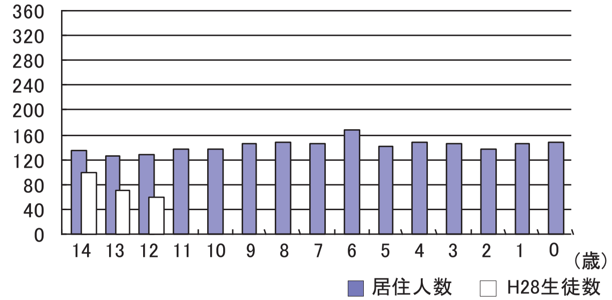
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	135	126	129	136	137	146	147	146	168	141	149	145	138	146	149
H28生徒数	101	71	59												
H28学級数	3	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、7学級となっています。隣接する中学校も小規模傾向にあることから、今後の生徒数や学区域内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	東綾瀬中学校	所在地	120-0005 足立区綾瀬3-23-14

交通：綾瀬駅（千代田線）下車徒歩5分

開校年月日	昭和39年4月1日	敷地面積	12,658 ㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和38年	延床面積	7,912 ㎡		
設計基準強度	18 N/mm^2				

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

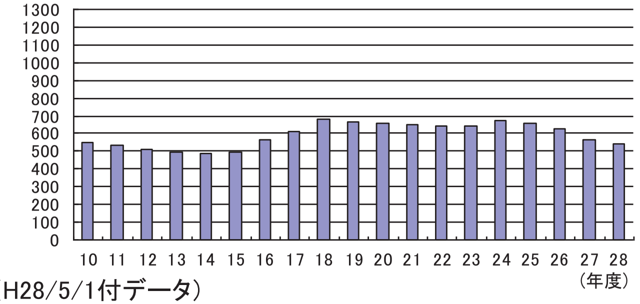
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	553	535	511	498	490	493	563	615	678	666	661	652	646	645	670	658	630	563	545
学級	15	15	15	15	14	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	19	18	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模になっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



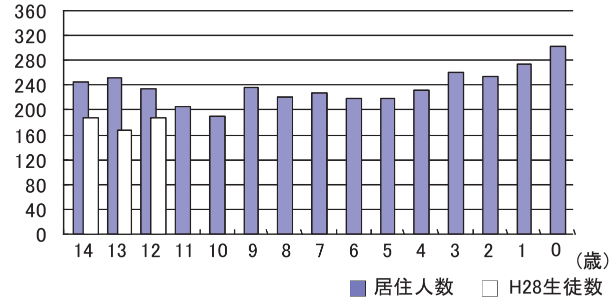
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	245	252	235	205	189	236	221	227	218	218	231	260	253	273	303
H28生徒数	188	168	189												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、5学級から9学級で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。学区域内で集合住宅の建設がみられるため、今後の人口増加に注視する必要があります。最も古い校舎は、昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	東島根中学校	所在地	121-0076 足立区平野1-27-2
交通	梅島駅（東武線）下車徒歩20分 綾瀬駅（千代田線）から東武バスーツ家二丁目下車徒歩4分		
開校年月日	昭和35年9月1日	敷地面積	12,387 ㎡
建築年	昭和34年（H25大規模改修）	延床面積	7,269 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

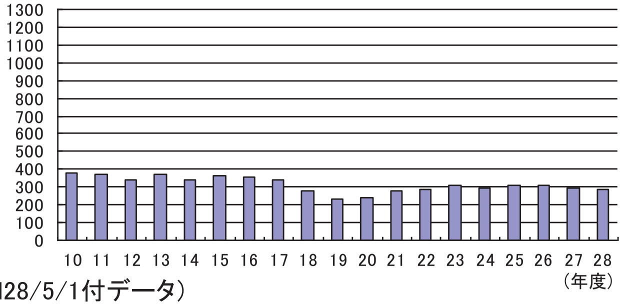
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	377	368	339	368	343	365	354	341	276	235	237	275	283	306	295	311	307	293	283
学級	11	11	10	11	10	11	11	11	9	8	8	9	9	9	9	10	9	9	9

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともにほぼ横ばいで推移しています。平成21年度以降、9学級から10学級で推移しています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



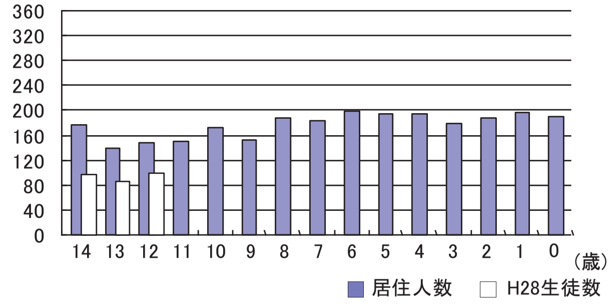
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	177	139	148	151	172	152	188	183	198	195	194	180	187	197	190
H28生徒数	98	86	99												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。隣接する中学校も小規模傾向にあることから、今後の生徒数や学区域内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	渕江中学校	所在地	121-0064 足立区保木間3-6-6
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩20分または東武バス保木間三丁目下車徒歩1分		
開校年月日	昭和35年4月1日	敷地面積	12,814 ㎡
建築年	昭和37年	延床面積	8,692 ㎡
設計基準強度	18 N/mm^2	特別支援学級	

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

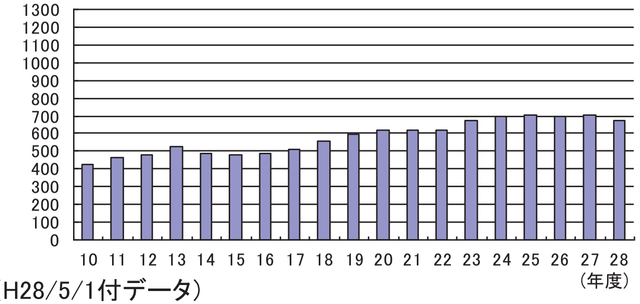
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	422	462	477	523	484	481	490	511	556	599	620	619	621	674	698	702	699	703	672
学級	12	13	14	15	14	14	13	14	16	17	17	17	17	18	18	19	19	19	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



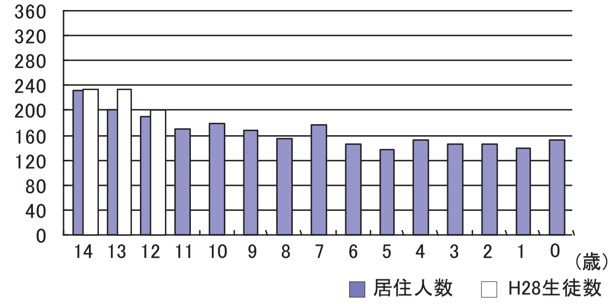
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	231	202	189	171	178	168	154	177	146	137	153	146	146	139	153
H28生徒数	235	235	202												
H28学級数	6	6	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は4学級から6学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名	谷中中学校	所在地	120-0006 足立区谷中3-14-1
交通	北綾瀬駅（千代田線）下車徒歩7分		

開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	13,195 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和54年	延床面積	6,957 ㎡	
設計基準強度	21 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

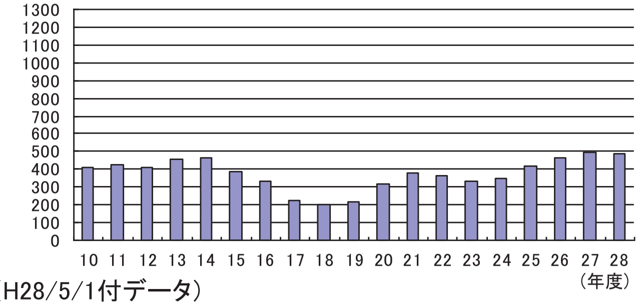
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	412	422	413	453	463	389	329	227	200	220	314	382	362	330	350	421	467	498	490
学級	12	12	12	12	13	11	9	7	7	7	9	10	10	9	10	12	14	15	15

①これまでの学校規模の推移について

平成25年度以降、12学級から15学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



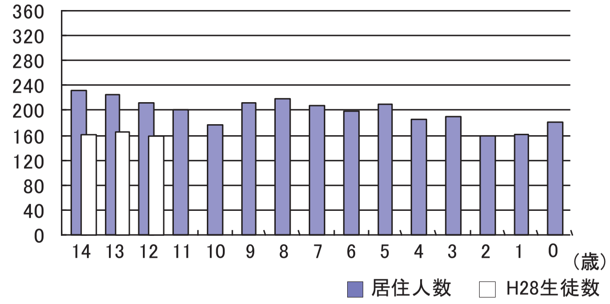
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	231	226	212	202	177	213	218	207	199	210	185	191	158	162	181
H28生徒数	163	167	160												
H28学級数	5	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は4学級から7学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。今後予定される北綾瀬駅から千代田線の都心方面への直通化により、利便性向上による学区域内の人口増加を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名	六月中学校	所在地	121-0814 足立区六月1-30-1
交通	竹ノ塚駅（東武線）下車徒歩15分または都営バス六月町下車徒歩3分		

開校年月日	昭和62年4月1日	敷地面積	16,084 ㎡	特別支援学級
建築年	昭和62年	延床面積	8,433 ㎡	
設計基準強度	21 N/mm^2			

2 これまでの学校規模の推移（各年度とも5/1付データ）

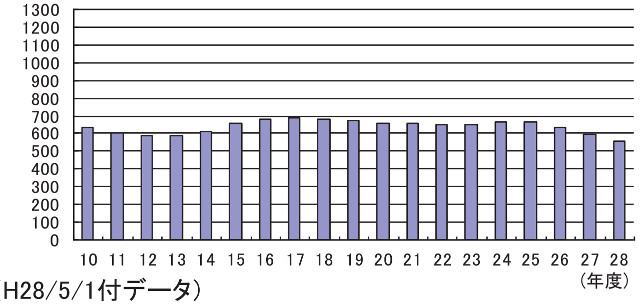
＊普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	634	605	588	587	615	660	683	686	684	672	655	655	647	652	664	669	636	597	560
学級	17	16	16	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	18	17	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

②学校全体の生徒数の推移グラフ



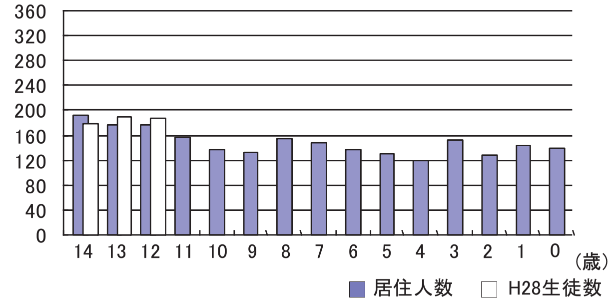
3 学区域内の学齢・学齢前人口（H28/5/1付データ）

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	193	177	177	156	138	132	155	149	137	130	119	153	128	144	140
H28生徒数	179	191	190												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

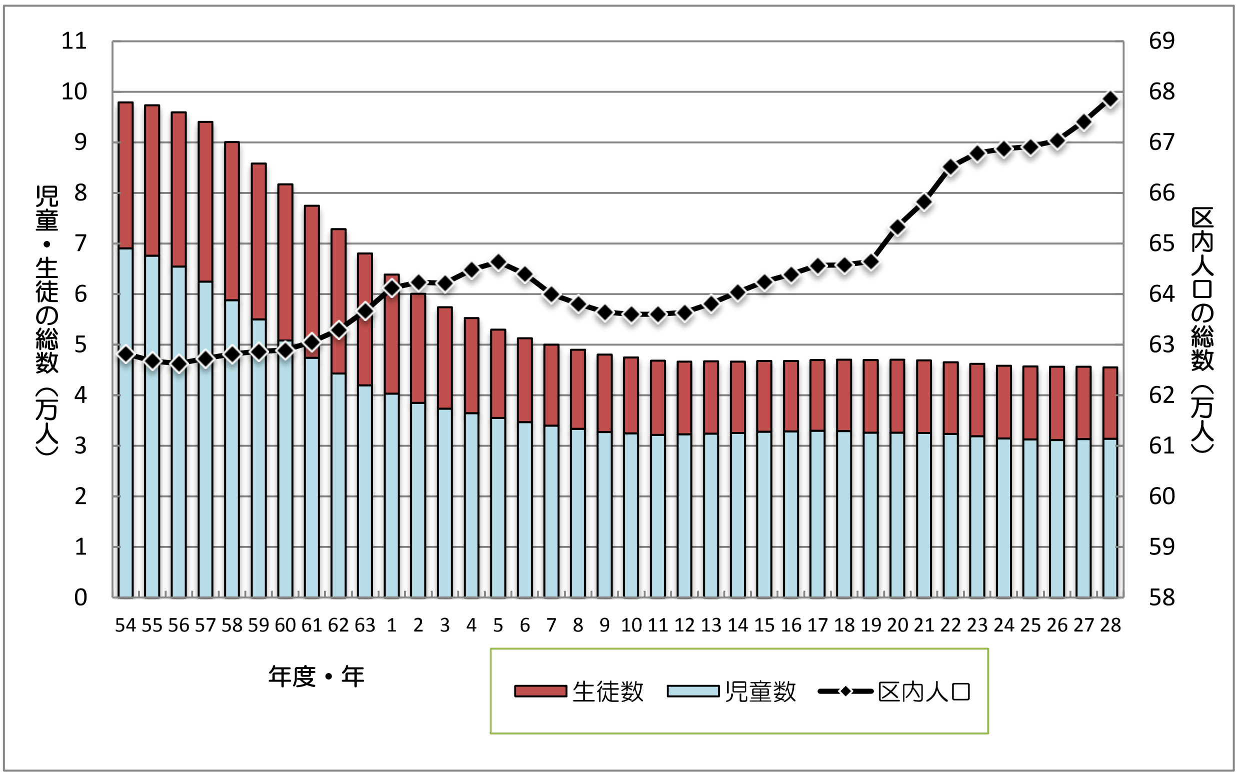
資料７　昭和54年度以降の区内人口および児童・生徒数等の推移

◆昭和５４年度以降の児童・生徒数等の推移

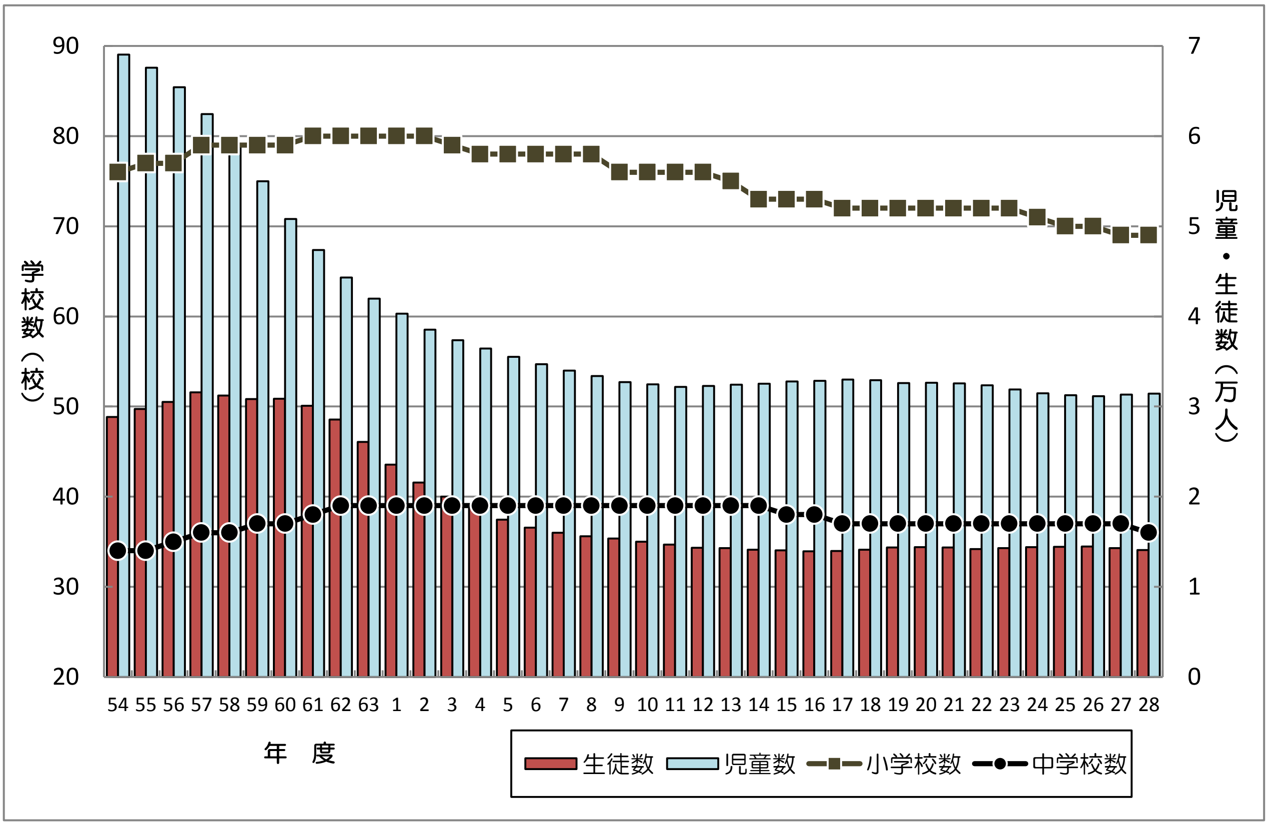
年	児童・生徒数			人口比	学校数			区内人口
	児童数	生徒数	合計(a)	(a)/(b)	小学校	中学校	合計	(b)
54	69,033	28,836	97,869	15.6%	76	34	110	628,213
55	67,590	29,713	97,303	15.5%	77	34	111	626,781
56	65,430	30,493	95,923	15.3%	77	35	112	626,250
57	62,457	31,566	94,023	15.0%	79	36	115	627,276
58	58,814	31,234	90,048	14.3%	79	36	115	628,148
59	55,004	30,832	85,836	13.7%	79	37	116	628,653
60	50,824	30,853	81,677	13.0%	79	37	116	628,923
61	47,383	30,094	77,477	12.3%	80	38	118	630,556
62	44,306	28,558	72,864	11.5%	80	39	119	632,922
63	41,972	26,077	68,049	10.7%	80	39	119	636,661
1	40,315	23,548	63,863	10.0%	80	39	119	641,224
2	38,518	21,568	60,086	9.4%	80	39	119	642,347
3	37,364	20,022	57,386	8.9%	79	39	118	642,177
4	36,436	18,820	55,256	8.6%	78	39	117	644,827
5	35,520	17,447	52,967	8.2%	78	39	117	646,395
6	34,714	16,549	51,263	8.0%	78	39	117	644,005
7	33,992	16,006	49,998	7.8%	78	39	117	640,005
8	33,381	15,592	48,973	7.7%	78	39	117	638,099
9	32,711	15,361	48,072	7.6%	76	39	115	636,427
10	32,459	15,005	47,464	7.5%	76	39	115	636,035
11	32,190	14,668	46,858	7.4%	76	39	115	636,041
12	32,293	14,331	46,624	7.3%	76	39	115	636,370
13	32,441	14,288	46,729	7.3%	75	39	114	638,157
14	32,536	14,127	46,663	7.3%	73	39	112	640,387
15	32,769	14,037	46,806	7.3%	73	38	111	642,460
16	32,846	13,932	46,778	7.3%	73	38	111	643,909
17	32,989	13,970	46,959	7.3%	72	37	109	645,678
18	32,919	14,120	47,039	7.3%	72	37	109	645,770
19	32,602	14,366	46,968	7.3%	72	37	109	646,461
20	32,633	14,386	47,019	7.2%	72	37	109	653,323
21	32,550	14,347	46,897	7.1%	72	37	109	658,302
22	32,343	14,169	46,512	7.0%	72	37	109	665,179
23	31,902	14,298	46,200	6.9%	72	37	109	667,891
24	31,462	14,393	45,855	6.9%	71	37	108	668,730
25	31,264	14,425	45,689	6.8%	70	37	107	669,143
26	31,145	14,477	45,622	6.8%	70	37	107	670,385
27	31,322	14,307	45,629	6.8%	69	37	106	674,111
28	31,434	14,070	45,504	6.7%	69	36	105	678,623

[数値の基準日]
・児童・生徒数は、各年５月１日現在の数値です。
・児童・生徒数には、特別支援学級（固定）の人数が含まれます。
・生徒数には、第四中学校（夜間）の人数が含まれます。
・区内人口は、各年１月１日現在の数値です。
・区内人口には、外国人登録人数を含みます。
・人口比は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

◆昭和５４年度以降の児童・生徒の総数と区内人口の推移

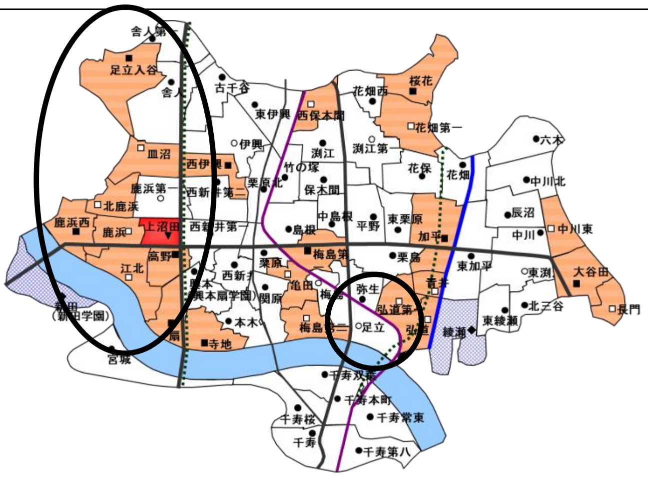


◆昭和５４年度以降の学校数の推移



資料８　足立区立小学校の学校規模の推移（平成 25～27 年度）

平成 25 年度（平成 25 年５月１日現在）

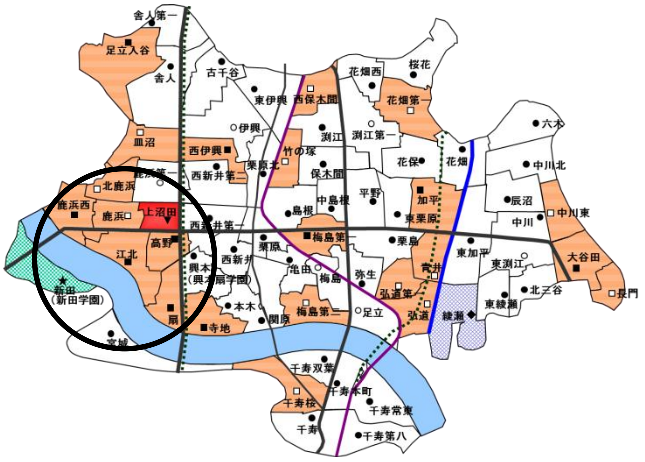


千寿第五小学校と五反野小学校を統合し、足立小学校が開校しました。

平成２５年１月に決定した施設更新計画を基に、小規模傾向がみられる「江北・鹿浜エリア」の適正化に取り組みました。

また、入谷エリアでも小規模化がみられます。

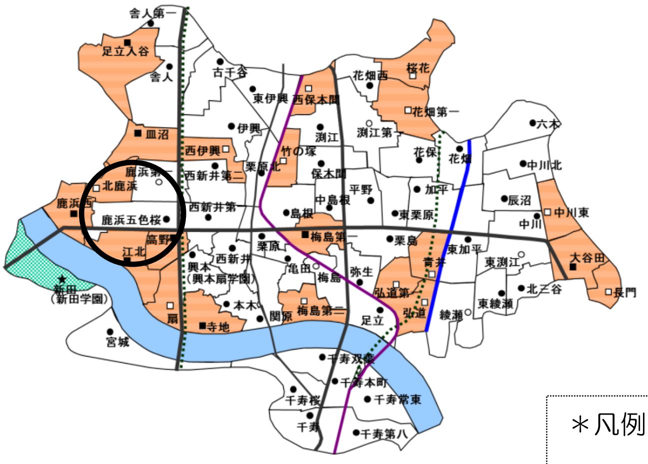
平成 26 年度（平成 26 年５月１日現在）



花畑エリアの小規模傾向が改善をみせはじめました。一方、江北エリアは江北小学校が１１学級以下になるなど、小規模傾向が顕著となりました。また、２５年度は９学級規模であった足立入谷小学校が７学級規模となり、入谷エリアの小規模傾向も強まっています。

なお、新田小学校は、大規模開発により児童数が増加しました。

平成 27 年度（平成 27 年５月１日現在）

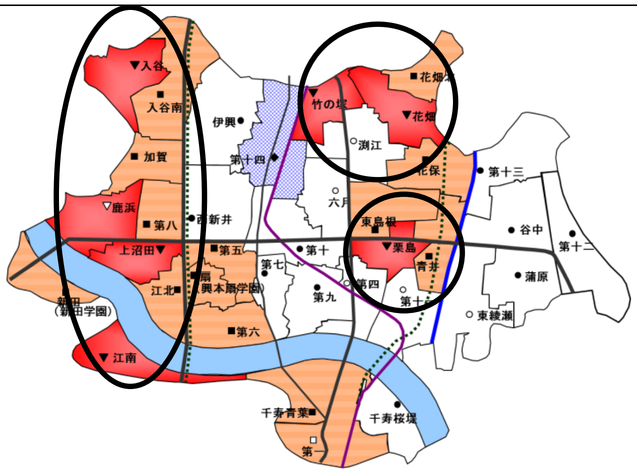


上沼田小学校と鹿浜小学校を統合し、鹿浜五色桜小学校が開校しました。一方、同じ鹿浜エリアにある鹿浜西小学校は、25 年度には 11 学級規模でしたが、８学級となり、年々学級数が減ってきています。

＊凡例　過小規模　小規模　大規模　過大規模

資料９　足立区立中学校の学校規模の推移（平成 25～27 年度）

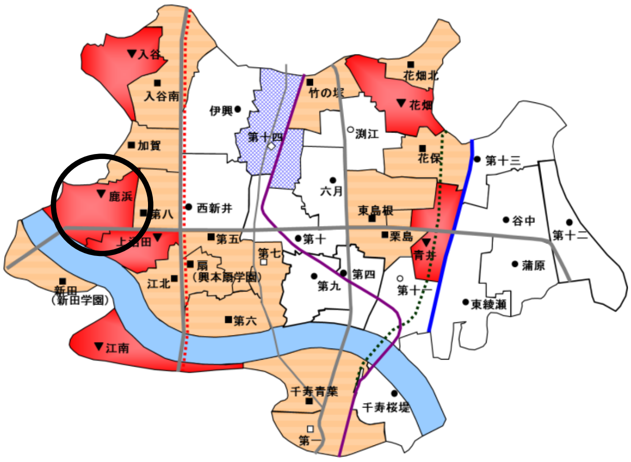
平成 25 年度（平成 25 年５月１日現在）



平成２５年１月に決定した施設更新計画を基に、小規模傾向がみられる「江北・鹿浜エリア」の適正化に取り組みました。

また、入谷・花畑・青井エリアでも小規模化がみられます。

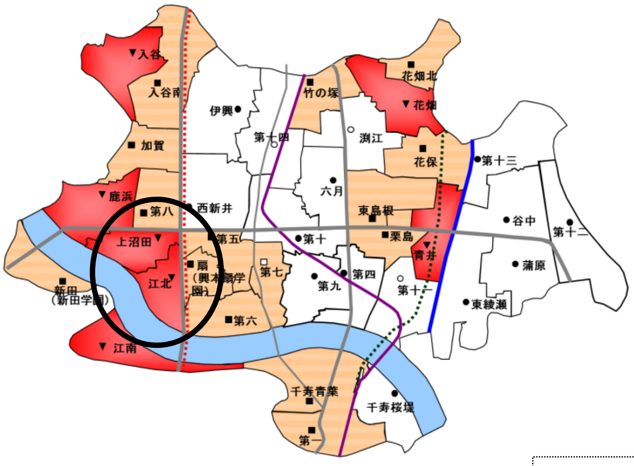
平成 26 年度（平成 26 年５月１日現在）



「江北・鹿浜・入谷エリア」の小規模傾向に変わりはなく、鹿浜中学校は前年度よりも学級数が少ない６学級規模となりました。小規模化が進んでいます。

また、青井中学校と花畑中学校でも小規模化が進んでいます。

平成 27 年度（平成 27 年５月１日現在）



江北中学校が６学級規模となり、小規模化がみられます。また、入谷中学校と青井中学校が５学級規模になりました。さらに、花畑中学校と江南中学校が４学級規模となり、クラス替えのできない学年が発生しています。入谷・青井・花畑エリアの小規模化も顕著となっています。

＊凡例　過小規模　小規模
大規模　過大規模

概要版　足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置の実現に向けて

― これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン ―

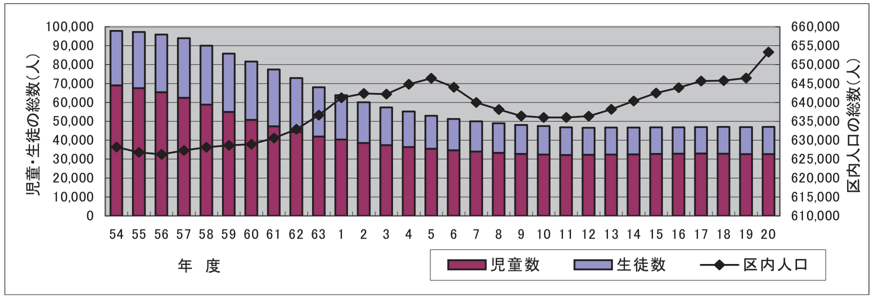
発行：足立区教育委員会事務局 学校適正配置担当
電話：03-3880-5111（代表）　内線3535

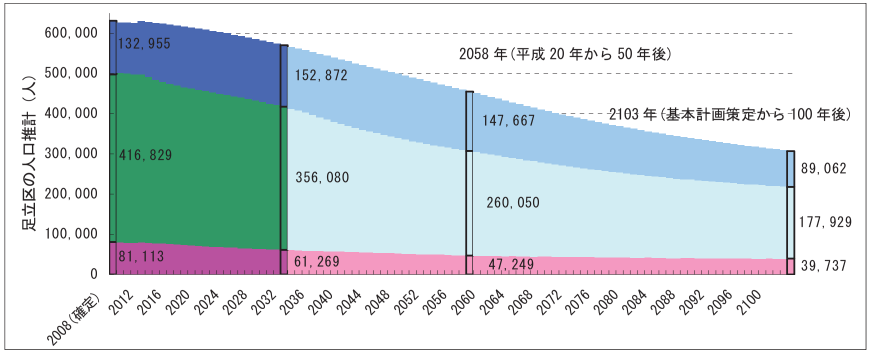
1　区立小・中学校の児童・生徒数の推移と将来予測

足立区では、昭和30年代の後半から都営住宅と公団住宅が大量に建設されたことから、急激な人口増加に対応するために多くの区立小・中学校を建設してきました。

児童・生徒数の推移を見ると、昭和 54 年度に児童数が 69,033 人、昭和 57 年度に生徒数が 31,566人となりピークを迎えました。しかし、この時期を境に児童・生徒数の減少化が始まり、ピーク時と平成20年5月1日現在の比較では、児童数は32,633人で約52.7%減、生徒数は14,386人で約54.4%減となっています。

また、平成17年3月に策定した「足立区基本計画」では、0歳～14歳までの学齢および学齢前人口は、平成44年（西暦2032年）には61,269人で約24.4%減となり、その後も減少は止まらず、今から50年後の西暦2058年には47,249人で約41.7%も減少すると予測しています。





下段：0～14歳　中段：15～64歳　上段65歳以上

2　適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会では、昭和63年2月に東京都足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会から答申された「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」を受けて、小・中学校の適正規模・適正配置の事業展開を進めてきました。

平成7年12月には、平成10年度から平成44年度までの35年におよぶ長期計画である「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」を策定しました。この報告書では、計画期間を前期10年・中期17年・後期8年としており、平成20年度は前期の10年が終了し、中期17年の最初の年度となっています。

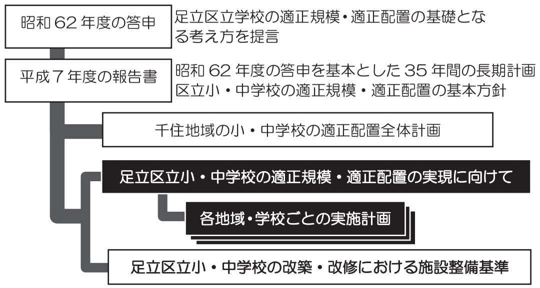
◇主な適正規模・適正配置に関する計画および統合実施校

年度	区分	計画・報告書等の名称および統合を実施した小・中学校
昭和62	計画	足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について（答申）
平成元	計画	足立区立小学校適正配置計画
平成3	統合	千寿本町小学校の開校（千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合）
平成4	統合	千寿桜小学校の開校（千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合）
平成5	計画	足立区立学校の適正規模・適正配置ならびに改築計画について
平成7	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書
平成9	統合	桜花小学校の開校（花畑東小学校と桑袋小学校を統合） 西保木間小学校の開校（渕江第二小学校と竹の塚北小学校を統合）
平成12	計画	千住地域の小・中学校の適正配置全体計画－改築・適正配置５ヵ年計画－
平成13	統合	足立入谷小学校の開校（入谷小学校と入谷南小学校を統合）
平成14	統合	千寿小学校の開校（千寿小学校と千寿第二小学校を統合） 千寿常東小学校の開校（千寿第四小学校と柳原小学校を統合）
平成15	統合	千寿青葉中学校の開校（第三中学校と第十五中学校を統合）
平成17	統合	千寿双葉小学校の開校（千寿第三小学校と元宿小学校を統合） 千寿桜堤中学校の開校（第二中学校と第十六中学校を統合）

3　適正規模・適正配置の基準等の見直しと「ガイドライン」の位置づけ

足立区ではこれまで、昭和 62 年度の答申で示された学校規模や通学距離の考え方を基本として、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。しかし、平成7年度の報告書の策定から13年を経過した今、時代とともに学校を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの基準や計画内容をもう一度見直す時期であると考えました。

この「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて」では、主にこれまでの適正規模・適正配置の基準が現状にあっているか、将来必要となる小・中学校の校数は何校かなどについて再確認し、その結果、基本的な考え方などについて引き続き基本方針として推進できると判断し、このたび、今後の事業の進め方のルールとする「ガイドライン」をまとめました。



資料10　足立区立小・中学校の適正規模・適正配置のガイドライン（平成21年策定）【概要版】

4　足立区の主な適正規模・適正配置の考え方

[適正規模の基準]

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級(標準児童数 370～840 人)	12～24 学級(標準生徒数 420～880 人)

過小規模校	6 学級以下もしくは 180 人以下	6 学級以下もしくは 200 人以下
小規模校	7～11 学級もしくは 181～369 人	7～11 学級もしくは 201～419 人
大規模校	25～29 学級もしくは 841～999 人	25～29 学級もしくは 881～1099 人
過大規模校	30 学級以上もしくは 1000 人以上	30 学級以上もしくは 1100 人以上

「12 学級から 24 学級」を適正規模とします。

小学校では、クラス替えができる各学年２学級以上が最低限必要であるため「1 学年 2 学級～3 学級で 12 学級～18 学級」を望ましい学校規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4 学級～6 学級で 12～18 学級」を望ましい学校規模とします。なお、学校教育法施行規則でも、小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」を標準と定めており、法令上も望ましい学校規模となっています。

また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では「5 学級以下の学校と 12 学級～18 学級の学校を統合する場合には 24 学級までを適正とする」と定めており、「19 学級～24 学級」は適正な学校規模の範囲内であると考えます。

[適正配置の基準]

	小学校	中学校
通学距離	800m以内が望ましい	1200m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、1 中学校あたり 2～3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域を分断しない配慮が必要である。一方、町会・自治会の区域もできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道４号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

「小学校 800m以内・中学校 1200m以内」を一つの目安とします。

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では、適正な通学距離として、小学校はおおむね 4km 以内、中学校はおおむね 6km 以内と定められています。しかしこれは公共交通機関などを利用する地方を含めた全国一律の基準であり、東京都を始めとする都市部では、小学校 1 年生から中学校 3 年生までのすべての児童・生徒が、毎日無理なく徒歩で通学できる範囲とすることが大切です。そのため、昭和 62 年度の答申では、当時行った児童・生徒に対する通学距離の調査結果や特別区を対象にした統計等をもとにして、小学校は半径 800m以内、中学校は半径 1200m以内を区として望ましいと考える通学距離としています。

しかし、すべての通学区域で学校を中心付近に配置することは極めて困難です。適正規模化の効果を最優先して考えた場合には、やや基準を上回ることもありえるため、通学距離の基準は、今後も著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

5　今後の適正規模・適正配置に向けた事業展開

①適正規模・適正配置の検討の進め方

第一に、「適正規模化」を検討します。

原則として、11 学級以下の小規模校となっている小・中学校の検討を進めます。その中でも、学校全体で６学級以下の過小規模校となっている小・中学校の検討を早急に進めます。

適正規模化の方法は、主に複数学校の統合により行います。また、統合後の学校の規模は、原則として 12 学級～24 学級とし、その中でも、区として最も望ましいと考える 12 学級～18 学級となるように検討を進めます。

第二に、「適正配置化」を検討します。

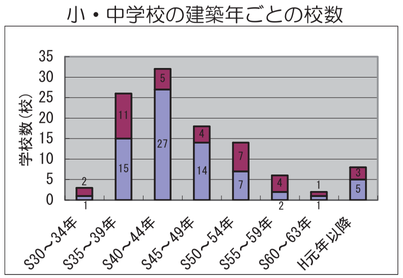
適正配置化は、区内全体の小・中学校の配置バランスと、地域の特性などを考慮しながら、「徒歩で毎日無理なく通学できる距離」となるように適正配置を検討していきます。

また、統合にあわせて、周辺校を含めて必要に応じて学区域を調整します。

「建物の建築年」を考慮します。

老朽化は安全上の問題が生じる可能性が高いため、適正規模・適正配置を進めるにあたり、建築年を考慮します。小規模の度合いが比較的低い場合でも、建築年の古さにより適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。

また、建築年が比較的新しい場合でも、近接校が小規模校となった場合や、その他の建替え要因が生じた場合などは、適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。

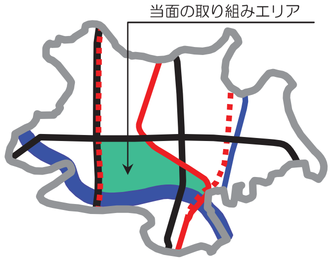


「統合地域協議会」を開催しながら議論を深めていきます。

教育委員会で統合に関する素案を作成し、保護者・学校関係者・地域のみなさんとの協議を進めます。協議の進捗状況をみながら、適切な時期に「統合地域協議会」を立ち上げて議論を深めていきます。

②当面の取り組み

本木東小学校	平成 10 年度以降、学校全体で６学級規模が続いています。学区域内に住んでいる学齢前人口も複数学級を確保できない人数であり、早急な検討が必要と考えます。
千寿第五小学校	校舎は一番古いもので昭和 35 年に建築され、老朽化が進んでいます。また、平成 14 年度以降は 11 学級以下の小規模校となっています。
栗原小学校	大規模な集合住宅の開発により、児童数が増え始めています。児童数の増加に反して、小学校の中で延床面積は３番目、敷地面積は最も小さい学校で、許容可能人数を超える可能性があります。
第七中学校	学校の北側で大規模な集合住宅の開発が進んでいます。通学距離を考え、第十中学校の学区域から第七中学校の学区域への編入を検討します。



現在この地域では、西新井小学校、第四、第七、第九中学校の改築・改修が進められています。地域全体の適正規模・適正配置を進めるために、この 4 つの小・中学校を中心として、周辺の学校の学区域変更を含めて最も良い解決策を検討していきます。

※この資料は、平成２１年５月に決定した「適正規模・適正配置のガイドライン」をまとめたものです。

足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

発　　行　　足立区教育委員会
編　　集　　足立区教育委員会事務局
学校教育部 副参事（学校適正配置担当）
住所：足立区中央本町一丁目 17 番 1 号
電話：03-3880-5111（代表）　内線 3535
発行年月　　平成 29 年 5 月

平成２８年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書

「平成２８年度 あだちっ子歯科健診実施結果」について、以下のとおり報告する。

1　平成２８年度の実施状況

（1）　実施施設および実施時期（表１）

年少児（４歳）クラス以上のある教育・保育施設のうち、１７４施設（９７．２％）で実施した（前年比＋３．６％）。また、区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等という」）へは、歯科健診の受診について、個別に通知を発送している。

（表１）

	施設数	参加数	**参加率**（H27年度）	実施時期	備考
私立幼稚園 私立認定こども園	53	53	**100%** (96%)	平成２８年５月～７月	
区立保育園 区立認定こども園	36	36	**100%** (100%)	平成２８年９月～11月	こども園の年中年長児は、平成２８年５月～７月実施
公設民営園	15	15	**100%** (100%)		
私立保育園	54	54	**100%** (100%)		
認証保育所	19	14	**74%** (53%)		年少クラス以上を有する施設
未通園児等	H28.9.1を基準日とし対象者を抽出			平成２８年９月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

（2）　受診状況（表２）【各施設からの集計報告による実績値】

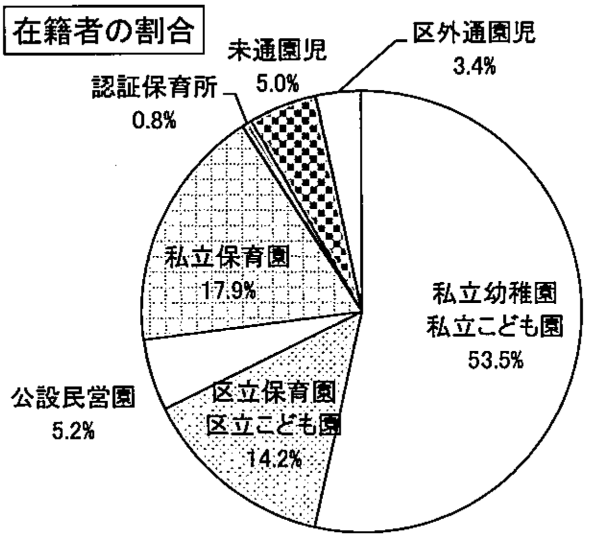
教育・保育施設における受診率は、９９．０％（前年度比＋０．２％）と高い一方、未通園児等は７．７％（前年度比＋０．９％）の受診率に止まっている。

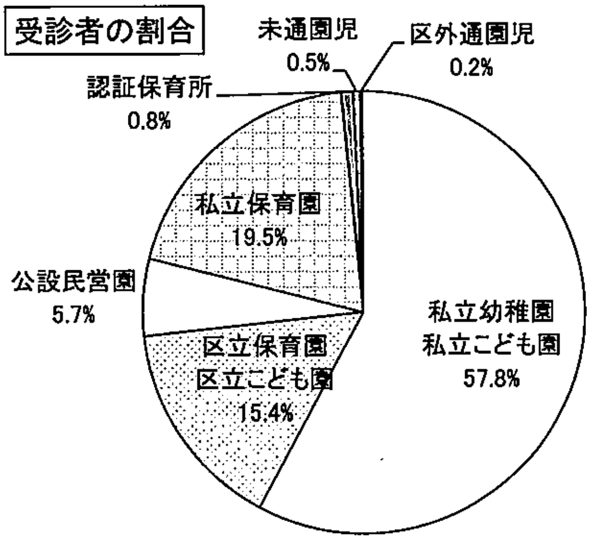
（表２）　　※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

	年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		合計（人数）		
	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者（H27年度）	受診者（H27年度）	**受診率**（H27年度）
私立幼稚園 私立認定こども園	2,973	2,925	3,165	3,123	3,142	3,109	9,280 (9,225)	9,157 (9,083)	**98.7%** (98.5%)
区立保育園 区立認定こども園	767	761	838	830	862	853	2,467 (2,662)	2,444 (2,645)	**99.1%** (99.4%)
公設民営保育園	293	291	303	300	309	305	905 (763)	896 (754)	**99.0%** (98.8%)
私立保育園	1,076	1,074	1,033	1,031	986	982	3,095 (2,823)	3,087 (2,807)	**99.7%** (99.4%)
認証保育所	67	67	42	40	26	26	135 (73)	133 (71)	**98.5%** (97.3%)
未通園児等　未通園児	448	55	226	14	196	13	870 (875)	82 (75)	**9.4%** (8.6%)
未通園児等　区外通園児	176	15	194	11	213	4	583 (617)	30 (26)	**5.1%** (4.2%)
合計 （H27年度）	5,800 (5,657)	5,188 (5,036)	5,801 (5,631)	5,349 (5,147)	5,734 (5,750)	5,292 (5,278)	17,335 (17,038)	15,829 (15,461)	
受診率 （H27年度）	**89.4%** (89.0%)		**92.2%** (91.4%)		**92.3%** (91.8%)		**91.3%** (90.7%)		

在籍者のうち、未通園児の割合は５％だが、受診者における未通園児の割合は、０．５％となる。このことから、健診受診者のほとんどが施設内健診となっている（図１）。

（図１）在籍者、受診者の割合





（３）　未通園児等の未受診理由（表３）

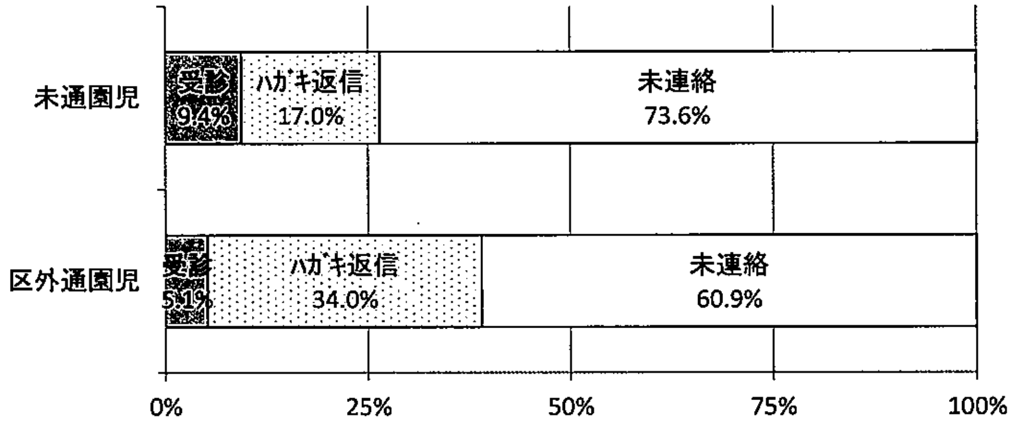
歯科健診の個別通知の際、健診を希望しない理由を調査するためのハガキを同封したところ、未通園児の１７．０％、区外通園児の３４．０％から返信があった（図２）。

（表３）

	対象者 (H27年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (H27年度)	受診率 (H27年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (H27年度)	返信率 (H27年度)	人数 (H27年度)	割合 (H27年度)
未通園児	870 (875)	82 (75)	9.4% (8.6%)	148 (139)	17.0% (17.4%)	640 (661)	73.6% (75.5%)
区外通園児	583 (617)	30 (26)	5.1% (4.2%)	198 (209)	34.0% (35.4%)	355 (382)	60.9% (61.9%)
合計	1,453 (1,492)	112 (101)	7.7% (6.8%)	346 (348)	23.8% (25.0%)	995 (1,043)	68.5% (69.9%)

希望しない理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院している」「歯科医院で定期的にチェックしている」「通っている施設で受けた」が多くなっている。

（図２）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



（4）　「足立区保健衛生システム」登録数(表４)

あだちっ子歯科健診を受診した年少児(４歳)～年長児(６歳)のうち、１４，９９４名を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。

(表４)

	年少児(４歳)		年中児(５歳)		年長児(６歳)		システム登録合計(人)	
	受診者 (H27年度)	登録者 (H27年度)	受診者 (H27年度)	登録者 (H27年度)	受診者 (H27年度)	登録者 (H27年度)	受診者 (H27年度)	登録者 (H27年度)
人数	5,188 (5,036)	4,925 (4,829)	5,349 (5,147)	5,086 (4,856)	5,292 (5,278)	4,983 (5,014)	15,829 (15,461)	14,994 (14,699)
登録率		**94.9%** (95.9%)		**95.1%** (94.3%)		**94.2%** (95.0%)		**94.7%** (95.1%)

※受診者には区外在住者もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

2　歯科健診分析結果

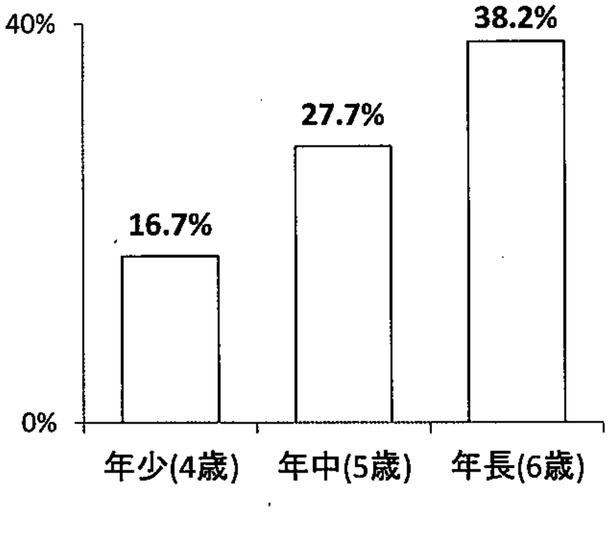
「足立区保健衛生システム」に登録した子どもの歯科健診結果は、以下のとおりである。

（1）　むし歯の状況

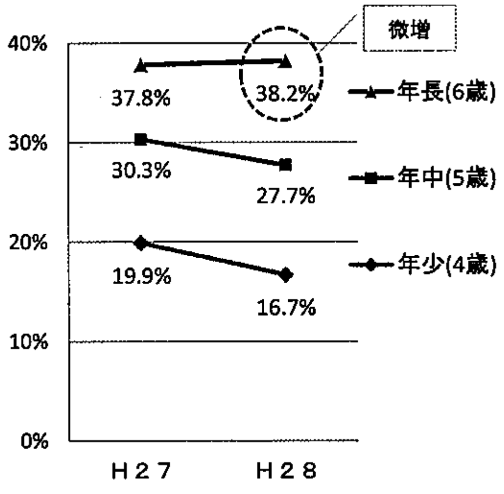
①　年齢別・乳歯にむし歯がある子どもの割合

乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年齢が上がるごとに増加し、年長児（６歳）では３８．２%だった(図３)。２７年度と比較すると、年少児(４歳)と年中児(５歳)は減少し、年長児(６歳)では微増となっている(図４)。

(図３）乳歯にむし歯がある子どもの割合



(図４)　平成２７年度との比較



②　施設種類別・乳歯にむし歯がある子どもの割合(表５)

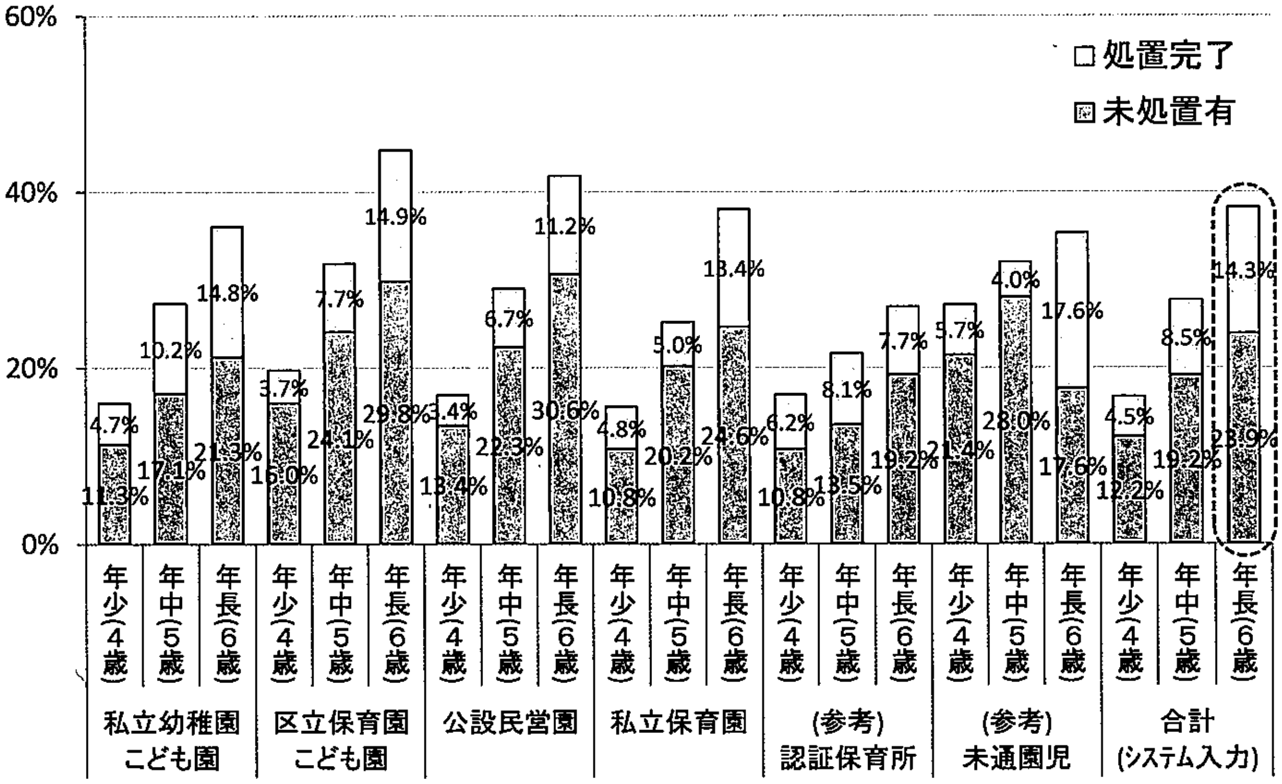
教育・保育施設における乳歯のむし歯り患率の最多・最少の差は、年少児（４歳）で4.2ポイント、年長児（６歳）で8.6ポイントと年齢があがるにつれ、大きくなっている。
※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む)。

（表５）

	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	り患率 (H27年度)	受診者	むし歯有	り患率 (H27年度)	受診者	むし歯有	り患率 (H27年度)
私立幼稚園 私立認定こども園	2,676	429	16.0% (19.3%)	2,886	788	27.3% (29.0%)	2,832	1,021	36.1% (37.1%)
区立保育園 区立認定こども園	756	149	19.7% (24.9%)	817	260	31.8% (35.8%)	838	375	44.7% (43.3%)
公設民営保育園	290	49	16.9% (20.6%)	300	87	29.0% (26.5%)	304	127	41.8% (34.8%)
私立保育園	1,068	166	15.5% (16.3%)	1,021	257	25.2% (30.1%)	966	367	38.0% (35.9%)
(参考)認証保育所	65	11	16.9% (19.6%)	37	8	21.6% (50.0%)	26	7	26.9% (85.7%)
(参考)未通園児等	70	19	27.1% (31.7%)	25	8	32.0% (25.0%)	17	6	35.3% (28.6%)
合計 (H27年度)	**4,925** (4,829)	**823** (959)	**16.7%** (19.9%)	**5,086** (4,856)	**1,408** (1,473)	**27.7%** (30.3%)	**4,983** (5,014)	**1,903** (1,894)	**38.2%** (37.8%)

年長児（６歳）のむし歯がある子のうち、３人に２人は未処置歯がある（図５）。
※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計には含む）。

（図５）　教育・保育施設別 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

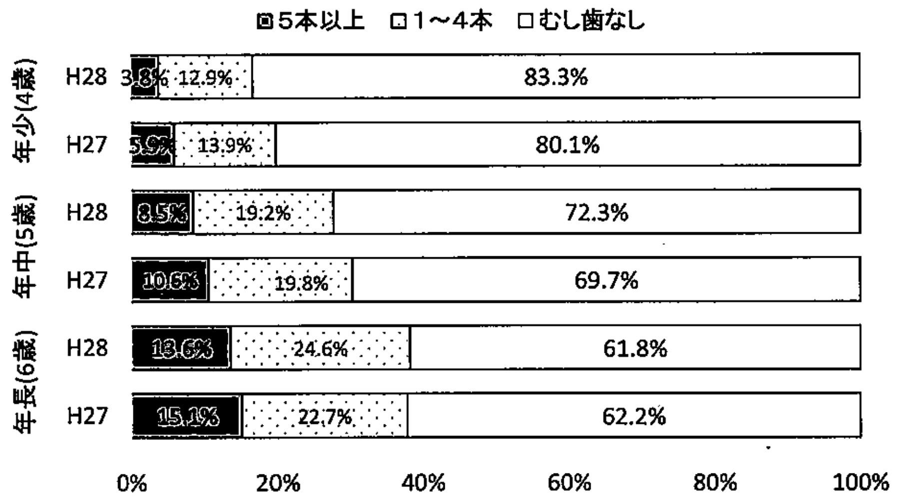


【参考】２７年度 年長（６歳）むし歯がある子の割合	処置完了率　１４．１％ 未処置有率　２３．７％

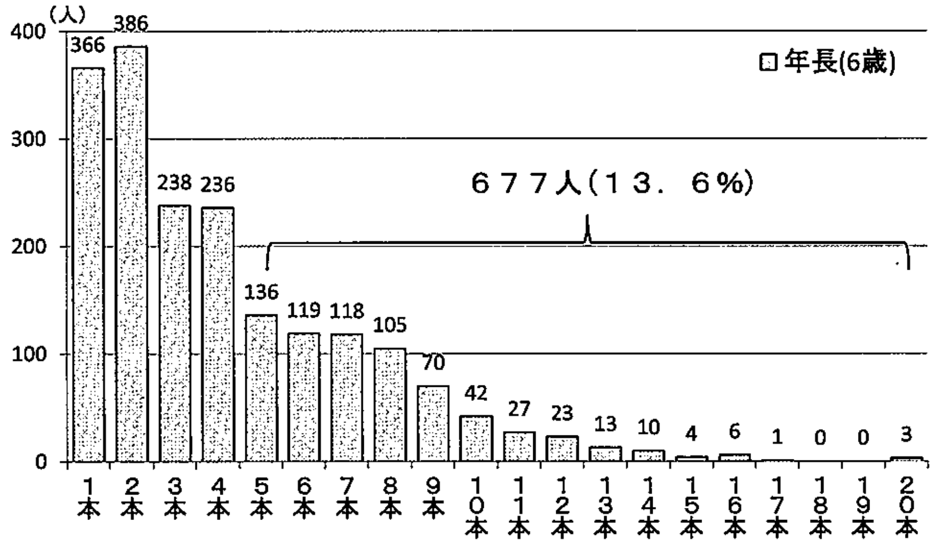
③　乳歯に５本以上むし歯がある子どもの割合とむし歯の処置状況

乳歯に５本以上のむし歯がある子の割合は、年少児（４歳）～年長児（６歳）全ての年齢で、２７年度より減少した（図６）。年長児（６歳）でみた場合、むし歯の保有数（処置歯を含む）は、１～２本が多数を占めてはいるが、５本以上のむし歯を保有する子どものうち、１８．３％（１２４名）が全て未処置歯となっている（図７、図８）。

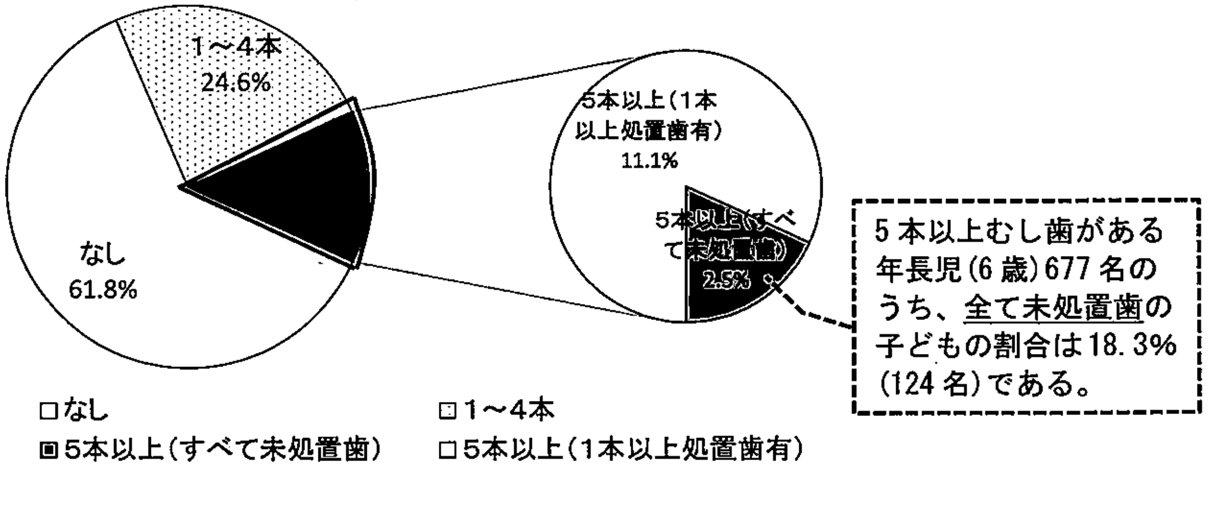
（図６）　乳歯に５本以上むし歯がある子どもの割合



（図７）　年長児（６歳）の一人当たりむし歯本数（処置歯を含む）



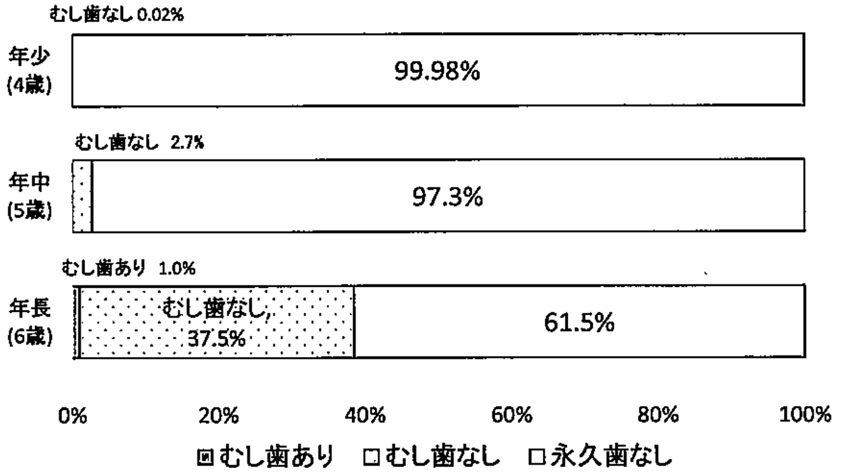
（図８）　年長児（６歳）の５本以上むし歯がある子の治療状況



④　永久歯の生えている子の割合とむし歯の状況

年長児（６歳）の３８．５％（１，８７２名）に永久歯が生え始めている。年長児（６歳）の１％（５１名）がすでに永久歯にむし歯がある（図９）。

（図９）　永久歯の生えている子の割合とむし歯の罹患状況



⑤　受診報告書提出状況（表６）【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども（※1）に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が教育・保育施設より受診報告書として提出されている（※2）。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している（※3）。

２８年度における受診報告書の提出率の平均は５５．８％で、２７年度と比べて５．９％減少している。

※1　未処置のむし歯（C）及びむし歯になりそうな歯（CO）がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2　概ね歯科健診から２か月程度経過した時点での報告率。

※3　未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする（合計には含む）。

（表６）

		年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		合計（人数）		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (H27 年度)	報告数 (H27 年度)	報告率 (H27 年度)
私立幼稚園 私立認定こども園		718	344	939	451	1,123	553	2,780 (2,455)	1,348 (1,484)	48.5% (60.4%)
区立保育園 区立認定こども園		215	147	308	194	361	210	884 (976)	551 (591)	62.3% (60.6%)
公設民営保育園		89	56	123	76	151	90	363 (294)	222 (190)	61.2% (64.6%)
私立保育園		261	190	323	226	395	248	979 (819)	664 (542)	67.8% (66.2%)
認証保育所		21	15	14	10	11	7	46 (27)	32 (15)	69.6% (55.6%)
未通園児等	未通園児	15	6	4	3	3	2	22 (33)	11 (18)	50.0% (54.5%)
	区外通園児	0	0	3	3	0	0	3 (10)	3 (8)	100% (80.0%)
合計 (H27 年度)		1,319	758	1,714	963	2,044	1,110	5,077 (4,614)	2,831 (2,848)	
報告率 (H27 年度)		57.4% (64.8%)		56.1% (61.9%)		54.3% (59.5%)		55.8% (61.7%)		

3　「足立区糖尿病対策アクションプラン－歯科口腔保健対策編－」進捗状況（表７）

歯科口腔保健対策の目標値及び実績値は、下記のとおりである。２８年度は、教育・保育施設での歯科健診実施率は向上したが、年長児（６歳）のむし歯がない子の割合は微減した。また、歯科治療が必要な子どもの受診報告書の提出率は、全体で５．９ポイント低下するなど、目標値の達成に向けて、課題を検討する必要がある。

（表７）

	２７年度実績	２８年度実績	３４年度目標値
４～６歳の歯科健診実施率	【あだちっ子歯科健診実施率】 幼稚園　96% (私立幼稚園・私立こども園) 認可保育園　100% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所　53%	【あだちっ子歯科健診実施率】 幼稚園　100% (私立幼稚園・私立こども園) 認可保育園　100% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所　74%	100%
年長児のむし歯がない子の割合	62.2%	61.8%	70%
受診報告書の提出率	幼稚園　60.4% (私立幼稚園、私立こども園) 認可保育園　63.3% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所　55.6%	幼稚園　48.5% (私立幼稚園、私立こども園) 認可保育園　65.0% (認可保育園、区立こども園) 認証保育所　69.6%	80% 100% 80%

4　２９年度の方向性

２７年度と比較すると、年少児（４歳）と年中児（５歳）のむし歯がある子どもの割合や全年齢で５本以上むし歯がある子どもの割合が減少するなど、一定の効果が認められる。引き続き、あだちっ子歯科健診を実施するとともに、下記の課題について対策を講じていく。

（１）　歯科治療が必要な子どもへの受診勧奨の強化

年長児（６歳）で５本以上むし歯がある子１３．６％のうち、すべてのむし歯が未処置歯である子が１８．３％いるなど、多数歯にむし歯があっても、歯科医療機関に繋がっていないケースがあることが明らかとなった。各教育・保育施設、子ども家庭部、衛生部・保健センター等のフォローの仕組みを検討し、２９年度中に試行する。

さらに、これら情報を小学校に繋ぐ仕組み作りにも着手する。

また、歯科健診後の受診報告書の提出率が前年度より低下している施設へは、再度保護者への丁寧な受診勧奨への協力を依頼することで提出率の向上を目指す。

（２）　集計・分析結果を活用し、子どもの歯みがき習慣づくり等に繋げる

年長児（６歳）のむし歯がある子の割合が増加している現状をふまえ、下記の取り組みを実施する。

①　むし歯になる傾向が高い歯をターゲットに、仕上げみがきやおやつの摂り方の啓発、歯みがきチャレンジカードやワークシートの活用等、むし歯予防に繋がる効果的な取り組みを各教育・保育施設に促していく。

②　子どもの歯みがき習慣づくり、おやつ指導等、家庭教育の強化の観点からのアプローチを検討する。

③　健診結果から、むし歯がある子どもの割合が高かった施設に対して個別に働きかけ、保健センターと連携した歯科保健教室等を優先的に実施していく。

●あだちっ子歯科健診の概要

1　目的

「足立区糖尿病対策アクションプラン－歯科口腔保健対策編－」の一環として、むし歯が増えやすい年少児（４歳）～年長児（６歳）を対象に、（公社）東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携、協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、就学前の児童のむし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

①　統一基準（帳票、健診基準等）の歯科健診を実施
②　健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
③　歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

2　対象者

通園の有無に関わらず、年少児（４歳）から年長児（６歳）全ての幼児

※区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

3　実施方法及び今後の目標

（１）　統一基準の歯科健診

足立区歯科医師会に委託（区立認定こども園のみ嘱託医）し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、年２回の施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

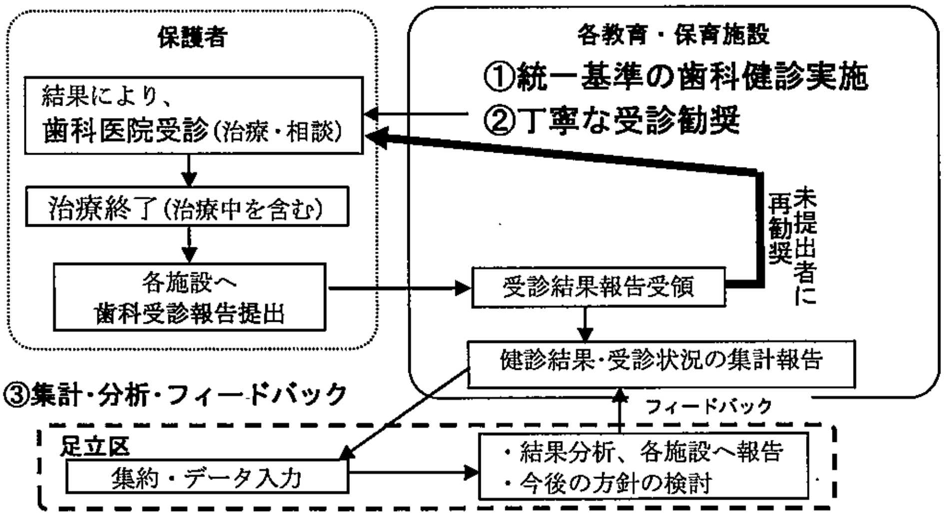
（２）　受診勧奨

各保育施設・認定こども園・幼稚園のご協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもを減らしていく。

（３）　結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報の適正な管理のもと保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。

あだちっ子歯科健診フロー図



【問合せ先】

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること
足立区教育委員会子ども家庭部子ども政策課子ども施策推進担当　０３－３８８０－５２６６

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること
足立区衛生部データヘルス推進課多世代健康データ連携担当　０３－３８８０－５６０１

◆第1回（６月）学校公開のご案内　（区立小学校）◆

下表のとおり学校公開を行います。授業風景や校風などを実際にご覧いただき、学校を選ぶ際の参考にしてください。
なお、学校の事情により公開期間及び説明会日時等が異なりますので、ご注意ください。**（詳細は各校へお問い合わせください）**

公開時間：［月～金］午前9時30分～11時30分／午後1時30分～3時30分　［土］午前のみ公開　［日祝］非公開

学校名		公開期間	非公開日	入学者向け説明会		備考
ア	青井小	12日 ～ 16日	13日午後、14日午後	15日	11：30～12：00	●特別支援学級説明会（通常学級と合同開催）／12日 地域清掃活動／13日 体力ﾃｽﾄ
	足立小	13日 ～ 17日	14日午後、17日午後	16日	9：40～10：25	●特別支援学級説明会（10月に実施予定）／13日 セーフティ教室／17日 道徳授業地区公開講座
	足立入谷小	5日 ～ 9日	7日午後	9日	15：10～16：00	
	綾瀬小	5日 ～ 9日	8日	6日	11：35～12：20	6日　セーフティ教室／9日　水道キャラバン、セーフティ教室
イ	伊興小	5日 ～ 9日	7日午後	6日	11：30～12：00	
ウ	梅島小	5日 ～ 9日		8日	10：00～11：00	
	梅島第一小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	9日	11：00～12：00	6日 水道キャラバン／8日 自転車安全教室／9日 食育、華道／10日 道徳授業地区公開講座
	梅島第二小	24日 ～ 29日	24日午後、25日、28日午後	27日	15：30～16：15	●特別支援学級説明会（27日 11：30～12：15）
オ	桜花小	12日 ～ 16日		14日	9：35～10：15	●特別支援学級説明会（直接学校にお問い合わせください）
	扇小	5日 ～ 9日	7日午後	7日	10：30～11：30	5日　セーフティ教室
	大谷田小	6日 ～ 10日	7日午後	9日	10：30～11：00	10日　道徳授業地区公開講座、土曜授業参観
	興本小	12日 ～ 16日	14日午後	14日	15：00～15：45	16日　スポーツテスト
カ	加平小	14日 ～ 21日	14日午後、16～18日	15日	10：40～11：25	
	亀田小	3日 ～ 9日	3日午後、4日、7日午後	9日	11：00～11：30	3日　道徳授業地区公開講座
キ	北三谷小	3日 ～ 8日	3日午後、4日、7日午後	5日	9：50～10：20	3日　道徳授業地区公開講座
	北鹿浜小	5日 ～ 9日	7日午後	9日	14：30～15：30	5日　水道キャラバン（４年）／6日　体力テスト
ク	栗島小	12、13、29、30日		30日	15：00～16：00	12日 ファミリｅルール講座、水道キャラバン／13日 留学生交流会／30日 セーフティ教室
	栗原小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	8日	10：40～11：30	
	栗原北小	6日 ～ 10日		8日	10：25～11：15	10日　土曜授業参観
コ	弘道小	13日 ～ 17日	17日午後	13日	11：00～11：30	14日 理科公開研究授業（6年2組 5校時）／17日 道徳授業地区公開講座、長縄大会
	弘道第一小	5日 ～ 9日		7日	10：00～11：00	5日　道徳授業地区公開講座
	江北小	5日 ～ 9日	7日午後	10日	11：00～12：00	7日　自転車免許教室（3年）
	高野小	7日 ～ 12日	7日午後、11日	9日	14：45～15：30	●特別支援学級説明会（10月に実施予定）／10日　道徳授業地区公開講座
	古千谷小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	5日	15：30～16：00	●特別支援学級説明会（5日14：40～15：30）／10日　土曜授業参観
サ	皿沼小	6日 ～ 9日	7日午後	8日	10：45～11：30	
シ	鹿浜五色桜小	9日 ～ 14日	10日午後、11日、14日午後	13日	10：00～11：00	10日　災害時における集団避難訓練
	鹿浜第一小	5日 ～ 9日	7日午後	7日	11：35～12：00	●特別支援学級説明会（9日　11：35～12：00）
	鹿浜西小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	10：20～11：00	
	島根小	11日 ～ 16日	11日午後、12日	13日	11：00～12：00	11日　日曜授業参観、道徳授業地区公開講座
	新田小	12日 ～ 16日	14日14：05以降	12日	15：30～16：15	●特別支援学級説明会（12日通常学級と合同開催、14日14：20～15：20の2回）
セ	関原小	5日 ～ 9日	7日午後	6日	15：00～16：00	●特別支援学級説明会（通常学級と合同開催）／5、6日　セーフティ教室
	千寿小	5日 ～ 10日	7日、10日午後	10日	10：45～11：25	10日　土曜授業参観、道徳授業地区公開講座、薬物乱用防止教室
	千寿桜小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	9日	10：30～11：15	●特別支援学級説明会（9日 11：25～12：00）／10日　土曜授業参観
	千寿常東小	12日 ～ 16日	14日14：15以降	14日	10：30～11：15	●特別支援学級説明会（14日11:30～12:15）／12、13日 交通安全教室／15日 セーフティ教室
	千寿第八小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	10：45～11：30	6日　セーフティ教室、薬物乱用防止教室／9日　ブラッシング教室
	千寿双葉小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	8日	10：00～11：00	5日　セーフティ教室／7日 地域清掃／9日 自転車教室／10日 土曜授業参観
	千寿本町小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	5日	15：00～16：00	8日　自転車安全教室（3年）／9日　水道キャラバン（4年）
タ	竹の塚小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	9日	10：30～11：00	8日　道徳授業地区公開講座、薬物乱用防止教室
	辰沼小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	10日	9：25～10：10	8日　セーフティ教室
テ	寺地小	11日 ～ 16日	11日午後、12日、14日午後	11日	11：30～12：10	11日　日曜授業参観／13日　セーフティ教室
ト	舎人小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	6日	15：00～15：30	10日　土曜授業参観
	舎人第一小	8日 ～ 14日	10日午後、11日	10日	11：00～11：30	8日 水道キャラバン、セーフティ教室／10日 全国小学生歯磨き大会／13日 セーフティ教室
ナ	中川小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	8日	10：45～11：30	9日 水道キャラバン／10日 ふれあい動物教室
	中川北小	5日 ～ 10日	6日、7日午後、10日午後	8日	9：30～10：00	5日 人権教育／7日 セーフティ教室／8日 薬物乱用防止教室／9日 スポーツテスト／10日 水道キャラバン
	中川東小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	13：40～14：15	
	中島根小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	10日	11：30～12：00	10日　土曜授業参観
	長門小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	8日	10：45～11：30	8日　水道キャラバン（4年 1、2校時）／10日　敬老の集い（9：00～10：30）
ニ	西新井小	12日 ～ 16日	14日午後	13日	11：00～11：30	13日 セーフティ教室（2、5年）／15日 歯磨き指導（4、6年）／16日 交通安全教室（1、4年）
	西新井第一小	5日 ～ 10日	7日午後、10日午後	5日	10：00～11：00	10日　土曜授業参観、ゲストティーチャー授業
	西新井第二小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	10：30～11：30	
	西伊興小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	6日	15：00～15：45	●特別支援学級説明会（6日 15：15～15：45）／10日　道徳授業地区公開講座
	西保木間小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	8日	10：35～11：20	8日　英語授業／9日　親子歯磨き／10日　土曜授業参観、食育指導
ハ	花畑小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	15：15～15：45	●特別支援学級説明会（10月に実施予定）／6日　セーフティ教室／8日　水道キャラバン
	花畑第一小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	10日	10：00～11：00	8日　セーフティ教室（2～3校時）／9日　歯科指導（2校時　1年）
	花畑西小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	10日	10：30～11：15	
	花保小	7日 ～ 13日	7、8、10日はいずれも午後、11日	12日	15：00～16：00	10日　土曜授業参観
ヒ	東綾瀬小	10日 ～ 15日	10日午後、11日、14日午後	14日	10：30～11：15	12日　水道キャラバン／13日　セーフティ教室、体力テスト
	東伊興小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	7日	10：40～11：20	10日　土曜授業参観、セーフティ教室
	東加平小	10日 ～ 15日	10日午後、11日、14日午後	15日	11：35～12：20	10日 道徳授業地区公開講座／13日 6歳臼歯健康教室／14日 水道キャラバン
	東栗原小	3日 ～ 8日	3日午後、4日、7日午後	3日	10：40～11：10	3日　道徳授業地区公開講座
	東渕江小	5日 ～ 9日	7日午後	6日	15：15～15：45	●特別支援学級説明会（10月予定）／17日 土曜授業参観（1～3校時 いじめ授業、カラー班活動）
	平野小	16日 ～ 21日	17日午後、18日	16日	11：30～12：15	●特別支援学級説明会（通常学級と合同開催）／17日 土曜授業参観／19、20日 セーフティ教室
フ	渕江小	8日 ～ 13日	11日	12日	10：45～11：30	●特別支援学級説明会（13日 10：45～11：30）／9日 セーフティ教室／10日 土曜授業参観
	渕江第一小	5日 ～ 9日		8日	11：30～12：20	5日　セーフティ教室
ホ	保木間小	10日 ～ 15日	10日午後、11日	10日	10：25～11：00	10日 土曜授業参観／12日 語りの会／15日 スポーツテスト
ミ	宮城小	6日 ～ 10日	7日午後、10日午後	10日	9：30～10：15	●特別支援学級説明会（10月に実施予定）
ム	六木小	7日 ～ 13日	7日午後、10日、11日	9日	11：30～12：00	●特別支援学級説明会（9日 10：20～10：50）
モ	本木小	5日 ～ 9日	7日午後	8日	15：30～16：20	●特別支援学級説明会（9日14:45～15:30）／5日ハ（歯）ロー！6ちゃん／7日セーフティ教室
ヤ	弥生小	12日 ～ 16日		14日	15：00～16：00	15日　セーフティ教室

【小学校のみ】平成30年4月入学者から、選択可能校は［学区域校もしくは隣接校まで］に変更されます。見学の際は、ご注意ください。

「美しいまち」は「安全なまち」　ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

クリーム

〔平成２９年度：学校選択（中）〕

◆第１回（６月）学校公開のご案内　（区立中学校）◆

下表のとおり学校公開を行います。授業風景や校風などを実際にご覧いただき、学校を選ぶ際の参考にしてください。
なお、学校の事情により公開期間及び説明会日時等が異なりますので、ご注意ください。**（詳細は各校へお問い合わせください）**

公開時間：［月～金］午前9時30分～11時30分／午後1時30分～3時30分　［土］午前のみ公開　［日祝］非公開

	学校名	公開期間	非公開日	入学者向け説明会		備考
第	第一中	12日 ～ 17日	14日午後、17日午後	17日	10：30～11：20	16日　道徳授業地区公開講座／17日　土曜授業参観 ●特別支援学級説明会(12日 11：00～12：00) ※13日は、特別支援学級のみ非公開
	第四中	26日 ～ 30日	28日午後	30日	15：30～16：30	
	第五中	12日 ～ 16日	12日、14日午後	15日	15：00～16：00	
	第六中	12日 ～ 16日	14日午後	16日	16：00～17：00	●特別支援学級説明会（通常学級と合同開催）※13日は、特別支援学級のみ非公開
	第七中	12日 ～ 17日	14日午後、17日午後	17日	11：00～12：00	●特別支援学級説明会（10月に実施予定）※13日は、特別支援学級のみ非公開
	第九中	13日 ～ 16日		15日	15：00～16：00	
	第十中	26日 ～ 30日		30日	14：30～15：30	28日　留学生ゲストティーチャー授業（2年　11：35～12：25）／29日　体力テスト
	第十一中	15日 ～ 21日	17日、18日 21日午後	20日	15：00～16：00	
	第十二中	12日 ～ 17日	17日午後	17日	11：00～12：00	17日　土曜授業参観
	第十三中	6日 ～ 10日	10日午後	10日	11：50～12：30	●特別支援学級説明会(7日11：45～12：35)／9日　道徳授業地区公開講座
	第十四中	12日 ～ 16日	14日午後	15日	14：00～15：00	12日　セーフティ教室／13日　道徳授業地区公開講座 ※15～16日に行われる部活動は、非公開となります。
ア	青井中	19日 ～ 23日		23日	15：30～16：30	
イ	伊興中	12日 ～ 17日	14日午後	17日	10：45～11：35	●特別支援学級説明会(通常学級と合同開催)
	入谷中	12日 ～ 16日		17日	10：00～11：00	
	入谷南中	15日 ～ 21日	17日午後、18日 21日午後	17日	11：00～12：00	17日　土曜授業参観
オ	鷗中	12日 ～ 16日	14日午後	14日	16：00～16：50	
カ	加賀中	5日 ～ 10日	10日午後	8日	15：45～16：30	10日　土曜授業参観
	蒲原中	12日 ～ 16日		17日	11：00～12：00	
ク	栗島中	12日 ～ 16日		16日	14：30～15：30	●特別支援学級説明会(16日 15：00～15：30) ※13日は、特別支援学級のみ非公開
コ	江南中	12日 ～ 16日	14日午後	23日	15：30～16：30	
	江北桜中	12日 ～ 16日	14日午後	15日	16：00～17：00	
シ	鹿浜菜の花中	5日 ～ 10日		10日	10：45～11：45	●特別支援学級説明会(10日 10：15～10：45)
	新田中	12日 ～ 16日	14日午後	12日	15：30～16：15	●特別支援学級説明会(12日 16：20～16：50)
セ	千寿青葉中	19日 ～ 23日	21日午後	23日	15：30～16：20	21日　道徳授業地区公開講座
	千寿桜堤中	19日 ～ 23日	21日午後	10日	11：00～12：00	
タ	竹の塚中	5日 ～ 10日		10日	10：30～11：20	
ニ	西新井中	3日 ～ 9日	4日、5日	10日	11：00～12：00	3日　運動会 ※雨天の場合、6/6(火)に延期
ハ	花畑中	12日 ～ 17日	14日午後、17日午後	17日	10：30～11：30	17日　土曜授業参観 ●特別支援学級説明会(17日 11：30～12：00)　※平成30年度より新設
	花畑北中	12日 ～ 16日		15日	16：00～17：00	
	花保中	12日 ～ 17日	13日午後、17日午後	17日	11：00～11：45	17日　土曜授業参観
ヒ	東綾瀬中	19日 ～ 23日	21日午後	23日	14：30～15：30	●特別支援学級説明会(23日　14：00～14：30)
	東島根中	13日 ～ 17日	14日午後、17日午後	17日	10：50～11：35	16日　道徳授業地区公開講座
フ	渕江中	3日 ～ 9日	3日午後、4日	3日	11：00～12：00	3日　土曜授業参観
ヤ	谷中中	13日 ～ 17日	16日午前	17日	11：00～11：50	
ロ	六月中	12日 ～ 16日		17日	13：30～14：45	17日　土曜授業参観

※特別支援学級の見学は、各校へお問い合わせください。

「美しいまち」は「安全なまち」　ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

平成３０年度　小学校 受入可能人数一覧表 【学校教育部学務課】

平成３０年度入学の新一年生について、各学校の入学可能な人数の上限を示す
「受入可能人数」（予定）は、次のとおりです。

（五十音順）

No.	学校名	２９年度 入学者数	３０年度 受入可能人数	備考
1	青井小	46	65	
2	足立小	101	100	前年度抽選
3	足立入谷小	26	65	
4	綾瀬小	136	135	(注1)
5	伊興小	104	135	前年度抽選
6	梅島小	100	100	前年度抽選
7	梅島第一小	39	65	
8	梅島第二小	49	65	
9	桜花小	64	65	
10	扇小	55	65	
11	大谷田小	46	65	
12	興本小	71	100	
13	加平小	82	100	
14	亀田小	173	170	前年度抽選
15	北三谷小	55	100	
16	北鹿浜小	36	65	
17	栗島小	66	100	
18	栗原小	65	65	前年度抽選
19	栗原北小	84	100	
20	弘道小	55	65	
21	弘道第一小	54	65	
22	江北小	32	65	
23	高野小	48	65	
24	古千谷小	90	100	
25	皿沼小	41	65	
26	鹿浜五色桜小	92	100	
27	鹿浜第一小	97	100	(注2)
28	鹿浜西小	27	65	
29	島根小	67	100	
30	新田小	246	275	
31	関原小	68	100	
32	千寿小	106	170	
33	千寿桜小	65	100	
34	千寿常東小	101	135	
35	千寿第八小	77	100	

No.	学校名	２９年度 入学者数	３０年度 受入可能人数	備考
36	千寿双葉小	82	100	
37	千寿本町小	67	65	前年度抽選
38	竹の塚小	55	65	
39	辰沼小	86	100	
40	寺地小	66	65	
41	舎人小	80	100	
42	舎人第一小	81	100	
43	中川小	76	100	
44	中川北小	81	100	
45	中川東小	44	65	
46	中島根小	71	65	
47	長門小	41	65	
48	西新井小	94	100	
49	西新井第一小	70	100	
50	西新井第二小	48	65	
51	西伊興小	98	100	前年度抽選
52	西保木間小	35	65	
53	花畑小	58	65	
54	花畑第一小	69	100	前年度抽選
55	花畑西小	57	65	
56	花保小	77	100	
57	東綾瀬小	71	100	
58	東伊興小	85	100	
59	東加平小	94	135	
60	東栗原小	62	100	(注1)
61	東渕江小	98	135	
62	平野小	86	100	
63	渕江小	81	100	
64	渕江第一小	86	100	
65	保木間小	51	65	
66	宮城小	79	100	
67	六木小	84	100	
68	本木小	61	100	
69	弥生小	92	100	

※受入可能人数については、住民基本台帳の人数等を参考に算出しています。
（注１）　凍結校となり、その後凍結を解除しなかった学校。
（注２）　凍結校となったが、３月１日に凍結を解除した学校。

凍結校とは、入学希望者が受入可能人数を超えた場合、抽選を行わず希望者全員を受け入れ、その後は学区域以外からの入学をお断りすることとなった学校です。

※**No4 綾瀬小学校**は、改築工事のため、平成３２年４月から東綾瀬一丁目５番に建つ仮設校舎に一時移転する予定です。移転期間は平成３４年３月までの予定です。

※**No22 江北小学校**と**No23 高野小学校**は、統合する予定ですが、統合校の位置や統合年度は未定です。

※**No26 鹿浜五色桜小学校**は、平成２９年４月から鹿浜四丁目２０番の新校舎に移転しました。

※**No32 千寿小学校**は、改築工事のため、平成２９年１月から平成３１年３月まで、仮設校舎（千住緑町一丁目４番地）に移転しています。その後、平成３１年４月に、現在の千寿小学校（千住宮元町６番地）に建つ新校舎に移転する予定です。

問い合わせ先　教育委員会事務局 学務課就学係
℡３８８０－５９６９

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

平成３０年度　中学校 受入可能人数一覧表 【学校教育部学務課】

平成３０年度入学の新一年生について、各学校の入学可能な人数の上限を示す「受入可能人数」（予定）は、次のとおりです。

（青井中以降 五十音順）

No.	学校名	２９年度入学者数	３０年度受入可能人数	備考
1	第一中	74	95	
2	第四中	205	203	前年度抽選を実施
3	第五中	76	95	
4	第六中	96	95	（注１）
5	第七中	127	130	前年度抽選を実施
6	第九中	174	203	
7	第十中	165	165	前年度抽選を実施
8	第十一中	223	235	
9	第十二中	145	165	
10	第十三中	203	203	前年度抽選を実施
11	第十四中	273	270	前年度抽選を実施
12	青井中	22	60	
13	伊興中	195	203	（注２）
14	入谷中	29	60	
15	入谷南中	114	130	
16	扇中	62	95	
17	加賀中	66	95	
18	蒲原中	155	203	
19	栗島中	63	95	
20	江南中	41	60	
21	江北桜中	101	130	前年度抽選を実施
22	鹿浜菜の花中	133	165	
23	新田中	155	165	
24	千寿青葉中	129	130	前年度抽選を実施
25	千寿桜堤中	168	165	前年度抽選を実施
26	竹の塚中	60	95	
27	西新井中	197	203	（注２）
28	花畑中	46	60	
29	花畑北中	43	60	
30	花保中	73	95	
31	東綾瀬中	204	203	前年度抽選を実施
32	東島根中	111	130	
33	渕江中	200	203	（注２）
34	谷中中	153	130	（注２）
35	六月中	197	203	（注１）

※**受入可能人数については**、住民基本台帳の人数や近年の就学状況等を勘案して算出しています。

（注１）　凍結校となり、その後凍結を解除しなかった学校。

（注２）　凍結校となったが、３月１日に凍結を解除した学校。

凍結校とは、入学希望者が受入可能人数を超えた場合、抽選を行わず希望者全員を受け入れ、その後は学区域以外からの入学をお断りすることとなった学校です。

※**No21 江北桜中学校**は、平成２９年４月に新設された「旧江北中学校と旧上沼田中学校」の統合校です。
平成３０年度まで旧上沼田中学校（江北五丁目１４番）で学校生活を送っていただき、
平成３１年度から旧江北中学校（江北一丁目１７番）に建つ新校舎に移転する予定です。

※**No22鹿浜菜の花中学校**は、平成３０年度から江北七丁目１７番に建つ新校舎に移転する予定です。

※**No24 千寿青葉中学校**は、校舎の改築を検討しています。

問い合わせ先　教育委員会事務局 学務課就学係
℡３８８０－５９６９

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

水色

足立区の学校選択制度

【平成30年度　小・中学校入学者用】

学校選択制度は、保護者やお子さんが入学したい学校を選べる制度です。現在、小・中学校に在学している児童・生徒については、住所の異動を伴う転入、転居の際にもこの制度が適用されます。

保護者の方へ

■学校は、それぞれに運営方針や特色に違いがありますので、学校公開などを通して十分に学校を理解した上で選ぶことが大切です。

○選択制度は、選択の自由と同時に選択責任を求める制度です。
保護者の方々には、学区域内・外を問わず、平等に学校や地域と協働して教育の充実を進める義務があります。学校行事やＰＴＡ活動、地域活動にも積極的に参加していただきます。

○教員等の人事異動により部活動の内容が変更されたり、継続ができなくなる場合があります。
部活動のみを理由に入学を希望する場合は、お子さんに十分理解をしていただくとともに、保護者の責任のもとに学校を選択することが必要です。

■学校選択制度は、学区域校を希望するお子さんをすべて受け入れしたうえで、受け入れに余裕がある場合に学区域以外から希望するお子さんを受け入れる制度です。（平成１４年度に導入されました）

○受入人数には上限がありますので、希望者全員の受け入れが困難な学校については、公平性を確保するため、学区域以外からの希望者で抽選を行ったうえで入学者を決定します。

○抽選になった学校に兄・姉が在籍していても、優先入学はできません。

■小学校の学校選択制度（改正）について

平成30年4月以降の新入学・転入学については、原則、「学区域の小学校」か「隣接する学区域の小学校」のみ選択可能になります。なお、兄姉が在籍していても優先枠はありません。
〔詳細は、同封のチラシをご覧ください。〕

通学について

■毎日の通学のことを考えて、無理のない通学距離にある学校を選ぶことが大切です。

○学区域以外の学校を選ぶ場合、通学上の安全は、保護者の方に確保をしていただくことになります。必ず、学校を決める前にお子さんと一緒に通学経路の安全を確認してください。

○自転車通学は、認められていません。徒歩か公共の交通機関を利用しての通学となります。

足立区教育委員会

＜平成30年度 入学者 学校選択制度のスケジュール＞

	内　容	時　期	備　考
1	平成30年度学校選択制度日程のお知らせ	4月下旬	あだち広報（4月25日号）に掲載
2	第1回 学校公開期間のお知らせ	5月下旬	あだち広報（5月25日号）に掲載
3	第1回 学校公開・説明会日程のお知らせ	5月下旬	足立区ホームページ、各小・中学校、幼稚園、保育園などに掲示
4	第1回 学校公開 【小学校】 6月5日（月）～9日（金）頃 9:30～11:30　13:30～15:30 【中学校】 6月12日（月）～16日（金）頃 9:30～11:30　13:30～17:00	6月中旬	●学校公開の期間・時間は学校により異なります。詳細は、各学校へお問い合わせください。 （土曜公開している学校もあります）
5	受入可能人数の公表および パンフレット「足立区の学校選択制度」の配布	6月上旬	＜受入可能人数の公表＞ 足立区ホームページ、各小・中学校、幼稚園、保育園に掲示 ＜パンフレット配付＞ 各幼稚園・保育園・区立小学校等を通じて新入学予定者に配布
6	「希望選択票」送付に関するお知らせ	9月下旬	あだち広報（9月25日号）に掲載
7	第2回 学校公開期間のお知らせ	9月下旬	あだち広報（9月25日号）に掲載
8	第2回 学校公開・説明会日程のお知らせ	9月下旬	足立区ホームページ、各小・中学校・幼稚園・保育園などに掲示
9	学校情報データブック配布	9月下旬	各幼稚園・保育園・区立小学校等を通じ新入学予定者に配布
10	各保護者へ「希望選択票」の発送	10月2日（月）	一斉に郵送します。
11	第2回 学校公開 【小学校】 10月10日（火）～14日（土）頃 9:30～11:30　13:30～15:30 【中学校】 10月10日（火）～14日（土）頃 9:30～11:30　13:30～17:00	10月中旬	●学校公開の期間・時間は学校により異なります。詳細は、各学校へお問い合わせください。 （土曜公開している学校もあります）
12	希望選択票の提出期限	10月25日（水）	郵送については当日消印有効
13	応募状況の中間集計の公表	11月9日（木）	各小・中学校・幼稚園・保育園などに掲示
14	希望選択票の変更受付	11月9日（木）～15日（水）	学務課窓口でのみ受付します。（足立区役所 南館5階まで）
15	応募状況の最終集計の発表および抽選校の決定	11月30日（木）	各小・中学校・幼稚園・保育園などに掲示
16	抽選対象者へ抽選会のご案内を発送	12月初旬	
17	抽選会実施	12月中旬	12/7～13（土日を除く）の日中を予定
18	就学通知書の発送（小・中） 【新小学1年】 →自宅へ郵送 【新中学1年】 →在籍する足立区立小学校を通じて配付 （足立区立小以外に在籍する方は郵送）	1月 19 日（金）	在籍する足立区立小学校を通じて配付する「新中学１年」の就学通知書は、1月22日（月）以降に児童へ渡すことになります。

●「学校選択制度」に関する問い合わせ先
足立区教育委員会事務局（足立区役所 南館5階）
学務課 就学係　電話 3880－5969（直通）

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動実施中

■選択ができる人

学校選択ができる対象者は、次のとおりです。

① 平成３０年度に入学する小・中学校の新１年生

② 足立区外から転入してきた人

③ 足立区内で転居した人

なお、②③については、学年に関係なく転入・転居をした際に、入学・転学する学校を選択（一部制限あり）することができます。

■新1年生の学校選択手続きの流れ

平成30年度に小・中学校に入学する新1年生の学校選択手続きの流れは、以下のとおりです。

① 受入可能人数の公表

学校ごとに入学可能な人数の上限を決定し、受入可能人数として公表いたします。

【公表時期】 6月上旬

【公表場所】 区ホームページ、各小・中学校、幼稚園、保育園などに掲示

② 希望選択票の送付

足立区教育委員会(学務課)から、各保護者へ希望選択票を郵送します。

郵送日は、小・中学校とも 平成29年10月2日(月) を予定しています。

③ 希望選択票の提出

保護者の方は、郵送された希望選択票に入学を希望する学校名を記入し、必ず提出してください。

※ **希望選択票は、全員提出してください。（学区域の学校を希望する場合でも学校名を記入し、必ず提出してください。）**

【提出方法】

小学校に入学する方 ･･･ 学務課へ郵送または持参。（持参は平日のみ受付）

中学校に入学する方 ･･･ 在籍する区立小学校へ提出。区立小学校に在籍していない方は、学務課へ郵送または持参。（持参は平日のみ受付）

【提出期限】 平成29年10月25日(水)

・郵送で提出される場合は、期限内に届くように余裕をもって投函してください。

・在籍している区立小学校への提出期限は、希望選択票に記載します。

④ 応募状況の中間集計公表

希望選択票の提出期限後、各学校の応募状況を中間集計として公表いたします。

【公表時期】 平成29年11月9日(木)

【公表場所】 区ホームページ、各小・中学校、幼稚園、保育園などに掲示

⑤ 希望選択票の変更受付

一度提出した希望選択票の希望校を変更したい人のために、変更受付期間を設定いたします。希望校の変更は、この受付期間に学務課で手続きを行ってください。(郵送や電話での受付はできません。)

【受付期間】 平成29年11月9日(木)～15日(水)

【受付場所】 学務課就学係の窓口(足立区役所 南館5階)

⑥ 応募状況の最終公表

希望選択票の変更受付後、各学校の応募状況を最終集計として公表いたします。

【公表時期】 平成29年11月30日(木)

【公表場所】 区ホームページ、各小・中学校、幼稚園、保育園などに掲示

■学校公開

学校を選択する際に、保護者の方がうわさなどに惑わされず、しっかりとご自分の目で確かめていただけるようにするため、全ての小・中学校において2回の学校公開期間を設けます。是非、この期間に選択の候補となる学校に足を運んでいただき、選択する際の参考にしてください。

また、希望した学校が抽選となった場合は、入学できないこともありますので、複数校の情報を得ておくことも必要です。

第1回 学校公開	6月上旬～中旬頃	●学校公開の期間・時間は学校により異なります。 詳細は、各学校へお問い合わせください。
第2回 学校公開	10月中旬頃	

公開期間等の日程は、各公開時期に合わせ足立区のホームページ(http://www.city.adachi.tokyo.jp/)および各小・中学校等でも公表します。なお、公開期間以外にも独自での公開を行っている学校があります。

また、「開かれた学校づくり」の一環として、学校情報冊子を第2回の学校公開に合わせて作成しています。

■希望が集中した場合

学校の教室数の関係で希望者全員の入学が困難な場合は、抽選により入学者を決定いたします。

抽選に関する概要は、次のとおりです。

① 抽選の決定

希望者数が受入可能人数を超えた学校等の中から、抽選実施校を決定いたします。

この場合、受入可能人数を上回った学校をすべて抽選とするのではなく、希望者全員の受入の可能性を十分に検討したうえで、どうしても全員の受け入れができない学校に限り、抽選を実施しています。また、抽選実施校および凍結校(注意1)については、最終の応募状況を公表する際にお知らせいたします。

注意1 凍結校とは、最終集計公表時に入学希望者が受入可能人数を超えている場合において、抽選をせずに、それ以後の学区域外からの希望者の受け入れを行わないことで、最終集計公表時までの希望者全員が入学できる学校のことをいいます。(ただし、2月末日までの欠員の状況によっては、凍結を解除することもあります。)

② 抽選の対象者

学区域外からの希望者が抽選の対象となります。**兄・姉が希望の学校に在籍していても、優先入学はありません。**

虚偽の転居等を行った方(実際には住まずに住民票だけを異動する等。)も、抽選の対象とします。

教育委員会では、公平・公正を保つために、転入、転居者に対して、実態調査を行ったうえで抽選対象者を判断します。

なお、虚偽の転居等は、違法です。住民基本台帳法に基づく罰則の対象となる場合があります。

※ **虚偽の転居等により入学したことが判明したときは、入学後でも転校していただくことがあります。**

③ 抽選の実施について

抽選は公開で実施します。抽選対象者には、教育委員会(学務課)から抽選日時、抽選場所等を通知いたします。

【抽選通知の発送時期】 12月初旬 (抽選会は、12月中旬あたりで実施する予定です。)

④ 抽選の結果、補欠となった人

「補欠」として、平成30年2月末日まで登録します。「補欠」となった場合は、暫定的に学区域の学校を就学指定します。

登録期間内に欠員が生じた場合には、抽選結果をもとに順次繰上げ当選とします。

★★当選を辞退した場合のリスク★★

「当選」した学校を辞退した場合は、学区域校へ戻れないことがありますので、ご留意ください。

■学校を選択するにあたって

学校を選べるのは、入学時の1度だけとなります。いつでも学校を転校できるわけではありませんので、学校を選ぶ際には、お子さんとともに慎重に検討してください。

なお、入学する前に足立区外へ転出した場合は、提出した希望選択票及び足立区教育委員会から送付された就学通知書は、無効となります。新たに転出先の市町村で就学手続きを行ってください。

学校選択制度の改正について〔小学校のみ〕

小学校については、お子様の通学の安全を考慮し、平成３０年度から、原則、「住所地の学区域の学校」又は「学区域に隣接する学校のみ」選択可能に制度改正されます。

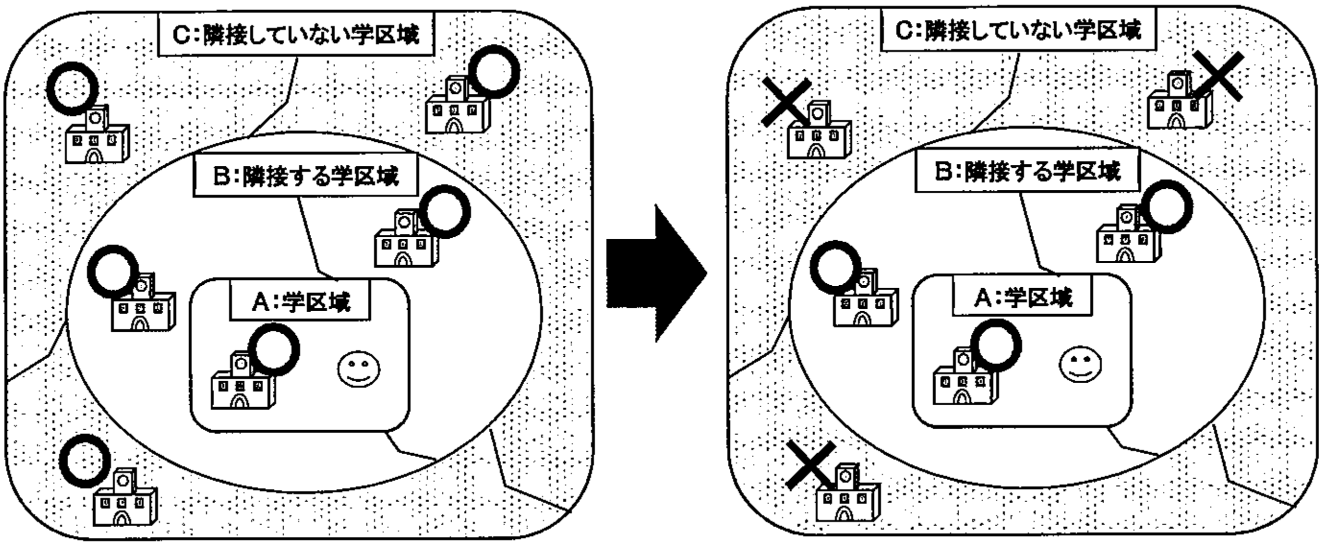
中学校については、引き続き区内全域から選択可能です。

★選択可能な小学校は、裏面を参照してください。

Ｑ１　隣接する学校であれば、必ず入学できますか？	Ａ１　選択はできますが、入学希望者が受入可能数を超えた場合、学区域外からの希望者は抽選の対象となります。
Ｑ２　隣接していない学校には、絶対入学できないのですか？	Ａ２　兄姉が入学している場合は選択することができます。（新入生が入学する時点で兄姉が在学している必要があります。） 但し、入学希望者が受入可能数を超えた場合は、他の学区域外からの希望者と同様に抽選対象となります。優先入学はありません。
Ｑ３　現在、隣接校に兄が在籍しています。平成３０年度に入学する弟には、優先枠はないのですか？	Ａ３　隣接校であれば選択できますが、兄姉が在籍していても優先枠はありません。 なお、入学希望者が受入可能数を超えた場合は、他の学区域外からの希望者と同様に抽選対象となります。
Ｑ４　特別支援学級を検討しています。特別支援学級への入級はどうなりますか？	Ａ４　特別支援学級については、これまでどおり学区域に関わらず、就学相談で入学先を決定します。 就学相談は、こども支援センターげんきへお問い合わせください。

平成２９年度まで
〔Ａ～Ｃ区内全域から選択可能〕

平成３０年度から
〔Ｂ：隣接する学区域まで選択可能〕



・・・・児童の居住地

・・・・学校

・・・・選択可能な学校

・・・・選択できない学校

平成３０年度の入学・転学者から、
原則、「Ｃ：隣接していない学区域」の学校は、
選択できませんのでご注意ください。

＜問い合わせ先＞　足立区教育委員会　学務課　就学係
℡０３（３８８０）５９６９直通

学区域別隣接校一覧（平成３０年４月以降、学区域校以外で選択できる小学校）

	学区域校	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	青井	綾瀬	加平	栗島	弘道小	弘道第一	東加平			
2	足立	梅島	梅島第二	弘道	弘道第一	弥生	千寿双葉	千寿本町		
3	足立入谷	皿沼	舎人	舎人第一						
4	綾瀬	青井	弘道	東綾瀬	東加平					
5	伊興	栗原北	古千谷	皿沼	舎人	西伊興	東伊興			
6	梅島	足立	梅島第一	梅島第二	亀田	弥生				
7	梅島第一	梅島	亀田	栗島	栗原	島根	中島根	平野	弥生	
8	梅島第二	足立	梅島	亀田	関原	千寿双葉	千寿本町			
9	桜花	花畑第一	花畑西	◆淵江第一						
10	扇	興本	江北	高野	寺地	宮城				
11	大谷田	北三谷	中川	中川東	長門	東淵江				
12	興本	扇	高野	寺地	西新井	西新井第一	本木			
13	加平	青井	栗島	花畑	花保	東加平	東栗原			
14	亀田	梅島	梅島第一	梅島第二	栗原	関原				
15	北三谷	大谷田	東綾瀬	東淵江						
16	北鹿浜	皿沼	鹿浜五色桜	鹿浜第一	鹿浜西					
17	栗島	青井	梅島第一	加平	弘道第一	東栗原	平野	弥生		
18	栗原	梅島第一	亀田	栗原北	島根	関原	西新井	西新井第一	西新井第二	
19	栗原北	伊興	栗原	島根	竹の塚	西新井第一	西新井第二	西伊興	東伊興	
20	弘道	青井	足立	綾瀬	弘道第一	東加平	弥生			
21	弘道第一	青井	足立	栗島	弘道	弥生				
22	江北	扇	高野	鹿浜五色桜	鹿浜西	宮城				
23	高野	扇	興本	江北	鹿浜五色桜	西新井第一				
24	古千谷	伊興	舎人	東伊興						
25	皿沼	足立入谷	伊興	北鹿浜	鹿浜第一	舎人	西新井第二	西伊興		
26	鹿浜五色桜	北鹿浜	江北	高野	鹿浜第一	鹿浜西	西新井第一			
27	鹿浜第一	北鹿浜	皿沼	鹿浜五色桜	西新井第一	西新井第二	西伊興			
28	鹿浜西	北鹿浜	江北	鹿浜五色桜	新田					
29	島根	梅島第一	栗原	栗原北	竹の塚	中島根	保木間			
30	新田	鹿浜西	◆江北	◆宮城						
31	関原	梅島第二	亀田	栗原	西新井	本木	千寿双葉			
32	千寿	千寿桜	千寿常東	千寿第八	千寿本町					
33	千寿桜	千寿	千寿双葉	千寿本町	宮城					
34	千寿常東	千寿	千寿第八	千寿本町						
35	千寿第八	千寿	千寿常東	千寿本町						
36	千寿双葉	千寿桜	千寿本町	足立	梅島第二	関原	本木			
37	千寿本町	千寿	千寿桜	千寿常東	千寿第八	千寿双葉	足立	梅島第二		
38	竹の塚	栗原北	島根	東伊興	渕江	保木間				
39	辰沼	中川	中川北	中川東	花畑	東加平				
40	寺地	扇	興本	本木	宮城					
41	舎人	足立入谷	伊興	古千谷	皿沼	舎人第一				
42	舎人第一	足立入谷	舎人	◆古千谷						
43	中川	大谷田	辰沼	中川東	東加平	東淵江				
44	中川北	辰沼	中川東	花畑	六木					
45	中川東	大谷田	辰沼	中川	中川北	東淵江				
46	中島根	梅島第一	島根	平野	保木間					
47	長門	大谷田	◆北三谷	◆東淵江						
48	西新井	興本	栗原	関原	西新井第一	本木				
49	西新井第一	興本	栗原	栗原北	高野	鹿浜五色桜	鹿浜第一	西新井	西新井第二	
50	西新井第二	栗原	栗原北	皿沼	鹿浜第一	西新井第一	西伊興			
51	西伊興	伊興	栗原北	皿沼	鹿浜第一	西新井第二				
52	西保木間	花畑西	東伊興	渕江	渕江第一					
53	花畑	加平	辰沼	中川北	花畑第一	花保	東加平	六木		
54	花畑第一	桜花	花畑	花畑西	花保	渕江第一				
55	花畑西	桜花	西保木間	花畑第一	渕江第一					
56	花保	加平	花畑	花畑第一	東栗原	渕江第一				
57	東綾瀬	綾瀬	北三谷	東加平	東淵江					
58	東伊興	伊興	栗原北	古千谷	竹の塚	西保木間	渕江			
59	東加平	青井	綾瀬	加平	弘道	辰沼	中川	花畑	東綾瀬	東淵江
60	東栗原	加平	栗島	花保	平野	渕江第一				
61	東淵江	大谷田	北三谷	中川	中川東	東綾瀬	東加平			
62	平野	梅島第一	栗島	中島根	東栗原	渕江第一	保木間			
63	渕江	竹の塚	西保木間	東伊興	渕江第一	保木間				
64	渕江第一	西保木間	花畑第一	花畑西	花保	東栗原	平野	渕江	保木間	
65	保木間	島根	竹の塚	中島根	平野	渕江	渕江第一			
66	宮城	千寿桜	扇	江北	寺地					
67	六木	中川北	花畑	◆辰沼						
68	本木	興本	関原	寺地	西新井	千寿双葉				
69	弥生	足立	梅島	梅島第一	栗島	弘道第一	弘道			

【注意】　小中一貫校（興本扇、新田）は、区内全域から選択可能。

太枠は、荒川を挟んで隣接し橋を渡り通学可能な学校。

◆印は、最低３校の特例により、選択可能な学校

平成２９年第６回
教育委員会定例会
別　冊　資　料

平成２９年６月８日

第４０号議案の議案書、議案説明資料（この冊子）は、委員会終了後、回収させていただきます。
机上に置いたまま、ご退室ください。

第４０号議案

足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について

上記の議案を提出する。

平成２９年６月８日

提出者　　足立区教育委員会教育長　定野　司

足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について

足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員を下記のとおり委嘱及び任命する。

記

1　被委嘱者・任命者

別紙のとおり

2　委嘱期間

平成２９年６月９日（金）から審査終了まで

（提案理由）

足立区地域学習センター条例第２２条、足立区生涯学習センター条例第２２条、足立区図書館条例第１２条、足立区地域体育館条例第２１条、足立区総合スポーツセンター条例第２２条、足立区温水プール条例第２２条、足立区東綾瀬公園温水プール条例第２２条、足立区立千寿本町小学校温水プール条例第１８条、足立区営運動場条例第１２条、及び足立区文化芸術劇場条例第２３条に基づき、生涯学習関連施設指定管理者の評価を行うため、評価委員会委員を委嘱及び任命する必要があるので、この案を提出します。

別　紙

足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員名簿

任期　平成２９年６月９日から審査終了まで

学識経験者

氏名	勤務先・団体名称
岩永　雅也	放送大学　教授
篠崎　雅春	東京未来大学　教授

敬称略

区民

氏名	勤務先・団体名称
早坂　津夜子	

敬称略

区職員

氏名	勤務先・団体名称
向井　功至	学校経理課長

第４０号議案説明資料

平成２９年６月８日

件名	足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会委員の委嘱及び任命について
所管部課名	地域のちから推進部　地域文化課

内容

1　提案理由

足立区地域学習センター条例第22条、足立区生涯学習センター条例第22条、足立区図書館条例第12条、足立区地域体育館条例第21条、足立区総合スポーツセンター条例第22条、足立区温水プール条例第22条、足立区東綾瀬公園温水プール条例第22条、足立区立千寿本町小学校温水プール条例第18条、足立区営運動場条例第12条、及び足立区文化芸術劇場条例第23条に基づき、生涯学習関連施設指定管理者の評価を行うため、評価委員会委員を委嘱及び任命する。

スポーツ施設の評価委員については地域学習センター条例第22条に規定されているため、同様に提案する。

2　被委嘱者・任命者

学識経験者

氏名	勤務先・団体名称
岩永　雅也	放送大学　教授
篠崎　雅春	東京未来大学　教授

区民

氏名	勤務先・団体名称
早坂　津夜子	

区職員

氏名	勤務先・団体名称
向井　功至	学校経理課長

3　評価対象施設

（1）学習センター

①生涯学習センター

②伊興センター

③梅田センター

	④興本センター ⑤江北センター ⑥佐野センター ⑦鹿浜センター ⑧新田センター ⑨竹の塚センター ⑩中央本町センター ⑪東和センター ⑫舎人センター ⑬花畑センター ⑭保塚センター （２）スポーツ施設 ①総合スポーツセンター ②竹の塚温水プール・体育館 ③東綾瀬公園温水プール ④千寿本町小学校温水プール ⑤平野運動場 （３）文化施設 ①足立区文化芸術劇場 ４　委嘱及び任命期間 平成２９年６月９日（金）から審査終了まで
今後の方針	足立区地域学習センター条例第 22 条、足立区生涯学習センター条例第 22 条、足立区図書館条例第 12 条、足立区地域体育館条例第 21 条、足立区総合スポーツセンター条例第 22 条、足立区温水プール条例第 22 条、足立区東綾瀬公園温水プール条例第 22 条、足立区立千寿本町小学校温水プール条例第 18 条、足立区営運動場条例第 12 条、及び足立区文化芸術劇場条例第 23 条に基づき、生涯学習関連施設指定管理者の評価を行う。

平成２９年第６回
教育委員会定例会

追　加　資　料

平成２９年６月８日

報告事項　頁

（１）足立区ギャラクシティ指定管理者の選定について《浅見 地域文化課長》　1

（２）平成２９年度（新規事業）「英語マスター講座」の実施について《森 学力定着推進課長》　2

情報連絡事項

（１）中１夏季勉強合宿の実施について　［学力定着推進課］　3

（２）平成２９年度第１回「高校中途退学に関わる中学校・高等学校連絡協議会」兼「中高連携担当者会」の開催について　［学力定着推進課］　4

（３）中学校英語教育推進モデル地区の指定及びそれに伴う都委託事業の受託について　［学力定着推進課］　5

（４）学力向上担当教師の加配及びそれに伴う学力格差解消推進校事業の指定について　［学力定着推進課］　6

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　　名	足立区ギャラクシティ指定管理者の選定について
所管部課名	地域のちから推進部　地域文化課
内　　　容	足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール（以下これらを「ギャラクシティ」という。）は、指定管理者制度を導入し運営している。 ２９年度末で５年の指定期間が満了するため、下記のとおり、公募により指定管理者候補者を選定し、その後区議会に付議することとする。 記 １　対象施設 ギャラクシティ ２　スケジュール ７月２５日　あだち広報および区ホームページに募集記事掲載 ８月　２日　募集説明会 ８月２４日　応募受付 ９月　７日（予定）　選定審査会（書類選考） ９月２５日（予定）　選定審査会（プレゼンテーション） ３　指定期間 平成３０年４月１日～平成３５年３月３１日の５年間 ４　選定審査会の構成 学識経験者２名 区民　２名 区職員１名
問題点 今後の方針	スケジュールに沿って遺漏のないように選定を進める。

教　育　委　員　会　報　告

平成２９年６月８日

件　　名	平成２９年度（新規事業）「英語マスター講座」の実施について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
内　　容	1　講座概要 　文法・語彙力の向上と英語活用力を身に付けた中学生の育成を目指し、計３０回の講座形式で実施する。 　各回、オンライン英会話によるネイティブとのマンツーマンレッスンと日本人講師による授業・英語活動を取り入れ、会話はもちろん、英語を使った活動により英語の発話量を増やし、英語を使ったコミュニケーションに自信を持たせる。 　また、講座の後半に国内においてプチ留学体験により、それまで身に着けた英語力を試す英語生活に挑戦する。 2　対象者 　一定レベル以上の英語力を身に付け、かつ英語学習に強い興味・関心を持ち、英語力の向上意欲が高い中学生。 3　会場　　足立区立梅島小学校　（足立区梅田７－３５－１） 4　実施期間・回数・人数等 ・７月２４日の週から３月５日の週 ・月曜コース、水曜コース、金曜コースの３コースを設定 各コース　全３０回（１回120分＝60分×２レッスン） ・各コース　３０名　合計９０名 5　受講生募集・決定のスケジュール ①　５月下旬　各中学校より募集要項配付 ６月初旬　広報・ホームページによる周知 ②　保護者・生徒向け講座説明会（予定） ６月１１日（日）午前・げんき　午後・綾瀬プルミエ ６月１４日（水）夜間・げんき ③　６月２０日（火）申し込み締め切り ④　７月　１日（土）英語力判定テスト（会場：綾瀬プルミエ） ⑤　７月中旬　　受講者決定 6　受講生で希望者対象「国内プチ留学体験－英語生活に挑戦－」 ①　実施期間：３月２８日（水）から３０日（金）【２泊３日】 ②　実施場所：ブリティッシュヒルズ （福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草 1-8） ③　参加費用：宿泊費用は実費負担（就学援助対象者には費用の減額又は免除を予定）
今後の方針	

教育委員会情報連絡

平成２９年６月８日

件名	中１夏季勉強合宿の実施について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
内容	算数・数学を苦手とする中学校１年生の生徒に対し、小・中学校教諭がマンツーマン指導によるつまずきの解消をはかることを目的とした「中１夏季勉強合宿」について、下記のとおり実施する。 1　目的 ①中学１年生を対象に算数・数学のつまずきを解消し、基礎学力の定着を図る。 ②他校の生徒や教員と寝食を共にすることで、相互理解・友情・協力や信頼を深める。 ③生徒の指導を通して、小・中教員の連携や若手教員の研さんの機会とし、教員の資質向上の場とする。 ④勉強合宿終了後は、各中学校で参加生徒に対し、引き続き補習や補充学習を実施し生徒の学習支援を継続する契機とする。 2　参加対象生徒 中学１年生のうち、「小学校算数の基礎的な学習内容の定着が不十分で中学校の数学の学習に支障をきたす」と考えられる生徒。 各班９０名程度を予定。 3　日程 ◎第１班 平成２９年８月１７日（木）から８月２１日（月） ◎第２班 平成２９年８月２１日（月）から８月２５日（金） 4　場所 鋸南自然の家 5　指導者、運営スタッフ ①指導者：期間中、各小学校１名、各中学校２名の教員が学習指導や生活指導に従事する。 ②運営スタッフ：学力定着推進課職員、生涯学習振興公社職員ほか 6　今後のスケジュール ６月末：参加者確定 ７月２１日：参加者説明会
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年６月８日

件　　名	平成２９年度第１回「高校中途退学に関わる中学校・高等学校連絡協議会」兼「中高連携担当者会」の開催について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
内　　容	１　目的 　足立区内都立高等学校の特色等を理解し中学校の進路指導に役立てるとともに、不本意入学者や中途退学者の未然防止に資する。 　併せて中学校・高等学校の校長、並びに連携担当者間の懇親を深める。 ２　日時　　平成２９年５月１２日(金)　午後３時３０分～７時００分 ３　場所　　学びピア講堂他 ４　当日の内容 　第１部 　　足立区内都立高等学校の学校紹介＝中学校教員向けのプレゼンテーション 　第２部 　　顔合わせ会＝名刺交換、情報交換 ５　参加者 　区内中学校代表校長、担当者 　区内都立高等学校長、担当者 　東京都教育委員会担当者　　　全８１名 ６　今後の予定 　６月　区立中学校学校公開期間中参観の案内を都立高等学校に配布 　６月１日～７月末 　　中学校担当教員が区内都立高校へ訪問。 　　※区中研進路指導部会と連携して実施。 　９月中旬 　　区中研進路指導部　上級学校訪問報告会 　１０月～１１月 　　高等学校担当教員が区立中学校へ訪問を予定。 　その他「区内都立高等学校を知るパネル展示」を予定。展示場所・時期は現在調整中。
今後の方針	

教育委員会情報連絡

平成２９年６月８日

件　名	中学校英語教育推進モデル地区の指定及びそれに伴う都委託事業の受託について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
内　容	平成２９年４月１日、東京都教育委員会より「中学校英語教育推進モデル地区」として、当区が指定された。 なお、指定地区は足立区と昭島市の２自治体であった。 1　事業概要 本事業では「全区的に取り組むもの」と「モデル校による成果検証及び優れた授業実践等を波及させるもの」の２つの事業で構成される。 平成２９年度は、区が英語教育重点支援校（中学校８校）をモデル校として指定し、以下の取り組みを中心に推進していく。 ・４技能を総合的に育てる指導及び評価（パフォーマンステスト）の理解と体制つくり ・授業改善、効果的な授業実施に関する研究 ・自律的、積極的に学習する生徒育成のための取り組み ・小学校との円滑な接続を図る授業プログラム研究 2　事業経費 モデル地区の指定にあたり、都の委託事業として「中学校英語教育推進モデル地区設定要綱」に基づき委託金６５０万円が支払われる予定である。 （参考） 平成２９年度「英語教育重点支援校」 西新井中・東島根中・入谷中・第五中・竹の塚中・入谷南中・ 千寿青葉中・第十中
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成２９年6月８日

件　　名	学力向上担当教師の加配及びそれに伴う学力格差解消推進校事業の指定について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
内　　容	今年度、区立小学校１校、中学校各１校が「学力格差解消推進校」として東京都から指定され、学力向上担当教師が各１名ずつ加配された。 各推進校では、東京都の計画に従い、児童・生徒の確かな学力の定着と伸長、自尊感情の育成に取り組んでいく。 本事業を展開するにあたり、その事業経費について東京都より補助金が支払われる予定である。 １　指定の経緯 ①平成２８年１２月に東京都より以下の条件が示され、区は加配教諭の配置申請を提出した。 ・全国学力状況調査で全国平均正答率より５ポイント以上低い学校 ・就学援助率（準要保護を含む）が２割以上の学校 ② 平成２９年２月２２日、都より小学校１校、中学校１校に加配措置の決定が通知された。 ③ 平成２９年３月２８日、都の事業説明会において、加配教員が「学力向上担当教師」として配置され、各配置校に対し「学力格差解消推進校設置要項」に基づき、都の補助事業として補助金が支払われる（1校あたり５０万円を予定）ことが示された。 ２　事業の役割 「学力格差解消推進校」は、加配された教員を中心に、学力向上に向けた校内体制の整備・運営、補習体制の構築、児童・生徒の学習情報等の管理、家庭学習等の推進、キャリア教育の推進といった事業・役割が期待されている。
今後の方針	